

巻 頭 言

開院30周年、質の高い臨床研究をさらに推進します

病 院 長 岩 崎 浩 己

2023年度の臨床研究活動実績がまとまりましたのでお届けいたします。コロナ禍で大きく落ち込んだ学会発表件数は、2015-2016年度のピーク値と比べて70%程度まで回復しています。一方、発表論文数は2022年度の270編から大きく後退し172編に留まりました。特に英文論部数の落ち込みが目立っており、論文キャンペーンを展開して奮起を促しています。治験に関しては、ドラッグラグ・ドラッグロスが懸念される日本の厳しい現状のなかであっても、毎年少しずつ実績を伸ばしています。2023年度総合ポイント評価では、NHO140病院中9位と後退してしまいましたが、今年度のV字回復を目指して実績アップに取り組んでいるところです。

さて、福岡・糸島医療圏の人口推計を見ますと、2035年の176.5万人がピークになるようです。その後は緩やかに減少する予測ですが、高齢化率の急速な上昇によって、1日当たりの入院患者数推計では2050年の2万9千人余りまで右肩上がりに増加を続けます。このように医療ニーズが確実に増大する福岡・糸島医療圏の中心に位置し、救命救急センターを有する高度急性期病院として42診療科を展開している九州医療センターには、良質な医療の提供というだけでなく質の高い臨床研究で発信していくことも求められています。貴重な一症例一症例の積み重ねが当院の臨床研究の原動力になっていることは言うまでもありません。日頃より病病連携・病診連携を介して多くの患者さんをご紹介いただいておりますことに深謝申し上げます。

また、九州医療センターは多くの若き医療人が切磋琢磨し、そして巣立っていく、人材育成のための病院です。初期臨床研修医と専攻医／レジデントを合わせますと120名余が在籍しています。医師以外にも、毎年100名余の新人看護師／メディカルスタッフが入職します。研究マインドをもった若き医療人を養成する教育研修施設として機能充実を計っているところです。良質な医療の提供、臨床研究の推進、人材育成という三つの柱は、常に連動して達成されるものだと思います。少子化で人材の確保が難しくなるなか、当院の強みを活かした若い世代による研究活動の活性化をさらに進めていく所存です。

当院は2024年7月で開院30周年を迎えました。求められる医療ニーズに全力で応えながら、研究マインドをもった優れた医療人を育成すべく努めていく所存です。これからも九州医療センターの臨床研究活動にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

巻頭言	岩崎 浩己
目次	
I. 臨床研究センターの概要	1
II. 臨床研究センター沿革・歳時記	2
III. 臨床研究センター実績年次推移	10
論文、学会発表等	
獲得研究費	
契約金額、治験実施率	
大学教授就任者一覧	
院外表彰者等一覧	
IV. 臨床研究センター実績	13
研究室長年次報告	
臨床研究報告	
臨床研究発表審査過程、表彰者一覧	
発表会演題一覧	
研究報告（優秀演題）	
競争的研究費一覧	
NHOネットワーク共同臨床研究/EBM推進研究/本部主導臨床研究	
治験概況	
治験契約状況	
治験等実施率	
モニタリング等実施件数	
治験・受託研究一覧	
臨床研究セミナー・臨床研究発表会開催一覧	
C P C開催一覧	
研究課題一覧	
委員会一覧	
V. 診療科別研究業績一覧	73
令和5年業績一覧、診療科別業績一覧（2023年4月～2024年3月）	
編集後記	高見 裕子 159

I. 臨床研究センターの概要

名称：独立行政法人国立病院機構九州医療センター臨床研究センター

所在地：福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1

郵便番号：810-8563

電話番号：092-852-0700

FAX番号：092-846-8485

ホームページ：<https://kyusho-mc.hosp.go.jp/>

設置：平成20年4月1日

機能付与：高度総合医療施設

NHO臨床研究ネットワーク施設【がん(呼吸器)、がん(一般)、心脳大血管、精神疾患、脳神経疾患、感染症、小児・周産期、重症心身障害児(者)、エイズ、内分泌・腎疾患、感覚器、骨・運動器疾患、免疫・アレルギー疾患、血液疾患・血液がん、呼吸器疾患、消化器疾患、医療マネジメント、その他の医学系研究】

エイズブロック拠点病院

広域災害ブロック拠点病院

病院機能評価認定病院

ISO9001, 15189認証

DPC施行病院

単独型臨床研修指定病院

地域医療支援病院

地域がん病診連携拠点病院

地域医療研修センター

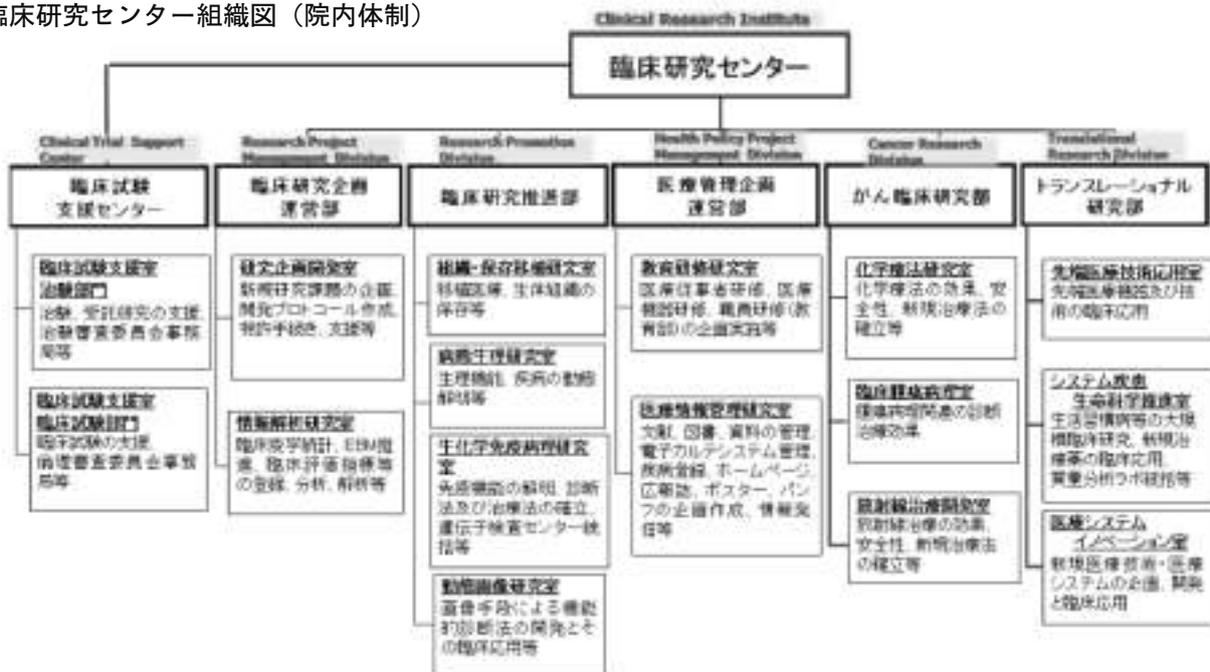
九州ブロック卒後研修、看護師養成

科学研究費補助金取扱規程研究機関(機関番号：87105)

治験中核拠点施設協議会参加施設

設置委員会：運営委員会、倫理審査委員会、治験審査委員会、利益相反審査委員会、治験選定委員会、広報委員会、研究審査委員会、企画委員会

臨床研究センター組織図(院内体制)



臨床研究センター関連整備一覧

質量分析装置 (Target分析) Shimadzu8050	質病分析装置 (Non-Target分析) Agilent6210
超音波気管支ビデオスコープ 先端挿入ユニット	腹腔鏡手術トレーニングシミュレータ Mist
内視鏡シミュレータAccu Touch	内視鏡手術トレーニングシミュレータ LapVR
静脈路確保訓練システム バーチャルIV	ダヴィンチトレーナー dV-TRAiNER Si
標本撮影装置 (病理検査)	顕微鏡・顕微鏡用デジタルカメラ
全自動化学発光免疫測定装置	超低温フリーザー

II. 臨床研究センター 沿革

平成6年	開院と同時に臨床研究部設置 (1部5室)
平成7年	臨床研究業績集発刊開始
平成9年	エイズ医療九州ブロック拠点施設 (厚生労働省)
平成10年	季刊誌KMC Research発刊開始
平成11年	治験管理室設置、臨床研究表彰開始
平成14年	冬休み・夏休み論文キャンペーン開始
平成16年	独法化、業績集；国際標準遂次刊行物番号取得 (ISSN 1349-6328)
平成17年	文科省研究補助金取り扱い機関認定 新臨床活動評価システム開始
平成18年	文献検索・電子ジャーナル閲覧システム構築 内視鏡教育センター開設、職務発明支援開始
平成19年	治験中核・拠点施設認定
平成20年	臨床研究センターへ昇格 (3部11室) 臨床研究推進部、臨床研究企画運営部、医療管理企画運営部
平成21年	患者図書館開設、スキルアップラボ開設 政策医療ネットワーク見直し
平成23年	臨床研究センター 拡大新組織へ (5部15室) がん臨床研究部、トランスレーショナル研究部を増設
平成24年	脳血管内治療科設置、医療機器臨床試験整備 治験管理室を臨床試験支援室へ改称、整備 高度医療評価制度認可 (呼吸器外科、産婦人科) 文科省科研費 (基盤C) 取得 (高血圧内科)
平成25年	早期認知 (MCI) 外来設置、診療科横断的研究開始 国立病院機構 臨床研究事業部中央支援部門に参画
平成26年	国際webカンファレンス室設置 がん臨床研究部研究室整備 冬休み・夏休み論文キャンペーンに英文原著論文奨励制度を新設 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の公布に伴い、CITI Japan 教育プログラム研修開始
平成27年	文科省科研費 (若手B) 取得 (整形外科) 国際Webカンファレンス室 (TV会議室) を利用した、臨床研修教育セミナー開催 (月1回)
平成28年	文科省科研費 (基盤C) 取得 (脳神経外科・歯科口腔外科) 質量分析装置の臨床研究センター内設置に関する「基本協定書調印式」

平成29年	臨床研究センター質量分析ラボ開室 文科省科研費（基盤C）取得（免疫感染症内科） 当院倫理審査委員会が人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づく質の高い倫理審査制度が整備されているとして、厚生労働省医師局より認定される AMED「中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会基盤整備事業」採択
平成30年	文科省科研費（基盤C）取得（眼科）
令和元年	文科省科研費（基盤C）取得（歯科口腔外科・脳神経外科・高血圧内科）、 （若手）取得（脳神経外科）
令和2年	文科省科研費（基盤C）取得（呼吸器外科・整形外科リウマチ科・眼科） （若手）取得（呼吸器外科・整形外科リウマチ科） （研究活動スタート支援）取得 整形外科・リウマチ科
令和3年	文科省科研費（基盤C）取得（放射線科） （若手）取得（整形外科・リウマチ科、耳鼻咽喉科） （スタート支援）取得（血液内科）
令和4年	文科省科研費（基盤C）取得（呼吸器内科・血液内科・病理・放射線科） （若手）取得（整形外科リウマチ科） SMO（治験施設支援機関）導入
令和5年	治験資料電磁化システム（Agatha）導入
令和6年	文科省科研費（基盤C）取得（呼吸器外科） （若手）取得（整形外科・リウマチ科）

歳時記

2023年（令和5年）	7月1日	臨床研究センター夏休み論文執筆推進キャンペーン開催（8篇応募）
	7月4日	令和4年度臨床研究発表会（50題）
	7月7日	優秀研究表彰
	12月1日	臨床研究センター冬休み論文執筆推進キャンペーン開催（12篇応募）
	12月13日	臨床研究センター運営協議会
2024年（令和6年）	3月27日	九州医療センターフォーラム（研修医終了式 講堂）

人事の変遷

臨床研究部長

吉田 晃治	（平成6年7月1日～平成9年3月31日）
小柳 左門	（平成9年4月1日～平成13年3月31日）
岡田 靖	（平成13年4月1日～平成15年3月31日）
村中 光	（平成15年4月1日～平成20年3月31日）

臨床研究センター長

村中 光	（平成20年4月1日～平成22年6月30日）
岡田 靖	（平成22年7月1日～平成30年3月31日）
岩崎 浩己	（平成30年5月1日～令和4年3月31日）
高見 裕子	（令和4年6月1日～）

平成23年4月1日より

研究室			
臨床研究企画運営部長	岡田 靖	H23. 4. 1～H28. 3.31	臨床研究センター長
	詠田 眞治	H28. 4. 1～H28. 8.31	臨床研究センター副センター長
	岡田 靖	H28. 9. 1～H30. 3.31	臨床研究センター長
	岩崎 浩己	H30. 5. 1～R 4. 3.31	臨床研究センター長
	高見 裕子	R 4. 6. 1～	臨床研究センター長
研究企画開発室長	中牟田 誠	H23. 4. 1～H29. 3.31	肝臓センター部長
	中島 寅彦	H29. 4. 1～	耳鼻咽喉科科長
副室長	久富 智朗	H23. 4. 1～H28. 3.31	眼科科長
	武田 篤信	H28. 4. 1～R 2. 3.31	〃
	中尾新太郎	R 2. 4. 1～R 4.11.30	〃
	長谷川英一	R 4.12. 1～	〃
情報解析研究室長	吉住 秀之	H23. 4. 1～H30. 3.31	医療情報センター総務部長
	福泉公仁隆	H30. 4. 1～	〃
副室長	吉弘 和明	H23. 4. 1～H25. 3.31	経営企画室長
	中村 守	H25. 4. 1～H27. 3.31	〃
	大城 英作	H27. 4. 1～H29. 3.31	〃
	横尾 大輔	H29. 4. 1～H31. 3.31	〃
	一ノ瀬真由美	H31. 4. 1～R 4. 3.31	〃
	橋本 裕二	R 4. 4. 1～R 6. 3.31	〃
	平田 剛	H30. 4. 1～R 3. 3.31	医療情報管理センターシステム管理・分析室長
	若田 好史	R 5. 4. 1～	
臨床試験支援室長	岡田 靖	H23. 4. 1～H30. 3.31	臨床研究センター長
	岩崎 浩己	H30. 5. 1～R 4. 3.31	〃
	高見 裕子	R 4. 6. 1～	〃
副室長	矢川 裕子	H23. 4. 1～H24. 3.31	治験主任薬剤師
	山脇 一浩	H24. 4. 1～H25. 3.31	副薬剤科長
	佐藤 栄梨	H25. 4. 1～R 3. 3.31	治験主任薬剤師
	大丸 資子	R 3. 4. 1～	〃
事務局長	西野 隆	H25. 4. 1～H31. 3.31	薬剤部長
	高島 伸也	R 1. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	橋本 雅司	R 3. 4. 1～	〃
副事務局長	山脇 一浩	H25. 4. 1～H29. 3.31	副薬剤部長
	福石 和久	H29. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	花田 聖典	R 3. 4. 1～R 4. 3.31	〃
	藤瀬 陽子	R 5. 4. 1～	
医療管理企画運営部長	才津 秀樹	H23. 4. 1～H29. 3.31	臨床研修部長
	福泉公仁隆	H30. 4. 1～	〃
教育研修研究室長	土橋 卓也	H23. 4. 1～H25.12.31	臨床教育部長
	末松 栄一	H26. 1. 1～R 2. 3.31	〃
	山崎 宏司	R 2. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	富永 光裕	R 3. 4. 1～	〃
副室長	石原 尚美	H23. 4. 1～H24. 3.31	教育看護師長
	山崎 弘子	H24. 4. 1～H27. 3.31	〃
	山田 展代	H28. 4. 1～H29. 3.31	〃
	長田 祐子	H29. 4. 1～H31. 3.31	〃
	松木 未応	H31. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	中村千夏子	R 3. 4. 1～	〃
医療情報管理研究室長	原田 直彦	H23. 4. 1～R 6. 3.31	光学診療部長

副室長	占部 和敬	H23. 4. 1～	皮膚科科長
臨床研究推進部長	矢坂 正弘	H23. 4. 1～R 5. 3.31	脳血管・神経内科科長
	杉森 宏	R 5. 4. 1～	
組織保存移植研究室長	岡村 精一	H23. 4. 1～H28. 3.31	血液内科科長
	岩崎 浩己	H28. 4. 1～H30. 4.30	〃
	山崎 聡	H30. 5. 1～R 3. 3.31	血液内科医長
	福士 純一	R 3. 4. 1～	整形外科・リウマチ科科長
副室長	宮原 寿明	H23. 4. 1～H26. 3.31	リウマチ膠原病センター部長
	江崎 幸雄	H26. 4. 1～H29.10.30	整形外科医長
	嘉村 聡志	H30. 4. 1～H31. 3.31	整形外科医師
	福士 純一	H31. 4. 1～R 3. 3.31	整形外科・リウマチ科科長
	高瀬 謙	R 3. 4. 1～	血液内科科長
病態生理研究室長	中村 俊博	H23. 4. 1～H30. 3.31	循環器センター部長
	村里 嘉信	H30. 4. 1～	循環器センター副部長
副室長	一木 昌郎	H23. 4. 1～R 1. 7.31	呼吸器内科科長
	岡元 昌樹	R 1. 8. 1～	呼吸器内科科長
生化学免疫病理研究室長	末松 栄一	H23. 4. 1～H25.12.31	膠原病内科科長
	山本 政弘	H26. 1. 1～H27. 7.31	HIV総合治療センター部長
	河内 茂人	H27. 8. 1～R 4. 6. 3	遺伝子検査センター長
副室長	山本 政弘	H23. 4. 1～H25.12.31	HIV総合治療センター部長
	富永 光裕	H26. 1. 1～	高血圧内科科長
	宮村 知也	H28.12. 1～	膠原病内科科長
動態画像研究室室長	矢坂 正弘	H23. 4. 1～H25. 3.31	脳血管・神経内科科長
	黒岩 俊郎	H25. 4. 1～H29. 3.31	放射線科医長
	古谷 清美	H29. 4. 1～H31. 3.31	〃
	野口 智幸	H31. 4. 1～	放射線部長
副室長	安森弘太郎	H23. 4. 1～H25. 3.31	放射線部長
	桑城 貴弘	H25. 4. 1～	脳血管・神経内科医長
がん臨床研究部長	竹尾 貞徳	H23. 4. 1～H25. 5.15	呼吸器センター部長
	楠本 哲也	H25. 5.16～	消化器外科医長
化学療法研究室長	蓮尾 泰之	H23. 4. 1～R 3. 3.31	産婦人科医長
	田村 真吾	R 3. 4. 1～	腫瘍内科科長
副室長	内野 慶太	H23. 4. 1～H30. 3.31	外来総合治療センター部長
	下川 穂積	H30. 4. 1～R 3. 3.31	外来化学療法センター長
	田村 真吾	R 3. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	和田 幸之	R 4. 4.1～ R 6. 3.31	肝胆膵外科医長
臨床腫瘍病理室長	藤井 輝彦	H23. 4. 1～H24. 3.31	乳腺センター部長
	桃崎 征也	H24. 4. 1～	病理部長
副室長	桃崎 征也	H23. 4. 1～H24. 3.31	〃
	中川 志乃	H24. 4. 1～H29.12.31	乳腺センター長
	岩熊 伸高	H30. 1. 1～	乳腺センター長
	名本 路花	H30. 1. 1～	乳腺センター副部長
	藤原美奈子	H31. 4. 1～	病理部医長
放射線治療開発室長	松村 泰成	H23. 4. 1～H31. 3.31	放射線科医長
	大賀 才路	H30. 4. 1～	放射線科医長
副室長	坂本 直孝	H23. 4. 1～R 5. 3.31	泌尿器科科長
	小川 伸二	R 5. 4. 1～	婦人科科長
トランスレーショナル研究部長	富田 幸裕	H23. 4. 1～H30. 6. 4	循環器センター副部長
先端医療技術応用室長	小野原俊博	H23. 4. 1～	血管外科科長
副室長	高見 裕子	H23. 4. 1～R 4. 4. 1	肝胆膵外科科長

	瓜生 英興	R 4. 4. 1～	耳鼻咽喉科・気管食道科長
システム疾患生命科学推進室長	佐藤 真司	H23. 4. 1～H27. 7.31	循環器内科医長
	中牟田 誠	H27. 8. 1～R 6. 3.31	消化器センター部長
副室長	小河 淳	H23. 4. 1～R 2. 3.31	代謝内分泌センター部長
	渡邊 哲博	R 2. 4. 1～	代謝内科科長
医療システムイノベーション室長	詠田 眞治	H23. 4. 1～H28. 3.31	脳血管センター部長
	甲斐 哲也	H28. 4. 1～R 6. 3.31	麻酔部長
副室長	瀬戸口秀一	H23. 4. 1～H26. 3.31	〃
	甲斐 哲也	H26. 4. 1～H28. 3.31	〃
	津本 智幸	H26. 4. 1～R 1. 9.30	脳血管内治療科科長
	中溝 玲	H28. 4. 1～R 4. 3.31	脳神経外科科長
	溝口 昌弘	R 4. 4. 1～	〃
	徳永 聡	R 1.10. 1～	脳血管内治療科科長
臨床研究センター事務局 担当	村上 知子	H22.10. 1～H27. 3.31	
	延命吉世子	H27. 4. 1～R 3.10.30	
	山下 リエ	R 4. 4. 1～R. 4. 6.23	
	中島 美子	R 5. 8. 1～	

臨床試験支援センター			
臨床試験支援センター長	岡田 靖	H25. 4. 1～H30. 3.31	臨床研究センター長
	岩崎 浩己	H30. 5. 1～R 4. 3.31	〃
	高見 裕子	R 4. 6 .1～	〃
副センター長	佐藤 栄梨	H25. 4. 1～R 3. 3.31	CRC,治験主任薬剤師
	大丸 資子	R 3. 4. 1～	〃
副センター長	麻生嶋和子	H25. 4. 1～	CRC,副看護師長
事務局長	西野 隆	H25. 4. 1～H31. 3.31	薬剤部長
	高島 伸也	H31. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	橋本 雅司	R 3. 4. 1～	〃
副事務局長	山脇 一浩	H25. 4. 1～H29. 3.31	副薬剤部長
	福石 和久	H29. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	花田 聖典	R 3. 4. 1～R 5. 3.31	〃
	藤瀬 陽子	R 5. 4. 1～	〃
事務局長補佐	江崎 章子	H25. 4. 1～H27. 3.31	副看護部長
	赤星 誠美	H27. 4. 1～H28. 3.31	〃
	中村 京子	H28. 4. 1～H29. 3.31	〃
	白石 早苗	H29. 4. 1～H30. 3.31	〃
	石山いずみ	H30. 4. 1～H31. 3.31	〃
	有馬 京子	H31. 4. 1～R 2. 3.31	〃
	中元めぐみ	R 2. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	西 美穂子	R 3. 4. 1～R 6. 3.31	〃
治験関連検査窓口	西浦 明彦	H25. 4. 1～H31. 3.31	臨床検査技師長
	松下 義照	H31. 4. 1～R 6. 3.31	〃
	折田 信一	H26. 4. 1～H31. 3.31	放射線技師長
	田畑 信幸	H31. 4. 1～R 4. 3.31	〃
	大浦 弘樹	R 4. 4. 1～	〃
治験事務	松澤 圭祐	H25. 4. 1～H26.12.31	業務班長
	坂口 勝樹	H27. 1. 1～H28. 9.30	〃
	田中 昭人	H28.10. 1～H30. 3.31	〃
	松下 賢	H30. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	向井 優	R 3. 4. 1～R 6. 3.31	〃

平成23年3月31日まで

研究室			
臨床研究企画運営部長	村中 光	H20. 4. 1～H22. 6.30	臨床研究センター
	岡田 靖	H22. 7. 1～	
研究企画開発研究室長	中牟田 誠	H20. 4. 1～	消化器内科医長
副室長	江内田 寛	H20. 4. 1～H23. 3.31	眼科医長
情報解析研究室長	宮原 寿明	H20. 4. 1～H23. 3.31	整形・リウマチ科医長
副室長	田中 広美	H20. 4. 1～H22. 3.31	企画運営室長
	吉弘 和明	H22. 4. 1～	経営企画室長
治験管理室長	村中 光	H15. 4. 1～H22. 6.30	臨床研究センター
	岡田 靖	H22. 7. 1～	
副室長	白木 善孝	H19. 4. 1～H21. 3.31	薬剤科長
	石橋 誠	H21. 4. 1～H24. 3.31	
医療管理企画運営部長	井口 厚司	H20. 4. 1～H22. 6.30	泌尿器科医長
	才津 秀樹	H22. 7. 1～H23. 3.31	肝臓外科医長
肝臓外科医長	土橋 卓也	H20. 4. 1～	高血圧内科医長
副室長	石原 尚美	H20. 4. 1～H24. 3.31	臨床教育師長
医療情報管理研究室長	矢加部 茂	H20. 4. 1～H23. 3.31	小児外科医長
副室長	蓮尾 泰之	H20. 4. 1～H23. 3.31	産婦人科医長
広報企画運営研究室長	原田 直彦	H20. 4. 1～H23. 3.31	消化器内科医長
副室長	前田 宏樹	H20. 4. 1～H23. 3.31	放射線部技師
臨床研究推進部長	森田 茂樹	H20. 4. 1～H20. 9.14	心臓血管外科医長
	矢坂 正弘	H20. 9.15～	脳血管・神経内科科長
組織保存・移植研究室 室長	隅田 幸男	H 6. 7. 1～H10. 3.31	心臓血管外科医長
	岡村 精一	H10. 4. 1～	血液内科医長
副室長	竹下 盛重	H13. 4. 1～H16. 3.31	臨床検査科科長（病理）
	中島 収	H16. 4. 1～H18. 3.31	臨床検査科科長（病理）
	上杉 憲子	H18. 4. 1～H21. 1.15	臨床検査科科長（病理）
	桃崎 征也	H21. 1.16～H23. 3.31	病理
病態生理研究室 室長	酒井喜久雄	H 6. 7. 1～H14. 3.31	循環器科医長
	竹尾 貞徳	H14. 4. 1～H20. 3.31	呼吸器外科医長
	中村 俊博	H20. 4. 1～	循環器科医長
副室長	竹尾 貞徳	H13. 4. 1～H16. 3.31	呼吸器外科医長
	中村 俊博	H14. 4. 1～H20. 3.31	循環器センター部長
	一木 昌郎	H20. 4. 1～	呼吸器科医長
生化学免疫病理 室長	酒井 好古	H 6. 7. 1～H11. 3.31	内科医長
	末松 栄一	H11. 4. 1～	膠原病内科医長
副室長	江崎 幸雄	H13. 4. 1～H18. 3.31	リウマチ・整形外科医師
	佐藤 真司	H18. 4. 1～H23. 3.31	循環器科医長
動態画像研究室 室長	村中 光	H 6. 7. 1～H14. 3.31	放射線科医長
	才津 秀樹	H14. 4. 1～H18. 3.31	外科（肝臓外科）医長
	矢坂 正弘	H18. 4. 1～	脳血管・神経内科科長
副室長	中島 淳博	H13. 4. 1～H15. 3.31	心臓血管外科医師
	豊田 一則	H15. 4. 1～H17. 3.31	脳血管内科医長
	矢坂 正弘	H17. 4. 1～H18. 3.31	脳血管内科医長
	安森弘太郎	H18. 4. 1～	放射線科医長
医用工学研究室 室長	川内 義人	H 6. 7. 1～H16. 3.31	心臓血管外科医長
	富永 隆治	H16. 4. 1～H17. 5.31	心臓血管外科医長
	井上 亨	H17. 6. 1～H20. 3.31	脳外科医長

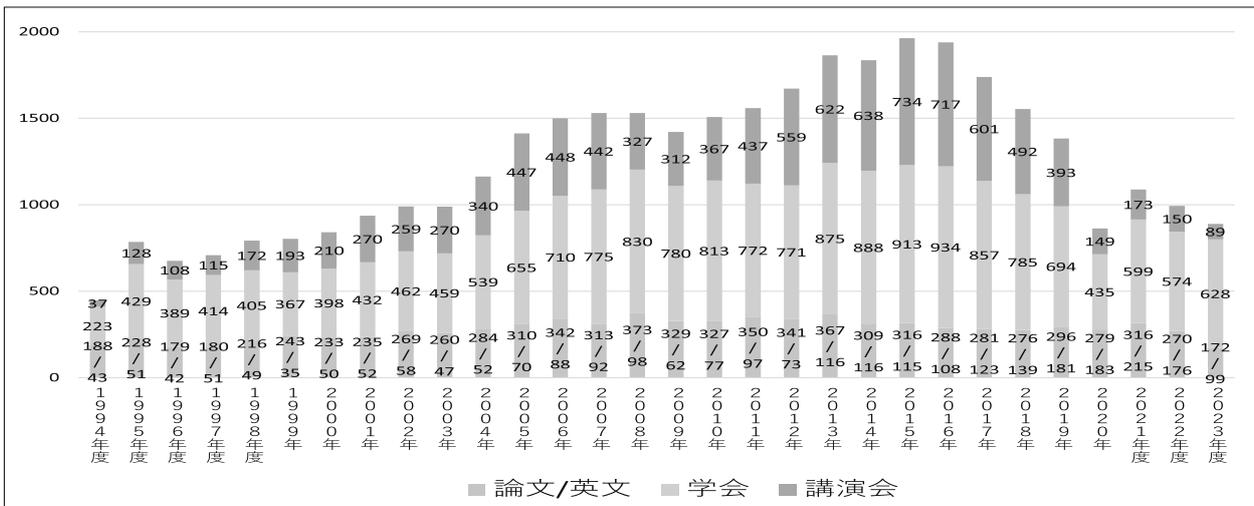
	詠田 眞治	H20. 4. 1～H23. 3.31	脳外科医長
副室長	井上 亨	H13. 4. 1～H17. 5.31	脳外科医長
	森田 茂樹	H17. 6. 1～H18. 3.31	心臓外科医長
	徳永 滋彦	H18. 4. 1～H18.10.31	心臓外科医師
	川良 武美	H18.11. 1～H20. 3.31	心臓外科医長
	田中 宏幸	H20. 4. 1～H22. 3.31	麻酔科医長
	瀬戸口秀一	H22. 4. 1～H23. 3.31	麻酔部長
副部長	今山 修平	H15. 4. 1～H18. 3.31	皮膚科医長
	森田 茂樹	H18. 4. 1～H20. 9.15	心臓外科医長
臨床研究部事務局 担当	原 てるみ	H 7. 7.18～H22. 9.30	

治験管理室			
治験管理室 室長	小柳 左門	H11. 4. 1～H13. 3.31	臨床研究部長
	岡田 靖	H13. 4. 1～H15. 3.31	
	村中 光	H15. 4. 1～H22. 6.30	
	岡田 靖	H22. 7. 1～H23. 3.31	臨床研究センター長
臨床試験支援室 室長	岡田 靖	H24. 4. 1～	
治験事務局長	西山 禮祐	H11. 4. 1～H13. 3.31	薬剤科長
	村上 克幸	H13. 4. 1～H15. 3.31	
	松永 憲治	H15. 4. 1～H19. 3.31	
	白木 善孝	H19. 4. 1～H21. 3.31	
	石橋 誠	H21. 4. 1～H23. 3.31	
	西野 隆	H24. 4. 1～	
治験事務局補佐	西山 博幸	H11. 4. 1～H12. 3.31	副薬剤科長
	石橋 誠	H12. 4. 1～H15. 3.31	
	岩松 俊紀	H15. 4. 1～H18. 3.31	
	上村 宅司	H18. 4. 1～H20. 3.31	
	山道 研	H20. 4. 1～H23. 3.31	
	三角 紳博	H23. 4. 1～	
臨床試験支援室副室長	山脇 一浩	H24. 4. 1～	
治験事務局補佐	山口美穂子	H12. 4. 1～H14. 3.31	副看護部長
	酒匂 晴美	H14. 4. 1～H17. 3.31	
	梶原 佳枝	H17. 4. 1～H18. 3.31	
	佐伯 悦子	H18. 4. 1～H21. 3.31	
	川口 眞理	H21. 4. 1～H22. 3.31	
	児玉由美子	H22. 4. 1～H24. 3.31	
	木佐貫涼子	H24. 4. 1～H25. 3.31	
治験コーディネーター	山道 研	H13.10. ～H14. 8.31	治験主任薬剤師
	鬼山 幸生	H14. 9. 1～H16. 3.31	
	平木 洋一	H16. 4. 1～H19. 3.31	
	井上 泰子	H17. 4. 1～H18. 3.31	
	田中 星吾	H18. 4. 1～H19. 3.31	
	豊留真理子	H19. 4. 1～H21. 3.31	
	寺山 恵子	H19. 4. 1～H22. 3.31	
	糸永 智美	H21. 4. 1～H23. 3.31	
	矢川 裕子	H22. 4. 1～H24. 3.31	
	佐藤 栄梨	H24. 4. 1～	
	田島 実弥	H23. 4. 1～	
治験コーディネーター	早川 香織	H11. 4. 1～H21. 5.31	治験薬剤師

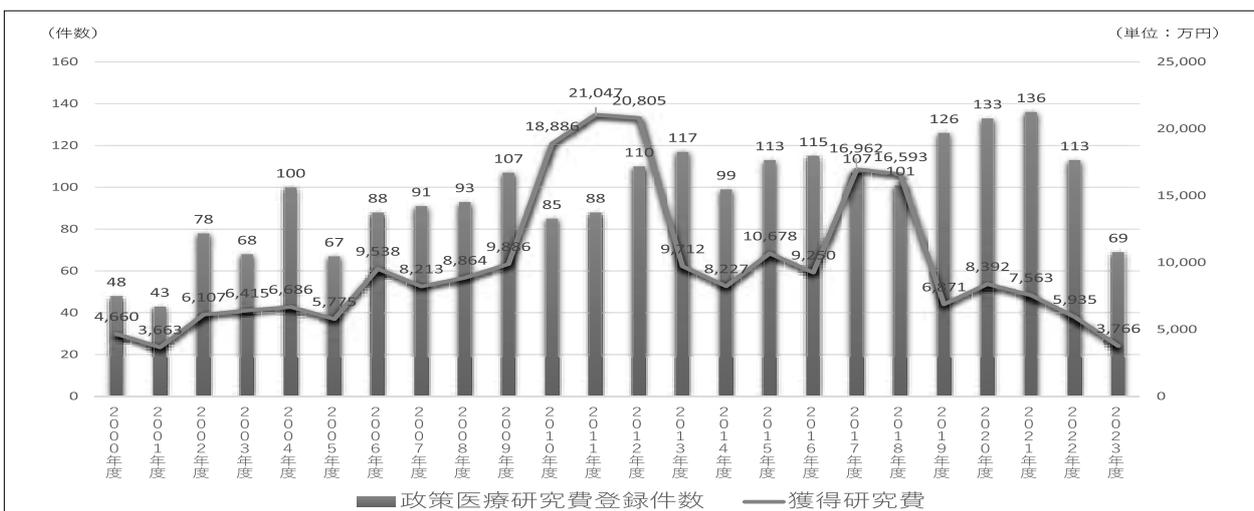
	永山 智子	H11. 4. 1~H21. 5.31	
	濱ノ井直美	H21. 9. 1~	臨床検査技師
	谷岡 徹	H11. 4. 1~H13. 6.15	治験看護師
	溝田 忍	H13. 6. 1~H18. 3.31	
	河野 和子	H15. 5. 1~H18. 3.31	
	麻生嶋和子	H17. 4. 1~	
	永翁 尚美	H17. 4. 1~H21. 2.28 H23. 4. 1~	治験看護師
	岩川ひとみ	H17. 3. 1~H20. 6.30 H22. 4. 1~	
	萩田 麻代	H20. 7. 1~H22. 3.31	
	中元麻衣子	H21. 3. 1~	

Ⅲ. 臨床研究センター実績年次推移

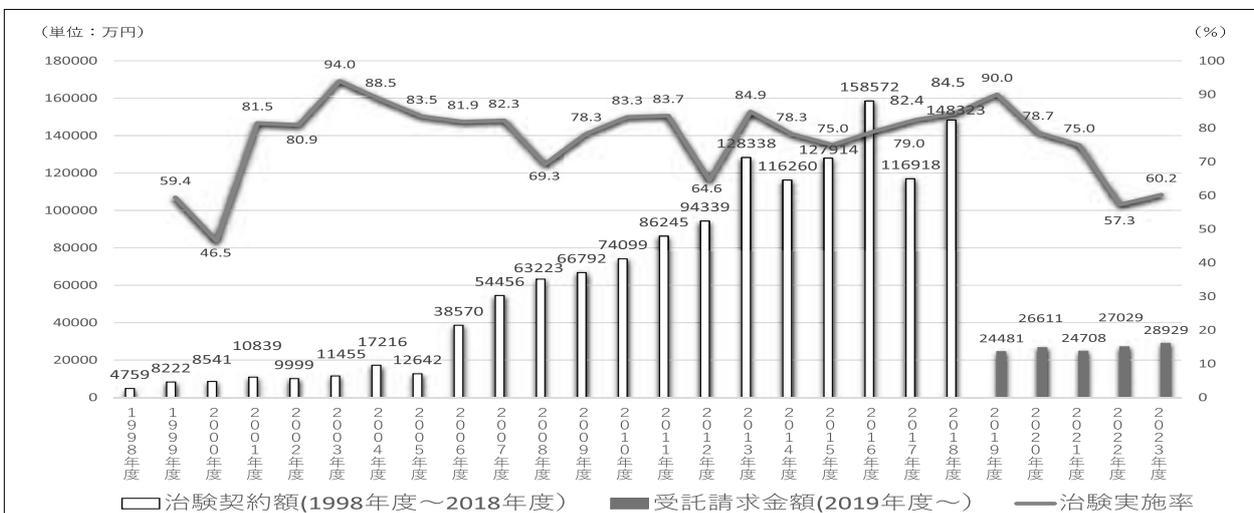
論文、学会発表等



獲得研究費

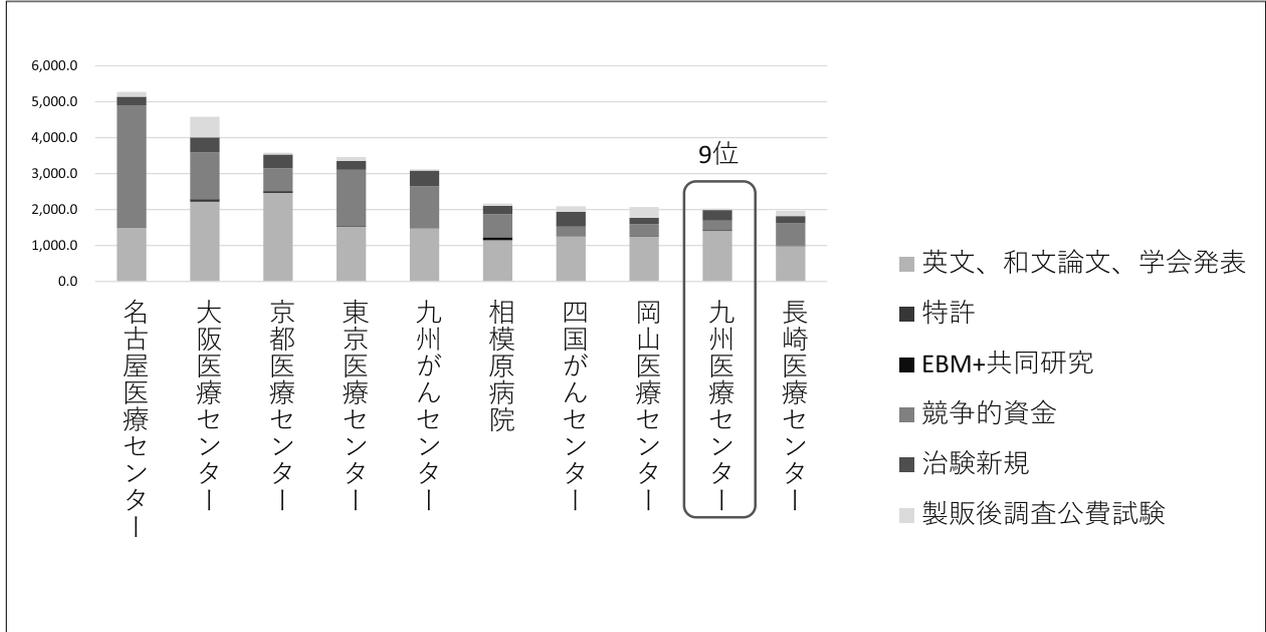


契約金額、治験実施率



令和5年度NHO臨床研究活動実績評価ポイント

(上位10施設)



大学教授就任者一覧

(直接異動者のみ掲載)

氏名	所属	大学	年月
藤井 清孝	脳神経外科	北里大学脳神経外科学教授	平成7年6月より就任
樋口 勝規	歯科口腔外科	九州大学歯学部附属病院口腔総合診療科教授	平成14年5月より就任
竹下 盛重	臨床検査科病理	福岡大学医学部病理学教授	平成16年4月より就任
富永 隆治	心臓血管外科	九州大学大学院循環器外科学教授	平成17年6月より就任
井上 亨	脳神経外科	福岡大学脳神経外科学教授	平成20年4月より就任
森田 茂樹	心臓血管外科	佐賀大学心臓血管外科学教授	平成20年10月より就任
田山 栄基	心臓血管外科	久留米大学外科学心臓血管外科教授	令和2年6月より就任
古川浩二郎	心臓血管外科	琉球大学医学部胸部心臓血管外科教授	令和2年9月より就任
中尾新太郎	眼科	順天堂大学眼科教授	令和4年12月より就任

院外表彰者等一覧

(原著、論文表彰・国際学会表彰・最高賞・学位取得・特許申請等掲載)

年月	表彰者名	所属	表彰名	受賞内容
2023年4月	戸次 大史	整形外科・リウマチ科	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会秀逸ポスター賞	JAK阻害剤と生物学的製剤の比較：関節リウマチ患者に対する整形外科的術後の合併症について
2023年4月	岡元 昌樹	呼吸器内科	第120回日本内科学会講演会 医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ2023東京 優秀指導者賞	特発性間質性肺炎のバイオマーカーとしての自己抗体の解析
2023年4月	内屋敷佳弘	呼吸器内科	第120回日本内科学会講演会 医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ2023東京 優秀演題賞	特発性間質性肺炎のバイオマーカーとしての自己抗体の解析
2023年9月	戸次 大史	整形外科・リウマチ科	第52回日本リウマチの外科学会「若手奨励セッション：ときめきと感動の研究報告」優秀賞	関節リウマチ患者におけるJAK阻害薬と整形外科術後合併症の関係
2023年10月	田村 美和	看護部	第77回国立病院総合医学会 ベスト口演賞	働き方及び勤務時間に関する看護管理者の意識改革への取り組み
2023年10月	小田原美樹	看護部	第77回国立病院総合医学会 ベスト口演賞	当院職員のCOVID-19罹患および濃厚接触者の二次感染状況に関する検討
2023年10月	高橋 凌之	事務部企画課	第77回国立病院総合医学会 ベストポスター賞	働きやすい未来を目指して～業務マニュアル整備プロジェクト(企画課編)～
2023年10月	山田 佳奈	呼吸器内科	第91回日本呼吸器学会・日本結核非結核性抗酸菌症学会・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会九州支部秋季学術講演会 育成賞	小細胞肺癌の化学療法中に合併した有癆性膿胸に対して胸壁開窓術を実施した一例

2023年11月	水流 大堯	消化器内科 (現：九州大学)	第42回小野寺奨励賞	食道裂孔ヘルニアによる食道拡張を契機に嚥下性失神と一過性うっ血肝をきたした一例
2023年12月	矢加部大輔	循環器内科	第135回日本循環器学会九州地方会 Young Investigator's Award CRセッション	特発性非通常型心房粗動の長期予後
2024年2月	石原 裕基 指導医： 岡元 昌樹	呼吸器内科	第16回福岡県医学会総会 優秀ポスター賞 (研修医部門)	無症状の間質性肺疾患に対する抗線維化薬早期介入の治療成績
2024年3月	中村 真隆	膠原病内科	第67回九州リウマチ学会 初期研修医セッション 最優秀指導医賞	COVID-19罹患後に発症したCytokine storm Syndromeの一例
2024年3月	久原 洋平	膠原病内科	第67回九州リウマチ学会 初期研修医セッション 最優秀演題賞	COVID-19罹患後に発症したCytokine storm Syndromeの一例
2024年3月	中村 真隆	膠原病内科	第67回九州リウマチ学会 初期研修医セッション 優秀指導医賞	喀痰排出不全による気道閉塞および高度嚥下障害を呈した多発性筋炎の一例
2024年3月	吉田 健人	膠原病内科	第67回九州リウマチ学会 初期研修医セッション 優秀演題賞	喀痰排出不全による気道閉塞および高度嚥下障害を呈した多発性筋炎の一例
2024年3月	高村 優希	整形外科・リウマチ科	第10回九州足の外科研究会 優秀演題賞	関節リウマチの足部変形における、創外固定を用いた変形矯正
2024年3月	衣笠 哲矢	消化管外科	第60回九州外科学会 研修医セッション 優秀演題賞	当科における膿瘍形成性虫垂炎に対するInterval Appendectomyの治療成績について

IV. 臨床研究センター実績

研究室長年次報告

臨床研究推進部（臨床研究推進部長：杉森 宏）

1) 臨床研究推進部と各診療科、メディカルスタッフ部門との協力関係について

臨床研究推進部は「組織・保存移植研究室」、「病態生理研究室」、「生化学免疫病理研究室」、および「動態画像研究室」の4室で構成され、九州医療センターを特徴づける多部門の協力によるチーム医療を反映してそれぞれの研究室に各診療科やメディカルスタッフ部門が属し、組織横断的な研究が行われている。「組織・保存移植研究室」では、造血器疾患根治のための造血幹細胞移植に関する研究を行っている。「病態生理研究室」では生理機能の解析と研究が執り行われ、疾病の病態解明をテーマとしている。「生化学免疫病理研究室」では、免疫機能を解明するとともに、膠原病の新たな診断法の確立や新しい治療法の開発を行っている。「動態画像研究室」では、画像手段による機能的診断法の開発とその臨床応用に取り組むとともに、多くの診療科やメディカルスタッフ部門が研究成果をオンサイトやオンライン会議システムで発表する際のパーソナルコンピュータを用いた発表ファイルやポスター作成が行われている。

2) 代表的な臨床研究について（臨床研究部の特徴）

「組織・保存移植研究室」では、日本血液学会、日本造血・免疫細胞療法学会、日本細胞移植研究会、福岡血液骨髄移植グループの疾患登録事業、プロトコール治療に参加し、積極的な症例登録が行われている。リウマチ性疾患に関する研究として、手術検体を用いた関節破壊に関わる分子病理学的検討や、リウマチ関節外科手術の成績向上に向けた包括的な予後調査や、関節外科手術および脊椎外科手術における成績不良因子の解析と機能的寛解を目指した手術手技の改良や、九州大学を中心とした関節リウマチの大規模コホート研究（FRANKレジストリー）が引き続き進行中である。さらに日本細胞移植研究会の多施設共同研究として、「急性前骨髄球性白血病に対しATRAとATOを併用した寛解導入および地固め療法」に関する研究も引き続き進んでいる。「病態生理研究室」では心血管・呼吸器関連の各種疾患および心肺循環動態の臨床研究を行っている。とくにわが国における左冠動脈主幹部病変に対するインターベンションの全国的なコホート研究がNHOグループ19病院の成績を用いて検討して報告されたことは特筆に値する。また「動態画像研究室」からは脳底動脈閉塞に対して頭部単純CTからの再構成画像を用いてカテーテルの挿入方向をあらかじめ検討する治療戦略が提言された。新規に若手育成のNHO研究課題として急性期脳卒中に対する瞳孔反応と神経学的予後を検討する研究が採択された。採択率が低いカテゴリーで当院の医師が採択されたことは誠に喜ばしい。

3) 今後の方向性と活動目標など

九州医療センターは毎年多くの初期研修医や後期研修医（レジデント）が勤務を始める場であるとともに救命救急センターの機能が一層深化し、多くの救急患者への診療に積極的に携わる施設である。ともすれば日々の臨牀に忙殺されてしまい、最新の成績を検索したり、データを客観的に見たりといった科学的な姿勢は失われて受け身になりがちである。当院では経験が浅い医師を対象に倫理規定や適切な研究方法や統計手法を理解してもらう機会として、eAPRIN受講、臨床研究デザイン研修会への参加を促している。またNHO内の分野ごとに行われている共同研究へ積極的に参加することと、前向き研究や介入研究など質の高い共同研究への取り組みを積極的に支援する。従来通り、コメディカルからの研究活動を一層活発化させるため、チーム医療実践ユニットごとの研

究を促し、成果を国内外の学会で発表することを奨励する。加えて英語論文の書き方の支援や、英語論文の添削依頼への支援を図ることで質の高い情報を、世界へ向けて発信できる体制作りを固めたい。

組織保存移植研究室（室長：福士 純一、副室長：高瀬 謙）

1) 臨床研究部と各診療科、メディカルスタッフ部門との協力関係について

リウマチ性疾患に対しては、リウマチ科・膠原病内科との協力体制のもと、その病因・病態に関する研究を行っている。具体的には質量分析室との協働で、横紋筋や関節液のメタボローム解析を行い、リウマチ性疾患の病因・病態・診断・治療効果の判定など、臨床に直結した研究を目指している。

難治性の造血器悪性疾患に対して、治癒を目指した治療として造血幹細胞移植を積極的に行っている。診断・治療の面で感染症内科、臨床検査部、病理部、薬剤部に幅広く協力いただいております。血液・病理検査部、薬剤部とは定期カンファレンスを行っている。新規の移植方法及び薬剤を積極的に取り入れており、令和5年度は24件の造血幹細胞移植を実施した。臨床研究を推進するべく他施設と協力した取り組みを継続している。

2) 代表的な臨床研究について

リウマチ患者における、関節外科手術および脊椎外科手術の成績不良因子の解析を行っている。周術期のJAK阻害剤の中止期間について、10日以内であれば関節炎の再燃もなく、感染症の増加もないことを報告した（Bekkiら、Modern Rheumatology）。また、九州大学を中心とした関節リウマチの大規模コホート研究（FRANKレジストリー）に参加し、4000名規模のデータ解析を行っている。

日本血液学会、日本造血・免疫細胞療法学会、日本細胞移植研究会、福岡血液骨髄移植グループの疾患登録事業、プロトコール治療に参加し、積極的に症例登録を行っている。当研究室主催の臨床研究としては、日本細胞移植研究会の多施設共同研究として、「急性前骨髄球性白血病に対しATRAとATOを併用した寛解導入および地固め療法」が進行中で、順調に症例登録が進んでいる。

3) 今後の方向性と令和6年度の活動目標など

リウマチ性疾患については、関節リウマチの手術症例の臨床成績を解析し、さらなる成績の向上を目指していく。同時に、科研費に採択されている6課題（微量元素と術後創部感染症の関連、コラーゲン代謝と骨・関節破壊の関連、自己抗体と関節破壊の関連、FoxO3と高齢発症関節リウマチ、ペリオスチンと関節リウマチの関連、DKK1と難治性関節リウマチ）について、それぞれ研究を推進していく。

令和5年度は疾患データベースを拡充し、現状にマッチしたデータを迅速に抽出できる体制強化を継続する。日本血液学会、日本造血・免疫細胞療法学会、NHOネットワーク、福岡血液骨髄グループとの多施設共同研究に積極的に参加し、造血器悪性腫瘍に対する適切な治療を発信できるよう、研究を進めていく。

■虚血性心疾患

経皮的冠動脈形成術(PCI)に関連した臨床研究は、冠動脈分岐部病変、左冠動脈主幹部病変に対する最適な治療法を確立すべく、国内、海外との共同研究を積極的に展開している。最適な冠動脈分岐部治療法としてのProximal optimization technique (POT)、側枝拡張法、光干渉断層撮影 (OCT) の3-Dガイドによる冠動脈分岐部治療、Computer simulationによる血流予備能が主な研究テーマである。冠動脈疾患の危険因子である糖尿病、高脂血症での冠動脈病変の解析、早期発見・最適治療の確立についても、力を注いでいる。

● 医師主導臨床試験

1. 3D OCTシステムを用いた冠動脈分岐部病変に対するPCIの前向き観察研究（Japanese 3D-OCT Bifurcation Registry、研究運営委員）：全国多施設研究で、2021年、621例登録完了（当院52例）し、長期予後観察データ（3年）を収集中。

2. OCTシステムを用いた冠動脈分岐部病変PCIの前向き観察研究（3DOCT registry）の側枝形態観察、側枝閉塞リスクサブ解析を行い、論文発表。

Fujimura T, Okamura T, **Murasato Y** et al. Serial changes of the side-branch ostial area after single crossover stenting with kissing-balloon inflation. *Int J Cardiovasc Imaging*. 2023 Aug ; 39(8) : 1593-1603.

Akase H, Okamura T, **Murasato Y** et al. Risk Assessment of Side Branch Compromise After Coronary Bifurcation Stenting - A Substudy of the 3D-OCT Bifurcation Registry. *Circ J*. 2024 May 24 ; 88(6) : 959-969.

3. 分岐部病変に対するステント留置後再狭窄に対するずり応力の関与に関する研究（FLOW-ISR study、主任研究責任者）：国際研究にて、症例登録、追跡調査が終了し、解析を行い、論文発表を行った。今後、人工知能に基づく冠動脈分岐部に対する治療シミュレーションモデルを完成させる予定で、レビューを論文発表。

Samant S, **Murasato Y**, Chatzizisis Y et al. Artificial Intelligence, Computational Simulations, and Extended Reality in Cardiovascular Interventions. *J Am Coll Cardiol. Cardiovasc Interv*, 2023 Oct 23;16(20):2479-2497.

4. 冠動脈疾患患者の屈曲病変に対してResolute[®]（ゾタロリムス溶出性ステント（R-ZES））または、XIENCE[®]（エベロリムス溶出性ステント（X-EES））を用いて経皮的冠動脈形成術を行った際における、血管壁ずり応力と新生内膜治癒過程に関する研究（SHEAR stent study、研究運営委員）：国際多施設ランダム化研究にて、症例登録完了し、解析終了し、論文発表。

Kumar S, **Murasato Y**, Samady H et al. Stent underexpansion is associated with high wall shear stress: a biomechanical analysis of the shear stent study. *Int J Cardiovasc Imaging*. 2023 Jul ; 39(7) : 1375-1382.

5. 経皮的冠動脈形成術（PCI）でのステントガイダンスにおける光干渉断層法（OCT）と冠動脈造影法の比較研究（COCOA study）：多施設ランダム化研究にて、症例登録（550例、当院31例）、1年後の追跡調査、解析も終了し、2023 Transcatheter Cardiovascular TherapeuticsにてWorld Link Forum Sessionに選出され発表。

6. 本邦におけるPCI症例登録研究（J-PCIレジストリー）とその予後研究（日本心血管カテー

テル治療学会主導試験)：2018年度より、登録開始し、継続。

7. 複雑病変を有する冠動脈をゾタロリムス溶出ステントで治療した症例の複数施設による登録研究 (ARCADIA ZERO study)：冠動脈複雑病変に対するゾタロリムス溶出ステントの治療成績 (800例) に対する国内前向き多施設レジストリー研究。登録終了し、現在、解析中。
 8. JROAD-DPC (循環器疾患診療実態調査) による非動脈硬化性心筋梗塞の実態解明と二次調査研究 (ISCAD)：全国規模の非動脈硬化性心筋梗塞の後ろ向きレジストリー研究：2022年から開始し、当院より2例登録。
 9. 虚血性心臓病の血行再建戦略-左主幹部病変 (RELIANCE-LMT)：左冠動脈主幹部病変に対して血行再建治療を施行した冠動脈インターベンションとバイパス手術を全国16施設から後ろ向きにレジストリー登録し、その成績を解析、2023年開始。当院より、224例登録。
 10. 冠動脈疾患に対する薬剤塗布バルーン (DCB) の安全性及び有効性を確認するリアルワールド レジストリー (ALLIANCE)：新規冠動脈病変でのDCBの安全性及び有効性を確認する全国60施設での前向きレジストリー、2023年開始。当院より、33例登録。
- 臨床治験
 1. 発症後間もない急性冠症候群患者を対象に経口第XIa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性を評価する第3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、event-driven試験

■不整脈疾患

ーデバイス治療ー

心臓ペースメーカ治療において、現在刺激伝導系ペーシングが注目されている。特に、従来の右室リードを、心室中隔のより深くに留置することで左室心内膜に存在する左脚領域を捕捉するという、「左脚領域ペーシング」がその主な方法の一つであり、心室同期不全を解消し心機能を改善させるとして数多くの研究がなされ、世界的に広く行われるようになった。2023年時点で本邦ではoff-labelの手技であり、当科では高難度新規医療技術等審査委員会に申請した上で手技を行ってきたが、これまで合併症なく、かつ高い成功率で留置できるほどに経験を積んできた。今後、学会発表・臨床研究に繋げていけるよう計画を進めている。

ーカテーテルアブレーションー

心房細動に対するカテーテルアブレーションは、薬物治療に比べ患者の自覚症状改善をもたらすQOLを向上させる効果がある。さらには脳梗塞や心不全などのハードエンドポイントも改善させることが証明され、心不全を合併する心房細動に対しては、日本循環器学会ガイドラインでもクラスIIaで推奨されている。一方で持続性心房細動に対する治療方針として、肺静脈隔離以外の治療法はエビデンスが確立されておらず、現在継続的に研究中である。

難治性の症例に対してカテーテルアブレーションを複数回行うことがあるが、過去3回のアブレーションを行った症例において、左房が石灰化し、Stiff LA syndromeによる心不全をきたした症例を2022年に世界で初めて報告した (Yakabe D, Fukuyama Y, Araki M, Nakamura T. Left atrium calcification after multiple catheter ablation procedures for atrial fibrillation. *Circ J.* 2021 ; 86 : 167.)。これを皮切りに症例を収集し、左房石灰化自体が術後遠隔期の心不全発症および心血管死亡と関連することを報告した (Yakabe D, Ohtani K, Fukuyama Y, Araki M, Higo T, Nakamura T, Tsutsui H. Prognostic Value of Left Atrial Calcification After Catheter Ablation for Atrial Fibrillation. *JACC Clin Electrophysiol.* 2023 ; 9 : 1108-17.)。この論文は、2023年の当院の臨床研究報告会でも高く評価され、最優秀論文賞を受賞した。しかし一方で左房石灰化やStiff LA syndromeの治療法や予防法は不明である。現時点では、複数回の治療を必要とし

ない、低侵襲かつ確実な心房細動治療が必要と考えられ、今後も心房細動治療の最適化に関する研究を計画している。

不整脈は心不全と密接に関係しており、心不全チームとの共同研究が今後重要になってくる。心房機能は未だ未知の部分が多いが、心房瘢痕を基質に有する特殊な心房粗動の症例が、心房心筋症および将来の心不全発症と関連するという研究報告を2023年12月2日の日本循環器学会九州地方会にて発表し、臨床研究部門でYoung Investigator Awardを受賞した。これは今後論文化し投稿を予定している。

- 医師主導臨床試験

1. 心房細動のカテーテル・アブレーションに関する登録調査 (J-AB Registry 2022)
2. 脳梗塞の既往を有する非弁膜症性心房細動患者に対し、エドキサバンによる抗凝固療法を基礎治療にカテーテルアブレーションの有用性を検証する多施設共同ランダム化比較研究 (STABLED study)
3. ICD、CRT-D、CRT-P植込症例の登録研究 (New J-CDTR Registry)
4. 洞不全症候群・心房細動の関連遺伝子単離と機能解析 (J-PRES3)
5. 我が国における着用型自動除細動器による治療実態の登録調査 - Japan Wearable Cardioverter Defibrillator Registry (J-WCDR)
6. レセプトおよびDPCデータを用いた循環器疾患における医療の質の向上に資する研究 (J-ROAD)
7. リード除去症例の実態調査 Japan Lead extraction registry (J-LEX)
8. 徐脈頻脈症候群に対するペースメーカーおよびカテーテルアブレーション治療に関する多施設前向きコホート研究 (EPIC-TBS)

- 臨床治験

心房細動を有する被験者を対象とした経口第XIa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性をアピキサバンを対照に評価する第3相、ランダム化、二重盲検、ダブルダミー、並行群間、実薬対照試験

■2023年度 NHO研究

- NHOネットワーク研究

1. 慢性心不全患者の新しい再入院リスク評価法の確立 - 新規バイオマーカーと心不全再入院イベントの関連 - (PREHOSPITAL-CHF)
2. 簡便な新規心血管イベント予知マーカーによる効率的なハイリスク患者抽出方法の確立 (EXCEED-J)
3. 心血管イベントを規定するバイオマーカー開発 - 血管新生関連因子と新規酸化LDL - (ANOX study)
4. 真の心房細動発症リスク同定のための新規バイオマーカー CA-125の検討 (CA125-AF)
5. がん化学療法関連心筋症の予測、早期発見、早期治療 ~心臓超音波検査speckle tracking法、タイチンtruncating変異の検出、尿中タイチンNフラグメント測定、血中心筋トロポニンI高感度測定の比較検討~ (R2-NHO(心脳)-04)
6. 冠動脈疾患疑い・既往患者を対象とした既存の2つのNHO多施設共同前向きコホート研究の臨床およびバイオマーカーデータを活用して、人工知能 (AI) により、全死亡、原因別死亡、心脳血管腎アウトカム、大出血イベントを包括的に精密予測するモデルを確立する研究 (R6-EBM(心脳)-02)

- NHO EBM観察研究

1. 我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究（主任研究責任者：村里嘉信）：国立病院機構19病院が参加し、810例の症例登録が終了。現在、1年ごとのフォローアップデータを収集中。1年後のフォローアップデータをまとめ、中間発表施行。

2023日本心血管インターベンション治療学会総会 Late breaking trial

2024 EuroPCR

■呼吸器内科

当院では、肺癌領域、間質性肺疾患領域の診療体制が潤沢であり、診療患者数が多いことを反映し、同領域にて多くの企業治験、医師主導研究に参加、主導している。

今後の目標は、さらに臨床試験に参加し、エビデンスの構築に貢献すること、未解決のClinical evidenceを解決するための研究の発案、実施である。特に日本の研究の課題である介入研究の実施を目指す。

1) 肺癌関連研究

<多施設医師主導研究>

1. 高齢者切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する低用量カルボプラチンを用いた化学放射線療法とカルボプラチン+アルブミン結合パクリタキセルを用いた化学放射線療法を比較するランダム化第Ⅲ相試験：JCOG1914、依頼者：JCOG
2. 非小細胞肺癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第Ⅲ相試験：JCOG1701、依頼者：JCOG
3. 進展型小細胞肺癌に対する胸部放射線治療の追加を検討するランダム化第Ⅲ相試験：JCOG2002、依頼者：JCOG
4. 画像上診断困難な胸膜播種を有する臨床病期IVA期非小細胞肺癌に対する原発巣切除追加の療法的意義を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験：JCOG2103、依頼者：JCOG
5. 高齢者進展型小細胞肺癌に対するカルボプラチン+エトポシド+デュルバルマブ併用療法の第Ⅱ相試験：LOGIK2003、依頼者：LOGIK
6. 未治療脳転移を有する進展型小細胞肺癌を対象としたプラチナ製剤+エトポシド+デュルバルマブ併用療法の第Ⅱ相試験：LOGIK2001、依頼者：LOGIK
7. 中枢神経系への転移を有するEGFR遺伝子変異陽性の患者でオシメルチニブが無効となった患者に対して、白金製剤+ペメトレキセドと白金製剤+ペメトレキセド+オシメルチニブの比較試験：TORG1938、依頼者：TORG
8. 非小細胞肺癌の薬物治療体制後の個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究：LC-SCRUM-TRY
9. 肺癌における周術期個別化医療の確立を目指した遺伝子スクリーニングと微小残存病変モニタリングのための多施設共同前向き観察研究：LC-SCRUM-Adv./MRD
10. 未治療進行/再発非小細胞肺癌症例におけるシンバイオティクス飲用による腸内細菌叢変化、及び癌免疫複合療法の効果との関連に関する前向き介入研究、依頼者：九州がんセンター

<企業治験>

1. 転移性非扁平上皮非小細胞肺癌の未治療患者を対象としたペムブロリズマブ+ペメトレキセド+プラチナ製剤（カルボプラチン又はシスプラチン）併用投与後のペムブロリズマブ+オラパリブ維持療法とペムブロリズマブ+ペメトレキセド維持療法を比較する第Ⅲ相試験、依頼者：MSD

2. 転移性扁平上皮非小細胞肺癌の未治療患者を対象としたペムブロリズマブ+カルボプラチン/タキサン（パクリタキセル又はnab-パクリタキセル）併用投与後のペムブロリズマブ+オラパリブ維持療法併用投与とペムブロリズマブ単独投与を比較する第Ⅲ相試験、依頼者：MSD
3. GENENTECH社及び/又はF. HOFFMANN-LA ROCHE LTDが依頼したアテゾリズマブ試験に過去に登録された患者における非盲検、多施設共同、継続投与試験（IMBRELLA B）、依頼者：Roche
4. 未治療の転移性扁平上皮又は非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象としたプラチナ製剤併用療法において、ペムブロリズマブの皮下投与と静脈内投与の薬物動態及び安全性を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験、依頼者：MSD
5. MK-3475の治験で治療中又はフォローアップ中の進行悪性腫瘍患者を対象に、長期の安全性及び有効性を評価する多施設共同非盲検第Ⅲ相継続試験、依頼者：MSD
6. 治療歴を有するc-Met過剰発現、EGFR野生型、局所進行性/転移性非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象として、Telisotuzumab Vedotin（ABBV-399）とドセタキセルを比較する第Ⅲ相、非盲検、無作為化、比較対照、国際共同試験、依頼者：Abbvie
7. 転移性非小細胞肺癌患者を対象に、MK-7684とMK-3475の配合剤（MK-7684A）と化学療法との併用療法をMK-3475+化学療法と比較する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験（MK-7684A-007/KEYVIBE-007）、依頼者：MSD
8. 未治療の転移性非小細胞肺癌患者を対象に化学療法との併用療法においてペムブロリズマブとヒアルロニダーゼの配合剤（MK-3475A）の皮下投与とペムブロリズマブの静脈内投与の薬物動態及び安全性を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験（MK-3475A-D77）、依頼者：MSD
9. PD-L1陽性 [Tumor Proportion Score (TPS) \geq 50%] の転移性非小細胞肺癌患者を対象に、1次治療としてペムブロリズマブ（MK-3475）+sacituzumab govitecanの併用療法をMK-3475単独療法と比較する非盲検多施設共同無作為化実薬対照第Ⅲ相試験（KEYNOTE-D46/EVOKE-03）、依頼者：MSD
10. 前治療歴のあるEGFR遺伝子変異陽性又はその他の遺伝子異常陽性の進行又は転移性非小細胞肺癌（非扁平上皮癌）を対象にMK-2870と化学療法（ドセタキセル又はペメトレキセド）を比較する無作為化、非盲検、第Ⅲ相試験、依頼者：MSD
11. HER2活性化変異を有する局所進行又は転移性の非小細胞肺癌（NSCLC）患者を対象に、一次治療としてBAY 2927088を経口投与したときの有効性及び安全性を標準治療と比較する、非盲検、無作為化、実薬対照、多施設共同第Ⅲ相試験、依頼者：バイエル
12. PD-L1 TPSが50%以上の転移性非小細胞肺癌患者の一次治療としてMK-2870+ペムブロリズマブ併用療法をペムブロリズマブ単独療法と比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験、依頼者：MSD
13. 転移性扁平上皮非小細胞肺癌の一次治療における ivonescimab+化学療法とペムブロリズマブ+化学療法を比較する無作為化国際共同第Ⅲ相試験（HARMONi-3試験）、依頼者：Summit Therapeutics Sub社
14. 転移性扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象に、一次治療としてペムブロリズマブ、カルボプラチン及びタキサン系薬剤（パクリタキセル又はnab-パクリタキセル）の併用投与後に維持療法としてMK-2870の併用又は非併用下でペムブロリズマブを投与する第Ⅲ相試験、依頼者：MSD

2) 間質性肺炎

<多施設医師主導研究>

1. 早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ（商品名オフェブ®）投与の安全性と忍容性に

関する解析、研究代表施設：長崎大学

2. 特発性間質性肺炎の前向きレジストリの構築とインタラクティブMDD診断システムを用いた診断標準化に基づく疫学データの創出—AI診断システムと新規バイオマーカーの開発—(IBiS study)、研究代表施設：浜松医科大学
3. 多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究 (PROMISE study)、研究代表施設：名古屋大学
4. 間質性肺疾患に合併した気胸症例における治療方針と治療成績の前向きリアルワールドデータ調査、研究代表施設：近畿中央呼吸器センター、研究グループ：NHO
5. 間質性肺疾患合併多発性筋炎/皮膚筋炎患者を対象とした肺病変の進行を規定するバイオマーカー探索研究、研究代表施設：長崎大学
6. 未治療Progressive pulmonary fibrosisを対象としたニンテダニブ・抗炎症治療同時導入療法の第Ⅱ相試験、研究代表施設：九州大学
7. 線維化性間質性肺疾患におけるdata independent acquisition法によるノンターゲットプロテオーム解析、研究代表施設：九州医療センター
8. 関節リウマチのバイオマーカーとしてのペリオスチンの性能解析、研究代表施設：久留米大学

<一施設研究>

1. 間質性肺疾患における進行性肺線維化の予測因子の解析
2. 間質性肺疾患における自己抗体の臨床的意義の解析

<企業治験>

1. 特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象としたpamrevlumabの有効性及び安全性を評価する第3相無作為化二重盲検プラセボ対照試験、治験依頼者：FibroGen
2. 進行性フェノタイプを示す慢性線維化性間質性肺疾患患者を対象としたTAS-115第2相用量反応臨床試験、治験依頼者：大鵬薬品
3. 進行性線維化を伴う間質性肺疾患 (PF-ILD) 患者を対象に、BI 1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験、治験依頼者：Boehringer Ingelheim
4. 特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象に、BI 1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験、治験依頼者：Boehringer Ingelheim
5. 特発性肺線維症患者を対象としたBMS-986278の有効性、安全性及び忍容性を検討する多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照第Ⅲ相試験、治験依頼者：Bristol-Myers Squibb
6. 進行性肺線維症患者を対象としたBMS-986278の有効性、安全性及び忍容性を検討する多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照第Ⅲ相試験、治験依頼者：Bristol-Myers Squibb

3) 慢性閉塞性肺疾患

<多施設医師主導研究>

1. 日本人の軽症および中等症COPDに対する1日1回吸入型トリプル療法の有用性および安全性の研究 (TRACK study)、研究代表施設：鹿児島大学

4) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連臨床試験

<多施設医師主導研究>

1. 新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいたCOVID-19ワクチンの開発と評価系の構築、研究代表施設：慶応大学

2. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期合併症の実態把握と病態生理解明に向けた基盤研究、研究代表施設：慶応大学
3. 新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいたCOVID-19ワクチンの開発と評価系の構築、研究代表施設：慶応大学

■呼吸器外科

呼吸器外科では主に肺がんを含め胸部悪性疾患の診断、外科治療、化学療法、周術期管理、予後に関する研究を行っている。現在は下記のを自主研究中、または他施設研究に参加中である。その大部分において呼吸器内科、放射線科、病理部などの関連診療科や、看護部、臨床試験支援センター、医師事務作業補助員などの協力を得て遂行しており、今後も日々積極的に研究活動を継続していく方針である。

◎院内研究

- 1) Deep Learningによる肺癌組織型識別モデルの確立
- 2) 胸腺上皮性腫瘍における腫瘍体積の意義に関する研究
- 3) 75歳以上の高齢者におけるOsimertinibの安全性に関する検討

◎多施設参加型医師主導・ネットワーク試験

- 1) 進行・再発非小細胞肺癌症例を対象としたアテゾリズマブ投与による腸内細菌多様性・腸内細菌種と有効性・免疫関連有害事象との関連性に関する前向き観察研究（Atezo腸内研究）
- 2) 悪性胸膜中皮腫の前方視的データベース研究（肺癌登録合同委員会）
- 3) 根治不能な進行非小細胞肺癌患者における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子としての栄養/免疫学的指標の臨床的意義に関する前向き観察研究（NHOネットワーク研究 ICI-PREDICT）
- 4) PD-L1発現50%以上の非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブ単剤とペンブロリズマブ+カルボプラチン+ペメトレキセド併用療法のランダム化第三相試験（EBM推進 NHO-Pembro-NSCLC）
- 5) 非小細胞肺癌における薬物耐性後の個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き研究（LC-SCRUM-TRY）
- 6) 治療前腸内細菌叢による肺癌免疫療法効果予測システム確立のための前向き研究（AI腸内細菌研究）
- 7) 肺癌における周術期個別化医療の確立を目指した遺伝子スクリーニングと微小残存病変のモニタリングのための多施設共同前向き観察研究（LC-SCRUM-Advantage/MRD）
- 8) 切除後の非小細胞肺癌に対するアテゾリズマブ術後補助療法の多機関共同前向き観察研究（J-CURE研究）
- 9) 『未治療進行/再発非小細胞肺癌症例におけるシンバイオティクス飲用による腸内細菌叢変化及びがん免疫複合療法の効果との関連に関する前向き介入研究（二重盲検ランダム化比較試験）』（SYNCOPATION study九がん+九医療センター2施設研究）
- 10) 肺癌を対象としたDeep learningによる腸内細菌叢に着目した革新的癌免疫療法効果予測システムの確立（R5-NHO(癌呼)-01 NHOMACROBI研究）
- 11) 高齢者完全切除Ⅱ/Ⅲ期非小細胞肺癌に対するAtezolizumab術後補助療法の臨床Ⅱ相試験（LOGIK2301 RELIANCE研究）
- 12) 画像上診断困難な胸膜播種を有する臨床病期ⅣA期（cT1-2bN0-1M1a）非小細胞肺癌に対する原発巣切除追加の治療的意義を検証するランダム化比較Ⅲ相試験（JCOG2103 呼内外 肺がん胸膜播種試験DEBULK-LUNG）

動態画像研究室（室長：野口 智幸、副室長：桑城 貴弘）

1) 臨床研究部と各診療科、メディカルスタッフ部門との協力関係について

臨床研究センターの再編に伴い、動態画像研究室の配置が変更されました。昨年度までは、すべての職員が臨床研究を円滑に行えるよう、研究室内に電子カルテを利用できる病院業務端末コンピュータやインターネット接続されたPC、スキャナー、プリンター、FAX、コピー機などの設備が整っており、研究活動や日常業務に便利な環境を提供していました。これらの設備は、現在は他のお部屋に分散して配置されていますが、引き続き研究活動に必要な機能は利用可能です。また、以前は研究室内にテーブルや椅子を配置して、各診療科やメディカルスタッフ部門の小規模なカンファレンスや会議にも利用できる環境を整えておりましたが、現在はそのようなスペースの確保が難しくなっています。研究室の配置が変更されたことでご不便をおかけすることもあるかと思いますが、引き続き研究機能としての役割を維持し、室長として臨床研究に尽力してまいります。

2) 代表的な臨床研究について（研究室の特徴）

脳血管・神経内科では、九州大学第二内科を中心とした福岡県内の7専門施設による「多施設共同脳卒中データベース研究（Fukuoka Stroke Registry）」、国立循環器病研究センターを中心とした脳卒中研究者ネットワークを活用した「脳・心血管疾患における抗血栓療法の実態と安全性の解明（BAT2）」、NHOネットワーク研究課題である「虚血性脳卒中患者における脳微小出血進展への抗血栓薬関与に関する研究（NOBLESSE）」など、さまざまな臨床研究が進行中です。また、「脳梗塞再発リスク因子を有する血栓性脳梗塞患者を対象としたCS-747Sのクロピドグレルとの二重盲検比較試験（第Ⅲ相試験）」などの臨床治験も行っています。放射線科では、「価値ある放射線診断」に向けたレギュラトリーサイエンス研究を進めています。

3) 研究室の活動状況について

動態画像研究室では、各部門の職員が研究データの解析や論文執筆、学会発表用のスライド作成、必要な情報の収集・発信など、さまざまな活動を行ってきました。現在は、共有の電子カルテ、PC、コピー機、FAXなどの機能が他のお部屋に分散して配置されているため、これらの活動は各診療科で実施されています。新たな環境においても、引き続き効率的な研究活動を支援してまいります。

医療情報管理研究室（室長：福泉公仁隆、副室長：占部 和敬）

1) KMC Researchほか、研究室の活動状況、目標

「KMC Research」は、九州医療センター臨床研究センターの広報誌として発行されており、内容はPDF化され臨床研究センターホームページから閲覧可能となっています。その内容は、お知らせ、国際学会報告、TOPICS、臨床研究報告、優秀学術賞、CPC、学会開催報告、臨床試験支援センター、院外表彰者のお知らせ、等により構成されています。

2023年には、臨床研究報告として、令和3年度 最優秀学術賞「大腸穿孔手術例におけるInflammation-based prognostic scoreによる予後予測と新規スコアリングの検討」（消化管外科 工藤健介）、「排便促進効果のある不溶性食物繊維とプロバイオティクスによる大腸内視鏡前処置の有用性」（消化管外科 工藤健介）、令和3年度 学術賞「質量分析装置を用いた脳梗塞関連生化学マーカーの研究」（脳血管・神経内科 桑代貴弘）、令和4年 最優秀学術賞「心房細動アブレーション後に認められる左房石灰化の臨床的意義」（循環器内科 矢加部大輔）、学術賞

「腎障害患者での敗血症診断における血清プレセプシンのカットオフを探求する」(臨床検査科 荒川仁香)

TOPICSは長谷川英一(眼科)、井上修二郎(循環器内科)、若田好史(医療情報システム管理部長)、国府島庸之(消化器内科)より、海外学会報告は、中島寅彦(副院長、耳鼻咽喉科頭頸部外科)、和田幸之(肝胆膵外科)より報告されました。第14回日本臨床栄養代謝学会九州支部学術集会 開催報告を福泉公仁隆(医療管理企画運営部長、消化器内科)が行った。

インターネットからのアクセスをしやすいweb広報を推進し、他施設との共同研究活発化に繋がることを目標としています。QRコードをつけスマートフォンからもアクセスしやすい様にしております。

2) NHO消化器グループ活動について

NHO消化器グループは、原田直彦(九州医療センター)をグループリーダーとして国立病院機構51施設により構成されています。採択が厳しくなり残念ながら2023年度は採択されませんでした。2023年6月(広島)、10月にMicrosoft Teamsを用いたwebによるグループ会議を開催しました。3課題の進捗状況報告、1題の新規課題候補を検討しました。1課題が論文投稿中、2課題が論文作成中です。

がん臨床研究部(がん臨床研究部長:楠本 哲也)

(1) がん臨床研究部と各診療科、メディカルスタッフ部門との協力関係について

がん臨床研究部の目標として、従前より

- ①新規に計画された治療・医療機器などの個別化ツールが有用なものか否かを確認するため、積極的な臨床試験の企画や国際・全国規模の試験参加を推進・実行する。
- ②新規治療を計画するための基礎研究や橋渡し研究を担う。

を掲げています。日常的にがん研究に関する情報収集や全国の大学・研究施設との連携に努めていますので、研究の企画・相談の窓口としてがん治療に携わる診療科、スタッフの皆様にも当研究部をぜひ活用いただきたいと思います。

(2) 代表的ながん臨床研究について(研究室の特徴)

当院のがん臨床研究部が、院内・全国あるいは国際的な多くの臨床研究グループや研究者から信頼され、かつ適正な症例登録が見込めるがん研究施設として認知されているか否かが重要です。がんに関する治験も少しずつ増加していますが、まだまだ不十分と言わざるを得ません。やはり、当院の研究部としての方針を職員の皆様にご理解いただき、日常診療の中で症例登録を積極的に行っていく姿勢が求められます。

①がんの治療開発に関する研究

がん治療には、ご存知のように大きく手術療法、薬物療法、放射線療法があります。

手術療法は、低侵襲化とrobotic surgeryをはじめとするadvanced operationが日常診療として導入されています。近年、通信環境の高度化に伴って遠隔医療の可能性が注目されています。今後は臨床研究による有効性と安全性の評価が始まります。全国的な外科系医師の不足に対する対策として、あるいは医療過疎地域における手術療法の均霑化の手段として期待されます。手術単独の臨床試験は最近少なく、集学的治療の中で手術と周術期化学療法を組み合わせた研究が多くなっています。

固形癌領域に対する薬物療法では、臓器別というよりは、個別の癌腫の性格を見極めて治療を選択する時代です。個別化治療の開発に当たっては、がんの悪性度の遺伝子レベルでの解析、生存期間延長への取り組み、治療効果や有害事象をいかに予測して個々の症例に適切なmodalityを選択するかの指標となるバイオマーカーの開発も同時に重要な研究です。特にがんの薬物療法においては、今後も続々と新規薬剤の登場が見込まれており、臨床試験を通じた標準治療の開発は休まることはありません。がんゲノム医療の臨床導入が本格化したものの、まだまだ治療に到達できる患者さんの割合は数%という状況ですが、がん征服という目標に向かっては一条の光明がみえてきた時代ではないかと思えます。我々も、引き続き新規薬剤や新規治療レジメンの開発のために、国際共同治験や国内全国レベルの臨床試験、インターグループ試験に参画し、特に一部の試験では一昨年からプロトコル立案の段階から参加しています。治療的研究のみならず基礎的研究やtranslational researchにも積極的に参加しています。

放射線治療に関しては、直腸癌に対する治療の世界標準は術前化学放射線療法を組み入れる治療となりつつあります。本邦においては術前治療の導入割合はまだまだ少なく、当院も同様ですが、その有効性を検討する第Ⅱ相試験に参加準備を進めています。

②がんの早期発見・がん予防に関する研究

一方で、がんの治療開発と同時に、がんの発生予防・早期発見も重要な研究項目です。そこで、国立がん研究センターを中心に全国の施設が参加するLiquid biopsyによる大腸癌治療切除後の再発の早期発見に関するレジストリ研究に参加し、その臨床導入の有効性を前向きに検討しています。

院内では、質量分析ラボと協働して、糖ペプチドプロファイリングを用いた各癌腫の発生に応答する新たな糖鎖バイオマーカーの発見とそれらの生物学的特性ならびに濃縮糖ペプチド(EGP)と従来の腫瘍マーカーを高度な機械学習技術を用いて統合的に解析し、より信頼性の高い消化管癌の検出モデルとしての網羅的血清糖ペプチドスペクトル解析 *Comprehensive Serum Glycopeptide Spectra Analysis* (CSGSA) 法の確立に関する研究を行っています(Cancer Science投稿中)。今後この分野も発展させて参りたいと思えます。

がん予防に関しては近隣の大学・病院と共同研究として腸内細菌に関する研究を進めています。

(3) 研究室の活動状況について(今後の活動展開、活動目標など)

これまでに掲げてきた基本方針に今後も従って活動します。即ち、

- ①全国・国際大規模臨床試験、NHOネットワーク研究、および医師主導型治験・臨床試験の企画・参加を推進する。特に治験や第Ⅰ相試験の受託が可能な施設として認められるように、第Ⅱ(特に後期)相・Ⅲ相試験には積極的に参加する。
- ②臨床試験の企画力を向上させるために基礎研究にも積極的に参加する。がんの基礎研究の潮流である幹細胞研究や遺伝子診断は今後注力すべき課題であり、他施設との共同研究を推進する。
- ③臨床試験支援センターの支援が得られない医師主導型臨床試験の計画・参加について、当研究部での支援可能性を検討する。
- ④院内のがん研究促進のために定期的かつ魅力的な研究会(現在、がん臨床研究部フォーラムを定期開催)を主催する。
- ⑤上記の方針の具現化として科学研究費獲得や論文執筆を推進する。

システム疾患生命科学研究室（室長：國府島庸之）

1) 臨床研究室と各診療科、メディカルスタッフ部門との協力関係について

システム疾患生命科学研究室の主な業務としては、生活習慣病等の大規模臨床研究、新規治療薬の臨床応用、質量分析ラボ統括等があり、それらをシステム疾患生命科学研究室として総合的に把握することが基本の業務となります。さらに、システム疾患生命科学研究室として独自の診療科横断的な研究の企画や開発を行い、それをさらに国立病院機構等を含めた多施設研究へと発展させることを目標としています。臨床研究センターの再編に伴い、老朽化した実験機器を整理し研究室の共同利用を目指した実験・保管スペースの拡充を行っております。

2) 代表的な臨床研究について

2016年9月よりLSIメディエンスとの産学協同研究として、当院に質量分析計が設置されました。当院に設置されているのは、液体クロマトグラフィー質量分析器（Liquid Chromatography-Mass spectrometry：LC/MS）であり、液体クロマトグラフ（LC）で分離した種々の成分を、質量分析（MS）部でイオン化させ、さらに質量電荷比毎に分離して検出する装置です。LC/MSは非常に精密な秤として、特に小分子量の化学物質を測定することを得意としています。実際の解析方法としては、メタボロミクスに代表される数百の代謝産物を網羅的に解析比較する方法と、解析したい対象を設定して詳細に定量解析する方法の2つがあります。当院でオリジナルに測定系を確立したものに、①NAD代謝関連物質、②短鎖脂肪酸、③胆汁酸分画、④トリプトファン代謝関連物質などがあります。これらの測定については、当院のみならず幅広く利用されています。また、肝細胞癌治療に用いられる抗体製剤を酵素処理し、それぞれの抗体に特異的な可変領域由来のペプチドを抽出し、LC/MSを用いて測定することで薬物血中濃度を測定する手法を確立しました。

3) 今後の方向性と活動目標

現在、基礎実験は臨床研究センターの免疫病理研究室と質量分析ラボにて行われています。前者については、臨床研究センターの再編に伴い、上記のごとく病院全体での利用が可能となるように実験・保管スペースを確保しており、研究室の共同利用・共同研究を進められるような体制を目指しています。基礎実験経験が少ない部門でも使用できるように、消化器内科研究補助員の安藤さんにも補助してもらう予定です。LC/MSを用いた肝細胞癌治療に用いられる抗体製剤の血中濃度測定手法が確立できたため、今後は実際の症例における当該薬剤の血中濃度測定を行い、それぞれの薬剤の有効血中濃度の確立と治療奏効との関連について検討予定です。この手法は現在多くの疾患で広く利用されている他の抗体製剤についても適応可能と考えられ、各部門での研究推進にも役立てると考えております。当院では遺伝子検査センター（南先生）を含めて、動物実験以外の基礎実験が可能であり、主に臨床サンプルの解析（遺伝子発現や蛋白質解析）を主に行ってきましたが、LC/MSが使用可能という当院の特性を生かして、さらに進んだ解析を行い、臨床診断、予後診断、薬剤選択などに応用していきたいと思っております。

情報解析研究室（室長：福泉 公仁隆、副室長：若田 好史、橋本 裕二）

1) 医療情報、DPCに関する研究活動

国立病院機構共同臨床研究平成30年度ネットワーク共同研究 医療マネジメント（旧 経営管理）分野の研究課題として19施設の参加の下「薬剤耐性菌が病院経営に与える追加的医療資源算出と感染管理、抗菌薬の適正使用に関する多施設共同サーベイランス研究」が採択、平成31年3月にNHO中央倫理審査委員会承認され、令和元年5月より本研究を開始、令和3年3月

で本研究期間は終了。感染対策に係る病院機能と院内感染対策状況等のアンケート調査による施設調査、DPCデータに基づく術後の薬剤耐性菌感染症例を収集し、AUD（抗菌薬使用密度）、DOT（抗菌薬使用日数）の施設間比較を行う。JANIS/DPC統合データベース構築後、病名等の交絡因子を層別分類し、プロベンシティーマッチングによる薬剤耐性菌感染に伴う追加的医療資源量の推計を行い、薬剤耐性菌による病院経営に与える影響を推計するものである。薬剤耐性菌の総数16,171件を認め、(1) 術後の薬剤耐性菌感染症例（MRSA感染症、フルオロキノロン耐性大腸菌感染症）に伴う追加的入院期間と出来高換算医療資源推計、(2) 抗菌薬適正使用支援加算等によるAUD/DOTへの影響分析、(3) 施設アンケート分析— AST/ISTチームの施設体制等への影響及びチーム構成員の意識、活動ベンチマーカーに関して等、解析を行った。

この研究の中で、国立病院機構（NHO）では感染制御対策や抗菌薬適正使用支援プログラム Antimicrobial Stewardship Program（ASP）の評価を行う際に必要な施設の実態を把握するため、NHO19施設について2018年度診療報酬改定前の2016年度と改訂後の2018年度で感染管理等に関する16項目（全364小項目）のアンケート調査を行い、両者間での比較検討を行い、国立医療学会誌「医療」に「ICT/AST活動に関する国立病院機構19施設におけるアンケート調査報告」（IRYO Vol.78 No.1（49–53）2024）が掲載された。

2) 情報解析研究室の今後の方向性と令和6年の活動目標

各診療分野の学会において検査や処方、診療内容などの電子カルテデータ情報をSSMIX形式により収集し解析する研究事業の中で、当院も診療録直結全国糖尿病データベース事業（J-DREAMS）に参加している。個別の研究内容に応じた診療テンプレートの作成やデータの提出作業を当部門で支援している。

令和5年度NHOネットワーク研究医療マネジメント領域（経営管理）より課題を申請はなかった。令和5年に九州大学メディカルインフォメーションセンターと当院医療情報管理センター、腎臓内科と「慢性腎臓病患者における新しい腎不全予測モデル：血清ビリルビンレベルの影響」について共同研究を行い、「A Novel Kidney Failure Prediction Model in Individuals with CKD：Impact of Serum Bilirubin Levels」の論文は、2024年6月*The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism*に掲載された。令和6年度も当院の電子カルテデータ情報を利用した共同研究を計画している。

質量分析装置を使った検査・研究応用（臨床研究センター長：高見 裕子）

1. 質量分析ラボの活動状況について

1.1 抗体薬血中濃度測定

抗体医薬の効果は個人によって大きく異なるため、各個人に最適な投与量を把握することが重要である。当ラボでは、アテゾリズマブおよびベバシズマブの治療介入タイミングや有効性を精査するため、抗原認識部位のユニークなペプチド部分の定量測定によってさまざまな抗体医薬を区別できる独自の質量分析測定系の構築を試みている。アテゾリズマブに関しては、血中濃度と効果の相関について未だ報告がなく、ベバシズマブは血中濃度と効果にあまり相関がないとの情報もあるが、正確な報告はされていない。そのため、両者について検討を進めている。現在、アテゾリズマブおよびベバシズマブの両方において、分析法のバリデーションはほぼ完了しており、測定系の確立が目前に迫っている。今後、当院の入院患者を対象に少人数で臨床研究を開始し、さらに共同研究病院を増やして症例数を拡大しながら、臨床的意義を検証していく予定である。

1.2特発性肺線維症および線維化性過敏性肺炎のプロテオーム解析

特発性肺線維症（IPF）と線維化性過敏性肺炎（fHP）は、異なる間質性肺疾患であるが、臨床的特徴が類似しているため、鑑別が困難である。これらの疾患に対する治療法は異なるため、正確な診断が非常に重要である。当ラボでは、IPFとfHPの診断を支援するための潜在的な診断バイオマーカーの同定をDIA（data-independent acquisition）質量分析を中心としたプロテオミクスアプローチを活用し、発症メカニズムの解析を行っている。すでにいくつかの疾患特異的な制御マーカー候補が見出されており、これらに基づいた新しい診断法の可能性が示唆されている。

1.3高感度女性ホルモンエストロゲン、エストラジオールの分析法開発

閉経に伴い、エストロゲンおよびエストラジオールの分泌が減少し、これが更年期障害や骨粗しょう症の原因となることが知られている。小児領域では、早期または遅発性思春期や性分化異常においては、高感度な測定により初期の異常を早期に把握し、適切な治療や介入が可能となる。当ラボでは、高感度質量分析装置を用いて、血中のホルモンをわずか1 pg/mlの濃度で定量・検出する技術を構築し、実装検証を行っている。

2. 質量分析ラボの今後の方向性と次年度の活動目標

2.1マルチオミクスアプローチによる臨床研究推進

質量分析ラボを有効活用し、マルチオミクスアプローチを主体とした臨床研究の推進を図っていく。ゲノミクス、トランスクリプトミクス、プロテオミクス、メタボロミクスなど、各オミクス技術に対応した測定ラインナップの拡充に加え、当ラボでは特に臨床研究における「網羅的なデータの統合的解釈技術」にさらに磨きをかけ、最新の技術の研鑽とノウハウの蓄積を進めていく方針である。

2.2臨床研究の活性化

臨床研究（論文執筆や学会発表）の促進。

質量分析ラボの研究費獲得サポート等の活用により、研究実績の向上に努める。

臨床研究報告

臨床研究発表審査過程、表彰者一覧

部門別研究報告一覧

内科・放射線科	9	外科	17	中央部門	6
代謝内分泌内科	1	消化管外科	5	薬剤部	2
膠原病内科	1	肝胆膵外科	2	放射線部	1
血液内科	1	脳血管内治療科	4	臨床検査部	1
免疫感染症内科	1	脳神経外科	2	看護部	2
高血圧内科	1	血管外科	1		
脳血管・神経内科	2	整形外科・リウマチ科	1		
呼吸器内科	1	産科・婦人科	1		
循環器内科	1	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1		

一次審査（審査員：28名）	
研究の新規性	（5点）
方法の妥当性	（5点）
結果の充実性・信頼性	（5点）
臨床的意義	（5点）
論文や学会発表の実績	（10点）
計	30点

一次審査結果（上位6名）

所 属	演 者	演 題
呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺炎の予後と治療反応性を予測するバイオマーカー；ペリオスチンの研究
循環器内科	村里 嘉信	我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究 (LM-JANHO) Cohort Study of Left Main Coronary Intervention in Japanese National Hospital Organization Group
肝胆膵外科	龍 知記	3 cm以下単発の肝細胞癌におけるvp予測スコアと治療成績の検討
血管外科	小野原俊博	70歳以下患者に対する腹部ステントグラフト内挿術の有用性の検討
整形外科・リウマチ科	戸次大史	関節リウマチ患者の周術期におけるJAK阻害薬休薬期間の提案
臨床検査部	伊藤葉子	当院の肝臓専門医と臨床検査技師による未診断C型肝炎患者拾い上げの新たな取り組み

- 1 開催日時・会場：2024年6月25日（火） 外来棟3F 講堂 16時30分開始
- 2 表彰式 ・会場：2024年7月30日（火） 外来棟3F 講堂 16時00分開始

九州医療センター最優秀学術賞

★岡元 昌樹先生（呼吸器内科）

間質性肺炎の予後と治療反応性を予測するバイオマーカー；ペリオスチンの研究

九州医療センター優秀学術賞

★戸次 大史先生（整形外科・リウマチ科）

関節リウマチ患者の周術期におけるJAK阻害薬休薬期間の提案

九州医療センター学術賞

★村里 嘉信先生（循環器内科）

我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究（LM-JANHO）
Cohort Study of Left Main Coronary Intervention in Japanese National Hospital
Organization Group

★龍 知記先生（肝胆膵外科）

3 cm以下単発の肝細胞癌におけるvp予測スコアと治療成績の検討

★小野原俊博先生（血管外科）

70歳以下患者に対する腹部ステントグラフト内挿術の有用性の検討

★伊藤 葉子技師（臨床検査部）

当院の肝臓専門医と臨床検査技師による未診断C型肝炎患者拾い上げの新たな取り組み

臨床研究報告（発表会演題）一覧

No.	所属	研究者	演題
1	代謝内分泌内科	堀内由布子	2型糖尿病患者の整形外科手術における当科介入の意義－周術期の血糖管理について－
2	膠原病内科	中村 真隆	抗MDA5抗体陽性間質性肺炎に対する3剤併用免疫抑制療法の有効性と安全性の解析
3	血液内科	原田 卓哉	Peripheral helper T細胞由来のケモカインであるCXCL13が特発性多中心性キャスルマン病の病態形成に寄与する
4	免疫感染症内科	中嶋恵理子	当院における非AIDS指標悪性腫瘍21例の後方視的検討
5	高血圧内科	荒川 仁香	外来主治医への血圧管理に対する調査後に管理状況は改善したか？
6	脳血管・神経内科	今村 裕佑	脳卒中急性期の瞳孔反応と神経学的予後の関連性の検討
7	脳血管・神経内科	桑城 貴弘	頭痛発症脳梗塞症例における原因病型別の検討
8	呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺炎の予後と治療反応性を予測するバイオマーカー；ペリオスチンの研究
9	循環器内科	村里 嘉信	我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究（LM-JANHO） Cohort Study of Left Main Coronary Intervention in Japanese National Hospital Organization Group
10	消化管外科・がん臨床研究部	吉田倫太郎	食道切除胃管再建術後の咽頭喉頭摘出術の遊離空腸再建においてICG蛍光法が有用であった1例
11	消化管外科・がん臨床研究部	連田 博文	FOLFOXIRI療法後に手術を行った切除不能進行大腸癌症例の検討
12	消化管外科	楠元 英次	双孔式ストーマ脱出と傍ストーマヘルニアを合併する症例に対する腹腔鏡下手術の有用性について
13	消化管外科	上原 英雄	当院における精神疾患併存大腸癌患者の臨床的特徴について
14	消化管外科	上原 英雄	当科における膿瘍形成性虫垂炎に対するInterval Appendectomyの治療成績について
15	肝胆膵外科	龍 知記	3 cm以下単発の肝細胞癌におけるvp予測スコアと治療成績の検討
16	肝胆膵外科	龍 知記	低侵襲膵体尾部切除術での補強材付き自動縫合器を用いた膵切離の有用性と術後膵液瘻のリスク因子について
17	脳血管内治療科	徳永 聡	頭蓋内動脈硬化病変を有する急性期脳梗塞に対する再開通療法の治療成績と治療目標設定
18	脳血管内治療科	徳永 聡	脳底動脈閉塞に対する再開通療法における単純CT再構成画像を用いた新たな治療戦略
19	脳血管内治療科	奥田 智裕	中大脳動脈遠位部閉塞に対する機械的血栓回収療法における予後因
20	脳血管内治療科	東 英司	Protection法の変更に伴う不安定プラークに対するCASの治療戦略と成績
21	脳神経外科	雨宮 健生	当院での成人虚血性脳卒中に対するSTA-MCA bypass術の長期成績
22	脳神経外科	後藤 克宏	急性期STA-MCAバイパス術の治療成績
23	血管外科	小野原俊博	70歳以下患者に対する腹部ステントグラフト内挿術の有用性の検討
24	整形外科	戸次 大史	関節リウマチ患者の周術期におけるJAK阻害薬休薬期間の提案
25	産科・婦人科	藤原ありさ	当院における胎盤用手剥離で完結しなかった常位癒着胎盤の検討
26	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	瓜生 英興	導入化学療法を行った進行喉頭・下咽頭癌の治療成績の検討
27	薬剤部	三好 孝法	非小細胞肺癌患者における免疫関連有害事象発現予測因子としてのPrognostic Nutritional Indexの有用性の評価
28	薬剤部	大橋 邦央	ケモセーフロックTMシステムを使用したシスプラチン調製における調製時間調査
29	放射線部	浅井 美子	関節超音波検査における表在パッドの検討
30	臨床検査部	伊藤 葉子	当院の肝臓専門医と臨床検査技師による未診断C型肝炎患者拾い上げの新たな取り組み
31	看護部	藤田 克徳	敗血症患者における早期経腸栄養開始の現状と課題
32	看護部	木下 優華	急性期軽症脳卒中患者の身体活動量における実態調査 Investigation of Physical Activity in Acute Minor Stroke Patients

九州医療センター最優秀学術賞

間質性肺炎の予後と治療反応性を予測するバイオマーカー； ペリオスチンの研究

所 属 呼吸器内科
研究者名 岡元 昌樹^{1),2)}, 出原 賢治³⁾, 星野 友昭²⁾
九州医療センター呼吸器内科¹⁾、久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門²⁾、佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学分野講座³⁾

【背景・目的】

間質性肺炎は進行性肺線維化を特徴としており、2021年時点で日本人の死因の第11位に位置する難病である。近年登場したニンテダニブなどの抗線維化薬が同疾患の進行抑制、生存期間延長などのエビデンスを示したことは本疾病の医療におけるパラダイムシフトであった。その一方で、早期治療介入が必要な症例をどう選択するかが重要な臨床学的疑問点となっている。

我々は、インテグリンのリガンドとして臓器線維化に関与するマトリセルラー蛋白であるペリオスチンが間質性肺炎の線維化に関与することをブレオマイシン肺傷害モデルの研究などを通じて報告してきた。本研究の目的は、ペリオスチンが間質性肺炎において早期治療介入が必要な症例を選択するためのバイオマーカーであることを示すことである。

【方 法】

①関節リウマチ関連間質性肺疾患 (RA-ILD) の解析、②特発性肺線維症 (IPF) のニンテダニブ投与例の解析では、それぞれ多施設前向き試験の参加症例における単量体、総ペリオスチンの血清値を ELISA で測定。KL-6、SP-D、LDH などの既存のバイオマーカーと比較した。①では、RA における ILD 診断バイオマーカー性能、ILD の線維化病変の関連性を解析、②では、血清バイオマーカー値と IPF の予後、ニンテダニブ治療反応性との関連を解析した。

【結 果】

① 関節リウマチ関連間質性肺疾患 (RA-ILD) の解析

RA-ILD 19 例、ILD 非合併 RA 20 例、健常コントロール (HC) 137 例を対象とした。全バイオマーカーは、HC または ILD 非合併 RA よりも RA-ILD の方が高かった。ROC 曲線の解析における各バイオマーカーの ILD 検出能 (AUC) は、KL-6 0.939、単量体ペリオスチン 0.803、総ペリオスチンと SP-D 共に 0.767 と良好であった。単量体、総ペリオスチン値は、胸部 CT 上の蜂巢肺などの線維化領域の範囲と正相関があり、UIP パターンでは他の CT パターンより高値であったが、KL-6、SP-D、LDH 値は線維化領域の範囲と関連しなかった。慢性期および急性増悪期の RA-ILD の生検、剖検肺組織の免疫組織学的分析では、ペリオスチンは活動性線維性病変でのみ発現していた (図 1)。

② 特発性肺線維症 (IPF) のニンテダニブ投与例の解析

IPF 87 例 (年齢中央値 72 歳、男性 78、観察期間中央値 1174.0 日間) を対象とした。多変量解析において、総、単量体ペリオスチン値は、全生存期間の独立予測因子

であったが、KL-6、SP-D、LDH は全生存期間と関連しなかった。また、単量体、総ペリオスチンの高値例は低値例と比較して、ニンテダニブ投与6か月後の呼吸機能低下抑制効果が有意に高いことが示された。

【考 察】

ペリオスチンは、RA における ILD 合併の判別、線維化病変の広がりへの予測に有用なバイオマーカーである。さらに、IPF におけるペリオスチン高値は生存期間の短縮、抗線維化薬の良好な反応性と関連した。このことは、ペリオスチン高値の IPF では、早期の治療介入が必要であることを示している。

【結 論】

ペリオスチンは、間質性肺炎の線維化病変と関連し、予後予測、治療方針の決定に貢献するバイオマーカーとなり得る。

【発表論文および学会】

- (1) Okamoto M, et al. T. A prospective cohort study of periostin as a serum biomarker in patients with idiopathic pulmonary fibrosis treated with nintedanib. *Sci Rep.* 2023; 13: 22977.
- (2) Matama G, Okamoto M, et al. Periostin Is a Biomarker of Rheumatoid Arthritis-Associated Interstitial Lung Disease. *J Clin Med.* 2023; 12: 7100.
- (3) 岡元 昌樹、財前 圭晃、出原 賢治、星野 友昭 血清ペリオスチン値は、特発性肺線維症の抗線維化薬投与例のバイオマーカーである 第 63 回日本呼吸器学会学術講演会 東京 2023 年 4 月 28 日

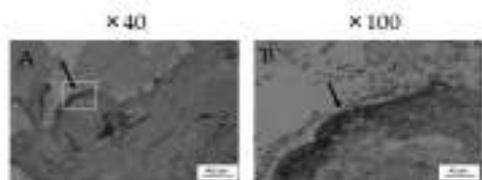


図 1. ペリオスチンモノクローナル抗体による RA-ILD の免疫染色。ペリオスチンは活動性肺線維化病変である早期線維芽細胞巣で発現増加（文献 2 より引用）

表 1. 全生存期間予測のための多変量解析（コックス比例ハザードモデル）
調整共変量を年齢、性別、FVC、D_{LCO} として多変量解析を行ったところ、ペリオスチン値はどのモデルにおいても全生存期間と関連していた（文献 1 より引用）

	Model							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Monomeric periostin (ng/mL)	6.6 (1.2-36.3) P=0.031*	6.4 (1.1-36.8) P=0.036*	7.4 (1.3-41.9) P=0.023*	7.2 (1.2-42.9) P=0.031*	6.1 (1.1-34.6) P=0.026*	6.0 (0.75-25.6) P=0.040*	5.8 (1.0-32.4) P=0.045*	5.7 (0.86-37.8) P=0.071
Age (years)		2.0 (0.23-17.0) P=0.54		2.6 (1.1-6.4) P=0.41				3.8 (0.53-27.5) P=0.18
Gender Male			0.41 (0.17-1.0) P=0.050	0.39 (0.16-0.95) P=0.039*				0.37 (0.15-1.0) P=0.034*
FVC (%)					0.45 (0.082-2.5) P=0.37		0.64 (0.11-3.7) P=0.62	0.73 (0.12-4.7) P=0.75
D _{LCO} (%)						0.012 (0.00067- P=0.0022*	0.013 (0.00074- P=0.0032*	0.0082 (0.00044- P=0.0013*

九州医療センター優秀学術賞

関節リウマチ患者の周術期におけるJAK阻害薬休薬期間の提案

所 属 整形外科・リウマチ科

研究者名 戸次 大史¹⁾、橋口 智光²⁾、河村 誠一²⁾、近藤 正一³⁾、津嶋 秀俊⁴⁾、櫻庭 康司¹⁾、原 正光¹⁾、太田 昌成¹⁾、宮原 寿明¹⁾、中島 康晴²⁾、福士 純一¹⁾
国立病院機構九州医療センター¹⁾、大分赤十字病院²⁾、近藤リウマチ整形外科クリニック³⁾、九州大学⁴⁾

【背景・目的】

Janus kinase inhibitors (JAK 阻害薬、以下 JAKi) は炎症シグナル伝達を抑制する低分子化合物である。近年は JAKi の普及により関節リウマチ (以下 RA) の治療成績は改善している。JAKi が普及する以前に生物学的製剤 (以下 bio) の登場により RA の治療成績は飛躍的に向上し、JAKi、Bio とともに不可欠な治療薬となった。こうした背景もあり、疾患活動性を抑えた状況で外科的手術に臨む患者が増加している。Bio についてはその長期成績から周術期に休薬を推奨するケースも報告されているが、JAKi 加療中の RA 患者に関する周術期有害事象についてはあまり知られておらず、JAKi の休薬期間と術後有害事象の発生率の相関についても不明瞭である。本研究の目的は Bio との比較により JAKi が術後経過に及ぼす影響を検証することである。

【方 法】

本研究は、日本人 RA 患者を対象にした後ろ向きコホート研究である。術前に JAKi を使用した 62 例の関節リウマチ患者を対象とした後ろ向き観察研究を施行した。傾向スコアマッチングを用いて、bio 群を用いた 62 例とマッチさせ、疾患活動性や薬剤歴などの患者背景を比較した。疾患活動性の評価には Disease Activity Score (DAS) 28 を計算し、薬剤歴はメトトレキサートとプレドニゾロンの使用頻度や力価を調査した。また両群での術後有害事象の頻度を比較した。有害事象は創部感染、創部癒合不全、炎症フレア、帯状疱疹、貧血、重篤な感染症を調査項目とした。さらに、JAKi の休薬期間がそれらの有害事象の発生頻度と関係するかについて検証した。

【結 果】

Bio 群と比較し JAKi 群は年齢性別などの患者背景や使用薬剤に差は認めなかったが、術前の Disease Activity Score (DAS) 28 が高かった (3.75 vs 2.76)。JAKi 群の 29% で術後フレアを、19.4% で創癒合不全や創部感染、帯状疱疹などの合併症を認めた。Bio 群と比較し JAKi 群で術後フレアの頻度が高かった (29% vs 12.1%)。術後フレア以外の合併症の頻度は両群間で差異を認めなかった。JAKi の平均休薬期間は術前 2.2 ± 2.4 日、術後 18.4

±21.2 日であった。休薬期間 10 日をカットオフに有害事象の発生率を比較したところ 11 日以上の休薬期間を設けた症例で有意に術後フレアを認めた。創癒合不全と休薬期間に相関はなかった。

【考 察】

JAKi 群は Bio 群と比較し術後フレアの頻度が高かったことについては、JAKi の薬剤半減期の影響が考えられた。ガイドライン上は JAKi を術前 3 日前から創癒合が完成するまでの休薬を推奨しているが、これは内科的感染症のデータを基にしておりエビデンスレベルも低い。本研究の結果から早期に JAKi を再開するアドバンテージが示唆された。

【結 論】

Bio 群と比較し JAKi 群では術後フレアの頻度が高く休薬期間が 11 日以上であるとその頻度が高かった。JAKi 休薬期間の長さとは創癒合不全に相関がないことから、周術期の JAKi 休薬期間は 10 日以下が望ましい。

図表

		≤1日 (n=32)	≥2日 (n=30)	P value
術前	術後フレア n(%)	8 (25%)	10 (33.3%)	p=0.47
	創癒合不全 n(%)	3 (9.4%)	4 (13.3%)	p=0.62
		≤7 day (n=14)	≥8 days (n=48)	P value
術後	術後フレア n(%)	1 (7.1%)	17 (35.4%)	p=0.04
	創癒合不全 n(%)	0	7(14.6%)	p=0.33
		≤10 day (n=14)	≥11 days (n=48)	P value
トータル	術後フレア n(%)	1 (7.1%)	17 (35.4%)	p=0.04
	創癒合不全 n(%)	0	7 (14.6%)	p=0.33

【発表論文および学会】

- (1) 日本リウマチ学会 福岡 2023 年 4 月 24～26 日
- (2) Modern Rheumatology 誌

Complications After Orthopedic Surgeries in Patients with Rheumatoid Arthritis Treated with Janus Kinase Inhibitors: a Retrospective Observational Study. Mod Rheumatol. 2023 Dec 20:road114. doi: 10.1093/mr/road114. Epub ahead of print.

九州医療センター学術賞

我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対する コホート研究 (LM-JANHOO) Cohort Study of Left Main Coronary Intervention in Japanese National Hospital Organization Group

所 属 循環器内科

研究者名 村里 嘉信¹⁾、中島 均²⁾、杉野 浩³⁾、有川 雅也⁴⁾、森 文章⁵⁾、上田 恭敬⁶⁾、
松村 圭祐⁷⁾、阿部 充⁸⁾、小泉 智三⁹⁾、下村 光洋¹⁰⁾、藤本 和輝¹¹⁾、佐伯 隆広¹²⁾、
今川 正吾¹³⁾、竹中 孝¹⁴⁾、森田 有紀子¹⁵⁾、鹿島 克郎¹⁶⁾、高見 徹¹⁷⁾、
小野 裕二郎¹⁸⁾、深江 貴芸¹⁹⁾、吉田 寿子²⁰⁾
国立病院機構 九州医療センター 循環器内科¹⁾、鹿児島医療センター²⁾、呉医療セン
ター³⁾、大分医療センター⁴⁾、横浜医療センター⁵⁾、大阪医療センター⁶⁾、埼玉病院⁷⁾、
京都医療センター⁸⁾、水戸医療センター⁹⁾、嬉野医療センター¹⁰⁾、熊本医療センター¹¹⁾、
金沢医療センター¹²⁾、函館病院¹³⁾、北海道医療センター¹⁴⁾、相模原病院¹⁵⁾、指宿医療
センター¹⁶⁾、千葉医療センター¹⁷⁾、東広島医療センター¹⁸⁾、長崎医療センター¹⁹⁾、
大阪公立大学医療統計学²⁰⁾

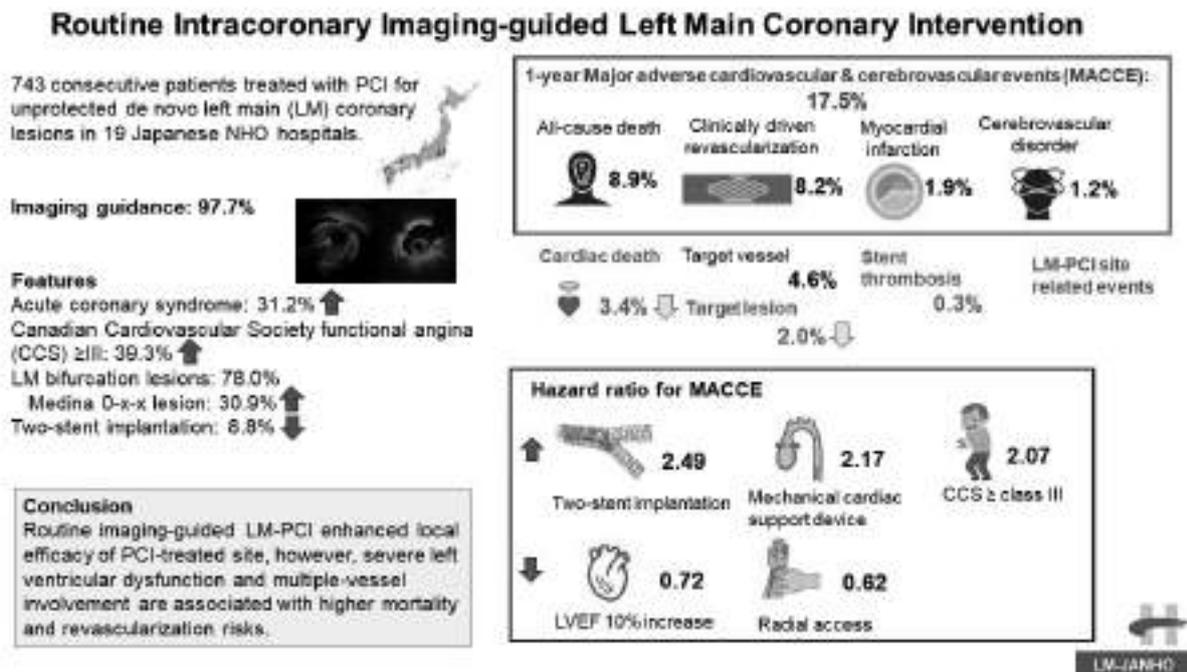
【背景・目的】薬剤溶出性ステントの出現により、左主冠動脈経皮的冠動脈インターベンション (LM-PCI) の成績は向上し、解剖学的に単純な病変では、冠動脈バイパス術に比肩するものとして、Class I の治療と推奨されるようになった。LM-PCI において、死亡や再狭窄を減少させるとして冠動脈内イメージングガイダンスが推奨されているが、すべての実臨床の現場での有効性は未だ不明である。この研究の目的は、冠動脈内イメージングガイダンスがルーチンに採用された日本の国立病院機構コホートにおける LM-PCI のアウトカムを調査することである。

【方 法】19 の国立病院で行われた連続 806 例の新規 LM 病変に薬剤溶出ステント留置を受けた患者のうち、エントリー基準非合致やフォローアップ不完全である 63 例を除外し、総計 743 例を解析した。主要エンドポイントは、PCI 1 年後の主要有害心血管および脳血管イベント (MACCE) であり、全死亡、臨床的な冠動脈血行再建、心筋梗塞、および脳血管障害を含む複合エンドポイントとした。

【結 果】コホートでは糖尿病 (49.3%)、心筋梗塞既往 (25.2%)、および血行再建既往 (43.6%) の頻度が高かった。急性冠症候群は 31.2% で、カナダ心臓病学会機能性狭心症 (CCS) クラス \geq III は 39.3% と高頻度であった。冠動脈イメージングガイドは、97.7% で施行されていた。LM 分岐病変が 78.0% で存在したが、血管造影上、LM には有意病変を持たない分岐病変が 30.9% を占めた。2-stent 留置は 8.8% と少なかった。MACCE は患者の 17.5% で発生し、対象病変再血行再建および心臓死亡率はそれぞれ 2.0% および 3.4% と、低値であった。MACCE の独立したリスク因子としては、CCS クラス \geq III (ハザード比 [HR]、2.07)、心臓サポートデバイスの使用 (HR、2.17)、2-stent 留置 (HR、2.49)、左室駆出率 10% 増加 (HR、0.72)、および橈骨動脈アクセス (HR、0.62) が判明した。

【考 察】本研究では、連続 LM-PCI をエントリーしたため、海外からの従来報告では除外されている急性冠症候群、重症血行動態破綻例を多く含んでいた。そのため、CCS クラス \geq III、左室駆出率低値、橈骨動脈蝕知不能なショック症例では、総死亡率が高値となった。冠動脈イメージングガイドをルーチンで行う LM-PCI では、心臓死、標的病変血行再建の発生が低く、PCI 施行部位での適正サイズのデバイス選択、十分なステント拡張・圧着、ステント変形の迅速な検出、過剰な側枝へのステント留置の抑制が寄与していると考えられた。しかしながら、血行動態破綻した急性冠症候群、多枝病変では、イメージングガイドにより LM 周囲の PCI 成績を改善しても、死亡および再血行再建のリスクが高かった。

【結 論】冠動脈イメージングガイドをルーチンで行う LM-PCI は、対象病変再血行再建および心臓死亡の発生率が低い。ただし、重度左室機能障害と多枝病変は、死亡および再血行再建のリスクが高く、イメージングガイド PCI を超えた包括的な管理が必要である。



【発表論文および学会】

- 87th Annual meeting of Japanese Circulation Society (2023. 3. 10-12, Fukuoka)
 “Clinical Outcome of Imaging-guided Left Main Coronary Intervention in Japanese National Hospital Organization (LM-JANHO)”
- 31th Annual meeting of Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics (2023. 8. 4-6, Fukuoka) **Late breaking trial**
 “Imaging-guided Left Main Coronary Intervention in Japanese National Hospital Organization (LM-JANHO)”
- EuroPCR 2024 (2024. 5. 14-17, Paris)
 “Routine intracoronary imaging-guided left main coronary intervention”
- American Heart Journal (submitting)
 “Routine Intracoronary Imaging-guided Left Main Coronary Intervention”

九州医療センター学術賞

3 cm以下単発の肝細胞癌におけるvp予測スコアと治療成績の検討

所 属 肝胆膵外科

研究者名 龍 知記、野村 頼子、武石 一樹、山本 玄、和田 幸之、高見 裕子

【背景・目的】

肝細胞癌（HCC）において病理学的門脈浸潤（vp）は治療後の予後規定因子として知られているが治療前の診断は困難である。また局所治療を施行した例では治療後も vp の存在を診断することは難しい。今回われわれは当科での肝切除例を用いて vp 予測スコアを作成し、それをもとに肝切除とマイクロ波凝固壊死療法（MCN）を施行した症例の術後治療成績の検討を行った。

【方 法】

2001年1月から2017年12月に当科で肝切除またはMCNを施行した腫瘍径3cm以下単発、肝機能両行（Child-Pugh Class A）のHCC334例を対象とし、①肝切除を施行した60例で術前因子の多変量解析を行い、vpリスク因子を同定しvp予測スコアを作成した。②vp予測スコア別の治療成績を肝切除60例とMCN274例で検討した。

【結 果】

- ① 肝切除を施行した60例中、vpは18例（30%）に認めた。多変量解析にてAFP \geq 10、PIVKA \geq 52がvpのリスク因子として抽出された。各々を1点としてスコア化したところ、vpの割合はスコア0点で11%（2/26）、1点で36%（8/22）、2点で67%（8/12）と有意に層別された（AUC：0.783、 $P<0.001$ ）。
- ② 全334例の観察期間中央値は85か月であった。肝切除60例でのvp予測スコア0、1、2点の1/3/5/10年の全生存率（OS）はそれぞれ100/88/88/70%、100/100/85/61%、100/95/86/62%で有意差を認めなかった（ $P=0.386$ ；図1a）。MCN274例でのvp予測スコア0、1、2点の1/3/5/10年OSはそれぞれ100/98/93/69%、99/93/81/44%、93/86/61/42%でスコアが上がるほど有意にOSは低下した（ $P<0.001$ ；図1b）。また、肝切除例での1/3/5/10年無再発生存率（RFS）はvp予測スコア0、1、2点でそれぞれ100/68/46/40%、95/63/54/49%、92/67/50/50%で有意差を認めなかった（ $P=0.970$ ；図2a）。MCN例での1/3/5/10年RFSはvp予測スコア0、1、2点でそれぞれ98/91/68/43%、96/66/46/22%、85/44/28/23%でスコアが上がるほど有意にRFSは低下した（ $P<0.001$ ；図2b）。多変量解析では肝切除ではvp予測スコアはOS、RFSともにリスク因子とならなかった一方で、MCNではvp予測スコアはOS、RFSにおいて有意なリスク因子として抽出された（ $P<0.001$ ）。

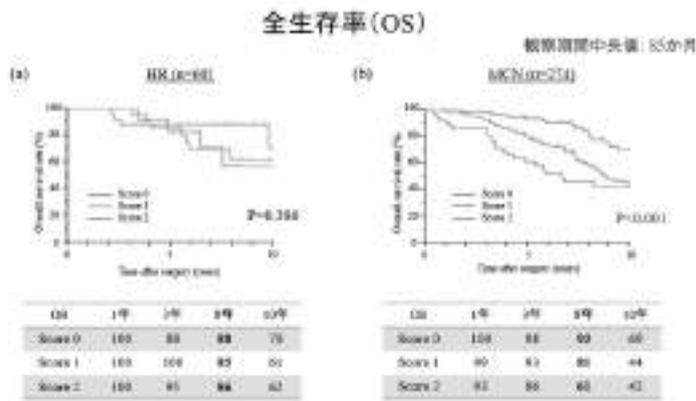


図1 肝切除例とMCN例でのvp予測スコア別の全生存率

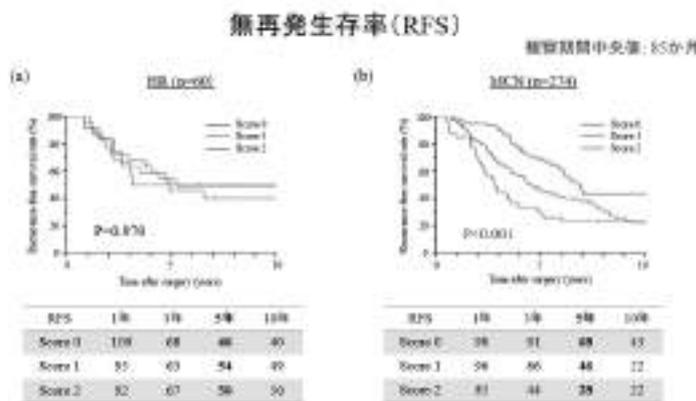


図2 肝切除例とMCN例でのvp予測スコア別の無再発生存率

【考 察】

術前腫瘍マーカー値をスコア化することにより、vpの存在を治療前により正確に予測することが可能になり治療法の選択に有用と考えられた。vpの存在が予測される症例は、MCNを行った場合はvpがないであろう症例よりも早期再発が多く予後不良であったが、肝切除を行った場合はvpなしと同等の長期治療成績が得られると考えられた。

【結 論】

治療前にvpが予想される3cm以下単発のHCC症例は、切除可能であれば肝切除が推奨されることが示唆された。

【発表論文および学会】

- (1) 第59回 日本肝臓学会 大阪 2023年7月
- (2) Tomoki Ryu, Yuko Takami, Yoshiyuki Wada, Yoriko Nomura, Kazuki Takeishi, Hideki Saitsu. Oncological outcomes of hepatic resection and microwave ablation based on predictive factors of microvascular invasion in single HCC ≤ 3cm
英文雑誌「HPB」に投稿中

九州医療センター学術賞

70歳以下患者に対する腹部ステントグラフト内挿術の有用性の検討

所 属 血管外科
研究者名 小野原 俊博

【背景・目的】

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR）は、従来行われてきた人工血管置換術（OS）と比較し低侵襲であり、高齢者（平均 75 歳）の多い腹部大動脈瘤患者に対して広く行われている。EVAR の早期成績は良好であるものの、遠隔期には空置した瘤破裂等による瘤関連死亡が増加するため、EVAR の早期の優位性が失われるとされている。従って、長期生存が期待できる 70 歳以下若年者症例に対して EVAR と OS のどちらの術式を選択するかは議論の余地があり、両術式の瘤関連死亡率を含めた遠隔成績を比較した。

【方 法】

対象は、国立病院機構 14 施設で後ろ向き登録した 2007～2013 年のショックバイタル症例を除く腹部大動脈瘤手術症 2429 例中、70 歳以下の症例 644 例（全症例の 27%；EVAR:148 例、OS:496 例）。死因を瘤関連（術死と遠隔期合併症死）、心血管、癌、感染症、その他に分類し、それぞれの累積死亡率を、当該イベント以外の死亡例を競合リスクイベント（打ち切りとして処理すると死亡率を過大評価する可能性あり）として、Cumulative Incidence Function 法で計算し、術式を含めた多因子間の多変量解析を行った。更に、瘤関連合併症に対する再治療（介入）および重大瘤関連イベント（全麻相当以上の介入または瘤関連死）の発生率も検討した。

【結 果】

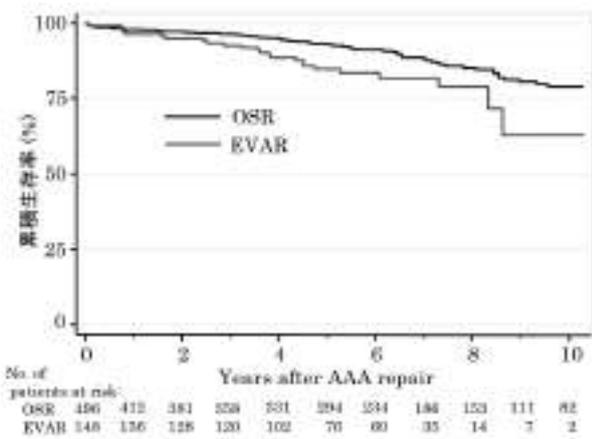
背景因子は、ステントグラフト内挿術に不相当とされる中枢ネック不良が、OS 群で高頻度であった。一方、EVAR 群は、開腹歴、神経障害遺残の脳血管障害の既往、COPD、担癌患者が高頻度であった。術死は EVAR 群 0.7%、OS 群 1.0%であり、5 年生存率は EVAR 群 84.8%、OS 群 93.3%であり、EVAR は予後不良因子であった（図 1）。瘤関連、心血管、癌、感染症の 5 年累積死亡率は、EVAR 群 1.5%、4.1%、3.2%、4.8%、OS 群 1.3%、2.9%、1.6%、0.5%であり、EVAR は感染症死にのみ予後不良因子であり、それ以外の死因に EVAR は関連していなかった（図 2）。瘤関連死亡については、脳血管障害と COPD が予後不良因子であった。介入と重大イベントの 5 年発生率は、EVAR 群 11.7%、6.4%、OS 群 5.3%、5.9%であり、EVAR は介入の予後不良因子であったが、重大イベントには影響していなかった（図 3）。

【考 察・結 論】

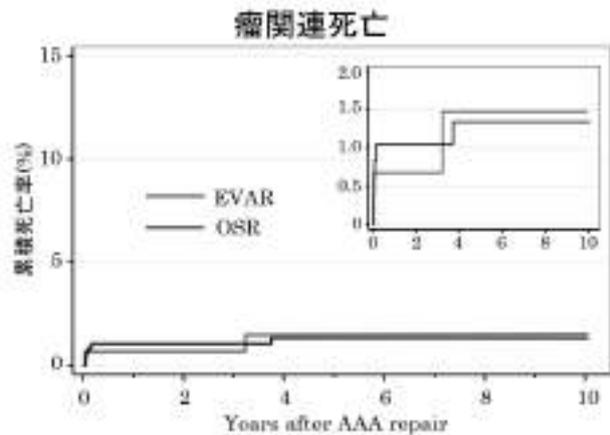
70歳以下若年患者ではEVARとOSで手術手技に関連する瘤関連死亡率に差はなかった。EVARを選択する背景因子とこれに関連する死因が、生存率低下に関与しているものと考えられた。また、EVARは遠隔期の介入の頻度が高いが、重篤な介入・瘤関連死についてはOSと差がなかった。術後の介入手技と検査が医療コストを上昇させる点に議論の余地はあるが、少なくとも、遠隔期の生存率からみて、若年者に対するEVARは妥当な選択肢と考えられた。

【発表論文および学会】

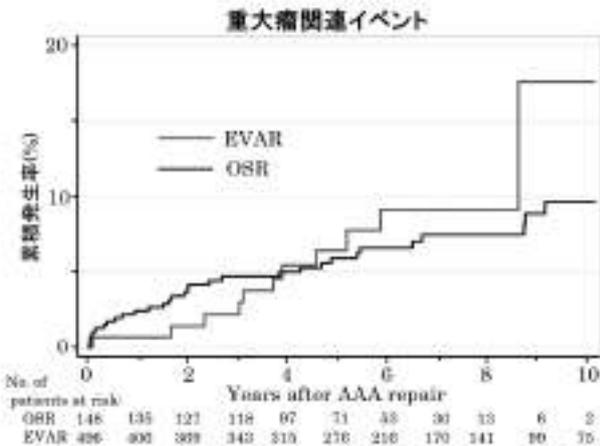
- (1) 第120回日本外科学会定期学術集会 Web 2020年8月13~15日 ディベート
- (2) 第49回日本血管外科学会学術総会 Web 2021年5月19~21日 シンポジウム
若年者AAAの治療戦略 (EVAR vs OS)
- (3) Ann Vasc Dis 誌 Advance online publication: February 06, 2024



(図 1)



(図 2)



(図 3)

九州医療センター学術賞

当院の肝臓専門医と臨床検査技師による 未診断C型肝炎患者拾い上げの新たな取り組み

所 属 臨床検査部

研究者名 伊藤 葉子¹⁾、藤野 達也²⁾、荒武 良総³⁾、松下 義照¹⁾、荒川 仁香¹⁾、
國府島 庸之³⁾、福泉 公仁隆³⁾、中牟田 誠³⁾

国立病院機構九州医療センター臨床検査部¹⁾、臨床研究センター²⁾、消化器内科³⁾

【背景・目的】

直接作用型抗ウイルス治療が登場し、C型肝炎患者の多くでウイルス学的著効が可能となった現在、感染スクリーニングの一環としてHCV抗体検査を受けた患者から未診断のC型肝炎患者を拾い上げ適切な治療に導くことは、肝炎撲滅に向けて非常に重要である。当院では2018年2月からHCV抗体陽性者を対象とした電子カルテアラートシステムを導入したが、このシステムだけではC型肝炎患者の拾い上げが不十分であることが明らかとなった。そこで、2022年9月から肝臓専門医と肝炎医療コーディネーター(肝炎Co)の資格を取得した臨床検査技師による肝炎チームを立ち上げ、HCV抗体陽性の患者から未診断のC型肝炎患者を拾い上げるための新たなシステム「肝炎パトロール」を開始した。

【方 法】

肝炎パトロールの方法をFigure 1に示した。週に1回、臨床検査部が陽性者をリストアップし、全例のカルテを閲覧し、肝炎の既往歴、治療歴、HCV-RNA検査歴などを確認した上でチームが介入すべき患者(以下「対応なし患者」と定義)を抽出した。その後肝臓専門医が、チーム介入の必要な患者を決定し、肝炎Coが電子カルテ端末上のメールシステムを使って主治医宛にHCV-RNA測定を促す連絡を行った。その後も、肝炎Coが定期的にカルテを参照し、HCV抗体陽性の結果説明が行われたか、HCV-RNA検査オーダーがなされたか、などをチェックし、対応漏れが起こらないようにした。

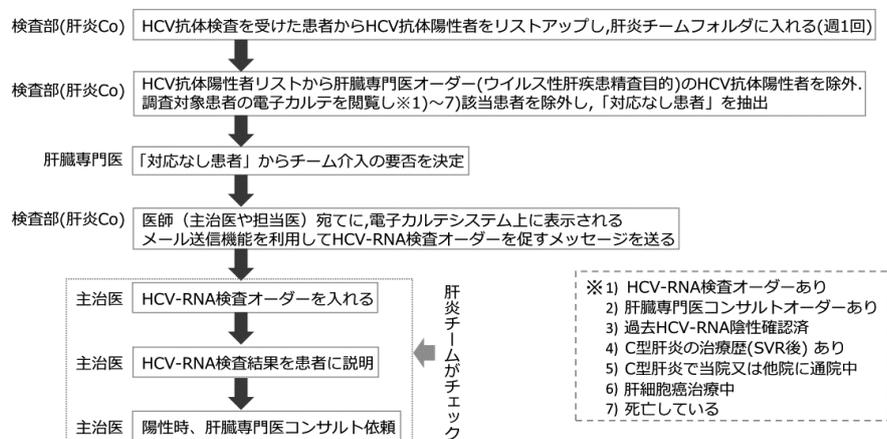


Figure 1 「肝炎パトロール」のプロトコール

【結 果】

2022年9月1日から2023年2月28日までの6ヵ月間にHCV抗体検査が行われた4383例中(重複例を除く)、HCV抗体陽性者数は133例(3%)であった。133例中、肝臓専門医オーダーによるHCV抗体陽性者は9例、調査対象患者は124例であった。肝炎チーム介入前(電子カルテアラートシステムのみ)の「対応あり患者」は、調査対象患者124例中83例(67%)であり、調査時点で電子カルテ上C型肝炎の治療歴(SVR後)が確認できない、かつC型肝炎が否定できていない「対応なし患者」は41例(33%)であった(Figure 2)。「対応なし患者」41例に対して肝炎チームが介入し、40例でHCV抗体陽性への対応が追加されたため、「対応あり患者」は調査対象患者124例中123例(99%)に上昇した。また、チームの介入により、6例が新たにC型肝炎患者と判明した(Figure 3)。

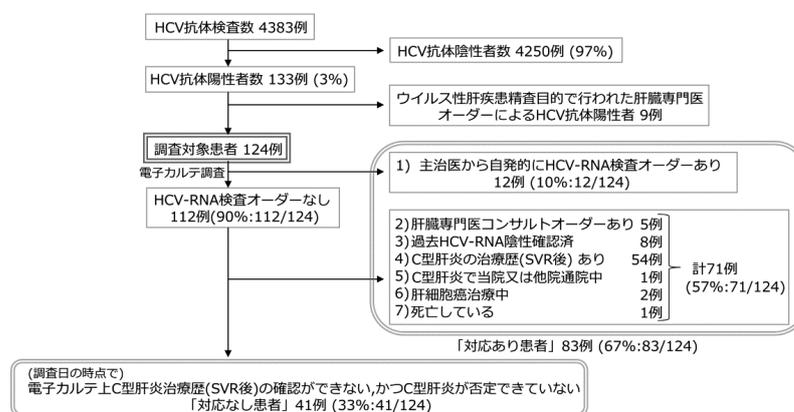


Figure 2 肝炎チーム介入前(電子カルテアラートシステムのみ)のHCV抗体陽性患者対応率

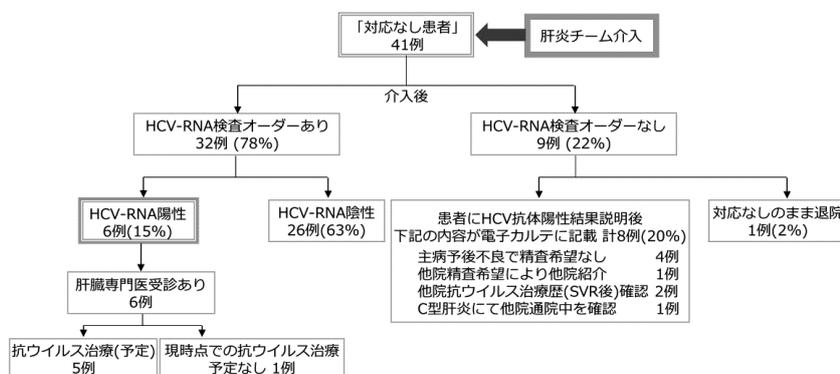


Figure 3 肝炎チーム介入後の主治医の対応

【考 察】

自動の電子カルテアラートシステムだけでなく、肝炎パトロールのような人の手が加わったシステムは、HCV抗体陽性の患者からC型肝炎患者を効果的に拾い上げるのに非常に有用であることが示された。

【発表論文および学会】

- (1) 医学検査 (in press)
- (2) 第59回日本肝臓学会総会 奈良 2023年6月16日

令和5年度競争的研究費一覧

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
心房細動における脳心血管病予防のための降圧目標を解明する国際共同大規模臨床試験	富永 光裕 (研究代表者： 有馬 久富)	日本学術振興会	分担	130,000
尿酸降下薬による治療強化が歯周病に与える影響	土橋 卓也 (研究代表者： 大田 祐子)	日本学術振興会	分担	26,000
HIV関連神経認知障害（HAND）診断ツールの標準値構築と動作エラーモデルの開発	南 留美 (研究代表者： 坂本 麻衣子)	日本学術振興会	分担	91,000
多形腺腫由来癌の癌化予測因子の網羅的解析と診断、治療法の確立	内 龍太郎 (研究代表者： 安松 隆治)	日本学術振興会	分担	39,000

厚生労働科学研究費

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
エイズ対策政策研究事業（非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者に合併する腫瘍への包括的政策に関する研究）21HB2005	南 留美	厚生労働省	分担	300,000
政策科学総合研究事業（臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業）（標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサーや問診AIなどのICTを用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究）21AC1002	若田 好史	厚生労働省	分担	500,000
エイズ対策政策研究事業（HIV感染症の医療体制の整備に関する研究）H29-エイズ-指定-001 20HB2001	南 留美	厚生労働省	分担	5,000,000
エイズ対策政策研究事業（非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究）21HB2004	南 留美	厚生労働省	分担	5,000,000

日本医療研究開発機構研究費

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
エイズ対策実用化研究事業（国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究）	南 留美	AMED	分担	780,000
エイズ対策実用化研究事業（ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究）	高濱宗一郎	AMED	分担	2,250,000
難治性疾患実用化研究事業（成人発症スチル病（AOSD）に対する5-アミノレプリン酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム（5-ALA HCL/SFC）投与の医師主導治験）	宮村 知也	AMED	分担	1,950,000
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業（難治性心房細動に対する経皮的カテーテル心筋焼灼術における「神の目」と「神の技」を具現化するための電気生理所見および治療データの収集基盤構築と利活用のための研究）	矢加部大輔	AMED	分担	223,600

その他財団等からの研究費

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究（J-DREAMS）	渡邊 哲博	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（J-DREAMS）	主任	300,000
フルベストラント使用中に病勢進行したホルモンレセプター陽性進行・再発乳癌患者に対する、バルボシクリブ追加投与の有効性の検討－多施設共同臨床試験	岩熊 伸高	一般社団法人JBCRG	主任	99,000
早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	岡元 昌樹	国立大学法人長崎大学	主任	594,000

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	岡元 昌樹	国立大学法人長崎大学	主任	363,000
HAMRET Study 切除不能肝細胞癌における薬物療法の前向き観察研究	高見 裕子	一般社団法人九州消化器癌化学療法研究会	主任	66,000
血小板減少を呈する患者における酵素測定法によるゴージェ病スクリーニング	高瀬 謙	メビックス株式会社 熊本大学	主任	3,000
アンドロゲン受容体陽性唾液腺癌に対するアンドロゲン受容体阻害薬Darolutamide (ODM-201) の第II相試験	瓜生 英興	国立研究開発法人国立がん研究センター 東病院 公立大学法人横浜市立大学	主任	300,000
アンドロゲン受容体陽性唾液腺癌に対するアンドロゲン受容体阻害薬Darolutamide (ODM-201) の第II相試験	瓜生 英興	国立研究開発法人国立がん研究センター 東病院 公立大学法人横浜市立大学	主任	300,000
切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 (NSCLC) または進展型小細胞肺癌 (ED-SCLC) 患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究 (J-TAIL-2)	武岡 宏明	中外製薬	主任	539,000
閉経後ホルモン受容体陽性切除不能および転移・再発乳癌に対するパルボシクリブ療法の観察研究	岩熊 伸高	一般社団法人 CSPOR-BC	主任	10,000
閉経後ホルモン受容体陽性切除不能および転移・再発乳癌に対するパルボシクリブ療法の観察研究	岩熊 伸高	一般社団法人 CSPOR-BC	主任	180,000
化学療法既治療の転移乳がんに対するアベマシクリブ療法の観察研究	岩熊 伸高	一般社団法人 CSPOR-BC	主任	30,000
多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究 PROMISE study	岡元 昌樹	名古屋大学	主任	30,000
中枢神経系への転移を有するEGFR遺伝子変異陽性の患者でオシメルチニブが無効となった患者に対して、白金製剤+ペメトレキセドと白金製剤+ペメトレキセド+オシメルチニブの比較試験 TORG1938・EPONA	岡元 昌樹	一般社団法人九州臨床研究支援センター	主任	110,000
骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対するラジウム-223治療の多施設共同前向き観察研究 (KYUCOG-1901)	吉川 正博	一般社団法人九州臨床研究支援センター	主任	55,000
乾癬患者のスクリーニングにおけるHTLV-1感染症の陽性率とHTLV-1抗体陽性が治療選択に与える影響を明らかにするための多施設共同観察ケンキュウ	原田 佳代	西日本炎症性皮膚疾患研究会	主任	173,250
切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 (NSCLC) または進展型小細胞肺癌 (ED-SCLC) 患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究 (J-TAIL-2) におけるバイオマーカー探索研究	武岡 宏明	EPクルーズ株式会社	主任	198,000
厚生労働行政推進調査事業費補助金 肝炎等克服政策研究事業『ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究』患者さんアンケート調査票の配布	中牟田 誠	長崎医療センター	主任	30,000
高度肥満症に対するスリーブ状胃切除術後のシンバイオティクス摂取が腸内フローラに及ぼす影響：二重盲検無作為化比較研究	楠本 哲也	(株) ヤクルト本社 (株) 総合医科学研究所	主任	198,000
CLECSTRO研究 (LM22-01臨床性能研究)	杉森 宏	LSIメディエンス	主任	1,920,000
pStage II 大腸癌に対するOSNA法によるリンパ節微小転移診断意義の検討	楠本 哲也	特定非営利活動法人臨床試験支援センター	主任	2,200
切除可能な遠隔転移を有する結腸・直腸癌患者を対象としたLUNAR-1の有用性を検討する医師主導治験 (治験実施計画書番号: COSMOS-CRC-03)	楠本 哲也	国立大学法人九州大学	主任	880,000
切除可能な遠隔転移を有する結腸・直腸癌患者を対象としたLUNAR-1の有用性を検討する医師主導治験 (治験実施計画書番号: COSMOS-CRC-03)	楠本 哲也	国立大学法人九州大学	主任	220,000

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
高齢発症関節リウマチ患者の関節破壊に関わる分子機序の解明	福士 純一	アッヴィ合同会社	主任	1,100,000
根治切除不能な甲状腺未分化がんに対するニボルマブとレンパチニブ併用療法の第Ⅱ相試験（NAVIGATION試験）	田村 真吾	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 公立大学法人横浜市立大学	主任	300,000
代謝リプログラミング関連酵素によるHPV関連中咽頭癌治療層別化の検討	内 龍太郎	公益財団法人 臨床研究奨励基金	主任	500,000
糖タンパク発現による大腸癌の新規腫瘍マーカーの開発	蓮田 博文	公益財団法人 上原記念生命科学	主任	2,000,000

令和5年度NHOネットワーク共同臨床研究/EBM推進研究/本部主導臨床研究

NHOネットワーク共同臨床研究
グループリーダー

領域	グループ リーダー	役職
心脳大血管	杉森 宏	臨床研究推進部長
消化器疾患	原田 直彦	光学診療部長
消化器疾患	高見 裕子	臨床研究センター長
経営管理	福泉公仁隆	医療情報管理センター部長

研究代表者

研究代表者	採択番号	研究課題
吉川 博政	R3-NHO（他研）-01	DOAC服用患者における抜歯の安先性の確立に関する研究：ガイドライン確立のための多施設共同前向き研究

ネットワーク研究

研究責任者	採択番号	研究課題
岩崎 浩己	H28-NHO (血液) -02	成人初発未治療びまん性大細胞型B細胞リンパ腫におけるR-CHOP単独治療と放射線併用療法の治療成績、QOL、費用、費用対効果の多施設共同前向きコホート研究
岩崎 浩己	R3-NHO (血液) -01	レジストリーデータを利用したAYA世代DLBCLの臨床的・生物学的特性を明らかにする観察研究 (NHO-DLBCL-AYA研究)
岡元 昌樹	H31-NHO (癌呼) -02	根治照射不能な進行非小細胞肺癌患者における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子としての栄養/免疫学的指標の臨床的意義に関する前向き観察研究
楠本 哲也	H30-NHO (外科) -01	本邦における成人鼠径ヘルニア術後慢性疼痛の実態調査とリスク因子解析－多施設共同前向きコホート研究－
國府島庸之	H31-NHO (消化) -03	B型慢性肝炎に対する核酸アナログ長期投与例の課題克服および電子的臨床検査情報収集 (EDC) システムを用いた多施設大規模データベースの構築
國府島庸之	R2-NHO (消化) -01	原発性胆汁性胆管炎の新しい病型分類と装薬のための長期観察研究
國府島庸之	R3-NHO (消化) -03	薬物性肝障害および急性発症型自己免疫性肝炎を含む急性肝炎の発生状況および重症化、劇症化に関する因子に関する研究
國府島庸之	R5-NHO (消化) -01	脂肪性肝疾患患者の自然経過とイベント発生に関する前向き観察研究
高瀬 謙	H31-NHO (血液) -01	未治療濾胞性リンパ腫におけるObinutuzumabの治療成績、QOL、費用対効果、予後に関する多施設前向きコホート研究 (PEACE-FL)
高見 裕子	R3-NHO (消化) -01	膵癌における腹腔洗浄細胞診を補完する新規バイオマーカーの確立に関する研究
徳永 聡	H31-NHO (心脳) -03	脳主管動脈急性閉塞症例の搬送から急性期血栓回収療法開始までの時間短縮を目的とする研究
徳永 聡	R4-NHO (心脳) -01	急性期BAD型脳梗塞に対する抗血栓療法の種類と神経学的予後に関する前向き探索研究
中村 俊博	H27-NHO (循環) -02	心血管イベントを規定するバイオマーカー開発－血管新生関連因子と新規酸化LDL－
中村 俊博	H29-NHO (循環) -02	慢性心不全患者の新しい再入院リスク評価法の確立－新規バイオマーカーと心不全再入院イベントの関連－
中村 俊博	H27-NHO (循環) -03	冠動脈軽度から中等度狭窄の高リスクプラークを有する患者に対する適正な脂質管理目標値の有効性および安全性を検討する多施設共同非盲検ランダム化比較試験
中村 俊博	H30-NHO (循環) -03	簡便な新規心血管イベント予知マーカーによる効率的なハイリスク患者抽出方法の確立
藤原ありさ	H26-NH (成育) -01	母乳哺育によるGDM (妊娠糖尿病) 既往女性の産褥耐糖能異常の発症予防効果に関する研究
藤原ありさ	H29-NHO (成育) -03	日本人妊娠糖尿病既往女性の産褥5年の糖尿病発症の実態と発症関連リスク因子および予防的因子の解明
藤原ありさ	H31-NHO (小産) -02	人工知能を用いた分娩時大量出血症例における凝固障害の病態解明と新しい産科DICスコアの開発
溝口 忠孝	R3-NHO (心脳) -01	軽症虚血性脳卒中に対するrt-PA静注療法の実態調査と有効性および安全性に関する研究
溝口 昌弘	R2-NHO (心脳) -02	頭蓋内主幹脳動脈狭窄症の進行に関する血行力学的予測因子の探索研究 (R2-NHO (心脳) -02)
宮村 知也	H28-NHO (多共) -02	メトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患の病態解明のための多施設共同研究
宮村 知也	H31-NHO (免アレ) -03	関節リウマチに対する分子標的薬治療における免疫学的寛解のマーカーの探索
宮村 知也	H31-NHO (多共) -02	メトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患の遺伝子変異プロファイルの解析
山崎 宏司	R5-NHO (癌呼) -01	肺癌を対象としたDeep learningによる腸内細菌叢に着目した革新的癌免疫療法効果予測システムの確立
吉川 博政	R3-NHO (他研) -01	DOAC服用患者における抜菌の安全性の確立に関する研究：ガイドライン確立のための多施設共同前向き研究
吉川 博政	H31-NHO (他研) -01	薬剤関連顎骨壊死の発生率と転帰：原発性肺癌骨転移患者における多施設共同前向き観察研究
渡邊 哲博	H29-NHO (糖尿) -01	大規模糖尿病・肥満症コホートを生かした認知機能低下・認知症発症の予知因子の解明 (JOMS/J-DOS2)
渡邊 哲博	H28-NHO (糖尿) -02	わが国における日常診療での甲状腺機能異常症の早期診断・治療のための臨床指標の新規確立
渡邊 哲博	H30-NHO (糖尿) -03	2型糖尿病患者における全死亡および脳心血管病発症リスクとしてのサルコペニアの意義に関する研究

研究責任者	採択番号	研究課題
渡邊 哲博	R3-NHO (内腎) -01	2型糖尿病患者におけるサルコペニアと脳心血管病リスク重積の関連性およびその予知因子の解明 (S-ROAD2)
渡邊 哲博	R4-NHO (内腎) -01	糖尿病・肥満症における認知機能低下・コグニティブフレイルの実態とリスク因子解明—効果的な早期検出・予後予測法の確立へ— (JOMS/J-DOS3)
渡邊 哲博	R2-NHO (内腎) -01	免疫チェックポイント阻害薬による内分泌機能障害に関する検討
渡邊 哲博	H26-NHO (遺伝子) -03	日本人の肥満症の発症と治療効果・抵抗性に関連する遺伝素因の探索-オーダーメイド医療の確立
松下 悠紀	H28-NHO (成育) -03	胎児のホルモン異常と停留精巣発生リスクに関する研究
中牟田 誠	H28-NHO (肝) -02	C型肝炎ウイルス駆除後の肝発癌予測に関する研究
中牟田 誠	H29-NHO (肝) -01	日本人自己免疫性肝炎 (AIH) に関する分子疫学研究

EBM推進のための大規模臨床研究

①研究代表者

研究代表者	採択番号	研究課題
村里 嘉信	H29-EBM (観察) -02	わが国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究

②研究責任者

研究責任者	採択番号	研究課題
高濱宗一郎	H27-EBM (介入) -01	免疫抑制患者に対する13価蛋白結合型肺炎球菌ワクチンと23価莢膜多糖体肺炎球菌ワクチンの連続接種と23価莢膜多糖体肺炎球菌ワクチン単独接種の有効性の比較—二重盲検作為化比較試験—
山崎 宏司	H28-EBM	第三世代EGFR-TKIオシメルチニブ治療における血漿循環腫瘍DNAを用いた治療耐性関連遺伝子スクリーニングの前向き観察研究<Elucidator研究>

受託研究の概要

▼受託研究契約状況（治験および治験以外の受託研究）

医薬品	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
新規治験（製造販売後臨床試験を含む）					
新規治験第Ⅰ相（Ⅰ／Ⅱ相を含む）	0	1	0	1	1
新規治験第Ⅱ相（Ⅱ／Ⅲ相を含む）	5	8	16	5	1
新規治験第Ⅲ相	13	6	14	11	15
新規製造販売後臨床試験	0	0	0	0	1
拡大治験	0	0	0	0	1
再生医療	1	0	0	0	0
新規治験等の件数	19	15	30	17	19
継続治験					
継続治験第Ⅰ相	3	0	1	1	2
継続治験第Ⅱ相（Ⅱ／Ⅲ相を含む）	10	11	16	26	19
継続治験第Ⅲ相	51	51	40	46	34
継続製造販売後臨床試験	0	0	0	2	3
拡大治験	0	0	0	0	0
再生医療	1	2	2	1	0
継続治験等の件数	65	64	59	76	58
治験以外の受託研究（新規、継続含む）					
製造販売後調査件数	126	98	88	79	81
医療機器	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
新規治験（製造販売後臨床試験を含む）					
治験	1	0	0	0	1
製造販売後臨床試験	0	0	0	0	0
新規治験等の件数	1	0	0	0	1
継続治験					
治験（製造販売後臨床試験を含む）	0	1	1	1	0
製造販売後臨床試験	0	0	0	0	0
治験等の件数（医療機器）	1	1	1	0	0
治験以外の受託研究（新規、継続含む）					
製造販売後調査件数（医療機器）	9	7	5	2	3
合計件数	220	185	183	174	162

▼受託請求金額（当院及びNHO本部で受託した治験・製造販売後臨床試験・受託研究の金額）

受託請求金額	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
金額（千円）	244,805	266,114	247,082	270,285	289,286

▼治験等実施率

治験等実施率	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
実施率	90.0%	78.7%	75.0%	57.3%	60.2%

▼モニタリング等実施件数

モニタリング等実施件数	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
治験モニタリング	547	169	202	346	381
治験監査	3	0	0	0	1
GCP実施調査	0	0	0	0	0

令和5年度 治験・受託研究

治験

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	契約金額(円)
1	15C21	A PHASE III PROSPECTIVE DOUBLE BLIND PLACEBO CONTROLLED RANDOMIZED STUDY OF ADJUVANT MEDI4736 IN COMPLETELY RESECTED NON-SMALL CELL LUNG CANCER 非小細胞肺癌完全切除例に対するMEDI4736アジュバント療法のプロスペクティブ二重盲検プラセボ対照ランダム化第Ⅲ相比較試験	クリニベース(株)	8,514,979
2	18C01	関節リウマチ患者を対象にFilgotinibの安全性及び有効性を評価する、多施設共同、二重盲検、長期継続投与試験	ギリアド・サイエンシズ(株)	9,670,389
3	18C05	TKI抵抗性EGFR遺伝子変異陽性の転移性非小細胞肺癌（非扁平上皮癌）患者を対象としたベメトレキセド及びプラチナ製剤にMK-3475又はプラセボを併用投与する二重盲検、無作為化、第Ⅲ相試験（KEYNOTE-789）	MSD(株)	6,036,872
4	18C13	関節リウマチ患者を対象にFilgotinibの安全性及び有効性を評価する、多施設共同、二重盲検、長期継続投与試験	ギリアド・サイエンシズ(株)	9,609,425
5	18C16	大脳半球梗塞後の重度脳浮腫に対する静注用BIIB093（グリベンクラミド）の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照並行群間比較第Ⅲ相試験	バイオジェン・ジャパン(株)	21,509,349
6	19B05	赤血球輸血を必要としない日本人患者を対象に、IPSS-RでVERY LOW、LOW又はINTERMEDIATE リスクの骨髄異形成症候群（MDS）による貧血に対する治療として、LUSPATERCEPT（ACE-536）の有効性、薬物動態及び安全性を検討する、第2相多施設共同単群試験	ブリistol・マイヤーズスクイブ(株)	6,309,757
7	19C04	赤血球輸血を必要とする、ESAによる治療歴のない患者を対象に、IPSS-RでVERY LOW、LOW又はINTERMEDIATE リスクの骨髄異形成症候群（MDS）による貧血に対する治療として、LUSPATERCEPT（ACE-536）の有効性及び安全性をエポエチンアルファと比較する、第3相、オープンラベル、ランダム化試験	ブリistol・マイヤーズスクイブ(株)	5,967,199
8	19C07	外科的切除術又は局所焼灼療法後に画像評価により完全奏効を示した肝細胞癌患者を対象に術後補助療法としてのMK-3475の安全性及び有効性をプラセボと比較する二重盲検第Ⅲ相試験（KEYNOTE-937）	MSD(株)	28,152,956
9	19C08	局所肝細胞癌患者を対象として、デュルバルマブ単独療法又はデュルバルマブとベバシズマブの併用療法と、肝動脈化学塞栓療法（TACE）との併用を評価する第Ⅲ相無作為化二重盲検プラセボ対照多施設共同試験（EMERALD-1）	アストラゼネカ(株)	7,180,669
10	19C09	根治的肝切除術又は焼灼療法後の再発リスクが高い肝細胞癌患者を対象に、アジュバント療法としてのデュルバルマブ単独療法又はデュルバルマブとベバシズマブの併用療法を評価する第Ⅲ相無作為化二重盲検プラセボ対照多施設共同試験（EMERALD-2）	アストラゼネカ(株)	17,461,786
11	19C10	切除不能、局所進行再発性又は転移性食道扁平上皮がん患者を対象に、ファーストライン治療としてtislelizumab（BGB-A317）を化学療法と併用した場合の有効性及び安全性を評価する第3相無作為化プラセボ対照二重盲検試験	バレクセル・インターナショナル(株)	12,125,272
12	19C11	AJCC/UICC第8版ステージⅡ-ⅢA及びⅢB（最大腫瘍径5cm超、リンパ節転移N2）非小細胞肺癌（non-small cell lung cancer, NSCLC）の完全切除（R0）を受けた成人患者を対象に術後補助療法としてカナキマブの投与をプラセボと比較し有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照試験	ノバルティスファーマ(株)	5,751,829
13	19C13	転移性非扁平上皮非小細胞肺癌の未治療患者を対象としたベムプロリズマブ+ベメトレキセド+プラチナ製剤（カルボプラチン又はシスプラチン）併用投与後のベムプロリズマブ+オラパリブ維持療法とベムプロリズマブ+ベメトレキセド維持療法を比較する第Ⅲ相試験	MSD(株)	17,167,127
14	19C14	転移性扁平上皮非小細胞肺癌の未治療患者を対象としたベムプロリズマブ+カルボプラチン/タキサン（パクリタキセル又はnab-パクリタキセル）併用投与後のベムプロリズマブ+オラパリブ維持療法併用投与とベムプロリズマブ単独投与を比較する第Ⅲ相試験	MSD(株)	15,820,116
15	19C18	GENENTECH社及び/又はF. HOFFMANN LA ROCHE LTDが依頼したアテゾリズマブ試験に過去に登録された患者における非盲検、多施設共同、継続投与試験（IMBRELLA B）	中外製薬(株)	4,739,011
16	19C20	前治療歴がありCEACAM5陽性腫瘍を有する転移性非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象にSAR408701をドセタキセルと比較する、ランダム化、非盲検、第Ⅲ相試験	サノフィ(株)	12,826,598
17	20A13	再発及び難治性の多発性骨髄腫患者を対象としたCC-92480の単剤療法及びデキサメタゾンとの併用療法の安全性、薬物動態及び有効性を評価する第1/2相多施設共同オープンラベル試験	ブリistol・マイヤーズスクイブ(株)	13,907,040

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	契約金額(円)
18	20B06	活動期クローン病患者を対象としたE6011の早期第2相臨床試験	EAファーマ(株)	8,727,936
19	20B08	成人の全身性エリテマトーデス患者を対象としたLY3471851 (NKTR-358) の無作為化、二重盲検、プラセボ対照、第Ⅱ相試験	日本イーライリリー(株)	10,378,368
20	20B12	ONO-7702/ONO-7703 第Ⅱ相試験 BRAF V600 遺伝子変異を有する根治切除不能な甲状腺がんを対象としたONO-7702 とONO-7703 との併用療法の第Ⅱ相試験	小野薬品工業(株)	10,905,888
21	20C14	PD-L1陽性の再発又は転移性頭頸部扁平上皮癌 (R/M HNSCC) 患者を対象に1次治療としてペムプロリズマブ (MK-3475) とレンパチニブ (E7080/MK-7902) 併用療法の有効性及び安全性をペムプロリズマブ単独療法と比較する無作為化プラセボ対照二重盲検第Ⅲ相試験 (LEAP-010試験)	MSD(株)	11,938,080
22	20R04	アンドロゲン受容体陽性唾液腺癌に対するアンドロゲン受容体阻害薬Darolutamide (ODM-201) の第Ⅱ相試験	【医師主導治験】	-
23	20R07	4型進行胃癌に対する術後または術前補助化学療法としての全身・腹腔内併用化学療法と全身化学療法の無作為化比較第Ⅲ相試験	【医師主導治験】	-
24	21B07	中等度及び重度の全身性エリテマトーデス (SLE) の日本人被験者を対象にcenerimodの安全性及び薬力学を検討する無作為化二重盲検並行群間多施設共同第2相試験	イドルシアファーマシューティカルズジャパン(株)	3,839,808
25	21B09	進行性フェノタイプを示す慢性線維化性間質性肺疾患患者を対象としたTAS-115第2相用量反応臨床試験	大鵬薬品工業(株)	24,802,176
26	21B10	A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Study to Evaluate the Safety and Efficacy of ABBV-154 in Subjects with Moderately to Severely Active Rheumatoid Arthritis with Inadequate Response to Biologic and/or Targeted Synthetic Disease-Modifying Anti-Rheumatic Drugs (b/tsDMARDs) 既存の生物学的製剤及び / 又は分子標的型合成抗リウマチ薬 (b/tsDMARD) で効果不十分な中等症から重症の活動性関節リウマチ患者におけるABBV-154の安全性及び有効性を評価する無作為化二重盲検プラセボ対照試験	アッヴィ合同会社	14,077,056
27	21B14	活動性全身性エリテマトーデス成人患者を対象としたnipocalimabの多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間試験	ヤンセンファーマ(株)	4,699,200
28	21B19	A 54-Week, Multicenter, Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Parallel-group Phase 2 Study to Assess the Efficacy and Safety of Brazikumab in Participants with Moderately to Severely Active Ulcerative Colitis (Expedition Lead-in) 中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象に、brazikumabの有効性及び安全性を評価する54週間多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較第2相試験 (Expedition Lead-in)	アストラゼネカ(株)	7,329,200
29	21B21	閉塞性動脈硬化症に伴う間歇性跛行患者を対象としたNS-304のプラセボ対照二重盲検比較試験 (後期第Ⅱ相)	日本新薬(株)	7,901,968
30	21B23	A Phase 2 Open-label, Long-term Extension Safety Study of Brazikumab in Participants with Moderately to Severely Active Ulcerative Colitis (EXPEDITION OLE) 中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象に、brazikumab の長期安全性を評価する非盲検継続投与第2相試験 (EXPEDITION OLE)	アストラゼネカ(株)	2,829,600
31	21B30	日本人急性骨髄性白血病患者を対象とした完全寛解達成後の維持療法としての経口用アザシチジンと最良支持療法との併用療法の有効性及び安全性を最良支持療法と比較する第2相ランダム化二重盲検プラセボ対照試験	ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)	13,819,680
32	21C08	再発又は難治性の多発性骨髄腫 (RRMM) 患者を対象にiberdomide、ダラツムマブ及びデキサメタゾン (IberDd) とダラツムマブ、ボルテゾミブ、及びデキサメタゾン (DVd) を比較する第3相、ランダム化、多施設共同、オープンラベル試験 (EXCALIBER-RRMM)	ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)	14,406,336
33	21C17	未治療の転移性扁平上皮又は非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象としたプラチナ製剤併用療法において、ペムプロリズマブの皮下投与と静脈内投与の薬物動態及び安全性を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験	MSD(株)	20,183,688
34	21C20	非生物学的製剤によるループス標準治療を受けている活動性の全身性エリテマトーデス成人患者を対象としたBIIB059の有効性及び安全性を評価する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、第Ⅲ相臨床試験	バイオジェン・ジャパン(株)	5,270,400
35	21C22	MK-3475の治験で治療中又はフォローアップ中の進行悪性腫瘍患者を対象に、長期の安全性及び有効性を評価する多施設共同非盲検第Ⅲ相継続試験	MSD(株)	1,282,176
36	21C24	特発性肺線維症患者におけるPRM-151の有効性及び安全性を評価するための第Ⅲ相無作為化二重盲検プラセボ対照比較試験	ラボコープ・ディベロップメント・ジャパン(株)	24,200,064

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	契約金額(円)
37	21C25	A Phase III, Multicenter, Open-Label, Randomized Study to Evaluate the Efficacy and Safety of Belantamab Mafodotin in Combination with Pomalidomide and Dexamethasone (B-Pd) versus Pomalidomide plus Bortezomib and Dexamethasone (PvD) in Participants with Relapsed/Refractory Multiple Myeloma (DREAMM 8) 再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象としてbelantamab mafodotinとポマリドミド及びデキサメタゾンとの併用療法 (B-Pd) の有効性及び安全性を、ポマリドミドとボルテゾミブ及びデキサメタゾンとの併用療法 (PvD) と比較検討する多施設共同非盲検無作為化第Ⅲ相試験 (DREAMM 8)	IQVIA サービシーズ ジャパン(株) (治験国内管理人)	20,516,832
38	21C26	A Phase 3, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Efficacy and Safety Study of Pamrevlumab in Subjects with Idiopathic Pulmonary Fibrosis (IPF)/特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象としたpamrevlumabの有効性及び安全性を評価する第3相無作為化二重盲検プラセボ対照試験	シミック(株)	10,086,720
39	21C27	A Phase 3 Open-Label, Randomized, Controlled, Global Study of Telisotuzumab Vedotin (ABBV-399) Versus Docetaxel in Subjects with Previously Treated c-Met Overexpressing, EGFR Wildtype, Locally Advanced/Metastatic Non-Squamous Non-Small Cell Lung Cancer 治療歴を有するc-Met過剰発現、EGFR野生型、局所進行性/転移性非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象として、Telisotuzumab Vedotin (ABBV-399) とドセタキセルを比較する第Ⅲ相、非盲検、無作為化、比較対照、国際共同試験	アッヴィ合同 会社	13,251,168
40	21C28	DREAMM7: A Multicenter, Open-Label, Randomized Phase III Study to Evaluate the Efficacy and Safety of the Combination of Belantamab Mafodotin, Bortezomib, and Dexamethasone (B-Vd) Compared with the Combination of Daratumumab, Bortezomib and Dexamethasone (D-Vd) in Participants with Relapsed/Refractory Multiple Myeloma DREAMM7: 再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象としてbelantamab mafodotin、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン併用療法 (B-Vd) の有効性及び安全性をダラツムマブ、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン併用療法 (D-Vd) と比較検討する多施設共同非盲検無作為化第Ⅲ相試験	グラクソ・ス ミスクライン (株)	10,632,384
41	21R29	切除不能進行・再発小腸癌患者に対するベバシズマブ併用FOLFOX療法の第Ⅱ相多施設共同盲検ランダム化比較試験	【医師主導治験】	-
42	22C01	A Multicenter Randomized Double-Blind Placebo-Controlled Phase 3 Study to Evaluate the Efficacy and Safety of Anifrolumab in Adult Patients with Active Proliferative Lupus Nephritis 活動性を示す増殖性ループス腎炎を有する成人患者を対象にアニフロムマブ投与の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験	アストラゼネ カ(株)	8,217,888
43	22C02	動脈硬化性心血管系疾患、慢性腎臓病、および全身性炎症を有する患者を対象とした心血管系アウトカムに関するziltivekimabとプラセボの比較試験	ノボノルディ スクファーマ (株)	10,848,000
44	22A03	全身性エリテマトーデス患者を対象としたE6742の安全性、忍容性及び薬物動態を評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、用量漸増反復投与試験	エーザイ(株)	11,520
45	22C04	転移性非小細胞肺癌患者を対象に、MK-7684とMK-3475の配合剤 (MK-7684A) と化学療法との併用療法をMK-3475+化学療法と比較する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験	MSD(株)	27,767,040
46	22C05	進展型小細胞肺癌の未治療患者を対象に、MK-7684A とエトポシド及びプラチナ製剤併用投与後のMK-7684A 投与を、アテゾリズマブとエトポシド及びプラチナ製剤併用投与後のアテゾリズマブ投与と比較する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験 (KEYVIBE-008)	MSD(株)	23,068,080
47	22C06	A Phase III, Randomized, Open-Label, Sponsor-Blinded, Multicenter Study of Durvalumab in Combination with Tremelimumab ± Lenvatinib Given Concurrently with Transarterial Chemoembolization (TACE) Compared to TACE Alone in Patients with Locoregional Hepatocellular Carcinoma (EMERALD-3) 局所肝細胞癌患者を対象として、肝動脈化学塞栓療法 (TACE) 及びデュルバルマブとトレメリムマブ±レンバチニブの併用療法を、TACE 単独療法との比較により評価する第Ⅲ相ランダム化非盲検治験依頼者盲検多施設共同試験 (EMERALD-3)	アストラゼネ カ(株)	11,341,008
48	22C07	A phase 3, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled trial comparing the efficacy and safety of tafasitamab plus lenalidomide in addition to R-CHOP versus RCHOP in previously untreated, high-intermediate and high-risk patients with newly-diagnosed diffuse large B-cell lymphoma (DLBCL) [frontMIND]/ 高中間リスク及び高リスクの未治療びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 (DLBCL) と新たに診断された患者を対象に、tafasitamab+レナリドミド+R-CHOP併用療法及びRCHOP療法の有効性及び安全性を比較する第3相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験 [frontMIND]	インサイト・ バイオサイ エンジズ・ ジャパン(株)	28,534,464
49	22R08	副腎皮質ステロイドに抵抗性の成人発症スチル病 (AOSD) 患者に対する5-アミノレプリン酸塩酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム (5-ALA-HCl/SFC) の第Ⅱ相医師主導、ランダム化二重盲検並行群間比較試験	【医師主導治験】	-
50	22C09	特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象としたPRM-151の長期投与時の安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相非盲検延長試験	ラボコープ・ ディベロッ PMENT・ジャ パン(株)	6,799,968

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	契約金額 (円)
51	22C10	NAS-L3Kの未治療前立腺癌患者を対象とした薬力学的同等性試験	ニプロ(株)	4,380,400
52	22R11	成人発症スチル病 (AOSD) に対する5-アミノレプリン酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム (5-ALA HCL/SFC) 投与の医師主導、継続投与試験	【医師主導治験】	-
53	22C12	治験実施計画書の標題：活動性の全身性エリテマトーデス成人患者を対象としたBIIB059の継続的な安全性及び有効性を評価する多施設共同、無作為化、用量盲検、第Ⅲ相長期継続臨床試験	エイツヘルスケア(株)	2,363,600
54	22C14	A double blind, randomized, placebo-controlled trial evaluating the efficacy and safety of BI 1015550 over at least 52 weeks in patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis (IPF) 特異性肺線維症 (IPF) 患者を対象に、BI 1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験	ベーリンガーインゲルハイム(株)	64,063,440
55	22C15	A double blind, randomized, placebo-controlled trial evaluating the efficacy and safety of BI 1015550 over at least 52 weeks in patients with Progressive Fibrosing Interstitial Lung Diseases (PF-ILDs) 進行性線維化を伴う間質性肺疾患 (PF-ILD) 患者を対象に、BI 1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験	ベーリンガーインゲルハイム(株)	16,165,800
56	22B16	A Phase II b/III Randomized, Double-blind, Placebo-controlled Study to Evaluate the Safety and Efficacy of Cotadutide in Participants with Non-cirrhotic Non-alcoholic Steatohepatitis with Fibrosis 線維化を伴う非肝硬変非アルコール性脂肪肝炎の患者を対象にcotadutideの安全性及び有効性を評価する第II b/III相ランダム化二重盲検プラセボ対照試験	アストラゼネカ(株)	9,840,000
57	22B17	活動性を有する特異性炎症性筋疾患患者を対象としてnipocalimabの有効性及び安全性を評価する多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較第2相試験	ヤンセンファーマ(株)	9,421,776
58	22B18	リスク対立遺伝子PNPLA3 rs738409 148M を保有する、線維化を伴う非肝硬変非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) の患者を対象にAZD2693 の有効性、安全性、及び忍容性を評価するランダム化二重盲検プラセボ対照多施設共同第II b相試験	アストラゼネカ(株)	3,187,200
59	23C01	急性非心原塞栓性虚血性脳卒中又は高リスクTIA (一過性脳虚血発作) 発症後の18歳以上の男性又は女性を対象に経口FXIIa阻害薬asundexian (BAY 2433334) の虚血性脳卒中発症抑制効果を検討する多施設共同、国際共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間比較、イベント主導型第Ⅲ相試験	バイエル薬品(株)	39,461,856
60	23C04	急性期虚血性脳卒中又は高リスク一過性脳虚血発作後の脳卒中の再発抑制を目的とした経口第XIa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性を評価する第3相、ランダム化、二重盲検、並行群間、プラセボ対照試験	ヤンセンファーマ(株)	9,772,800
61	23C05	未治療の転移性非小細胞肺癌患者を対象に化学療法との併用療法においてベムプロリズマブとヒアルロンダーゼの配合剤 (MK-3475A) の皮下投与とベムプロリズマブの静脈内投与の薬物動態及び安全性を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験	MSD(株)	12,276,432
62	23C06	PD-L1陽性 [Tumor Proportion Score (TPS) ≥50%] の転移性非小細胞肺癌患者を対象に、1次治療としてベムプロリズマブ (MK-3475) +sacituzumab govitecanの併用療法をMK-3475単独療法と比較する非盲検多施設共同無作為化実薬対照第Ⅲ相試験 (KEYNOTE D46/EVOKE-03)	MSD(株)	10,462,032
63	23C07	中等度から重度の全身性エリテマトーデス (systemic lupus erythematosus : SLE) の成人被験者を対象としてバックグラウンド治療に追加投与したcenerimodの有効性、安全性及び忍容性を評価する第3相、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間試験 A Phase 3, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled, parallel-group study to evaluate the efficacy, safety, and tolerability of cenerimod in adult subjects with moderate-to-severe systemic lupus erythematosus (SLE) on top of background therapy	イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社	3,370,400
64	23C08	全身性エリテマトーデス患者を対象とした、オビヌズマブの多施設共同、プラセボ対照、ランダム化、二重盲検第Ⅲ相臨床試験	中外製薬(株)	17,711,904
65	23C09	中枢神経系 (CNS) 病変を有する又は疑われる成人患者を対象にMRI 検査におけるgadoquatrane 0.04mmol Gd/kg の有効性及び安全性について既承認の環状型ガドリニウム系造影剤 (mGBCA) 0.1mmol Gd/kgを対照に検討する多施設共同、無作為化、前向き、クロスオーバー、第Ⅲ相、二重盲検試験	バイエル薬品(株)	4,256,280
66	23R02	切除可能な遠隔転移を有する結腸・直腸癌患者を対象としたLUNAR-1の有用性を検討する医師主導治験	【医師主導治験】	-
67	23R03	根治切除不能な甲状腺未分化がんに対する ニボルマブとレンパチニブ併用療法の第II相試験	【医師主導治験】	-
68	23-10D	切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌患者を対象としたセツキシマブ サロタロカンナトリウム (遺伝子組換え) を用いた光免疫療法の5回以上治療における非対照、非盲検、多施設共同の安全性確認試験	楽天メディカル(株)	3,614,688
69	23-11C	発症後間もない急性冠症候群患者を対象に経口第XIa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性を評価する第3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、event-driven試験	ヤンセンファーマ(株)	35,941,248

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	契約金額(円)
70	23-12C	A Multicenter, Parallel-group, Double-blind, 2-Arm, Phase III Study to Investigate the Efficacy and Safety of Anifrolumab Administered as Subcutaneous Injection and Added to Standard of Care Compared with Placebo Added to Standard of Care in Adult Participants with Idiopathic Inflammatory Myopathies (Polymyositis and Dermatomyositis) 特発性炎症性筋疾患(多発性筋炎及び皮膚筋炎)の成人被験者を対象に標準治療に上乗せしてアニ フロルマブを皮下投与したときの有効性及び安全性をプラセボと比較検討する第Ⅲ相、多施設共同、並行群間、二重盲検、2群試験	アストラゼネカ(株)	3,187,200
71	23-13C	心房細動を有する参加者を対象とした経口第XIa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性をアピキサバンを対照に評価する第3相、ランダム化、二重盲検、ダブルダミー、並行群間、実薬対照試験	ヤンセンファーマ(株)	53,548,320
72	23-14W	BRAF V600遺伝子変異を有する根治切除不能な甲状腺がんを対象としたONO-7702とONO-7703との併用療法の拡大試験	小野薬品工業(株)	7,216,608
73	23-15C	特発性肺線維症患者を対象としたBMS-986278の有効性、安全性及び忍容性を検討する多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照第3相試験	ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)	70,610,400
74	23-16C	進行性肺線維症患者を対象としたBMS-986278の有効性、安全性及び忍容性を検討する多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照第3相試験	ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)	37,800,000
75	23-17C	再発又は難治性の多発性骨髄腫(RRMM)患者を対象にMezigdomide(CC-92480)、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン(MeziVd)とボマリドミド、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン(PVd)を比較する第3相、2ステージ、ランダム化、多施設共同、オープンラベル試験:SUCCESSOR-1	ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)	7,061,040
76	23-18C	非アルコール性脂肪肝炎(NASH)を対象とした治療アプリCA-NASHの有効性及び安全性を評価する無作為化非盲検並行群間比較試験(第Ⅲ相試験)	株式会社 CureApp	3,598,560
77	23-19C	Expanded Access Study for the Treatment of Patients with Commercially Out-of-Specification Axicabtagene Ciloleucef 製品規格外Axicabtagene Ciloleucefを用いた患者治療のための拡大アクセス試験(EAP)	Kite Pharma, Inc. ICONクリニカルリサーチ合同会社	2,555,291
78	23-20A	再発又は難治性のT細胞リンパ腫患者を対象としたBMS-986369の安全性、忍容性、薬物動態及び有効性を検討する国内第1/2相試験	ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)	16,803,360

受託研究

No	整理番号	研究課題名	会社名
1	15F05	ネスブ注射液プラシリンジ特定使用成績調査 「骨髓異形成症候群に伴う貧血における調査」	協和キリン株式会社
2	15F31	カプレルサ錠100mg 特定使用成績調査	シミック株式会社
3	16E35	アイノフロー吸入用 800ppm 使用成績調査	マリクロットファーマ株式会社
4	16F51	オプジーボ特定使用成績調査〔再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫〕 (血液内科)	小野薬品工業株式会社
5	17H24	非弁膜症性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究 (ANAFIE Registry)	第一三共株式会社
6	17E46	テムセルHS注 使用成績調査(全例調査)	JCRファーマ株式会社
7	18F13	トラクリア錠62.5mg 特定使用成績調査(全身性強皮症における手指潰瘍の発症抑制・長期使用)	ヤンセンファーマ株式会社
8	18F26	トレムフィアの乾癬に対する長期使用に関する特定使用成績調査	ヤンセンファーマ株式会社
9	18F29	ガザイバ点滴静注1000mg特定使用成績調査 CD20陽性濾胞性リンパ腫	日本新薬株式会社
10	19F11	ストレンジック®皮下注 長期の特定使用成績調査	アレクシオンファーマ合同会社
11	19F16	ローブレナ錠特定使用成績調査	ファイザー株式会社
12	19F20	スマイラフ錠50mg、100mg 特定使用成績調査(整形外科・リウマチ科)	株式会社EPファーマライン
13	19F21	スマイラフ錠50mg、100mg 特定使用成績調査(膠原病内科)	株式会社EPファーマライン
14	19E24	デファイテリオ静注200mg 一般使用成績調査	日本新薬株式会社
15	19F25	アーリーダ錠60mg特定使用成績調査 遠隔転移を有しない去勢抵抗性前立腺癌患者に対する長期使用	ヤンセンファーマ株式会社
16	19F30	トレムフィアの掌蹠膿疱症に対する長期使用に関する特定使用成績調査	ヤンセンファーマ株式会社
17	19F31	ローブレナ錠特定使用成績調査	ファイザー株式会社
18	19E32	イブリーフ静注20mg 一般使用成績調査	イーピーエス株式会社
19	19H36	日本人の成人HIV-1感染症患者にビクトルピ配合錠を投与した場合の有効性、安全性、アドヒアランス(服薬指示を守ること)及び健康関連生活の質を検討する多施設共同、非介入、コホート研究	株式会社アイコン・ジャパン
20	20M01	銀含有HAコーティング脊椎ケージを使用した脊椎固定術の有効性及び安全性を評価する前向き多施設共同研究(Resitage study)	京セラ株式会社
21	20F02	リンヴォック®錠 特定使用成績調査(全例調査)	アッヴィ合同会社
22	20F04	エンハーツ点滴静注用100mg 特定使用成績調査 ー乳癌患者を対象とした間質性肺疾患の検討ー(腫瘍内科)	第一三共株式会社
23	20F05	エンハーツ点滴静注用100mg 特定使用成績調査 ー乳癌患者を対象とした間質性肺疾患の検討ー(乳腺外科)	第一三共株式会社
24	20F06	ベレキシブル®錠 特定使用成績調査	小野薬品工業株式会社
25	20F08	リンヴォック®錠 特定使用成績調査(全例調査)	アッヴィ合同会社
26	20F11	エンハーツ点滴静注用 100mg 特定使用成績調査 ー胃癌患者を対象とした間質性肺疾患の検討ー(腫瘍内科)	第一三共株式会社
27	20F12	ピンダケルカプセル特定使用成績調査ートランスサイレチン型心アミロイドーシス患者に対する調査ー	ファイザー株式会社
28	21F01	エンハーツ点滴静注用 100mg 特定使用成績調査 ー胃癌患者を対象とした間質性肺疾患の検討ー(消化管外科)	第一三共株式会社
29	21F02	エンハーツ点滴静注用 100mg 特定使用成績調査 ー胃癌患者を対象とした間質性肺疾患の検討ー(消化器内科)	第一三共株式会社
30	21F04	関節リウマチ患者を対象としたジセラカ錠特定使用成績調査(膠原病内科)	株式会社EPファーマライン
31	21F05	関節リウマチ患者を対象としたジセラカ錠特定使用成績調査(整形外科・リウマチ科)	株式会社EPファーマライン
32	21E08	ポライビー®点滴静注用30mg、同140mg 一般使用成績調査(全例調査) ー再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫ー	中外製薬株式会社
33	21F09	バリシチニブ(オルミエント®) 特定使用成績調査 アトピー性皮膚炎(AD)の日本人患者を対象としたバリシチニブの製造販売後調査	IQVIAサービシーズジャパン合同会社
34	21F10	エドルミズ®錠 特定使用成績調査(消化管外科)	小野薬品工業株式会社

	整理番号	研究課題名	治験依頼者
35	21F11	エドルミズ錠 特定使用成績調査 (腫瘍内科)	小野薬品工業株式会社
36	21F12	エドルミズ錠 特定使用成績調査 (呼吸器内科)	小野薬品工業株式会社
37	21F14	ベネクレクタ錠 特定使用成績調査 －急性骨髄性白血病を対象とした全例調査－	アヴィ合同会社
38	21F15	エドルミズ錠特定使用成績調査 (がん悪液質：非小細胞肺癌、胃癌、膵癌、大腸癌) (消化器内科)	小野薬品工業株式会社
39	21F16	レミトロ点滴静注用300 μ g 特定使用成績調査 －再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫及び皮膚T細胞性リンパ腫患者における安全性に関する調査 (全例調査)－	株式会社EPファーマライン
40	21F17	「ダラキューロ配合皮下注」に関する特定使用成績調査	ヤンセンファーマ株式会社
41	21F19	ピラフトビ・メクトビ特定使用成績調査 [がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌]	小野薬品工業株式会社
42	21F20	ロミプレート皮下注250錠調製用 特定使用成績調査 －既存治療で効果不十分な再生不良性貧血患者の長期使用に関する調査 (全例調査)－	協和キリン株式会社
43	21E22	ハイスタ錠10mg再発または難治性の成人T細胞白血病リンパ腫 (ATL) 患者における一般使用成績調査 (全例調査)	Meiji Seika ファルマ株式会社
44	21E23	ハイスタ錠10mg再発または難治性の末梢性T細胞リンパ腫 (PTCL) 患者における一般使用成績調査 (全例調査)	Meiji Seika ファルマ株式会社
45	21E24	パドセブ錠一般使用成績調査	IQVIAサービシーズジャパン合同会社
46	21F25	サフネロー点滴静注300mg特定使用成績調査 全身性エリテマトーデス患者を対象とした全例調査	アストラゼネカ株式会社
47	22F01	日本人RET融合遺伝子陽性NSCLC患者を対象としたセルベルカチニブ特定使用成績調査 (全例調査)	IQVIAサービシーズジャパン合同会社
48	22E02	パキロビッドパック 一般使用成績調査	イーピーエス株式会社
49	22E03	カボメティクス錠 一般使用成績調査「腎細胞癌」	イーピーエス株式会社
50	22F05	マスーレッド錠長期特定使用成績調査	シミック株式会社
51	22E06	アキシャルックス点滴静注250mg一般使用成績調査 (全例調査) 一切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌	楽天メディカル株式会社
52	22E07	オブジーボ 一般使用成績調査 原発不明癌	小野薬品工業株式会社
53	22F08	オフエブ錠カプセル特定使用成績調査 (長期投与) (全身性强皮症に伴う間質性肺疾患)	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
54	22E11	アルンブリグ錠一般使用成績調査 「非小細胞肺癌」	イーピーエス株式会社
55	22E12	ヘムライブラ錠皮下注一般使用成績調査 －後天性血友病A患者における出血傾向の抑制－	中外製薬株式会社
56	22F13	ベオビュ硝子体内注射用キット 120mg/mL 特定使用成績調査 (DME、CRTH258B1401)	ノバルティスファーマ株式会社
57	22F14	ピヴラツ点滴静注液150mg特定使用成績調査 (長期観察)	イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社
58	22F15	ピヴラツ点滴静注液150mg特定使用成績調査 (長期観察)	イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社
59	22E16	オンデキサ静注用200mg 一般使用成績調査	アストラゼネカ株式会社
60	22E18	エザルミア錠一般使用成績調査	第一三共株式会社
61	22F19	日本人RET融合遺伝子陽性甲状腺癌又はRET遺伝子変異陽性MTC患者を対象としたセルベルカチニブ特定使用成績調査 (全例調査)	IQVIAサービシーズジャパン合同会社
62	22E20	リムバーザ錠100mg、150mg BRCA 遺伝子変異陽性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌患者における術後薬物療法を対象とした一般使用成績調査	アストラゼネカ株式会社
63	23F01	カボメティクス錠 特定使用成績調査 「肝細胞癌」	イーピーエス株式会社
64	23F02	カボメティクス錠 特定使用成績調査 「肝細胞癌」	イーピーエス株式会社
65	23E03	ジェセリ錠40mg一般使用成績調査 (全例調査)	大鵬薬品工業株式会社
66	23E04	ジェセリ錠40mg一般使用成績調査 (全例調査)	大鵬薬品工業株式会社
67	23E05	ベリキューボ錠使用成績比較調査 (慢性心不全)	シミック株式会社

	整理番号	研究課題名	治験依頼者
68	23G06	「ブラリア皮下注60mgシリンジ」に関する副作用・感染症詳細調査	第一三共株式会社
69	23F07	潰瘍性大腸炎患者を対象としたジセレカ錠特定使用成績調査	株式会社EPファーマライン
70	23F08	イジウド点滴静注25mg・300mg イミフィンジ点滴静注120mg・500mg 切除不能な肝細胞癌患者を対象とした特定使用成績調査（全例調査）	アストラゼネカ株式会社
71	23G09	ガザイバ点滴静注1000mg副作用症例報告	日本新薬株式会社
72	23G10	「ランマーク皮下注120mg」に関する副作用・感染症詳細調査	第一三共株式会社
73	23G11	オブジーボ/ヤーボイ 副作用・感染症詳細調査	小野薬品工業株式会社
74	23M12	腹部ステントグラフトシステム（AFX及びAlto）の使用感に関する委託調査	日本ライフライン株式会社
75	23F13	イジウド点滴静注25mg・300mg イミフィンジ点滴静注120mg・500mg 切除不能な肝細胞癌患者を対象とした特定使用成績調査（全例調査）	アストラゼネカ株式会社
76	23F14	ナノゾラ®皮下注30mgシリンジ特定使用成績調査	株式会社ファルフィールド
77	23E15	サムタス一般使用成績調査（心性浮腫）	大塚製薬株式会社
78	23F16	エジャイモ点滴静注1.1g 特定使用成績調査＜寒冷凝集素症患者＞	サノフィ株式会社
79	23G17	テセントリク®点滴静注による有害事象詳細調査	中外製薬株式会社
80	23E18	エプキンリ®皮下注 再発又は難治性の大細胞型B細胞性リンパ腫及び再発又は難治性の濾胞性リンパ腫 一般使用成績調査（全例調査）	IQVIAサービシーズジャパン合同会社
81	23F19	エンハーツ点滴静注用 特定使用成績調査 －肺癌患者を対象とした間質性肺疾患の検討－（呼吸器内科）	第一三共株式会社
82	23F20	タバリス錠®100mg・150mg 長期使用に関する特定使用成績調査	キッセイ薬品工業株式会社
83	23F21	エムバベリ皮下注1080mg特定使用成績調査 （発作性夜間ヘモグロビン尿症患者を対象とした全例調査）	旭化成ファーマ株式会社
84	23H22	非アルコール性脂肪肝炎（NASH）を対象とした治療アプリCA-NASHの有効性及び安全性を評価する無作為化非盲検並行群間比較試験（第Ⅲ相試験）	エイターヘルスケア株式会社

臨床研究セミナー・臨床研究発表会開催一覧

開催日	タイトル	所属	発表者
令和5年 5月17日	研究費獲得サポート勉強会 臨床研究センターの新展開～エクソソームと質量分析～ 研究費の種類とその獲得方法	消化器内科 LSIメディエンス	中牟田 誠 田辺 和弘
令和6年 6月25日	令和5年度臨床研究発表会 最優秀学術賞 間質性肺炎の予後と治療反応性を予測するバイオマーカー；ペリオスチンの研究 優秀学術賞 関節リウマチ患者の周術期におけるJAK阻害薬休業期間の提案 学術賞 我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究(LM-JANHO) Cohort Study of Left Main Coronary Intervention in Japanese National Hospital Organization Group 3cm以下単発の肝細胞癌におけるvp予測スコアと治療成績の検討 70歳以下患者に対する腹部ステントグラフト内挿術の有用性の検討 当院の肝臓専門医と臨床検査技師による未診断C型肝炎患者拾い上げの新たな取り組み	呼吸器内科 整形外科・リウマチ科 循環器内科 肝胆膵外科 血管外科 臨床検査部	岡元 昌樹 戸次 大史 村里 嘉信 龍 知記 小野原俊博 伊藤 葉子

CPC開催一覧

回数	症 例	診療科	開催日
223	抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎に合併した間質性肺疾患	呼吸器内科	2023.06.12
224	コロナウイルス排泄遅延を伴い、呼吸不全に至ったB細胞性リンパ腫の一例	感染症内科	2023.11.28
225	肺腫瘍血栓性微小血管症(PTTM)により、急激に死の転帰をたどった原発不明癌の一例	腫瘍内科	2023.12.11
226	急激な経過を辿った間質性肺炎急性増悪の一例	呼吸器内科	2024.02.27
227	急性リンパ性白血病に対する化学療法中に肺高血圧を伴う急性呼吸不全をきたした一例	血液内科	2024.02.28

研究課題一覧

倫理審査

診療科	氏 名	課 題 名
AIDS/HIV 総合治療センター	南 留美	HIV感染症の医療体制の整備に関する研究 九州ブロックのHIV医療体制整備
AIDS/HIV 総合治療センター	南 留美	MSM(ゲイ・バイセクシュアル男性)に対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入に関する研究～福岡県CBO主導のセクシュアルヘルス向上のための普及啓発の開発と効果評価
AIDS/HIV 総合治療センター	南 留美	血友病患者のQOLに関するアンケート調査
AIDS/HIV 総合治療センター	南 留美	HIV陽性者の新型コロナウイルスワクチンに対する免疫応答の解析
AIDS/HIV 総合治療センター	南 留美	国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究
AIDS/HIV 総合治療センター	南 留美	日本人の成人HIV-1感染症患者にビクテグラビル/エムトリシタピン/テノホビルアラフェナミド(B/F/TAF)を投与した場合の有効性、安全性、アドヒアランス及び健康関連生活の質を検討する多施設共同、非介入、コホート研究
AIDS/HIV 総合治療センター	南 留美	HIV感染者におけるNon communicable diseasesの実態調査
AIDS/HIV 総合治療センター	南 留美	抗HIV剤による脂質代謝異常に関連する因子の同定についての研究
AIDS/HIV 総合治療センター	南 留美	非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者に合併する腫瘍への包括的対策に関する研究
AIDS/HIV 総合治療センター	南 留美	HIV感染に伴う認知機能障害(HAND)早期診断の為にスクリーニング検査の開発
感染症内科	長崎 洋司	新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいたCOVID-19ワクチンの開発と評価系の構築

診療科	氏名	課題名
肝胆膵外科	和田 幸之	実臨床における進行肝細胞癌に対する全身化学療法レンバチニブ治療例における効果と安全性の検討
肝胆膵外科	和田 幸之	大腸癌肝転移に対するマイクロ波凝固壊死療法の有効性の検討
肝胆膵外科	高見 裕子	リアルワールドデータを用いた切除不能進行肝細胞癌に対する薬物療法に関する多施設共同後向き研究
がん登録センター	高見 裕子	がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究
がん診療統括部	高見 裕子	がん対策進捗管理のための患者体験調査
救命救急部	野田英一郎	日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究
救命救急部	野田英一郎	熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査
血液内科	岩崎 浩己	血液・造血器疾患における疾患登録疫学研究
血液内科	岩崎 浩己	成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコール-ALL/MRD2014- 成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコール-ALL/MRD2014-付随研究 症例特異的PCR検査およびキメラ遺伝子検査によるMRD測定
血液内科	岩崎 浩己	初発時よりダサチニブが投与され分子遺伝学的完全寛解を2年間以上維持した慢性期の成人慢性骨髄性白血病症例に対する薬剤中止試験 (D-STOP216試験)
血液内科	岩崎 浩己	初発時よりニロチニブが投与され分子遺伝学的完全寛解を2年間以上維持した慢性期の成人慢性骨髄性白血病症例に対する薬剤中止試験 (N-STOP216試験)
血液内科	岩崎 浩己	日本における骨髄腫関連疾患の予後に関する大規模多施設前向き観察研究
血液内科	岩崎 浩己	未治療高齢者多発性骨髄腫における治療法と予後の検討 (FBMTG EMM13 付随研究)
血液内科	岩崎 浩己	高齢者古典的ホジキンリンパ腫の臨床病理学的特徴と治療に関する多施設共同後方視的観察研究: HORIZON study (Hodgkin lymphoma: Retrospectively analyzed outcomes in elderly patients)
血液内科	高瀬 謙	「アグレッシブATL前向きコホート研究」多施設共同前方視的観察研究 「アグレッシブATL前向きコホート研究」多施設共同前方視的観察研究付随研究/検体バンキング
血液内科	高瀬 謙	JALSG参加施設において新規に発症した全AML、全MDS、全CMML症例に対して施行された治療法と患者側因子が5年生存率に及ぼす影響を検討する観察研究 (前向き臨床観察研究) JALSG_CS17
血液内科	高瀬 謙	JCOG-バイオバンク・ジャパン連携バイオバンク実施計画書
血液内科	高瀬 謙	日本における骨髄増殖性腫瘍の予後に関する大規模多施設前向き観察研究 (JSH MPN-15)
血液内科	高瀬 謙	未治療低腫瘍量進行期濾胞性リンパ腫における予後を予測するバイオマーカーの探索的研究 (JCOG1411A1)
血液内科	高瀬 謙	JCOG1411: 未治療低腫瘍量進行期濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ療法早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験
血管外科	小野原俊博	腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術 (EVAR) における内腸骨動脈塞栓術が術後二次性サルコペニアに与える影響に関する検討
血管外科	小野原俊博	腹部大動脈瘤手術の術後遠隔期成績の検討
血管外科	小野原俊博	包括的高度慢性下肢虚血 (CLTI) 患者における認知症の下肢切断予後への影響についての研究
血管外科	小野原俊博	包括的慢性下肢虚血患者における肝機能が予後に与える影響についての研究
膠原病内科	宮村 知也	患者立脚型評価による関節リウマチ治療成績の検討 - 多施設共同前向き観察研究 -
膠原病内科	宮村 知也	全身性強皮症患者由来のトポソメラーゼI特異的1型制御性T細胞の誘導及び抑制性機能解析
膠原病内科	宮村 知也	日本における関節リウマチ患者の現状と問題点を全国的に継続的に明らかにするための共同臨床研究
呼吸器外科	上妻 由佳	胸腺上皮性腫瘍における新規治療ターゲットの同定
呼吸器外科	山崎 宏司	治療前腸内細菌叢による肺癌免疫療法効果予測システム確立のための前向き観察研究
呼吸器外科	山崎 宏司	人工知能 (AI) による最適な肺癌の免疫療法効果予測モデルの確立
呼吸器外科	山崎 宏司	アジア人の非小細胞肺癌における個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究 (LC-SCRUM-Asia)
呼吸器外科	山崎 宏司	悪性胸膜中皮腫の前方視的データベース研究
呼吸器外科	山崎 宏司	胸部CTにて肺過誤腫または肺良性腫瘍を疑う結節影におけるChemical shift MRIの有用性の検討 (LOGIK 1701)
呼吸器外科	山崎 宏司	胸部腫瘍の臨床病理学的因子および予後の検討

診療科	氏名	課題名
呼吸器外科	山崎 宏司	進行・再発非小細胞肺癌症例を対象としたアテゾリズマブ投与による腸内細菌多様性・腸内細菌種と有効性・免疫関連有害事象との関連性に関する前向き観察研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺疾患における自己抗体の臨床的意義の解析
呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺疾患における進行性肺線維化の予測因子の解析
呼吸器内科	岡元 昌樹	早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析
呼吸器内科	武岡 宏明	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 (NSCLC) または進展型小細胞肺癌 (ED-SCLC) 患者に対するアテゾリズマブ併用療法多施設共同前向き観察研究 (J-TAIL-2) におけるバイオマーカー探索研究
産科	藤原ありさ	日本産科婦人科学会周産期委員会 周産期登録事業および登録情報に基づく研究
産婦人科	小川 伸二	日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会 婦人科悪性腫瘍登録事業及び登録情報に基づく研究
産婦人科	藤原ありさ	さい帯血採血
産婦人科	藤原ありさ	移植に使用できない“さい帯血”の研究使用について
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	「頭頸部がん患者の化学放射線療法に伴うQOLの変化 ー治療前・治療後3ヶ月の経過を通じてー」
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	頭頸部癌患者血漿 exosome mRNA 網羅的解析による ニボルマブの治療効果予測因子の同定
腫瘍内科	田村 真吾	悪性腫瘍の病態、治療抵抗性に関連する免疫担当細胞の解明
腫瘍内科	田村 真吾	高齢者頭頸部癌患者における治療効果・安全性と背景因子の関係を探索する多施設前向き観察研究
循環器内科	村里 嘉信	日本心血管インターベンション治療学会内登録データを用いた統合的解析 (2017-2019年度日本医療研究開発機構事業「冠動脈疾患に係る医療の適正化を目指した研究」の内容を包括)
循環器内科	村里 嘉信	複雑病変を有する冠動脈をゾタロリムス溶出ステントで治療した症例の複数施設による登録研究 (ARCADIA ZERO研究)
消化管外科	楠本 哲也	「StageⅢの治癒切除胃癌に対する術後補助化学療法としてのTS-1+Docetaxel併用療法とTS-1単独療法のランダム化比較第Ⅲ相試験 (JACCRO GC-07 (START-2))」におけるバイオマーカー研究 (JACCRO GC-07AR2)
消化管外科	楠本 哲也	RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ベバシマブの最大腫瘍縮小率 (DpR) を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験 (附随研究:「RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ベバシマブの最大腫瘍縮小率 (DpR) を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験」におけるバイオマーカー研究)
消化管外科	楠本 哲也	StageⅢ治癒切除胃癌症例におけるTS-1術後補助化学療法の予後予測因子および副作用発現の危険因子についての探索的研究 (JACCRO GC-07 AR)
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	腎機能障害患者における大腸癌補助化学療法の検証
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	大腸がんT1/T2, N (+) 症例における術後補助化学療法の有用性
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	大腸癌術後合併症と術後補助化学療法施行及び予後への影響
消化器内科	加来 豊馬	慢性膵炎による難治性疼痛に対する内科的インターベンション治療と外科治療の比較解析 ー多施設共同前向き実態調査ー
消化器内科	加来 豊馬	次世代シーケンサーを用いた膵炎関連候補遺伝子の全国的調査
消化器内科	加来 豊馬	治癒切除不能進行性消化器・膵神経内分泌腫瘍の血清クロモグラニンA・NSEに関する研究 PROP-UP Study II 附随
消化器内科	加来 豊馬	治癒切除不能進行性消化器・膵神経内分泌腫瘍の予後に関する後向き観察研究 PROP-UP Study I
消化器内科	加来 豊馬	切除非適応膵臓癌患者に合併する癌関連血栓症に対する多施設共同前向き観察研究
消化器内科	加来 豊馬	胆管狭窄に対する胆管金属ステント留置の現状と有効性の検討
消化器内科	國府島庸之	HCV抗体陽性者からの未診断C型肝炎患者拾い上げ状況の調査
消化器内科	國府島庸之	切除不能な肝細胞癌に対する分子標的薬の使用実態調査
消化器内科	中牟田 誠	「ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究」 ～肝臓病患者さんの病態と生活に関するアンケート調査～ より良い毎日のために
消化器内科	濱田 匠平	消化管粘膜下腫瘍に対する内視鏡的切除の有用性の検討
消化器内科	吉村 大輔	ヒト腸管炎症における免疫学的異常の解析

診療科	氏名	課題名
消化器内科	濱田 匠平	10mm 以下の十二指腸非乳頭部上皮性腫瘍に対するCold Snare Polypectomyの有効性および安全性に関する非ランダム化検証的試験
腎臓内科	中山 勝	わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築ならびに総合データベース構築に関する研究
腎臓内科	中山 勝	多施設共同慢性腎臓病データベース研究
腎臓内科	中山 勝	慢性腎臓病患者を対象とした心血管病と予後（腎予後・生命予後）についての検討
腎臓内科	中山 勝	福岡腹膜透析データベース研究
整形外科	小原 伸夫	患者レジストリによる脊椎インストゥルメンテーション手術患者の前向き登録調査の参加
整形外科・リウマチ科	福士 純一	患者立脚型評価による関節リウマチ治療成績の検討 ー多施設共同前向き観察研究ー
整形外科・リウマチ科	福士 純一	日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する研究
代謝内分泌内科	坂本 昌平	妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰および母児の長期予後に関する登録データベース構築による多施設前向き研究（Diabetes and Pregnancy Outcome for Mother and Baby Study）ー妊娠糖尿病・妊娠転帰（DREAMBee study[GDM-PO]）
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究（J-DOIT3）
脳血管・神経内科	岡田 靖	若年性脳卒中の発症要因ならびに長期予後に関する研究
脳血管・神経内科	岡田 靖	新規物質Xを含む新規脳梗塞バイオマーカーの有用性に関する研究
脳血管・神経内科	岡田 靖	睡眠中発症もしくは発症時刻不明脳梗塞に対するアルテプラゼ静注血栓溶解療法の個別データ統合解析（EOS）
脳血管・神経内科	岡田 靖	脳卒中研究者新ネットワークを活用した脳・心血管疾患における抗血栓療法の実態と安全性の解明
脳血管・神経内科	岡田 靖	無症候性頸動脈狭窄症の虚血発症リスク層別化に関する観察研究
脳血管・神経内科	岡田 靖	多施設共通データベースを用いた脳卒中急性期患者の病態解明に関する疫学調査
脳血管内治療科	徳永 聡	脳神経血管内治療に関する多施設共同研究
脳神経外科	溝口 昌弘	髄膜腫の術後長期成績と免疫学的検討及び再発に関する因子の研究
脳神経外科	溝口 昌弘	一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業（Japan Neurosurgical Database：JND）
脳神経外科	溝口 昌弘	ヒトにおける脳梗塞に対する免疫細胞および関連蛋白の探索
脳神経外科	溝口 昌弘	抗血栓療法中の頭蓋内出血合併症に関する検討
泌尿器科	吉川 正博	前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究
病理診断科	桃崎 征也	視線ヒートマップ法を用いた細胞診鏡検時における関心領域検出に関する検討
婦人科	藤原ありさ	リンチ症候群の拾い上げ及び遺伝子診断に関する多施設共同研究
婦人科	瓦林 靖広	手術中の構造物を自動認識する手術支援AIシステムの研究開発
放射線科	大賀 才路	全国放射線治療症例に基づく放射線治療の実態調査および質評価
放射線科	古谷 清美	肺クリプトコッカス症の高分解能CT所見の検討
放射線科	野口 智幸	IVR症例のWeb登録
放射線部	渡辺 武美	スペクト撮像システムを用いる非侵襲的脳血流量定量法の開発
放射線部	山口 薫	当院の関節エコー検査時の環境が画像に及ぼす影響
放射線部	浅井 美子	関節超音波検査における表在パッドの検討
放射線部	渡辺 武美	脳血流シンチにおけるREICA法を用いた画像解析に及ぼす基礎的検討
放射線部	島本 惟	子宮頸がん治療における密封小線源停留位置が線量分布に与える影響について
免疫感染症内科	高濱宗一郎	『ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究』 分担研究：『軽微な感染症（STDなど）を端緒とするHIV感染者の早期発見』
薬剤部	大橋 邦央	週1回皮下投与型セマグルチド製剤供給停止に伴う他のGLP-1受容体作動薬への切替が、患者の血糖値および体重に与えた影響に関する調査
薬剤部	合原 嘉寿	抗レトロウイルス療法開始後のHIV感染症患者における患者報告による症状関連有害事象に関する研究：観察研究

診療科	氏名	課題名
薬剤部	三好 孝法	胃がん術後補助化学療法施行患者に対する薬剤師による継続的な薬学的管理の効果に関する研究
薬剤部	中原 萌子	免疫チェックポイント阻害剤とプラチナ製剤併用療法における制吐対策のデキサメタゾンが免疫関連有害事象に与える影響の検討
薬剤部	高武 嘉道	非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤とプラチナ製剤併用療法による免疫関連有害事象のリスク因子解析
薬剤部	高武 嘉道	メロベネム供給停止の影響－多施設共同後向き観察研究
リウマチ科	福土 純一	成人型低ホスファターゼ症診断に有用なスクリーニング手順の確立
リハビリテーション部	岩本 誠	人工呼吸器患者におけるICU内での身体活動量と退院時日常生活活動自立との関連性を明らかにする多施設コホート研究
臨床研究センター	楠本 哲也	がん早期発見パネル開発
臨床検査科	荒川 仁香	高血圧患者に関連する腸内細菌叢を探索する研究
感染症内科	長崎 洋司	新型コロナウイルス感染患者の回復期における細胞外微粒子および免疫応答解析
看護部 手術室	野口 真未	ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術における、プレウォーミングによる低体温予防の有効性の検証
肝胆膵外科	高見 裕子	Machine learningを用いたCT画像解析による肝細胞癌の悪性度診断
肝胆膵外科	高見 裕子	National Clinical Database（日本臨床データベース機構、NCD）への症例登録事業
肝胆膵外科	高見 裕子	切除不能肝細胞癌における薬物療法の前向き観察研究
肝胆膵外科	和田 幸之	切除不能肝細胞癌患者に対する Atezolizumab + Bevacizumab併用療法の多施設共同前向き観察研究
肝胆膵外科	龍 知記	低侵襲腓胝体尾部切除術における補強材付き自動縫合器の有用性について
肝胆膵外科	高見 裕子	全国胆道癌の後方視的観察研究
眼科	長谷川英一	挿入部長の異なる眼内内視鏡の臨床的有用性に関する研究
血液内科	高瀬 謙	「研究参加施設に新たに発生する全ての成人ALL症例を対象とした5年生存率に関する前向き臨床観察研究」研究実施計画書～JALSG ALL Clinical Observational Study (JALSG-ALL-CS-1)～
血液内科	高瀬 謙	HTLV-1キャリアにおけるホジキンリンパ腫様組織像を示す病変の統合的解析研究
血液内科	高瀬 謙	環状鉄芽球および血小板増加症を伴う骨髄異形成/骨髄増殖性腫瘍の後方視的解析
血液内科	高瀬 謙	再発・難治性多発性骨髄腫における可溶性SLAMF7定量と網羅的遺伝子解析 多施設共同前向き観察研究-FBMTG RRMM18-
血液内科	高瀬 謙	成人急性リンパ性白血病治療におけるプレジジョンメディスン研究
血液内科	高瀬 謙	慢性骨髄性白血病患者に対するチロシンキナーゼ阻害薬中止後の無治療寛解維持を検討する日本国内多施設共同観察研究 (J-SKI研究)
血液内科	高瀬 謙	慢性骨髄性白血病患者のチロシンキナーゼ阻害薬中止後における無治療寛解の維持機構解明を目指した変異BCR-ABLと宿主免疫応答の解析 [J-SKI付随研究1]
血液内科	岩崎 浩己	リンパ形質細胞性リンパ腫を対象とした新規治療薬による治療効果と予後に関する調査
血液内科	岩崎 浩己	急性リンパ性白血病の遺伝子発現解析および遺伝子変異解析に基づく新規診断法・治療法の開発
血液内科	岩崎 浩己	二次性骨髄線維症の実態調査
血液内科	吉田 周郎	FLU/BU2/MEL80 non-TBIレジメン後、移植後エンドキサンで施行したHLA半合致移植
血液内科	吉田 周郎	当院での高齢者急性リンパ性白血病の後方視的解析
血液内科	吉田 周郎	当院におけるリンパ腫に対する同種造血幹細胞移植の後方視的解析
血液内科	高瀬 謙	疫学調査「血液疾患登録」
血液内科	高瀬 謙	高齢がん患者の医療と介護の連携に関する研究 ～高齢悪性リンパ腫患者の治療と自立性喪失、介護度増悪に関する前向き観察研究～
血液内科	高瀬 謙	成人T細胞白血病 (ATL) に対する同種移植後の予後に移植前モガムリズマブ投与が与える影響に関する研究
血液内科	高瀬 謙	前向き観察研究に登録された骨髄異形成症候群における、同種移植までの橋渡し治療と移植成績の検討 －JALSG AML/MDS/CMML Clinical Observational Study (JALSG-CS)-11-MDS-SCT－
血液内科	高瀬 謙	前方視的観察研究に登録された治療関連急性前骨髄球性白血病における 長期予後と治療実態調査 (観察研究)

診療科	氏名	課題名
血液内科	高瀬 謙	多発性骨髄腫患者における抗CD38抗体導入前後での治療成績に関する多施設後向き観察研究
血液内科	高瀬 謙	非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における検体保存事業
血液内科	高瀬 謙	治療関連急性骨髄性白血病において原発悪性腫瘍に対する治療が同種移植成績に及ぼす影響の検討
血液内科	高瀬 謙	低リスク骨髄異形成症候群における疫学調査（多施設共同後方視的研究）
血液内科	高瀬 謙	日本における血液疾患患者を対象とするCOVID-19罹患状況、予後に関する横断研究
血管外科	井上健太郎	複雑大動脈腸骨動脈病変へのカバードステント（VIABAHN VBX）を用いた血管内治療の有効性（The optimal strategy with VIABAHN VBX covered stent for complex aortiliacartery disease by endovascular procedure：AVOCADO 試験）
血管外科	井上健太郎	寝たきりの高度慢性下肢虚血（CLTI）症例の生命予後の危険因子に関する単施設後向き研究
血管外科	古山 正	重症下肢虚血患者の浅大腿動脈治療におけるデバイスによる治療成績の多施設後向き比較CompaRison of clinical OutcomeS of Endovascular treatMent between scAffolds and dRug coated balloons in femoropopliteal arterY for the patients with chronic limb-threatening ischemia（ROSEMARY）registry
血管外科	古山 正	浅大腿動脈用薬剤溶出性ステントの再狭窄症例におけるその形態および治療成績についての多施設後向き観察研究
血管外科	松原 裕	下肢閉塞性動脈硬化症における坐骨神経萎縮が下肢動脈血行再建後予後に与える影響に関する後向き観察研究
血管外科	松原 裕	下肢閉塞性動脈硬化症における坐骨神経萎縮が下肢動脈血行再建後予後に与える影響に関する前向き観察研究
血管外科	松原 裕	次世代プロテオミクス（iMPAQT）を用いた静脈グラフト内膜肥厚抑制因子の探索的研究
血管外科	松原 裕	腹部ステントグラフト内挿術後Type2エンドリーク危険因子の、次世代プロテオミクス（iMPAQT）を用いた探索的研究
呼吸器外科	山崎 宏司	肺癌における周術期個別化医療の確立を目指した 遺伝子スクリーニングと微小残存病変のモニタリングのための 多施設共同前向き観察研究（LC-SCRUM-Advantage/MRD）
呼吸器外科	上妻 由佳	肺切除術後の遷延性肺癆のリスク予測因子に関する検討
呼吸器外科	山崎 宏司	非小細胞肺癌における薬物治療耐性後の個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究（LC-SCRUM-TRY）
呼吸器内科	岡元 昌樹	EGFR 遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験（JCOG1404/WJOG8214L）
呼吸器内科	岡元 昌樹	ニンテグニブ投与後に進行性肺線維化を呈する早期特発性肺線維症を予測するバイオマーカーの探索的研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期合併症の実態把握と病態生理解明に向けた基盤研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	線維化性間質性肺疾患におけるdata independent acquisition法によるノンターゲットプロテオーム解析
呼吸器内科	松尾 規和	間質性肺疾患における気管支肺胞洗浄検査の意義
呼吸器内科	武岡 宏明	70歳以上のEpidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの至適投与量に関する多施設共同研究（MONEY 研究）
呼吸器内科	武岡 宏明	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌（NSCLC）または進展型小細胞肺癌（ED-SCLC）患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究 J-TAIL-2：Japanese-Treatment with Atezolizumab In Lung Cancer-2
高血圧内科	富永 光裕	高血圧内科新患者の診療情報収集（将来的な研究を見据えて）
高血圧内科	富永 光裕	心房細動患者の至適降圧レベルを検討する無作為化比較試験（CRAFT）
歯科口腔外科	永井 清志	疫学調査「口腔がん登録」
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	プロテオミクス、メタボロミクス解析による中咽頭癌のバイオマーカー探索
耳鼻咽喉科	瓜生 英興	頭頸部癌における簡便かつ安価なHPV関連癌同定方法の確立に向けた多施設共同研究
耳鼻咽喉科	瓜生 英興	頭頸部腫瘍における診断と治療の検討
耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍センター	中島 寅彦	中咽頭癌に対する根治治療後の生活の質の調査
腫瘍内科	田村 真吾	甲状腺未分化がんの早期診断とニボルマブとレンバチニブ併用療法の治療効果・有害事象と関連するバイオマーカー解析

診療科	氏名	課題名
腫瘍内科	田村 真吾	未治療切除不能進行・再発胃癌に対するマイクロサテライト不安定性を評価する観察研究
循環器内科	井上修二郎	川崎病既往成人における急性冠症候群とカテーテル治療例の診療実態に関する全国調査研究
循環器内科	村里 嘉信	3D OCTシステムを用いた冠動脈分岐部病変に対するPCIの前向き観察研究 Japanese 3D-OCT Bifurcation Registry
循環器内科	村里 嘉信	冠動脈ステント内再狭窄病変の光干渉断層撮影による組織学的解析
循環器内科	村里 嘉信	虚血性心臓病の血行再建戦略-左主幹部病変 Revascularization strategy for coronary artery disease- left main trunk (RELIANCE-LMT)
循環器内科	村里 嘉信	3D OCTシステムを用いた冠動脈分岐部病変に対するPCIの前向き観察研究 Japanese 3D-OCT Bifurcation Registry
循環器内科	村里 嘉信	冠動脈ステント内再狭窄病変の光干渉断層撮影による組織学的解析
循環器内科	村里 嘉信	虚血性心臓病の血行再建戦略-左主幹部病変 Revascularization strategy for coronary artery disease- left main trunk (RELIANCE-LMT)
循環器内科	大谷 規彰	免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う心筋障害に対する全国多施設共同レジストリ Nation-wide multicenter registry for Myocardial Damage associated with immune checkpoint inhibitor administration (MD-ICI)
循環器内科	中村 俊博	カテーテルアブレーション全国症例登録研究 [J-AB 2022]
循環器内科	中村 俊博	リード除去症例の実態調査 Japan Lead extraction registry (J-LEXレジストリ)
循環器内科	中村 俊博	レセプトおよびDPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する研究
循環器内科	中村 俊博	我が国における着用型自動除細動器による治療実態の登録調査 - Japan Wearable Cardioverter Defibrillator Registry (J-WCDR) -
循環器内科	中村 俊博	植込み型心臓電気デバイス治療に関する登録調査 New Japan Cardiac Device Treatment Registry2023 [New JCDTR 2023]
循環器内科	中村 俊博	洞不全症候群・心房細動の関連遺伝子単離と機能解析：J-PRES3
循環器内科	矢加部大輔	心房細動に対するカテーテルアブレーション後の再発予測因子の検討～術前心臓CTを用いた解析～
循環器内科	矢加部大輔	アブレーション後再発した発作性心房細動に対する後壁隔離術の効果の検討
循環器内科	矢加部大輔	持続性心房細動に対する冷凍バルーンアブレーションの長期成績
循環器内科	矢加部大輔	心房細動アブレーション後の左房拡張能障害・左房石灰化のリスク因子の同定とその予後について
小児科	佐藤 和夫	血液型不適合性黄疸に対するガンマグロブリン製剤投与の実態調査
小児科	神野 俊介	大腸菌による上部尿路感染症に罹患した乳幼児に対する膀胱尿管逆流保有予測スコアの診断精度評価に関する前方視的検討
小児科	藤吉 順子	2022年出生児を対象としたハイリスク新生児医療全国調査
小児科	藤吉 順子	小児におけるB群連鎖球菌感染症ナショナルサーベイランス
消化管外科	楠本 哲也	RAS遺伝子変異型腫瘍を有する切除不能進行・再発大腸癌患者における化学療法後の血中RAS遺伝子変異を評価する観察研究 (JACCRO CC-17)
消化管外科	楠本 哲也	大腸癌Stage IIにおける血中循環腫瘍DNA検出の研究
消化管外科	楠本 哲也	胃癌術後十二指腸断端縫合不全に関する多施設調査 (DELICATE試験)
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	再発高リスク消化管間質腫瘍に対する完全切除後の治療に関する研究 (STAR ReGISTry)の追跡調査
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	血液循環腫瘍DNA 陰性の高リスクStage II及び低リスクStage III結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのCAPOX 療法と手術単独を比較するランダム化第III相比較試験 (VEGA trial)
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	根治的外科治療可能な結腸・直腸癌を対象としたレジストリ研究 (GALAXY trial)
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	pStage II 大腸癌に対するOSNA法によるリンパ節微小転移診断意義の検討
消化器内科	大久保彰人	80歳以上の食道表在癌・早期胃癌患者に対する治療選択システムの確立
消化器内科	加来 豊馬	AIを用いた膵神経内分泌腫瘍の術後再発予測モデルの構築：多施設共同後方視的研究
消化器内科	國府島庸之	切除不能肝細胞癌患者に対する Atezolizumab+Bevacizumab併用療法の多施設共同前向き観察研究
消化器内科	濱田 匠平	Stage II / III および CROSS 1 / 2 の閉塞性大腸癌に対する Bridge to Surgery (BTS) 大腸ステントの長期予後に関する多施設共同無作為化臨床試験

診療科	氏名	課題名
消化器内科	吉村 大輔	ヘリコバクター・ピロリ未感染症例ないし除菌後症例に発生した粘膜下層以深浸潤胃癌に関する多施設共同観察研究
消化器内科	吉村 大輔	消化器内視鏡に関する疾患、治療手技データベース構築
消化器内科	原田 直彦	ステロイド使用者に対しての胃の内視鏡的粘膜下層剥離術の安全性の検討
消化器内科	原田 直彦	閉塞性大腸癌に対して大腸ステント留置後の内視鏡観察、治療の検討
心臓血管外科	神尾 明君	補助循環用ポンプカテーテルに関するレジストリ事業
整形外科	小原 伸夫	銀含有HAコーティング脊椎ケージを使用した脊椎固定術の有効性及び安全性を評価する前向き多施設共同研究 (Resitage study)
整形外科	原 正光	人工膝関節置換術における理想的アライメントの探求
整形外科	原 正光	治療抵抗性関節リウマチの臨床的特徴と病態の解明
整形外科	原 正光	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したナショナルデータベースの作成
整形外科	戸次 大史	質量分析とATACシーケンスを用いた脊椎筋骨格系の変性に関する網羅的解析
整形外科	太田 昌成	関節リウマチ患者の骨粗鬆症治療の現状調査
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	新規糖尿病薬チルゼパチドの多面的作用に関する前向き観察研究
代謝内分泌内科	堀内由布子	当院整形外科の手術における糖尿病患者の周術期の血糖管理状況と術後合併症の検討
統括診療部	石原 夕子	末梢挿入型中心静脈カテーテル (PICC) におけるCR-BSIの発生要因に関する調査研究
乳腺センター・放射線科	名本 路花	浸潤性乳癌の造影MRI画像における血管新生形態および造影剤分布の定量的評価に基づくサブタイプ分類の研究
脳血管・神経内科	岡田 靖	脳卒中レジストリを用いた我が国の脳卒中診療実態の把握
脳血管・神経内科	杉森 宏	ワルファリン療法中に発症した頭蓋内出血に対する、4因子含有プロトロンビン複合体製剤 (ケイセントラ®) による中和療法の効果と安全性に関する研究
脳血管神経内科	岡田 靖	脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬HMG-CoA還元酵素阻害薬の予防効果の遺伝子背景に関する研究-J-STARS Genomics-
脳血管神経内科	溝口 忠孝	瞳孔反応と脳血管障害の関連性の調査
脳血管内治療科	徳永 聡	一般社団法人日本脳神経外科データベース (Japan Neurosurgical Database : JND)
脳血管内治療科	徳永 聡	脳卒中患者の長期予後追跡のためのQOLデータ収集システムの開発
脳血管内治療科	徳永 聡	動脈硬化性の急性頭蓋内主幹動脈閉塞に対する血管内治療に関する後ろ向き登録調査
脳神経外科	溝口 昌弘	次世代プロテオミクスによる神経膠芽腫浸潤・増殖関連タンパクとバイオマーカーの探索
脳神経外科	溝口 昌弘	脳腫瘍の統合的病理・遺伝子診断システムの開発
泌尿器科	吉川 正博	前立腺癌における精嚢浸潤および精嚢周囲被膜外浸潤に関する検討
皮膚科	村田 真帆	乾癬患者を対象とした予後、合併症、治療に関する観察研究
放射線科	大賀 才路	3次元画像誘導小線源治療を用いた子宮頸がん根治的放射線治療の成績
放射線科	野口 智幸	X線透視下脊椎穿刺手技習得のためのシミュレーショントレーニングシステムにおけるVeteran法でのコーチングの有用性評価 (略称: SNIPVET研究)
放射線科	野口 智幸	核医学検査での診療放射線技師による静脈血管確保調査研究
放射線科	大賀 才路	前立腺癌放射線治療後のPSA再発症例に対する局所的救済高線量率小線源治療の多施設共同第I/II相臨床試験
免疫感染症内科	高濱宗一郎	The ADVANCE in Japan : A longitudinal Study of age-related comorbidities in people with hemophilia 成人血友病患者の合併症に関する縦断的研究
免疫感染症内科	高濱宗一郎	血液凝固異常症全国調査
臨床検査科	荒川 仁香	高血圧専門外来におけるclinical inertiaについての検討
臨床検査部	越名 優希	ワクチン接種2回目と3回目後のSARS-CoV-2抗体価推移
膠原病内科	宮村 知也	メトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患発症予測因子の同定に関する研究
膠原病内科	宮村 知也	リウマチ・膠原病における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) “レジストリ Rheumatology COVID-19 Registry” を利用した多施設共同観察研究
膠原病内科	宮村 知也	リウマチ性疾患治療中に生じたCOVID-19感染症に関する研究
膠原病内科	宮村 知也	再発性多発軟骨炎の診断と治療体系の確立に関する研究

一括審査

診療科	氏名	課題名
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	HIV/HCV重複感染患者におけるHCV治癒後の肝機能経過に関する全国調査
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	HIV陽性者のフレイル有病率とその関連要因を解明する横断研究
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	薬害被害血友病症例の多機関共同による運動機能と日常生活動作の調査（2022年～2024年）
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	血友病患者の骨密度低下に関する研究
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	本邦のHBV感染患者におけるHDV感染の頻度に関する検討
肝胆膵外科	和田 幸之	切除不能肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法（TACE）とレンバチニブの併用療法第Ⅱ相臨床試験の予後追跡調査
肝胆膵外科	和田 幸之	切除不能肝細胞癌に対する薬物療法に関する前向き観察研究
肝胆膵外科	和田 幸之	切除不能肝細胞癌における血管新生関連因子、腫瘍免疫関連因子を検討する多機関共同観察研究（PRISM-Bio Study）
呼吸器内科	岡元 昌樹	多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	特発性間質性肺炎の前向きレジストリの構築とインタラクティブMDD診断システムを用いた診断標準化に基づく疫学データの創出—AI診断システムと新規バイオマーカーの開発—
呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺炎患者併多発性筋炎/皮膚筋炎患者を対象とした肺病変の進行を規定するバイオマーカー探索研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	日本人の軽症および中等症COPDに対する1日1回吸入型トリプル療法の有用性および安全性の研究（TRACK study）に参加した研究対象者の後追跡に関する多施設共同前向き観察研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎合併間質性肺疾患におけるMDA5遺伝子多型の解析
呼吸器内科	岡元 昌樹	進行性の経過を示す間質性肺炎の定量的画像評価に関する研究
産科	藤原ありさ	母体血胎児染色体検査（NIPT）での偽陽性・判定保留の成因に関する研究
循環器内科	矢加部大輔	心房細動における経皮的カテーテル心筋焼灼術のエキスパート治療を提案する人工知能モデル開発のための探索的研究
消化器内科	加来 豊馬	超音波内視鏡下胆道ドレナージ術における手技成功因子についての検討
消化器内科	中牟田 誠	アルコール性肝障害/依存症を有する患者に対するナルメフェンの飲酒量低減治療後の肝機能の推移
整形外科・リウマチ科	福士 純一	未圧潰大腿骨頭壊死症例の前向き追跡調査
整形外科・リウマチ科	福士 純一	股関節疾患患者の活動性、疼痛およびスポーツ活動に関する研究
代謝内分泌内科	坂本 昌平	妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰および母児の長期予後に関する登録データベース構築による多施設前向き研究（Diabetes and Pregnancy Outcome for Mother and Baby Study）—妊娠糖尿病および“妊娠中の明らかな糖尿病（Overt diabetes in pregnancy）”合併妊娠の妊娠転帰調査（DREAMBee study [DM/OvertDM-PO]）
代謝内分泌内科	坂本 昌平	妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰および母児の長期予後に関する登録データベース構築による多施設前向き研究（Diabetes and Pregnancy Outcome for Mother and Baby Study）—妊娠糖尿病・妊娠転帰（DREAMBee study [GDM-PO]）
乳腺外科	岩熊 伸高	JBCRG-C11（CREA）：トラスツズマブ デルクステカンにより完全奏効が達成されたHER2陽性の手術不能又は再発乳癌患者に対する多機関共同前向き観察研究
乳腺外科	岩熊 伸高	「エンハーツ点滴静注用100mg特定使用成績調査（乳癌）」患者を登録対象としたトラスツズマブ デルクステカン中止後の後治療に関するコホート研究
看護部	長與由紀子	HIV感染者の高齢期に希望する医療や生活に関する実態調査
眼科	中尾新太郎	日本眼科学会が主導する多施設共同眼科疾患ゲノム解析研究
救急科	野田英一郎	日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究
血液浄化センター	中山 勝	病院の診療情報を用いた慢性腎臓病（CKD）における末期腎不全の予測モデルの作成
血液内科	高瀬 謙	血液疾患患者、血縁者間移植ドナーの検体保存、臨床データ登録システム（KCNET）の確立
血液内科	岩崎 浩己	マントル細胞リンパ腫のアジア太平洋国際共同登録（Asia-Pacific Multinational Registry of Mantle cell lymphoma）
血液内科	岩崎 浩己	日本における骨髄腫関連疾患の予後に関する 大規模多施設前向き観察研究Ⅱ

診療科	氏名	課題名
血液内科	岩崎 浩己	HBs抗原陽性およびHBV既往感染のT細胞リンパ腫に対するモガムリズマブ治療後のB型肝炎ウイルス再活性化に関する多機関共同後方視的観察研究
血液内科	岩崎 浩己	同種造血幹細胞移植後におけるイノヅマブオゾガマイシンの安全性と有効性の検討
血液内科	高瀬 謙	アグレッシブATLにおける予後因子の検討と個別化医療の確立を目的とした全国一元化レジストリおよびバイオレポジトリの構築
血液内科	高瀬 謙	悪性リンパ腫の遺伝子変異・遺伝子発現解析に基づく新規予後層別化と新規治療法開発
血液内科	高瀬 謙	福岡血液骨髄移植グループ移植患者データベース作成調査研究
血液内科	高瀬 謙	造血細胞移植および細胞治療の全国調査
血液内科	高瀬 謙	未治療びまん性大細胞型B細胞リンパ腫患者に対するボラツズマブ ベドチン+R-CHP 療法の有効性と安全性を検討する多機関共同前向き観察研究-W-JHS NHL03 (POLASTAR)-
血液内科	高瀬 謙	就労経験のない移植経験者を対象とした就労に関する実態調査
血液内科	高瀬 謙	二次性骨髄線維症の実態調査
血液内科	高瀬 謙	本邦における原発性骨髄線維症の臨床像に関する研究
呼吸器外科	山崎 宏司	切除後の非小細胞肺癌に対するアテゾリズマブ術後補助療法の多機関共同前向き観察研究<J-CURE>
呼吸器内科	岡元 昌樹	加湿器肺に関する全国実態調査（二次調査）
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	免疫チェックポイント阻害薬で加療された再発転移嗅神経芽細胞腫に対する診療の多施設共同適応的研究
腫瘍内科	田村 真吾	WJOG13320GPS-TR：切除不能進行・再発胃癌を対象とするマイクロサテライト不安定性ステータス別の遺伝子プロファイリングおよび免疫関連有害事象に関連する遺伝子バリエーションを探索する研究
腫瘍内科	田村 真吾	パクリタキセルの治療反応性に対するバイオマーカー探索
循環器内科	井上修二郎	肥大型心筋症に合併した心房細動に対するカテーテルアブレーション後のペプリジルの有効性の検討
循環器内科	村里 嘉信	冠動脈疾患に対する薬剤塗布バルーン（DCB）の安全性及び有効性を確認するリアルワールド レジストリReal world registry of drug coated balloon for coronary artery disease (ALLIANCE)
循環器内科	村里 嘉信	JROAD-DPC（循環器疾患診療実態調査）による非動脈硬化性心筋梗塞の実態解明と二次調査研究
循環器内科	中村 俊博	徐脈頻脈症候群に対するペースメーカーおよびカテーテルアブレーション治療に関する多施設前向きコホート研究
循環器内科	中村 俊博	循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースとCRT患者の予後に関わる因子に関する研究
循環器内科	矢加部大輔	心アミロイドーシスに合併する心房性頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーションの効果
小児科	神野 俊介	ハイリスク新生児の予後に関する観察研究
小児外科	甲斐 裕樹	九州地区小児外科疾患に関する臨床アンケート調査
消化管外科	吉田倫太郎	National Clinical Databaseによる食道癌全国登録を利用した食道癌術後補助療法としてのニボルマブの安全性と有効性に関する観察研究
消化管外科・がん臨床研究部	久松 雄一	大腸がんのハイリスク症例選別および早期発見における包括的miRNA profileを用いたモニタリングシステムの構築と消化器癌における免疫チェックポイント阻害薬（ICI）抵抗性機構の解明
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	がん患者の臨床検体を用いた遺伝子プロファイリングと臨床的意義に関する研究（CONDUCTOR study）
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	結腸・直腸癌遠隔転移治療切除後のctDNA陽性患者を対象としてmFOLFOXIRI+Bevacizumab療法とmFOLFOX6療法の有効性を比較するランダム化第Ⅱ相試験 Adjuvant chemotherapy for ctDNA positive patients- Randomized phase II study of comparing FOLFOX6 with FOLFOXIRI+Bevacizumab (AURORA)
消化器内科	原田 直彦	大腸ステント留置症例における全身化学療法の意義に関する後ろ向き研究
消化器内科	加来 豊馬	肝門部悪性胆道狭窄に対する超音波内視鏡下胆道ドレナージ術の有用性についての検討
消化器内科	加来 豊馬	悪性遠位胆管狭窄に対する新型逆流防止弁付き胆管金属ステントの安全性と有効性の検討
消化器内科	加来 豊馬	膵腫瘍に対する超音波内視鏡下組織採取（EUS-TA）の再穿刺の有用性について
消化器内科	加来 豊馬	膵腺房細胞癌の実態調査 多施設共同研究
腎臓内科	中山 勝	脂質異常症を有する慢性腎臓病（CKD）患者における選択的PPAR α 作動薬ベマフィブラートの尿蛋白抑制効果についての市販後非盲検無作為化比較試験

診療科	氏名	課題名
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究 (J-DREAMS)
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	糖尿病をきたす希少疾患のレジストリ研究の件
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	2型糖尿病合併肥満症におけるGIP/GLP受容体デュアルアゴニストが食嗜好・食行動に与える影響の検討
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	統合オミクス解析を用いた内分泌性代謝疾患における分子病態の解明と個別化医療基盤の構築
脳血管・神経内科	杉森 宏	CLESTRO研究 (LM22-01 臨床性能試験)
脳血管・神経内科	杉森 宏	HAM患者レジストリ「HAMねっと」を活用した病態解明および治療法・予防法の開発に関する研究
脳血管神経内科	杉森 宏	多施設脳卒中レジストリ「脳卒中データバンク (Japan Stroke Data Bank ; JSDB) を用いた我が国の脳卒中医療の研究
脳血管内治療科	徳永 聡	最終健常確認時刻から24-72時間経過した前方循環主幹動脈閉塞を有する脳梗塞例に対する血管内治療の有効性検証の為に多施設共同ランダム化比較研究
泌尿器科	坂本 直孝	骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対するラジウム-223治療の多施設共同前向き観察研究 (KYUCOG-1901)
泌尿器科	坂本 直孝	九州沖縄における尿路変向の実態調査
麻酔科	甲斐 哲也	術後に発症した静脈血栓塞栓症とプロテインS比活性の関連についての検討
薬剤部	合原 嘉寿	HIV診療ブロック拠点病院におけるHIV感染症薬剤耐性調査研究
臨床検査科・病理	藤原美奈子	骨軟部腫瘍における治療標的・予後因子の解明
臨床検査科・病理	藤原美奈子	消化管癌の臨床病理学的項目および分子生物学的異常の検討
膠原病内科	宮村 知也	患者立脚型評価による関節リウマチ治療成績の検討 ー多施設共同前向き観察研究ー

認定倫理

診療科	氏名	課題名
肝胆膵外科	和田 幸之	切除不能Intermediate stage up-to-seven基準外肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法の有効性、安全性を検討する多施設共同第Ⅱ相臨床研究
肝胆膵外科	和田 幸之	切除不能肝細胞がんに対するアテゾリズマブ+ベバシズマブにTACE療法を追加することの有効性を検証する多施設共同第Ⅲ相臨床研究
血液内科	岩崎 浩己	急性前骨髄球性白血病に対する治療プロトコール FBMTG APL2017
血液内科	岩崎 浩己	未治療高齢者多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた寛解導入療法、自家末梢血幹細胞移植、地固め・維持療法の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験ーFBMTG EMM17ー
血液内科	岩崎 浩己	成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールーJSCT ALL/MRD2019-
血液内科	岩崎 浩己	未治療多発性骨髄腫に対するダラツムマブ、レナリドミドおよびデキサメサゾン療法に治療奏効で層別化する地固め療法を用いた自家末梢血幹細胞移植の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験ー JSCT MM20ー
血液内科	岩崎 浩己	未治療の高齢多発性骨髄腫に対する新規薬剤と自家移植を組み合わせたシークエンス治療を固定期間で行う有効性・安全性を検証する多施設共同第Ⅲ相試験-JSCT EMM21-
血液内科	岩崎 浩己	FLT3-ITD陽性の再発又は難治性急性骨髄性白血病を対象とした、キザルチニブの耐性メカニズム及び有効性を評価する第Ⅱ相臨床試験- JSCT FLT3-AML20 -
血液内科	岩崎 浩己	移植非適応初発多発性骨髄腫患者に対するレナリドミドーデキサメタゾン (Rd) 療法に効果不十分の症例に対しボルテゾミブを追加するレスポンスガイドセラピーの有効性と安全性 (W-JHS MM01)
血液内科	岩崎 浩己	少量レナリドミド療法に再発・難治性となったMM患者に対するILd療法の効果と安全性 W-JHS MM02
血液内科	岩崎 浩己	日本における初発ホジキンリンパ腫に対するA-AVD療法の成績 (前向き登録研究)
血液内科	門脇 賢典	初発未治療成人T細胞性白血病リンパ腫に対するCHOP療法とmogamulizumabの逐次併用に関する臨床試験 (FBMTG MOG16)
血液内科	高瀬 謙	急性前骨髄球性白血病に対し ATRA と ATO を併用した 寛解導入及び地固め療法 - JSCT APL2021 -
血液内科	高瀬 謙	成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールーALL/MRD2023ー
血液内科	高瀬 謙	80歳以上未治療びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対するポラツズマブベドチン+R-miniCHP療法の有効性と安全性を検証する多施設共同非盲検無対照試験 (NHOH-Pola-R-miniCHP)

診療科	氏名	課題名
血液内科	高瀬 謙	成人T細胞白血病・リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植療法を組み込んだ治療法に関する非ランダム化検証的試験
血液内科	山崎 聡	未治療進行期低悪性度B細胞リンパ腫に対する抗CD20抗体療法+化学療法 [Rituximab+standard CHOP (R・S-CHOP) vs Rituximab+bi-weekly CHOP (R・Bi-CHOP)] のランダム化比較第Ⅱ/Ⅲ相試験
血液内科	山崎 聡	成人T細胞白血病・リンパ腫に対するインターフェロン α /ジドブジン併用療法とWatchful waiting療法の第Ⅲ相ランダム化比較試験 JCOG 1111C
血液内科	山崎 聡	未治療のCD20陽性びまん性大細胞型Bリンパ腫に対するR-CHOP療法におけるRituximabの投与スケジュールの検討を目的としたランダム化第Ⅱ/Ⅲ相試験 (NHL-R-CHOP-P2/3)
血液内科	山崎 聡	高齢者移植非適応再発・難治末梢性T細胞リンパ腫に対するゲムシタビン、デキサメサゾン、シスプラチン (GDP) 療法+ロミデプシン療法の第Ⅱ相試験 (PTCL-GDPR)
呼吸器外科	竹尾 貞徳	PD-L1発現50%以上の非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペムプロリズマブ単剤とペムプロリズマブ+カルボプラチン+ペメトレキセド併用療法のランダム化第3相試験
呼吸器外科	山崎 宏司	未治療進行/再発非小細胞肺癌症例におけるシンバイオティクス飲用による腸内細菌叢変化、及びがん免疫複合療法の効果との関連に関する前向き介入研究 (二重盲検ランダム化比較試験)
呼吸器外科	山崎 宏司	未治療進行/再発非小細胞肺癌症例におけるシンバイオティクス飲用による腸内細菌叢変化、及びがん免疫複合療法の効果との関連に関する前向き介入研究 (二重盲検ランダム化比較試験)
呼吸器外科	山崎 宏司	LOGIK2301高齢者完全切除Ⅱ/Ⅲ期非小細胞肺癌に対するAtezolizumab術後補助療法の臨床第Ⅱ相試験 (RELIANCE)
呼吸器内科	一木 昌郎	前治療のEGFR-TKI後に進行した、T790M陽性の局所進行または転移性非扁平上皮非小細胞肺癌を対象としたオシメルチニブ単剤療法とオシメルチニブ/カルボプラチン/ペメトレキセド療法の無作為化非盲検第Ⅱ相試験 (LOGIK1604/NEJ032A TAKUMI Trial)
呼吸器内科	岡元 昌樹	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の無症状・軽症患者に対するシクレソニド吸入剤の有効性および安全性を検討する多施設共同非盲検ランダム化比較試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	軽度呼吸不全を呈するCOVID-19肺炎患者に対するファビピラビル/ステロイド併用療法の多施設共同第Ⅱ相試験 (NU-J-CRITICAL)
呼吸器内科	岡元 昌樹	高齢者局所進行非小細胞肺癌に対するWeeklyカルボプラチンと胸部放射線同時併用化学療法の第Ⅱ相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	中枢神経系への転移を有するEGFR遺伝子変異陽性の患者でオシメルチニブが無効となった患者に対して、白金製剤+ペメトレキセド白金製剤+ペメトレキセド+オシメルチニブの比較試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	JCOG2007: ドライバー遺伝子陰性・不明の未治療進行非小細胞肺癌に対するプラチナ製剤併用化学療法+ペムプロリズマブとプラチナ製剤併用化学療法+ニボルマブ+イピリムマブのランダム化比較第Ⅲ相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	JCOG1701: 非小細胞肺癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第Ⅲ相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	高齢者切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する低用量カルボプラチンを用いた化学放射線療法とカルボプラチン+アルブミン結合パクリタキセルを用いた化学放射線療法を比較するランダム化第Ⅲ相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	高齢者進展型小細胞肺癌に対するカルボプラチン+エトポシド+デュルバルマブ併用療法の第Ⅱ相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	進展型小細胞肺癌に対する胸部放射線治療の追加を検討するランダム化第Ⅲ相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	日本人の軽症および中等症COPDに対する1日1回吸入型トリプル療法の有用性および安全性の研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	画像上診断困難な胸膜播種を有する臨床病期ⅣA期 (cT1-2bN0-1M1a) 非小細胞肺癌に対する原発巣切除追加の治療的意義を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	Sensitizing EGFR uncommon mutation陽性未治療非扁平上皮非小細胞肺癌に対するAfatinibとChemotherapyを比較する第Ⅲ相試験 (TORG1834/ACHILLES試験)
呼吸器内科	岡元 昌樹	未治療脳転移を有する進展型小細胞肺癌を対象としたプラチナ製剤+エトポシド+デュルバルマブ (MEDI4736) 併用療法の第Ⅱ相試験 (SPEED)
呼吸器内科	岡元 昌樹	未治療 Progressive pulmonary fibrosis を対象としたニンテダニブ・抗炎症治療同時導入療法の第Ⅱ相試験 (TOP-ILD study)
呼吸器内科	岡元 昌樹	既治療の進行・再発非小細胞肺癌に対するドセタキセルとnab-パクリタキセルのランダム化比較第Ⅲ相試験 (J-AXEL)
呼吸器内科	岡元 昌樹	特異性肺線維症合併進行非小細胞肺癌に対するカルボプラチン+nab-パクリタキセル+ニンテダニブ療法とカルボプラチン+nab-パクリタキセル療法のランダム化第Ⅱ相試験

診療科	氏名	課題名
呼吸器内科	岡元 昌樹	脳転移（放射線未治療）のあるT790陽性非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの第Ⅱ相試験
呼吸器内科	武岡 宏明	脳転移を有するALK陽性進行非小細胞肺癌に対するブリグチニブの第Ⅱ相試験
産科婦人科	小川 伸二	子宮体癌／子宮内膜異型増殖症に対する妊孕性温存治療後の子宮内再発に対する反復高用量黄体ホルモン療法に関する第Ⅱ相試験
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	局所進行切除可能HPV陽性中咽頭癌に対する導入化学療法後の低侵襲手術に関する第Ⅱ相試験
腫瘍内科	下川 穂積	高齢者切除不能・再発胃癌に対するS-1単剤療法とS-1/L-OHP併用（SOX）療法のランダム化第Ⅱ相試験（WJOG8315G）
循環器内科	中村 俊博	脳梗塞の既往を有する非弁膜症性心房細動患者に対し、エドキサバンによる抗凝固療法を基礎治療にカテーテルアブレーションの有用性を検証する多施設共同ランダム化比較研究
循環器内科	村里 嘉信	冠動脈分岐部病変におけるProximal optimization techniqueの有効性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験
循環器内科	村里 嘉信	複雑病変を有する冠動脈をゾタロリムス溶出ステントで治療した症例の複数施設による登録研究
消化管外科	楠本 哲也	切除不能進行再発大腸癌の2次治療患者を対象としたfluoropyrimidine+irinotecan+bevacizumab療法とtrifluridine/tipiracil+bevacizumab療法のランダム化比較第2/3相試験（TRUSTY）
消化管外科	楠本 哲也	腹膜播種を伴う胃癌に対するS-1／シスプラチン+パクリタキセル腹腔内投与併用療法の第Ⅱ相臨床試験
消化管外科	楠本 哲也	再発危険因子を有するハイリスクStageⅡ結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験（JFMC48-1301-C4：ACHIEVE-2 Trial）
消化管外科	楠本 哲也	RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ベバシズマブの最大腫瘍縮小率（DpR）を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験（JACCRO CC-13）
消化管外科	楠本 哲也	切除不能進行再発胃癌を対象としたニボルマブ早期導入の有効性と安全性を評価する単群Ⅱ相試験
消化管外科	楠本 哲也	重症肥満に対するスリーブ状胃切除術後のシンバイオティクス摂取が腸内フローラに及ぼす影響二重盲検無作為化比較研究 SYNERGISM study
消化管外科	楠本 哲也	局所進行直腸癌に対する術前治療としての短期放射線療法とCAPOX及び短期放射線療法とCAPOXIRIの多施設共同ランダム化第Ⅲ相試験（ENSEMBLE）
消化管外科	楠本 哲也	再発危険因子を有するStageⅡ大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究（JFMC46-1201）
消化管外科	楠本 哲也	StageⅢの治癒切除胃癌に対する術後補助化学療法としてのTS-1+Docetaxel併用療法とTS-1単剤療法のランダム化比較第Ⅲ相試験（JACCRO GC-07 START-2）
消化管外科	楠本 哲也	FOLFOXIRI+BEV治療後の切除不能進行・再発結腸・直腸癌への二次治療例に対するFOLFIRI+AFL療法の有用性の検討－臨床第Ⅱ相試験－（EFFORT study）
消化管外科	楠本 哲也	高齢者局所進行胃癌に対する術前化学療法としてのS-1+オキサリプラチン併用療法の安全性と有効性について検討する第Ⅱ相臨床試験（KSCC1801）
消化管外科	楠本 哲也	Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab+Irinotecan併用療法のインターグループランダム化第Ⅲ相試験（RINDBeRG試験）
消化管外科	吉永 敬士	食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎症抑制作用の検討－エレンタール®非投与群を対照群としたランダム化第Ⅲ相比較臨床試験（EOPC2 study）
消化管外科・がん臨床研究部	上原 英雄	術後補助化学療法中または終了後早期に再発した胃癌に対するCapeOX+ニボルマブ療法の第Ⅱ相試験（JACCRO GC-11（FirSTAR試験））
消化管外科・がん臨床研究部	上原 英雄	切除不能大腸癌に対するトリフルリジン・チピラシル+ベバシズマブの従来法と隔週法の実用的ランダム化第Ⅲ相試験（PRABITAS）
消化器科	隅田 頼信	小腸内視鏡におけるミダゾラム持続静注と塩酸ベチジン併用の有用性と安全性を検討するランダム化比較試験
消化器内科	隅田 頼信	大型の非有茎性大腸腫瘍に対する多機能スネアを用いたハイブリッド大腸粘膜下層剥離術の有用性を検証する非盲検ランダム化比較試験
乳腺外科	岩熊 伸高	エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験（POTENT）
乳腺外科	岩熊 伸高	HER2陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第Ⅲ相臨床研究JBCRG-M06（EMERALD）
乳腺外科	岩熊 伸高	フルベストラント使用中に病勢進行したホルモンレセプター陽性進行・再発乳癌患者に対する、パルボシクリブ追加投与の有効性の検討JBCRG-M07（FUTURE）trial

診療科	氏名	課題名
脳血管・神経内科	岡田 靖	脳梗塞の既往を有する非弁膜症性心房細動患者に対し、エドキサバンによる抗凝固療法を基礎治療にカテーテルアブレーションの有用性を検証する多施設共同ランダム化比較研究
脳血管・神経内科	岡田 靖	非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する多施設共同ランダム化比較試験
脳血管・神経内科	岡田 靖	脳梗塞の既往を有する非弁膜症性心房細動患者に対し、エドキサバンによる抗凝固療法を基礎治療にカテーテルアブレーションの有用性を検証する多施設共同ランダム化比較研究 サブスタディ（心房細胞スクリーニング検査）
脳血管・神経内科	岡田 靖	脳出血超急性期患者への遺伝子組換え活性化型Ⅶ因子投与の有効性と安全性を検証する研究者主導国際臨床試験
脳血管・神経内科	岡田 靖	新規血栓溶解薬テネクテプラゼの脳梗塞急性期再開通療法への臨床応用を目指した研究 Tenecteplase versus alteplase For Large Vessel Occlusion Recanalization (T-FLAVOR)
脳血管・神経内科	矢坂 正弘	脳梗塞再発のリスク因子を有する急性期アテローム血栓性脳梗塞及びハイリスクTIA患者を対象とした prasugrel のクロピドグレルとの血小板凝集能の比較臨床研究 Dual Antiplatelet Therapy for Platelet Aggregation inhibition Effect in Acute Large Artery Atherothrombotic Stroke or High Risk TIA Patients : Prasugrel versus Clopidogrel
脳血管内治療科	徳永 聡	急性期破裂脳動脈瘤の塞栓術における術前アスピリン投与の効果と安全性に関する多施設共同二重盲検比較試験
脳血管内治療科	徳永 聡	頸動脈ステント留置術後遷延性低血圧に対する術前輸液療法の有効性の検討（PREPARE試験）
皮膚科・アレルギー科	占部 和敬	免疫抑制作用を有する薬剤投与患者に発症した帯状疱疹に対するアメナメビルの有効性及び安全性の探索的検討
婦人科	連尾 泰之	上皮性卵巣癌・卵管癌・腹膜原発癌に対する Paclitaxel 毎週点滴静注 + Carboplatin 3 週毎点滴静注投与対 Paclitaxel 毎週点滴静注 + Carboplatin 3 週毎腹腔内投与のランダム化第Ⅱ/Ⅲ相試験
放射線科	松村 泰成	前立腺がんに対する高線量率組織内照射単独放射線療法の安全性と有効性を評価する多施設共同検証試験
呼吸器外科	竹尾 貞徳	第三世代EGFR-TKI オシメルチニブ治療における血漿循環腫瘍DNAを用いた治療耐性関連遺伝子スクリーニングの前向き観察研究
呼吸器内科	武岡 宏明	未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するペムプロリズマブの至適投与量に関する試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺炎を合併する非小細胞肺癌の二次治療におけるニボルマブ療法とS-1療法を比較するランダム化第Ⅲ相試験（JCOG2302）
消化管外科	楠本 哲也	HER2陽性進行・再発胃癌に対するトラスツズマブBS「NK」とS-1+オキサリプラチン併用療法もしくはカベシタピン+オキサリプラチン併用療法に関する第Ⅱ相臨床試験（TROX）※附属研究A1、A2を含む
消化管外科	楠本 哲也	術前化学療法を施行する食道癌・胃癌における十全大補湯によるQOL改善を検討するオープンラベル比較第Ⅱ相試験
乳腺外科	岩熊 伸高	ステロイドマウスウォッシュによる乳癌化学療法誘因性の口腔粘膜炎症予防を検討する第Ⅲ相ランダム化比較試験（SMASH-BC）
免疫感染症内科	高濱宗一郎	免疫抑制患者に対する13価蛋白結合型肺炎球菌ワクチンと23価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチンの連続接種と23価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチン単独接種の有効性の比較 -二重盲検無作為化比較試験-

令和5年度委員会一覧

臨床研究センター運営委員会

オブザーバ	病院長	岩崎 浩己
オブザーバ	副院長	岡田 靖
オブザーバ	副院長/研究企画開発室長	中島 寅彦
委員長	臨床研究センター長	高見 裕子
副委員長	臨床研究推進部長	杉森 宏
副委員長	医療管理企画運営部長/ 情報解析研究室室長	福泉公仁隆
副委員長	がん臨床研究部長	楠本 哲也
委員	統括診療部長/医療システム イノベーション室長	甲斐 哲也
委員	研究企画開発室長副室長	長谷川英一
委員	情報解析研究室副室長	橋本 裕二
委員	情報解析研究室副室長	若田 好史
委員	組織保存移植研究室長	福士 純一
委員	組織保存移植研究室副室長	高瀬 謙
委員	病態生理研究室長	村里 嘉信
委員	病態生理研究室副室長	岡元 昌樹
委員	生化学免疫病理研究室長	(欠)
委員	生化学免疫病理研究室副室長	富永 光裕
委員	生化学免疫病理研究室副室長	宮村 知也
委員	動態画像研究室長	野口 智幸
委員	動態画像研究室副室長	桑城 貴弘
委員	教育研修研究室長	富永 光裕
委員	教育研修研究室副室長	中村千夏子
委員	医療情報管理研究室長	原田 直彦
委員	医療情報管理研究室副室長	占部 和敬
委員	化学療法研究室室長	田村 真吾
委員	化学療法研究室副室長	和田 幸之
委員	臨床腫瘍病理室長	桃崎 征也
委員	臨床腫瘍病理室副室長	岩熊 信高
委員	臨床腫瘍病理室副室長	藤原美奈子
委員	臨床腫瘍病理室副室長	名本 路花
委員	放射線治療開発室長	大賀 才路
委員	放射線治療開発室副室長	小川 伸二
委員	先端医療技術応用室長	小野原俊博
委員	先端医療技術応用室副室長	瓜生 英興
委員	システム疾患生命科学推進室長	中牟田 誠
委員	システム疾患生命科学推進室副室長	渡邊 哲博
委員	医療システムイノベーション室副室長	徳永 聡
委員	医療システムイノベーション室副室長	溝口 昌弘
委員	臨床試験支援センター治験	大丸 資子
委員	臨床試験支援センター臨床試験	藤瀬 陽子
委員	臨床研究センター事務	中島 美子

倫理審査委員会

委員長	副院長	岡田 靖
委員	統括診療部長	甲斐 哲也
委員	事務部長	佐々木豊光
委員	看護部長	西山ゆかり
委員	薬剤部長	橋本 雅司
委員	臨床検査部長	荒川 仁香
外部委員	北九州市立大学 特任教授	松尾太加志
外部委員	九州大学大学院法学研究院 教授	田中 教雄
外部委員	純真短期大学 食物栄養科 学科長/教授	下村久美子
外部委員	九州大学 名誉教授	篠栗 俊之
外部委員	西日本新聞社 大分総局長	西山 忠宏
事務局	副薬剤部長	藤瀬 陽子
事務局	臨床試験支援センター 治験主任	大丸 資子
事務局	臨床試験支援センター 副看護師長	麻生嶋和子
事務局	臨床試験支援センター 治験主任	白澤 宏美
事務局	臨床試験支援センター 看護師	西村 友美
事務局	臨床試験支援センター 事務	井上美美子
事務局	臨床試験支援センター 事務	齊藤 薫

治験審査委員会

委員長	臨床研究センター長	高見 裕子
委員(副委員長)	副院長	岡田 靖
委員	統括診療部長	甲斐 哲也
委員	事務部長	佐々木豊光
委員	看護部長	西山ゆかり
委員	薬剤部長	橋本 雅司
委員	臨床検査科長	荒川 仁香
外部委員	北九州市立大学 特任教授	松尾太加志
外部委員	九州大学大学院法学研究院 教授	田中 教雄
外部委員	純真短期大学 食物栄養科 学科長/教授	下村久美子
外部委員	九州大学 名誉教授	篠栗 俊之
外部委員	西日本新聞社 大分総局長	西山 忠宏

倫理審査委員会アドバイザー

アドバイザー	臨床研究センター長	高見 裕子
アドバイザー	脳神経外科 科長	溝口 昌弘
アドバイザー	消化器内科 科長・肝胆膵 センター 部長	中牟田 誠
アドバイザー	消化管外科 科長・がん臨 床研究部 部長	楠本 哲也
アドバイザー	医療情報管理センター 部長	福泉公仁隆
アドバイザー	小児科 科長	神野 俊介
アドバイザー	呼吸器内科 科長	岡元 昌樹
アドバイザー	代謝内分泌内科 科長	渡邊 哲博
アドバイザー	病理診断科 病理医長	藤原美奈子

V. 診療科別研究業績一覧（2023年4月～2024年3月）

令和5年業績一覧

論文	英文論文（原著）	83
	英文論文（原著以外）	16
	和文論文（原著）	43
	和文論文（原著以外）	30
	小計	171
学会発表	国際学会及びそれに準ずるもの	57
	国内総会及びそれに準ずるもの	313
	地方会	170
	学会に準ずるもの	88
	小計	628
講演会	医師会・地域主催のもの	48
	当院主催で院外対象のもの	39
	小計	89
その他		188
総計		1075

内科系（総合診療科、代謝内分泌内科、膠原病内科、血液内科、免疫感染症内科、腎臓内科、高血圧内科、腫瘍内科、脳血管・神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、感染症内科、小児科、精神科、放射線科）

外科系（消化管外科、肝胆膵外科、乳腺外科・センター、呼吸器外科、小児外科、脳血管内治療科、脳神経外科、心臓血管外科、血管外科、整形外科・リウマチ科、泌尿器科、眼科、皮膚科、産科・婦人科、耳鼻咽喉科、形成外科、歯科・歯科口腔外科、麻酔科、救急科）

中央部門（臨床検査科・病理診断科、薬剤部、放射線部、臨床検査部、栄養管理室、リハビリテーション部、MEセンター、看護部、地域医療連携室、医療安全管理部、医療情報管理センター、MCセンター、緩和ケアセンター、超音波・生理検査センター、事務部）

A. 論文

- ①英文論文（原著）
- ②英文論文（原著以外）
- ③和文論文（原著）
- ④和文論文（原著以外）

B. 学会発表

- ①国際学会それに準ずるもの
- ②国内総会およびそれに準ずるもの
- ③地方会
- ④学会に準ずるもの

C. 講演会

- ①医師会・地域主催のもの
- ②当院主催で院外対象のもの

D. その他

令和 5 年診療科別業績一覧

診療各科 内科系			診療各科 外科系			中央部門		
総合診療科	論文	0	消化管外科	論文	4	臨床検査科・ 病理診断科	論文	11
	学会発表	2		学会発表	37		学会発表	12
	講演会等	1		講演会等	0		講演会等	3
	その他	0		その他	0		その他	3
代謝内分泌内科	論文	1	肝胆膵外科	論文	0	薬剤部	論文	2
	学会発表	7		学会発表	34		学会発表	21
	講演会等	4		講演会等	0		講演会等	6
	その他	2		その他	0		その他	6
膠原病内科	論文	3	乳腺外科・ センター	論文	0	放射線部	論文	5
	学会発表	22		学会発表	18		学会発表	22
	講演会等	2		講演会等	2		講演会等	0
	その他	0		その他	1		その他	12
血液内科	論文	20	呼吸器外科	論文	4	臨床検査部	論文	0
	学会発表	11		学会発表	13		学会発表	0
	講演会等	0		講演会等	0		講演会等	0
	その他	5		その他	0		その他	1
免疫感染症内科	論文	8	小児外科	論文	0	栄養管理室	論文	0
	学会発表	31		学会発表	5		学会発表	4
	講演会等	8		講演会等	0		講演会等	1
	その他	37		その他	5		その他	9
腎臓内科	論文	2	脳血管内治療科	論文	3	リハビリ テーション部	論文	0
	学会発表	5		学会発表	20		学会発表	4
	講演会等	2		講演会等	1		講演会等	0
	その他	2		その他	7		その他	0
高血圧内科	論文	2	脳神経外科	論文	2	MEセンター	論文	0
	学会発表	3		学会発表	30		学会発表	2
	講演会等	1		講演会等	0		講演会等	0
	その他	0		その他	9		その他	0
腫瘍内科	論文	5	心臓血管外科	論文	0	看護部	論文	2
	学会発表	7		学会発表	4		学会発表	21
	講演会等	0		講演会等	1		講演会等	0
	その他	1		その他	2		その他	0
脳血管・ 神経内科	論文	28	血管外科	論文	2	地域医療連携室	論文	0
	学会発表	18		学会発表	6		学会発表	0
	講演会等	8		講演会等	1		講演会等	0
	その他	19		その他	1		その他	0
消化器内科	論文	15	整形外科・ リウマチ科	論文	7	医療安全管理部	論文	0
	学会発表	36		学会発表	39		学会発表	1
	講演会等	7		講演会等	1		講演会等	0
	その他	4		その他	17		その他	0
呼吸器内科	論文	15	泌尿器科	論文	0	医療情報管理 センター	論文	1
	学会発表	15		学会発表	5		学会発表	4
	講演会等	1		講演会等	0		講演会等	0
	その他	7		その他	2		その他	0
循環器内科	論文	9	眼科	論文	1	MCセンター	論文	0
	学会発表	60		学会発表	5		学会発表	2
	講演会等	11		講演会等	1		講演会等	0
	その他	6		その他	2		その他	0
感染症内科	論文	2	皮膚科	論文	0	緩和ケアセンター	論文	0
	学会発表	0		学会発表	5		学会発表	1
	講演会等	0		講演会等	0		講演会等	0
	その他	1		その他	0		その他	0
小児科	論文	2	産科・婦人科	論文	3	超音波・生理 検査センター	論文	0
	学会発表	8		学会発表	22		学会発表	0
	講演会等	9		講演会等	3		講演会等	0
	その他	3		その他	11		その他	0
精神科	論文	1	耳鼻咽喉科	論文	6	臨床研究センター	論文	1
	学会発表	6		学会発表	17		学会発表	0
	講演会等	3		講演会等	1		講演会等	0
	その他	2		その他	2		その他	0
放射線科	論文	0	形成外科	論文	3	事務部	論文	0
	学会発表	16		学会発表	2		学会発表	2
	講演会等	2		講演会等	0		講演会等	0
	その他	0		その他	1		その他	0
			計	論文	2			1075
				学会発表	8			
				講演会等	0			
				その他	0			
			麻酔科	論文	0			
				学会発表	5			
				講演会等	1			
			救急科	その他	0			
				論文	10			
				学会発表	1			
			講演会等	13				

総合診療科

学会発表

- | | | | |
|-------|---------------------------------|--------------------------------------|------------------------|
| B-② 1 | 不明熱で紹介となり大動脈解離と診断された2症例 | 第28回日本病院総合診療医学会学術総会
2024/3/29 福岡市 | 福留 大晃、居原 毅、加野 哲平、岸原 康浩 |
| B-② 2 | 著名な貧血、食欲低下、炎症反応亢進で紹介された70代女性の一例 | 第28回日本病院総合診療医学会学術総会
2024/3/29 福岡市 | 加野 哲平、居原 毅、福留 大晃、岸原 康浩 |

講演会

- | | | | |
|-------|---------------------------------|---------------------------------|------------------------|
| C-① 3 | 著名な貧血、食欲低下、炎症反応亢進で紹介された70代女性の一例 | 第66回九州総合診療セミナー
2024/1/18 福岡市 | 加野 哲平、居原 毅、福留 大晃、岸原 康浩 |
|-------|---------------------------------|---------------------------------|------------------------|

代謝内分泌内科

論文

- | | | | |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| A-② 1 | Polycystic ovary syndrome in a patient with type B insulin resistance syndrome can improve with glucocorticoid treatment : a case report and literature review | Endocrine Journal
70 (10) : 1015-1021, 2023 | Tetsuhiro Watanabe, Saori Okabe, Shohei Sakamoto
(corresponding author) |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|

学会発表

- | | | | |
|-------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| B-③ 2 | 絶食グルカゴン負荷試験陰性であったインスリンノーマの1例 | 日本内科学会第341回九州地方会
2023/5/27 福岡 | 吉田 萌、坂本 昌平、勝原 俊亮、村上龍之介、柴田 茉祐、堀内由布子、渡邊 哲博 |
| B-③ 3 | ロキサデュスタット使用中にTSH低下をきたした1例 | 第23回日本内分泌学会九州支部学術集会
2023/9/2 長崎 | 武田 七海、坂本 昌平、岡本 菜奈、長尾 倫子、勝原 俊亮、堀内由布子、渡邊 哲博 |
| B-③ 4 | 発熱と頭痛で発症し診断に苦慮した亜急性甲状腺炎の一例 | 第23回日本内分泌学会九州支部学術集会
2023/9/2 長崎 | 徳部 慧、小玉 賢美、大庭 功一、渡邊 哲博、岡部泰二郎 |
| B-③ 5 | 2型糖尿病患者の整形外科手術における当科介入の意義～周術期の血糖管理について～ | 第61回日本糖尿病学会九州地方会
2023/12/1 熊本 | 堀内由布子、武田 七海、岡本 菜奈、長尾 倫子、勝原 俊亮、坂本 昌平、渡邊 哲博 |
| B-③ 6 | 肥満2型糖尿病患者における減量手術前後の体重・筋肉量・筋力の比較 | 第61回日本糖尿病学会九州地方会
2023/12/1 熊本 | 勝原 俊亮、武田 七海、岡本 菜奈、長尾 倫子、堀内由布子、坂本 昌平、渡邊 哲博 |
| B-④ 7 | 高齢者における糖尿病治療の考え方～高齢者糖尿病診療ガイドライン2023を踏まえて～ | 第63回九州総合診療セミナー
2023/7/20 福岡 | 渡邊 哲博 |
| B-④ 8 | 糖尿病合併高血圧の治療戦略 | NEXT Leader's Summit in Fukuoka
2023/11/6 福岡 | 渡邊 哲博 |

講演会

C-① 9	整形外科手術における当科介入の意義 — 周術期の血糖管理について —	第535回福岡市糖尿病アーベント 2023/7/18 福岡	堀内由布子
C-① 10	糖尿病性腎症に関する最近の話題	第7回糖尿病地域フォーラム 2023/9/15 福岡	渡邊 哲博
C-② 11	糖尿病治療の基本的な考え方～多様化 する薬剤の特徴を中心に～	歯科講演会 2023/12/14 当院	渡邊 哲博
C-② 12	高齢者における糖尿病治療の考え方	地域医師のための生涯研修セミナー 第7回婦人科・代謝内分泌内科 2023/10/28 当院	渡邊 哲博

その他

D 13	当院におけるイメグリミンの治療経験	DUAL Seminar in FUKUOKA 2023/1/18 福岡	坂本 昌平
D 14	糖尿病治療におけるGLP-1受容体作 動薬の位置づけ	Diabetes Clinical Seminar 2023/12/7 福岡	渡邊 哲博

膠原病内科

論文

A-① 1	The efficacy and safety of anifrolumab in Japanese patients with systemic lupus erythematosus : TULIP-2 subanalysis.	Modern Rheumatology 33 (1) : 134-144, 2023	Tanaka Y, Atsumi T, Okada M, Miyamura T, Ishii T, Nishiyama S, Matsumura R, Hayashi N, Abreu G, Tummala R, Morand EF, Takeuchi T.
A-① 2	The long-term safety and tolerability of anifrolumab for patients with systemic lupus erythematosus in Japan : TULIP-LTE subgroup analysis.	Modern Rheumatology 34 (4) : 720-731, 2023	Tanaka Y, Atsumi T, Okada M, Miyamura T, Ishii T, Nishiyama S, Matsumura R, Kawakami A, Hayashi N, Abreu G, Yavuz S, Lindholm C, Al-Mossawi H, Takeuchi T.
A-③ 3	FRANKレジストリー費用満足度と治 療満足度に影響する因子	リウマチ科 69 (6) : 634-639, 2023	藤原 稔史、平田 明恵、近藤 正一、山田 久方、 福士 純一、宮原 寿明、井上 靖、都留 智巳、 首藤 敏秀、吉澤 誠司、宮村 知也、綾野 雅宏、 新納 宏昭、大石 正信、赤崎 幸穂、中島 康晴

学会発表

B-② 4	当科の全身性エリテマトーデス合併妊 娠に関する検討	第67回日本リウマチ学会総会 2023/4/24 福岡	石田 素子、中村 真隆、吉玉 健人、田中 孝典、 岩永 智陽、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-② 5	JAK阻害薬で改善を認めた難治性RA-ILD の症例	第67回日本リウマチ学会総会 2023/4/24 福岡	田中 孝典、石田 素子、吉玉 健人、岩永 智陽、 中村 真隆、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-② 6	リツキシマブが奏効した肥厚性硬膜炎 合併顕微鏡的多発血管炎の一例	第67回日本リウマチ学会総会 2023/4/24 福岡	吉玉 健人、中村 真隆、田中 孝典、石田 素子、 岩永 智陽、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也

B-② 7	関節リウマチ患者のQOLスコア改善に影響する因子の解析	第67回日本リウマチ学会総会 2023/4/24 福岡	宮村 知也、石田 素子、中村 真隆、岩永 智陽、 田中 孝典、吉玉 健人、高濱宗一郎、中嶋恵理子、 南 留美
B-② 8	治療抵抗性関節リウマチ (Difficult-to-treat RA) の特徴 -多施設共同前向き観察研究FRANK registryより-	第67回日本リウマチ学会総会 2023/4/24 福岡	有隅 晋吉、津嶋 秀俊、近藤 正一、山田 久方、 櫻庭 康司、嘉村 聡志、福士 純一、宮原 寿明、 井上 靖、都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、 宮村 知也、綾野 雅宏、三苦 弘喜、有信洋二郎、 新納 宏昭、大石 正信、原口 明久、加茂 健太、 鶴居 亮輔、甲斐 一広、筒井 智子、原 大介、 藤原 稔史、赤崎 幸穂、池村 聡、中島 康晴
B-② 9	関節リウマチ患者の身体活動量について -IPAQでの評価-	第67回日本リウマチ学会総会 2023/4/24 福岡	藤村謙次郎、嘉村 聡志、櫻庭 康司、中村 真隆、 石田 素子、宮村 知也、宮原 寿明、福士 純一
B-② 10	当院におけるIgG4関連疾患の臨床的特徴と診断上の注意点	第67回日本リウマチ学会総会 2023/4/24 福岡	中村 真隆、石田 素子、岩永 智陽、田中 孝典、 吉玉 健人、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-② 11	日本人全身エリテマトーデス (SLE) 患者におけるanifrolumabの有効性に関する解析 (TULIP-2試験日本人サブグループ解析)	第67回日本リウマチ学会総会 2023/4/26 福岡	田中 良哉、渥美 達也、岡田 正人、宮村 知也、 石井 智徳、西山 進、松村竜太郎、楠田 政輝、 森嶋 洋輔、山口 芳幸、尾崎 修子、 Gabriel Abreu、Hussein Al-mossawi、Eric F.Morand、 竹内 勤
B-② 12	関節リウマチ患者の身体活動量について -IPAQでの評価-	第38回日本臨床リウマチ学会 2023/11/18 北九州	藤村謙次郎、嘉村 聡志、櫻庭 康司、中村 真隆、 石田 素子、宮村 知也、宮原 寿明、福士 純一
B-③ 13	コントロール不十分にもかかわらず、バイオ/JAK阻害薬非使用のRA患者の特徴：FRANKレジストリー解析から	第66回九州リウマチ学会 2023/9/16 福岡	山田 久方、近藤 正一、宮原 寿明、宮村 知也、 福士 純一、都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、 井上 靖、大石 正信、有信洋二郎、綾野 雅宏、 前山 彰、加茂 健太、赤崎 幸穂、藤原 稔史、 原 大介、有隅 晋吉、鶴居 亮輔、安元慧大朗、 名取 孝弘、新納 宏昭、中島 康晴
B-③ 14	抗MDA5抗体陽性間質性肺炎に対する3剤併用免疫抑制療法の有効性と安全性の解析	第66回九州リウマチ学会 2023/9/16 福岡	中村 真隆、石田 素子、増田 徹、田中 孝典、 野中 貴史、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 15	FRANKレジストリーを用いた65歳以下関節リウマチ患者の就労状況に影響する罹患関節の検討	第66回九州リウマチ学会 2023/9/16 福岡	安元慧大朗、藤原 稔史、近藤 正一、福士 純一、 宮村 知也、井上 靖、都留 智巳、首藤 敏秀、 吉澤 誠司、新納 宏昭、大石 正信、加茂 健太、 前山 彰、中島 康晴
B-③ 16	IVCY療法が奏効したLibman-Sacks型心内膜炎の症例	第66回九州リウマチ学会 2023/9/16 福岡	野中 貴史、中村 真隆、今井絵利華、田中 孝典、 増田 徹、石田 素子、高濱宗一郎、中嶋恵理子、 南 留美、宮村 知也
B-③ 17	ニンテダニブ加療中に薬剤性血栓性微小血管症性ネフローゼ症候群を発症した間質性肺炎合併皮膚筋炎の1例	第66回九州リウマチ学会 2023/9/16 福岡	田中 孝典、石田 素子、野中 貴史、増田 徹、 中村 真隆、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 18	悪性腫瘍を合併した関節リウマチにおける治療法、予後の検討	第66回九州リウマチ学会 2023/9/16 福岡	石田 素子、中村 真隆、福士 純一、野中 貴史、 田中 孝典、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 19	基質化肺炎を合併したSweet病および再発性多発軟骨炎の一例	第66回九州リウマチ学会 2023/9/16 福岡	増田 徹、今井絵利華、野中 貴史、田中 孝典、 中村 真隆、石田 素子、高濱宗一郎、中嶋恵理子、 南 留美、宮村 知也
B-③ 20	HCQ単剤で抗MDA-5抗体が陰性化した皮膚筋炎合併全身性エリテマトーデスの症例	第67回九州リウマチ学会 2024/3/2 宮崎	増田 徹、石田 素子、中村 真隆、田中 孝典、 野中 貴史、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也

B-③ 21	irAE筋炎との鑑別に苦慮した pembrolizumab関連薬剤性横紋筋融解症の症例	第67回九州リウマチ学会 2024/3/2 宮崎	田中 孝典、石田 素子、野中 貴史、増田 徹、 中村 真隆、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 22	Libman-Sacks型心内膜炎による僧帽弁閉鎖不全症および肺胞出血を合併した全身性エリテマトーデスの一例	第67回九州リウマチ学会 2024/3/2 宮崎	中村 真隆、石田 素子、増田 徹、田中 孝典、 野中 貴史、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 23	HTLV-1関連脊髄症との鑑別に苦慮した横断性脊髄炎合併シェーグレン症候群の1例	第67回九州リウマチ学会 2024/3/2 宮崎	野中 貴史、中村 真隆、田中 孝典、増田 徹、 石田 素子、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-④ 24	IVCY療法が奏効したLibman-Sacks型心内膜炎の症例	第136回福岡リウマチ懇話会 2023/5/26 福岡	野中 貴史、中村 真隆、石田 素子、増田 徹、 田中 孝典、今井絵利華、高濱宗一郎、中嶋恵理子、 南 留美、宮村 知也
B-④ 25	環軸椎不安定症を契機に診断された関節リウマチの症例	第137回福岡リウマチ懇話会 2023/8/4 福岡	久原 洋平、中村 真隆、戸次 大史、福士 純一、 石田 素子、増田 徹、田中 孝典、野中 貴史、 高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、宮村 知也

講演会

C-① 26	関節リウマチの薬物療法の実際	第16回レインボーカンファレンス 2023/10/17 福岡	宮村 知也
C-① 27	関節リウマチの日常診療のポイントと病診連携	第16回レインボーカンファレンス 2023/10/17 福岡	石田 素子

血液内科 論文

A-① 1	A prospective, multicenter, observational study of ixazomib plus lenalidomide-dexamethasone in patients with relapsed/refractory multiple myeloma in Japan	Annals of Hematology 103 (2) : 475-488, 2023	Horigome Y, Iino M, Harazaki Y, Kobayashi T, Handa H, Hiramatsu Y, Kuroi T, Tanimoto K, Matsue K, Abe M, Ishida T, Ito S, Iwasaki H, Kuroda J, Shibayama H, Sunami K, Takamatsu H, Tamura H, Hayashi T, Akagi K, Maeda T, Yoshida T, Mori I, Shinozaki T, Iida S.
A-① 2	Development and evaluation of a rapid one-step high sensitivity real-time quantitative PCR system for minor BCR-ABL (e1a2) test in Philadelphia-positive acute lymphoblastic leukemia (Ph+ ALL)	Japanese Journal of Clinical Oncology 54 (2) : 153-159, 2023	Hidaka M, Inokuchi K, Uoshima N, Takahashi N, Yoshida N, Ota S, Nakamae H, Iwasaki H, Watanabe K, Kosaka Y, Komatsu N, Meguro K, Najima Y, Eto T, Kondo T, Kimura S, Yoshida C, Ishikawa Y, Sawa M, Hata T, Horibe K, Iida H, Shimomura T, Dobashi N, Sugiura I, Makiyama J, Miyagawa N, Sato A, Ito R, Matsumura I, Kanakura Y, Naoe T
A-① 3	Impact of a third dose of anti-SARS-CoV-2 vaccine in hematopoietic cell transplant recipients : A Japanese multicenter observational study	Vaccine 41 (47) : 6899-6903, 2023	Mori Y, Uchida N, Wake A, Miyawaki K, Eto T, Nakamura T, Iwasaki H, Ito Y, Tanimoto K, Katayama Y, Imamura Y, Takahashi T, Fujisaki T, Kamimura T, Choi I, Ishitsuka K, Yoshimoto G, Ogawa R, Sugita J, Takamatsu Y, Nagafuji K.

- A-① 4 Efficacy and safety of allogeneic hematopoietic cell transplantation in acute myeloid leukemia patients aged > 65 years with unfavorable cytogenetics
Original Article
Published : 01 May 2023
volume 102, pages1549-1559 (2023)
Annals of Hematology
Aims and scope
Submit manuscript
Annals of Hematology
102 (6) : 1549-1559, 2023
Yamasaki S (corresponding author), Mizuno S, Iwasaki M, Seo S, Uchida N, Shigesaburo M, Nakano N, Ishiwata K, Uehara Y, Eto T, Takase K, Kawakita T, Tanaka M, Sawa M, Katayama Y, Nawa Y, Makoto O, Ichinohe T, Atsuta Y, Kanda J& Yanada M.
- A-① 5 IKZF1plus alterations are not associated with outcomes in Philadelphia-positive acute lymphoblastic leukemia patients enrolled in the FBMTG ALL/MRD2008 trial
European journal of haematology
111 (1) : 103-112, 2023
Ito Y, Ozawa H, Eto T, Miyamoto T, Kamimura T, Ogawa R, Uchida N, Wake A, Fujisaki T, Ohno Y, Takase K, Okumura H, Takamatsu Y, Kawano N, Akashi K, Nagafuji K.
- A-① 6 Outcomes of transplant-eligible patients with myelodysplastic syndrome with excess blasts registered in an observational study : The JALSG-CS11-MDS-SCT
Annals of Hematology
103 (1) : 307-320, 2023
Nakagawa N, Ishiyama K, Usuki K, Takada S, Tomikawa T, Handa H, Katsuoka Y, Hirano D, Sezaki N, Sumi M, Fujisawa S, Taniguchi Y, Mugitani A, Yoshimura T, Ohtsuka E, Takase K, Suehiro Y, Ota S, Kajiguchi T, Maeda T, Yamamoto M, Ohtake S, Katsumi A, Kiyoi H, Matsumura I& Miyazaki Y.
- A-① 7 Real-world data of AML in Japan : results of JALSG clinical observational study-11 (JALSG-CS-11)
International Journal of Hematology
119 (1) : 24-38, 2023
Usuki K, Ohtake S, Honda S, Matsuda M, Wakita A, Nawa Y, Takase K, Maeda A, Sezaki N, Yokoyama H, Takada S, Hirano D, Tomikawa T, Sumi M, Yano S, Handa H, Ota S, Fujita H, Fujimaki K, Mugitani A, Kojima K, Kajiguchi T, Fujimoto K, Asou N, Usui N, Ishikawa Y, Katsumi A, Matsumura I, Kiyoi H& Miyazaki Y
- A-① 8 Real-world data of MDS and CMML in Japan : results of JALSG clinical observational study-11 (JALSG-CS-11)
International Journal of Hematology
119 (2) : 130-145, 2023
Usuki K, Ohtake S, Honda S, Matsuda M, Wakita A, Nawa Y, Takase K, Maeda A, Sezaki N, Yokoyama H, Takada S, Hirano D, Tomikawa T, Sumi M, Yano S, Handa H, Ota S, Fujita H, Fujimaki K, Mugitani A, Kojima K, Kajiguchi T, Fujimoto K, Asou N, Usui N, Ishikawa Y, Katsumi A, Matsumura I, Miyazaki Y& Kiyoi H
- A-① 9 Clinical characteristics of Japanese patients with myelodysplastic/myeloproliferative neoplasm with ring sideroblasts and thrombocytosis
International Journal of Hematology
118 (1) : 47-53, 2023
Edahiro Y, Ochiai T, Hashimoto Y, Morishita S, Shirane S, Inano T, Furuya C, Koike M, Noguchi M, Usuki K, Shiratsuchi M, Nakajima K, Ohtsuka E, Tanaka H, Kawata E, Nakamae M, Ueda Y, Aota Y, Sugita Y, Ohara S, Yamasaki S, Asagoe K, Yoshida S, Yamanouchi J, Suzuki S, Kondo T, Kanisawa Y, Toyama K, Omura H, Mizuchi D, Sakamaki S, Ando M& Komatsu N
- A-① 10 A tissue-intrinsic IL-33/EGF circuit promotes epithelial regeneration after intestinal injury
Nature Communications
14 (1) : 5411, 2023
Marco Calafiore, Ya-Yuan Fu, Paola Vinci, Viktor Arnhold, Winston Y. Chang, Suze A. Jansen, Anastasiya Egorova, Shuichiro Takashima, Jason Kuttiyara, Takahiro Ito, Jonathan Serody, Susumu Nakae, Heth Turnquist, Johan van Es, Hans Clevers, Caroline A. Lindemans, Bruce R. Blazar & Alan M. Hanash

A-① 11	Feasibility of Quality of Life Assessment in Patients with Lymphoma Aged ≥80 Years Receiving Reduced-Intensity Chemotherapy : A Single-Institute Study	Hematology Reports 16 (1) : 1-10, 2023	Yamasaki S.
A-① 12	Night-Time Hot Spring Bathing Is Associated with a Lower Systolic Blood Pressure among Japanese Older Adults : A Single-Institution Retrospective Cohort Study	Geriatrics 9 (1) : 2, 2023	Yamasaki S, Tokunou T, Maeda T, Horiuchi T.
A-① 13	Characteristics and prognosis of patients with COVID-19 and hematological diseases in Japan : a cross-sectional study	International Journal of Hematology 119 (2) : 183-195, 2024	Minakata D, Uchida T, Nakano A, Takase K, Tsukada N, Kosugi H, Kawata E, Nakane T, Takahashi H, Endo T, Nishiwaki S, Fujiwara H, Saito AM, Saito TI, Akashi K, Matsumura I, Mitani K.
A-① 14	Peripheral blood stem cell transplantation using HLA-haploidentical donor with post-transplant cyclophosphamide versus HLA-matched sibling donor for lymphoma	Bone Marrow Transplantation 59 (5) : 630-636, 2024	Nakaya Y, Nakamae H, Nishikubo M, Kondo E, Fukuda T, Hiramoto N, Mori Y, Nagafuji K, Eto T, Onishi Y, Uchida N, Ishikawa J, Matsuoka KI, Yui S, Takase K, Kawakita T, Kanda J, Ichinohe T, Atsuta Y, Kako S.
A-① 15	ctDNA improves prognostic prediction in relapsed/refractory MM receiving ixazomib, lenalidomide, and dexamethasone	blood 143 (23) : 2401-2413, 2024	Kogure Y, Handa H, Ito Y, Ri M, Horigome Y, Iino M, Harazaki Y, Kobayashi T, Abe M, Ishida T, Ito S, Iwasaki H, Kuroda J, Shibayama H, Sunami K, Takamatsu H, Tamura H, Hayashi T, Akagi K, Shinozaki T, Yoshida T, Mori I, Iida S, Maeda T, Kataoka K.
A-① 16	Prognostic impact of HLA supertype mismatch in single-unit cord blood transplantation	Bone Marrow Transplantation 59 (4) : 466-472, 2024	Sugio T, Uchida N, Miyawaki K, Ohno Y, Eto T, Mori Y, Yoshimoto G, Kikushige Y, Kunisaki Y, Mizuno S, Nagafuji K, Iwasaki H, Kamimura T, Ogawa R, Miyamoto T, Taniguchi S, Akashi K, Kato K.
A-② 17	Bisphosphonate use for glucocorticoid-induced osteoporosis in older patients with immune thrombocytopenia : a clinical perspective	Annals of Hematology 102 (7) : 1645-1656, 2023	Satoshi Yamasaki (corresponding author)
A-② 18	Primary analysis of a prospective cohort study of Japanese patients with plasma cell neoplasms in the novel drug era (2016-2021)	International Journal of Hematology 119 (6) : 707-721, 2024	Shibayama H, Itagaki M, Handa H, Yokoyama A, Saito A, Kosugi S, Ota S, Yoshimitsu M, Tanaka Y, Kurahashi S, Fuchida SI, Iino M, Shimizu T, Moriuchi Y, Toyama K, Mitani K, Tsukune Y, Kada A, Tamura H, Abe M, Iwasaki H, Kuroda J, Takamatsu H, Sunami K, Kizaki M, Ishida T, Saito T, Matsumura I, Akashi K, Iida S
A-③ 19	サルベージ療法後にpegfilgrastimを投与した再発/難治性悪性リンパ腫患者における外来管理の安全性と実施可能性 —単一施設, 非盲検, 非ランダム化, 前向き介入研究—	臨床血液 64 (7) : 596-607, 2023	岩崎 浩己、山崎 聡、門脇 賢典、南 満理子、額田 智幸、高瀬 謙

- A-③ 20 Targeting a mitochondrial E3 ubiquitin ligase complex to overcome AML cell-intrinsic Venetoclax resistance Leukemia. 臨床血液 64 (10) : 1361, 2023 Nakao F, Setoguchi K, Semba Y, et al.

学会発表

- B-① 21 ctDNA assessment improves prognostic prediction in multiple myeloma 第85回日本血液学会学術集会 2023/10/13 東京都 Yasunori Kogure, Masaki Ri, Yuta Ito, Hiroshi Handa, Yuichi Horigome, Masaki Iino, Yoriko Harazaki, Takahiro Kobayashi, Masahiro Abe, Tadao Ishida O, Shigeki Ito, Hiromi Iwasaki, Junya Kuroda, Hirohiko Shibayama, Kazutaka Sunami, Hiroyuki Takamatsu, Hideto Tamura, Toshiaki Hayashi, Kiwamu Akagi, Tomohiro Shinozaki, Takahiro Yoshida, Ikuo Mori, Shinsuke Iida, Takahiro Maeda, Keisuke Kataoka.
- B-① 22 Luspatercept for anemia in non-transfusion dependent lower-risk MDS : a phase 2, single-arm study 第85回日本血液学会学術集会 2023/10/13 東京都 Hiroshi Kosugi, Tomoaki Fujisaki, Hiromi Iwasaki, Atsushi Shinagawa, Hiroatsu Iida, Tatsuro Jo, Shiro Kubonishi, Yasuyoshi Morita, Yasuhiro Nakashima, Koichi Onodera O, Kenshi Suzuki Takahiro Suzuki, Yotaro Tamai, Kensuke Usuki, Akira Yokota, Hideyuki Yonaga, Jin Hayakawa, Shuichi Midorikawa, Mitsufumi Nishio, Makoto Suda, Kosei Matsue.
- B-① 23 A prospective, multicenter, observational study of IRd in patients with RRMM in Japan 第85回日本血液学会学術集会 2023/10/13 東京都 Yuichi Horigome, Masaki Iino, Yoriko Harazaki, Takahiro Kobayashi, Hiroshi Handa, Yasushi Hiramatsu, Taiga Kuroi, Kazuki Tanimoto, Kosei Matsue, Masahiro Abe O, Kiwamu Akagi, Toshiaki Hayashi, Tadao Ishida, Shigeki Ito, Hiromi Iwasaki, Junya Kuroda, Takahiro Maeda, Hirohiko Shibayama, Kazutaka Sunami, Hiroyuki Takamatsu O, Hideto Tamura, Takahiro Yoshida, Ikuo Mori, Tomohiro Shinozaki, Shinsuke Iida.
- B-① 24 NOTCH1 and FBXW7 gene alterations in adult T-cell leukemia/lymphoma 第85回日本血液学会学術集会 2023/10/13 東京都 Yuma Sakamoto, Takashi Ishida, Ayako Masaki, Takayuki Murase, Eiichi Ohtsuka, Morishige Takeshita, Reiji Muto, Ilseung Choi, Hiromi Iwasaki, Asahi Ito, Shigeru Kusumoto, Nobuaki Nakano, Masahito Tokunaga, Kentaro Yonekura, Yukie Tashiro O, Youko Suehiro, Shinsuke Iida, Atee Utsunomiya, Ryuzo Ueda, Hiroshi Inagaki .
- B-① 25 Characteristics and prognosis of COVID-19 patients with hematological diseases in Japan 第85回日本血液学会学術集会 2023/10/13 東京都 Daisuke Minakata, Tomoyuki Uchida, Aya Nakano, Ken Takase, Nodoka Tsukada, Hiroshi Kosugi, Eri Kawata, Takahiko Nakane, Hiroyuki Takahashi, Tomoyuki Endo, Satoshi Nishiwaki, Hideaki Fujiwara, Akiko M Saito, Toshiki I Saito, Koichi Akashi, Itaru Matsumura, Kinuko Mitani.
- B-① 26 Outcome of primary intraocular lymphoma : a single center retrospective analysis 第85回日本血液学会学術集会 2023/10/13 東京都 Yasuo Mori, Kensuke Sasaki, Teppei Sakoda, Takuya Harada, Fumiaki Jinnouchi, Kohta Miyawaki, Takuji Yamauchi, Takahiro Shima, Koji Kato, Takahiro Maeda, Koichi Akashi .

B-①	27	Blockade of CXCL13 is promising treatment of tocilizumab-refractory iMCD	第85回日本血液学会学術集会 2023/10/13 東京都	Takuya Harada, Yoshikane Kikushige, Kazuko Uno, Atsushi Kawakami, Kazuyuki Yoshizaki, Koichi Akashi.
B-①	28	Peripheral helper-T-cell-derived CXCL13 is a crucial pathogenic factor in idiopathic multicentric Castleman disease	65th ASH Annual Meeting and Exposition 2023/12/9 San Diego,CA,USA	Takuya Harada, Yoshikane Kikushige, Toshihiro Miyamoto, Kazuko Uno, Hiroaki, Niiro, Atsushi Kawakami, Tomohiro Koga, Koichi Akashi, Kazuyuki Yoshizaki
B-②	29	FUL/BU2/MEL80 non-TBIレジメン後、移植後エンドキサンで施行したHLA半合致移植	第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024/3/22 東京都	吉田 周郎、中尾 文彦、原田 卓哉、高嶋秀一郎、門脇 賢典、高瀬 謙、岩崎 浩己
B-②	30	高齢者AMLに対する同種造血幹細胞移植：移植ソースに関する検討	第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会 2024/3/22 東京都	山崎 聡、水野 昌平、岩崎 惇、瀬尾 幸子、内田 直之、宮腰重三郎、中野 伸亮、石綿 一哉、上原 康史、衛藤 徹也、高瀬 謙、河北 敏郎、田中 正嗣、澤 正史、片山 雄太、名和由一郎、鬼塚 真仁、一戸 辰夫、熱田 由子、諫田 淳也、柳田 正光
B-③	31	肝浸潤により肝不全を合併した特発性好酸球増多症候群（HES）の1例	日本内科学会 第343回九州地方会 2023/11/26 長崎県	深川 悠太、吉田 周郎、原田 卓哉、中尾 文彦、高嶋 秀一郎、門脇 賢典、高瀬 賢、岩崎 浩己

その他

D	32	複数のTKIに「抵抗性/不耐性であった慢性期CMLの2症例	PV/CML X Conference 2023/9/25 Web	高嶋秀一郎
D	33	ディスカッション：チラブルチニブの使用経験とCQ	Hematology Meet the Expert 2023/12/6 Web	高嶋秀一郎
D	34	2nd Line LBCL における当院の治療選択	CAR T 細胞療法セミナー in Fukuoka 2023/12/20 福岡市	高瀬 謙
D	35	急性リンパ性白血病に対する化学療法中に肺高血圧を伴う急性呼吸不全をきたした一例	第227回CPC 2024/2/28 当院	古賀早紀子、大石智恵美、藤田 綾、門脇 賢典、大谷 規彰
D	36	FLT3 阻害剤が奏功した FLT3 遺伝子傍膜貫通ドメイン変異陽性 AML の一例	第 190 回福岡血液懇話会 2024/1/12 福岡市	中尾 文彦

免疫感染症内科

論文

A-①	1	Virological outcomes of various first-line ART regimens in patients harbouring HIV-1 E157Q integrase polymorphism : a multicentre retrospective study.	JOURNAL OF ANTIMICROBIAL CHEMOTHERAPY 78 (12) : 2859-2868, 2023	Uno S, Gatanaga H, Hayashida T, Imahashi M, Minami R, Koga M, Samukawa S, Watanabe D, Fujii T, Tateyama M, Nakamura H, Matsushita S, Yoshino Y, Endo T, Horiba M, Taniguchi T, Moro H, Igari H, Yoshida S, Teshima T, Nakajima H, Nishizawa M, Yokomaku Y, Iwatani Y, Hachiya A, Kato S, Hasegawa N, Yoshimura K, Sugiura W, Kikuchi T
-----	---	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

A-① 2	Evaluation of Neutralizing Activity against Omicron Subvariants in BA.5 Breakthrough Infection and Three-Dose Vaccination Using a Novel Chemiluminescence-Based, Virus-Mediated Cytopathic Assay.	Microbiology Spectrum 11 (4) : e0066023, 2023	Toyoda M, Tan TS, Motozono C, Barabona G, Yonekawa A, Shimono N, Minami R, Nagasaki Y, Miyashita Y, Oshiumi H, Nakamura K, Matsushita S, Kuwata T, Ueno T
A-① 3	Association of demographics, HCV co-infection, HIV-1 subtypes and genetic clustering with late HIV diagnosis : a retrospective analysis from the Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network.	Journal of the International AIDS Society 26 (5) : e26086, 2023	Otani M, Shiino T, Hachiya A, Gatanaga H, Watanabe D, Minami R, Nishizawa M, Teshima T, Yoshida S, Ito T, Hayashida T, Koga M, Nagashima M, Sadamasu K, Kondo M, Kato S, Uno S, Taniguchi T, Igari H, Samukawa S, Nakajima H, Yoshino Y, Horiba M, Moro H, Watanabe T, Imahashi M, Yokomaku Y, Mori H, Fujii T, Takada K, Nakamura A, Nakamura H, Tateyama M, Matsushita S, Yoshimura K, Sugiura W, Matano T, Kikuchi T
A-③ 4	抗HIV治療ガイドライン「抗HIV薬の副作用」	エイズ対策政策研究事業「HIV感染症および血友病におけるチーム医療の構築と医療水準の向上を目指した研究班」抗HIV治療ガイドライン 112-137, 2023	南 留美
A-③ 5	High-Impact Articles「PLWHにおけるクローン性造血」	HIV感染症とAIDSの治療 14 (1) : 77-80, 2023	南 留美
A-③ 6	抗HIV治療ガイドライン「抗HIV薬の副作用」	エイズ対策政策研究事業「HIV感染症および血友病におけるチーム医療の構築と医療水準の向上を目指した研究班」抗HIV治療ガイドライン 74-83, 2023	南 留美
A-③ 7	女性・妊婦・小児・高齢者のHIV/AIDS診療	別冊・医学のあゆみ HIVの発見から40年—医学はどう戦ったか、これからどう戦うのか 72-78, 2024	南 留美
A-③ 8	HIV/AIDS診療の過去・現在・未来—医学はどう戦ったか、教訓と残された課題	別冊・医学のあゆみ HIVの発見から40年—医学はどう戦ったか、これからどう戦うのか 6-17, 2024	満屋 裕明、岡 慎一、白阪 琢磨、南 留美、生島 嗣

学会発表

B-① 9	Assessment of the effectiveness, safety and tolerability of bictegravir/emtricitabine/tenofovir alafenamide (B/F/TAF) in routine clinical practice : 12-month results of the retrospective patients in the BICSTaR Japan study	APACC 2023 2023/6/8 Singapore	Rumi Minami, Dai Watanabe, Katsuji Teruya, Yoshiyuki Yokomaku, Tomoyuki Endo, Yasuko Watanabe, Andrea Marongiu, Tetsuya Tanikawa, Marion Heinzkill, Takuma Shirasaka, Shinichi Oka
B-① 10	A cluster of phylogenetically close strains of the highly virulent variant of HIV-1 subtype B circulating in the Netherlands was detected in Japan	IAS 2023 Conference on HIV Science 2023/7/23 Brisbane, Australia	Machiko Otani, Mayumi Imahashi, Rumi Minami, Atsuko Hachiya, Masakazu Matsuda, Masako Nishizawa, Teiichiro Shiino, Tetsuro Matano, Yoshiyuki Yokomaku, Yasumasa Iwatani, Tadashi Kikuch, Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network

B-① 11	Trends in prevalence of pretreatment drug-resistance in Japan : a comparison between the pre- and post- second-generation INSTI era	INTERNATIONAL WORKSHOP ON HIV DRUG RESISTANCE AND TREATMENT STRATEGIES 2023/9/20 Cape Town, South Africa	adashi Kikuchi, Mayumi Imahashi, Hiroyuki Gatanaga, Dai Watanabe, Rumi Minami, Shigeru Yoshida, Tsunefusa Hayashida, Lucky Ronald Runtuwene, Teiichiro Shiino, Masako Nishizawa, Atsuko Hachiya, Kazuhisa Yoshimura, Wataru Sugiura, on behalf of the Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network
B-① 12	Characterization of Antigen-specific T Cell Responses in Third-Dose SARS-CoV-2 Vaccinated Japanese with HIV-1 Infection.	24th Kumamoto AIDS Seminar 2023/11/6 熊本	Ndubi Mark, Mako Toyoda, Chihiro Motozono, Rumi Minami, Takamasa Ueno
B-② 13	末梢挿入型中心静脈カテーテル (PICC) におけるCR-BSI発生要因に関する調査研究	第9回日本NP学会学術集会 2023/10/20 北海道	石原 夕子、長崎 洋司
B-② 14	Rapid Response Systemの運用状況と初動を担う診療看護師の役割	第9回日本NP学会学術集会 2023/10/20 北海道	高祖 直美
B-② 15	当院における非AIDS指標悪性腫瘍21例の後方視的検討	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/3 京都市	中嶋恵理子、高濱宗一郎、山地 由恵、犬丸 真司、長與由紀子、城崎 真弓、南 留美、山本 政弘
B-② 16	カポテグラビル+リルピブリンの使用経験とPOMSによる精神神経系有害事象の評価	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/3 京都市	合原 嘉寿、山口 泰弘、松永 真実、橋本 雅司、木下 理沙、曾我真千恵、中嶋恵理子、高濱宗一郎、南 留美
B-② 17	福岡県内のSTI関連病院におけるアンケートの調査	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/3 京都市	高濱宗一郎、中嶋恵理子、山地 由恵、犬丸 真司、長與由紀子、城崎 真弓、南 留美
B-② 18	2022年の国内新規診断未治療HIV感染者・AIDS患者における薬剤耐性HIV-1の動向	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/3 京都市	菊地 正、西澤 雅子、小島 潮子、大谷眞智子、Lucky Runtwene、椎野禎一郎、豊嶋 崇徳、伊藤 俊広、林田 庸総、瀧永 博之、岡 慎一、古賀 道子、長島 真美、貞升 健志、佐野 貴子、近藤真規子、宇野 俊介、谷口 俊文、猪狩 英俊、寒川 整、中島 英明、吉野 友祐、堀場 昌英、茂呂 寛、渡邊 珠代、蜂谷 敦子、今橋 真弓、松田 昌和、重見 麗、岡崎 玲子、岩谷 靖雅、横幕 能行、渡邊 大、阪野 文哉、川畑 拓也、藤井 輝久、高田 清式、中村 麻子、南 留美、松下 修三、饒平 名聖、仲村 秀太、健山 正男、藤田 次郎、吉村 和久、杉浦 互
B-② 19	ブロック拠点病院における精神科との地域連携の現状と課題～ソーシャルワーカーの立場から～	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/4 京都市	首藤美奈子
B-② 20	国内HIV-1伝播クラスタ動向 (SPHNCS分析)年報-2022年	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/4 京都市	椎野禎一郎、大谷眞智子、中村 麻子、南 留美、今橋 真弓、吉村 和久、杉浦 互、菊地 正、
B-② 21	マイノリティストレスがHIV陽性者の治療意欲に及ぼす影響—カウンセラーの視点から—	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/4 京都市	飯田 昌子、長浦 由紀、関口 愛、曾我真千恵
B-② 22	エイズ文化フォーラム「ウイルス母子感染!～正しく知って正しく防ごう～」におけるアンケート解析	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/4 京都市	鈴木ひとみ、高野 政志、羽柴知恵子、渡邊 英恵、出口 雅士、長與由紀子、廣瀬 紀子、榎本美喜子、藤田 綾、吉野 直人、高橋 尚子、杉浦 敦、田中 瑞恵、北島 浩二、山田 里佳、蓮尾 泰之、林 公一、外川 正生、佐久本 薫、喜多 恒和

B-②	23	HIV感染者のメタボリックリスクとART選択	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/5 京都市	南 留美
B-②	24	ビルテグラビル・エムトリシタピン/テノホビルアラフェナミド (B/F/TAF) の日本人HIV陽性者 (PWH) に対する有効性と安全性: BICSTaRJapan24 カ月解析結果	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/5 京都市	照屋 勝治、横幕 能行、渡邊 大、遠藤 知之、南 留美、田口 直、Rebecca Harrison、Andorea Marongiu、白阪 琢磨、岡 慎一
B-②	25	エイズ診療ブロック拠点病院等ソーシャルワーカー情報交換会の開催意義と役割	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/5 京都市	重信 英子、首藤美奈子、岡本 学、高橋 昌也、三嶋 一輝、山口みなみ、北村 未希、佐藤 華絵、青野加奈子、鳥越彩英子、川端 まみ、窪田 和世、横尾ゆかり、豊永ひかり、中嶋 幸徳、築山 芽生、中津千恵子、堤 千尋、大里 文誉、田邊 瑛美、仲倉 高広
B-②	26	HIV陽性者の受け入れ経験を有する事業所のネットワークを作る取り組み「福岡県HIVサポーター連携カンファレンス」実践報告	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/5 京都市	田邊 瑛美、南 留美、首藤美奈子、大里 文誉、新野 歩
B-②	27	終末期医療に移行したHIV陽性者へのソーシャルワーク実践—家族へ病名未告知立った際の療養支援—	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/5 京都市	大里 文誉、首藤美奈子、南 留美
B-②	28	抗HIV薬変更に伴う赤血球数の変化について	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/5 京都市	南 留美、高濱宗一郎、中嶋恵理子、城崎 真弓、長與由紀子、犬丸 真司、山地 由恵、合原 嘉寿、小松真梨子、矢田 亮子、山本 政弘
B-③	29	HIV感染症における長期合併症～Aging を中心に～	第93回日本感染症学会西日本地方会学術集会、第71回日本化学療法学会西日本支部総会 合同学会 2023/11/7 富山	南 留美
B-④	30	HIV 診療の現状と課題：九州における地域連携	第14回沖縄 HIV 臨床カンファレンス 2023/1/20 沖縄	南 留美
B-④	31	HIV早期診断の必要性和日見感染症	第165回岡山診療ネットワーク研究会 2023/7/4 Web	高濱宗一郎
B-④	32	AIDSの知識を深める～HIV脳症を中心に～	第2回福岡県HIVサポーター連携カンファレンス 2023/9/29 福岡	南 留美
B-④	33	「HIV脳症患者の支援を通して～拠点病院の立場から～」	第2回福岡県HIVサポーター連携カンファレンス 2023/9/29 福岡	大里 文誉
B-④	34	かかりつけ医に知って頂きたいHIV/AIDSの今とこれから	久留米HIV研究会 2023/10/18 福岡県久留米市	南 留美
B-④	35	シンポジウム「頑張りすぎない職場づくり」	第77回国立病院医学会広島県大会 2023/10/22 広島	首藤美奈子
B-④	36	HIV診療の今までとこれから～残された課題にどう挑むか	第7回北信HIVセミナー 2023/10/27 Web	南 留美
B-④	37	これからのHIV診療の中で私たちがすべきマネジメント	HIV Virtual Seminar in 山口 2023/11/17 Web	南 留美

- | | | | | | |
|-----|----|----------------------------------------|-----------------------------------------------|---|----|
| B-④ | 38 | ボカブリア・リカムビスの臨床試験結果～九州医療センターにおける経験も含めて～ | HIV UP-TO-DATE seminar in 九州
2023/12/8 Web | 南 | 留美 |
| B-④ | 39 | ボカブリア・リカムビス治療～臨床データから見えるメリット・デメリット～ | HIV UP-TO-DATE seminar in 九州
2024/1/26 福岡 | 南 | 留美 |

講演会

- | | | | | | |
|-----|----|--------------------------|---------------------------------------------|---|-------|
| C-① | 40 | 「薬害被害者の医療福祉情報」 | 医療福祉相談会
2024/1/21 熊本 | | 首藤美奈子 |
| C-① | 41 | 福岡県のエイズ診療の今とこれから | 令和5年度福岡県エイズ治療拠点病院等連絡協議会・研修会
2024/2/8 福岡県 | 南 | 留美 |
| C-① | 42 | 性感染症・HIV感染症の最近の話題 | 令和5年度福岡県エイズ・性感染症対策推進協議会
2024/2/9 福岡県 | 南 | 留美 |
| C-① | 43 | 『HIV陽性者の在宅療養支援』 | 北海道HIV情報交換会
2024/2/17 北海道 | | 首藤美奈子 |
| C-② | 44 | HIV陽性患者の社会資源と地域連携 | 福岡県介護福祉士会定期総会基調講演
2023/6/18 福岡 | | 田邊 瑛美 |
| C-② | 45 | HIV疾患/治療について | 九州ブロックHIV/AIDS基礎研修(医師向け)
2023/6/23 福岡市 | | 高濱宗一郎 |
| C-② | 46 | HIV感染症の最新情報：PrEPについて情報提供 | 福岡HIVネットワーク 第49回シンポジウム
2024/2/2 福岡 | 南 | 留美 |
| C-② | 47 | 「HIV陽性者の社会資源と地域連携」 | HIV出前研修
2024/2/28 福岡 | | 首藤美奈子 |

その他

- | | | | | | |
|---|----|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---|-------|
| D | 48 | 九州ブロックのHIV医療体制整備～九州ブロックのHIV医療体制整備に関する研究 | HIV感染症の医療体制の整備に関する研究 令和4年度総括・分担研究報告書
66-70, 2023 | 南 | 留美 |
| D | 49 | 九州地域における地域支援者と拠点病院・行政の連携、相互理解の推進 | 非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究令和4年度総括・分担研究報告書
32-37, 2023 | 南 | 留美 |
| D | 50 | 「性的マイノリティの老後支援」テーマ「専門職から診た性的マイノリティの方への支援」座談会 | 月刊ケアマネジメント 2023年8月号
34(8):12-15, 2023 | | 首藤美奈子 |
| D | 51 | 『「正しい知識」と「適切な配慮」で差別のない世界に』インタビュー | 月刊ケアマネジメント 2023年12月号
34(12):15-16, 2023 | | 首藤美奈子 |

D	52	九州ブロックのHIV医療体制整備—九州ブロックのHIV医療体制整備に関する研究	HIV感染症の医療体制の整備に関する研究 令和2—4年度総合研究報告書 66-71, 2023	南	留美
D	53	九州ブロックのHIV医療体制整備—九州ブロックのHIV医療体制整備に関する研究	HIV感染症の医療体制の整備に関する研究 令和5年度総括・分担研究報告書 64-70, 2024	南	留美
D	54	持効性注射剤 患者の希望と選定の実際	HIV Team conference 2023/4/13 Web	南	留美
D	55	30分でわかるHIV陽性者の合併症の現状	HIV インターネット講演会 2023/5/22 Web	南	留美
D	56	性感染症の梅毒急増 福岡県では過去最多の去年を上回るペース	NHK「ロクイチ！福岡」 2023/6/1 18:10～19:00OA	南	留美
D	57	九州地域における地域支援者と拠点病院・行政の連携、相互理解の推進	「非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病患者の長期療養体制構築に関する患者参加型研究」2023年度第1回班会議 2023/6/14 Web	南	留美
D	58	長期療養時代に求められる新しい診療アプローチとは	Web 講演会 2023/6/28 Web	南	留美
D	59	HIV/AIDSをUP DATEしよう	みんなでHIV/AIDSをUP DATEする会 2023/6/29 福岡	高濱宗一郎	
D	60	連携へのサポート体制	ギリアドサイエンシズ主催：みんなでHIV/AIDSをUPDATEする会～福岡県透析医会と一緒に～ 2023/6/29 福岡	首藤美奈子	
D	61	当院における画像診断と治療の実際	福岡 Hands on Echo Seminar II 2023/6/30 福岡	南	留美
D	62	九州ブロックのHIV医療体制の整備に関する研究	厚生労働省エイズ対策政策研究事業「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」班会議 2023/7/3 Web	南	留美
D	63	「HIV感染症患者の理解」	HIV出前研修 2023/7/3 福岡	大里 文誉	
D	64	HIV診療における保険薬局の役割～医師の立場から	共和HIVセミナー in九州 2023/7/8 福岡市	南	留美
D	65	ボカブリア・リカムビスに関するエビデンスと患者ベネフィット	HIV UP-TO-DATE seminar 2023/7/12 Web	南	留美
D	66	HIV/AIDSの最新情報	出前研修 2023/7/13 福岡	高濱宗一郎	
D	67	ドゥベイト配合錠の現況	E2 HIV Expert Forum in 九州 2023/7/28 福岡市 Hybrid	南	留美
D	68	ボカブリア+リカムビスがHIV患者にもたらす臨床的ベネフィット	HIV UP-TO-DATE Webinar 2023/8/1 Web	南	留美

D	69	知っトク！ふくおか【梅毒の感染者増加】	FBS福岡放送「知っトク福岡」 2023/8/26 OA	南	留美
D	70	ファイナンシャル・プランナーによる患者相談事業について	ブロック別都道府県・エイズ拠点病院等連絡会議 2023/9/7 福岡		首藤美奈子
D	71	地域におけるチーム医療とHIV感染症	地域医師のための生涯研修セミナー 2023/9/9 福岡市	南	留美
D	72	その考えはもう古い！～身近に出会う性感染症と考え方～	地域医師のための生涯研修セミナー 2023/9/9 福岡		高濱宗一郎
D	73	HIVとメンタルヘルスの重要性	ソーシャルワーカーのための HIV陽性者とメンタルヘルス研修会 2023/9/17 福岡	南	留美
D	74	HIV医療と精神科医療との連携、MSWの役割	厚生労働科学研究費補助金HIV対策政策研究事業ソーシャルワーカーのためのHIV陽性者とメンタルヘルス研修会 2023/9/17 福岡		首藤美奈子
D	75	成人における運動時の管理や周術期後の管理について	あすAあすB血友病セミナー in九州 2023/9/21 福岡 Hybrid	南	留美
D	76	薬害HIVとエイズ治療ブロック拠点病院としての当院の役割	九州医療センターフォーラム 2023/9/27 福岡	南	留美
D	77	HIV 感染症の最新情報	第42回九州ブロックエイズ拠点病院研修会 2023/10/13 福岡 Hybrid	南	留美
D	78	Cardiometabolic riskとPLWH 一適切なART選択を検討するー	HIV Pharmacist Forum2023 ～Part2～ 2023/10/20 Web	南	留美
D	79	血友病とHIVの最近の話題	NPO法人ネットワーク医療と人権「医療福祉相談会」 2023/10/22 福岡市	南	留美
D	80	医療福祉制度に関する話題	NPO ネットワーク医療と人権主催医療福祉相談会 2023/10/22 福岡		首藤美奈子
D	81	HIV最新情報	九州ブロックHIV/AIDS看護師応用研修 2023/10/26 福岡市	南	留美
D	82	HIV陽性患者の社会資源と地域連携	HIV出前研修 2023/11/29 福岡		首藤美奈子
D	83	九州ブロックのHIV診療体制整備に向けた取り組みー地域拡大臨床カンファレンスー	Meet the Expert for Hemophilia 2024/1/28 東京	南	留美
D	84	中高齢期を見据えた血友病B治療	CSLベーリング 血友病B Webセミナー 2024/2/21 Web	南	留美

腎臓内科

論文

- A-① 1 Sex differences in the association between urate metabolism and kidney outcomes in patients with chronic kidney disease Clinical and Experimental Nephrology 8 (27) : 687-700, 2023 Haruyama N, Nakayama M, Fukui A, Yoshitomi R, Tsuruya K, Nakano T, Kitazono T
- A-① 2 Association between iron status markers and kidney outcome in patients with chronic kidney disease Scientific Reports 13 (1) : 18278, 2023 Fujisawa H, Nakayama M, Haruyama N, Fukui A, Yoshitomi R, Tsuruya K, Nakano T, Kitazono T

学会発表

- B-② 3 CKD患者における低栄養マーカー (CONUTスコア、PNI)と総死亡の関連：多施設共同後ろ向きコホート研究 第66回日本腎臓学会学術集会 2023/6/11 横浜市 春山 直樹、中山 勝、田中 茂、津田 晋、吉富 亮太、福井 明子、鶴屋 和彦、北園 孝成、中野 敏昭
- B-② 4 保存期慢性腎臓病患者における尿酸代謝と腎予後との関係における性差について 第66回日本腎臓学会学術集会 2023/6/11 横浜市 春山 直樹、中山 勝、福井 明子、吉富 亮太、鶴屋 和彦、中野 敏昭、北園 孝成
- B-③ 5 治療に難渋しリツキシマブにより肺胞出血を来さず臨床的寛解を得た抗GBM抗体型糸球体腎炎の一例 第53回日本腎臓学会西部学術大会 2023/10/8 岡山市 井上 真凜、福井 明子、吉住瑛里子、藤澤 宏亘、春山 直樹、中山 勝
- B-③ 6 多発性肝嚢胞による圧排から胆汁うっ滞、胆管炎を繰り返し、生体肝移植に至った多発性嚢胞腎の1例 第14回福岡県透析医学会 学術集会・総会 2023/10/15 福岡市 福井 明子、春山 直樹、津田 晋、吉富 亮太、木下 真以、井上 真凜、藤澤 宏亘、中山 勝、原田 昇
- B-③ 7 治療に難渋しリツキシマブにより肺胞出血を来さず臨床的寛解を得た抗GBM抗体型糸球体腎炎の一例 第14回福岡県透析医学会 学術集会・総会 2023/10/15 福岡市 井上 真凜、福井 明子、木下 真以、吉住瑛理子、藤澤 宏亘、春山 直樹、石田 素子、中山 勝

講演会

- C-① 8 あなたの腎臓はどうすれば守れるの？～慢性腎臓病 (CKD) の治療について～ 第10回慢性腎臓病 (CKD) 市民講座 2023/3/11 福岡市 春山 直樹
- C-① 9 「CKD診療ガイドライン2023の改訂のポイント～SGLT2阻害剤・MRA・腎性貧血を中心に～」 早良区医師会学術講演会 心腎貧血連関セミナー 2023/12/19 福岡市 中山 勝

その他

- D 10 「地域医療におかされるckd病診連携」 「CKD治療におけるSGLT2阻害剤導入ポイント」 CKD Seminar ～慢性腎臓病治療を再考する～ 2023/4/27 福岡市 パネルディスカッション 司会 中山 勝
- D 11 「CKD診療 病診連携を進めるためのボトルネックと解決策」 STOP CKD in 福岡西エリア 2023/11/21 福岡市 パネルディスカッション 司会 中山 勝

高血圧内科

論文

- A-④ 1 食塩摂取量の評価方法 Current Therapy 41 (9) : 825-830, 2023 荒川 仁香、富永 光裕、土橋 卓也
- A-④ 2 特集ホルモンの視点で高血圧を斬るー
病因・病態から治療と予後へ
3.本態性高血圧の成因・診断・治療法
ーナトリウム調節以上と本態性高血圧 糖尿病・内分泌ブракティスweb 2024 (3-4月号 (2)) : 0020-0026, 2024 荒川 仁香

学会発表

- B-② 3 高血圧専門外来におけるサクビトリル
バルサルタンの処方状況 第45回日本高血圧学会総会
2023/9/17 大阪府大阪市 富永 光裕、荒川 仁香、守永 友希、土橋 卓也
- B-② 4 高血圧実臨床において随時尿Na/Kを
用いる際のコツ 第45回日本高血圧学会総会
2023/9/17 大阪府大阪市 荒川 仁香、守永 友希、富永 光裕
- B-② 5 外来主治医への血圧管理に対する調査
後に管理状況は改善したか？ 第45回日本高血圧学会総会
2023/9/17 大阪府大阪市 守永 友希、荒川 仁香、富永 光裕

講演会

- C-① 6 高血圧内科の最新トピックス 第8回地域医療のための生涯教育セ
ミナー 富永 光裕
2023/11/11 福岡県福岡市

腫瘍内科

論文

- A-① 1 Early Phase Persistent Changes
in the White Blood Cell Fraction
in Patients With Advanced
Urothelial Carcinoma Treated With
Pembrolizumab : A Multicenter
Retrospective Study Anticancer Research
43 (10) : 4701-4708, 2023 Nobuki Furubayashi, Akinori Minato, Takahito
Negishi, Naotaka Sakamoto, Yoohyun Song,
Yoshifumi Hori, Toshihisa Tomoda, Hiroyuki
Masaoka, Mirii Harada, Shingo Tamura, Hiroki
Kobayashi, Kaede Morihara, Kentaro Kuroiwa,
Narihito Seki, Naohiro Fujimoto, Motonobu
Nakamura
- A-① 2 Preferential B cell differentiation
by combined immune checkpoint
blockade for renal cell carcinoma is
associated with clinical response and
autoimmune reactions Cancer Immunology
Immunotherapy
72 (11) : 3543-3558, 2023 Koki Uehara, Kenro Tanoue, Kyoko Yamaguchi,
Hirofumi Ohmura, Mamoru Ito, Yuzo Matsushita,
Kenji Tsuchihashi, Shingo Tamura, Hozumi
Shimokawa, Taichi Isobe, Yoshihiro Shibata, Hiroshi
Ariyama, Risa Tanaka, Hitoshi Kusaba, Hidetaka
Yamamoto, Yoshinao Oda, Koichi Akashi, Eishi
Baba

A-① 3	Survival outcomes including salvage therapy of adult head and neck paraneural rhabdomyosarcoma : a multicenter retrospective study from Japan	BMC Cancer 23 (1) : 1046, 2023	Kenji Tsuchihashi, Mamoru Ito, Shuji Arita, Hitoshi Kusaba, Wataru Kusano, Takashi Matsumura, Takafumi Kitazono, Shohei Ueno, Ryosuke Taguchi, Tomoyasu Yoshihiro, Yasuhiro Doi, Kohei Arimizu, Hirofumi Ohmura, Tatsuhiro Kajitani, Kenta Nio, Michitaka Nakano, Kotoe Oshima, Shingo Tamura, Tsuyoshi Shirakawa, Hozumi Shimokawa, Keita Uchino, Fumiyasu Hanamura, Yuta Okumura, Masato Komoda, Taichi Isobe, Hiroshi Ariyama, Taito Esaki, Kazuki Hashimoto, Noritaka Komune, Mioko Matsuo, Keiji Matsumoto, Kaori Asai, Tadamasu Yoshitake, Hidetaka Yamamoto, Yoshinao Oda, Koichi Akashi, Eishi Baba
A-① 4	A Phase 2 Study of Encorafenib in Combination with Binimetinib in Patients with Metastatic BRAF-Mutated Thyroid Cancer in Japan	Thyroid 34 (4) : 467-476, 2024	Makoto Tahara, Naomi Kiyota, Hiroo Imai, Shunji Takahashi, Akihiro Nishiyama, Shingo Tamura, Yasushi Shimizu, Shigenori Kadowaki, Ken-Ichi Ito, Masahiro Toyoshima, Yoshinori Hirashima, Shinji Ueno, Iwao Sugitani
A-① 5	Effectiveness and safety of primary prophylaxis of granulocyte colony-stimulating factor during dose-dense chemotherapy for urothelial cancer : Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022	International Journal of Clinical Oncology 29 (5) : 545-550, 2024	Keita Uchino, Shingo Tamura, Shoji Kimura, Keisuke Shigeta, Takahiro Kimura, Yukinori Ozaki, Hiroshi Nishio, Kenji Tsuchihashi, Eiki Ichihara, Makoto Endo, Shingo Yano, Dai Maruyama, Tetsuhiro Yoshinami, Nobuyuki Susumu, Munetaka Takekuma, Takashi Motohashi, Mamoru Ito, Eishi Baba, Nobuaki Ochi, Toshio Kubo, Yutaro Kamiyama, Shinji Nakao, Shinobu Tamura, Hitomi Nishimoto, Yasuhisa Kato, Atsushi Sato, Toshimi Takano, Yuji Miura

学会発表

B-① 6	Post-hoc analysis of TRAEs observed in a phase 2 study of encorafenib + binimetinib in metastatic BRAF V600-mutated TC	第21回日本臨床腫瘍学会学術集会 2024/2/22 名古屋	高橋 俊二、田原 信、清田 尚臣、今井 源、西山 明宏、田村 真吾、清水 康、門脇 重憲、伊藤 研一、豊島 優裕、平島 詳典、上野 真治、若澤 広樹、杉谷 巖
B-① 7	Spatially and phenotypically distinct CD39+ CD8+ T cell response following PD-1 blockade in esophageal cancer	第21回日本臨床腫瘍学会学術集会 2024/2/22 名古屋	田ノ上 絢郎、大村 洋文、上原 康輝、伊東 守、山口 享子、土橋 賢司、篠原 雄大、田村 真吾、下川 穂積、磯部 大地、有山 寛、柴田 義宏、田中 吏佐、草場 仁志、江崎 泰斗、三ツ木健二、赤司 浩一、馬場 英司
B-① 8	Predictive biomarker study for gastric cancer treated with first-line nivolumab plus chemotherapy	第21回日本臨床腫瘍学会学術集会 2024/2/22 名古屋	上原 康輝、田ノ上 絢郎、大村 洋文、吉弘 知恭、山口 享子、伊東 守、篠原 雄大、二尾 健太、土橋 賢司、田村 真吾、下川 穂積、磯部 大地、柴田 義宏、草場 仁志、江崎 泰斗、赤司 浩一、馬場 英司
B-① 9	Prospective observational study to evaluate of trastuzumab deruxtecan in HER2-positive Gastric Cancer	第21回日本臨床腫瘍学会学術集会 2024/2/22 名古屋	花村 文康、上原 康輝、上野 翔平、篠原 雄大、大村 洋文、奥村 祐太、薦田 正人、田村 真吾、下川 穂積、草場 仁志、江崎 泰斗、馬場 英司
B-① 10	高齢者大腸癌患者における Trifluridine/tipiracil + Bevacizumab 療法の安全性および有効性の検討	第21回日本臨床腫瘍学会学術集会 2024/2/22 名古屋	三好 孝法、深澤 真実、和佐野英子、高武 嘉道、筒井 結子、藤瀬 陽子、大橋 邦央、田村 真吾、橋本 雅司

- | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| B-① 11 | Survival outcomes of adult head and neck para-meningeal rhabdomyosarcoma : a multicenter retrospective KMOG study | 第21回日本臨床腫瘍学会学術集会
2024/2/24 名古屋 | 伊東 守、在田 修二、草場 仁志、梶谷 竜裕、大嶋 琴絵、田村 真吾、白川 剛、下川 穂積、内野 慶太、薦田 正人、磯部 大地、土橋 賢司、有山 寛、江崎 泰斗、松尾美央子、吉武 忠正、小田 義直、赤司 浩一、馬場 英司 |
| B-② 12 | BRAF V600遺伝子変異を有する根治切除不能な甲状腺癌に対するEncorafenibとBinimetinib併用療法の国内第Ⅱ相試験成績 | 第35回日本内分泌外科学会総会
2023/6/17 松本市 | 今井 源、田原 信、清田 尚臣、高橋 俊二、西山 明宏、田村 真吾、清水 康、門脇 重憲、伊藤 研一、杉谷 巖 |

その他

- | | | | |
|------|---------------------------------------------|---------------------------|------------------------------|
| D 13 | 肺腫瘍血栓性微小血管症（P T T M）により急激に死の転帰をたどった原発不明癌の一例 | 第225回CPC
2023/12/11 当院 | 中村 萌乃、桑山 美幸、藤原美奈子、田村 真吾、森 隆宏 |
|------|---------------------------------------------|---------------------------|------------------------------|

脳血管・神経内科

論文

- | | | | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A-① 1 | Decreased Estimated Glomerular Filtration Rate and Proteinuria and Long-Term Outcomes After Ischemic Stroke : A Longitudinal Observational Cohort Study | Stroke
54 (5) : 1268-1277, 2023 | Ueki K, Matsuo R, Kuwashiro T, Irie F, Wakisaka Y, Ago T, Kamouchi M, Kitazono T : Fukuoka Stroke Registry Investigators |
| A-① 2 | Renal Function and Clinical Outcomes Among Elderly Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation From ANAFIE | JACC Asia
3 (3) : 475-487, 2023 | Shimizu W, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T, Koretsune Y, Okumura K, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H |
| A-① 3 | Coagulation Biomarkers and Clinical Outcomes in Elderly Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation : ANAFIE Subcohort Study | JACC Asia
3 (4) : 595-607, 2023 | Koretsune Y, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H |
| A-① 4 | Risk of both intracranial hemorrhage and ischemic stroke in elderly individuals with nonvalvular atrial fibrillation taking direct oral anticoagulants compared with warfarin : Analysis of the ANAFIE registry | International Journal of Stroke
18 (8) : 986-995, 2023 | Shiozawa M, Koga M, Inoue H, Yamashita T, Yasaka M, Suzuki S, Akao M, Atarashi H, Ikeda T, Okumura K, Koretsune Y, Shimizu W, Tsutsui H, Hirayama A, Nakahara J, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Yamaguchi T, Toyoda K |
| A-① 5 | Anticoagulant therapy and home blood pressure-associated risk for stroke/bleeding events in elderly patients with non-valvular atrial fibrillation : the sub-cohort study of ANAFIE registry | Hypertension research
46 (12) : 2575-2582, 2023 | Kario K, Hasebe N, Okumura K, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T, Koretsune Y, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H |
| A-① 6 | Impact of glycated hemoglobin on 2-year clinical outcomes in elderly patients with atrial fibrillation : sub-analysis of ANAFIE Registry, a large observational study | Cardiovascular diabetology
22 (1) : 175, 2023 | Terauchi Y, Inoue H, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T, Koretsune Y, Okumura K, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Shimizu W |

A-① 7	Relationship Between Direct Oral Anticoagulant Doses and Clinical Outcomes in Elderly Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation - ANAFIE Registry Sub-Analysis	Circulation Journal 87 (12) : 1765-1774, 2023	Akao M, Inoue H, Yamashita T, Atarashi H, Ikeda T, Koretsune Y, Okumura K, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Shimizu W
A-① 8	Echocardiographic Parameters of Left Atrial Structure and Function and Clinical Outcomes at 2 Years in Elderly Patients With Atrial Fibrillation - The ANAFIE Echocardiographic Substudy	Circulation Journal 88 (7) : 1155-1164., 2023	Hiasa K, Kaku H, Inoue H, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Tsutsui H
A-① 9	Altered properties of amyloidogenic prion protein in genetic Creutzfeldt-Jakob disease with PRNP V180I mutation in response to pentosan polysulfate	Brain pathology 33 (5) : e13197, 2023	Shijo M, Yoshimura M, Omae T, Hashimoto G, Mizoguchi T, Kuwashiro T, Komori T, Tsuboi Y, Saito T, Nakagawa M, Itoh K, Honda H
A-① 10	Soluble C-type lectin-like receptor 2 in stroke (CLECSTRO) study : protocol of a multicentre, prospective cohort of a novel platelet activation marker in acute ischaemic stroke and transient ischaemic attack	BMJ open 13 (9) : e073708, 2023	Uchiyama S, Suzuki-Inoue K, Wada H, Okada Y, Hirano T, Nagao T, Kinouchi H, Itabashi R, Hoshino H, Oki K, Honma Y, Nobuo Ito N, Sugimori H, Kawamura M
A-① 11	Cost-effectiveness of left atrial appendage closure with Watchman for non-valvular atrial fibrillation patients in Japan	Journal of medical economics 26 (1) : 1357-1367, 2023	Kamae I, Zhong Y, Hara H, Inoue K, Yasaka M, Reddy VY, Holmes DRSakurai M, Gavaghan MB, Amorosi SL, McGovern AM, Priest V, Inoue S, Shibahara H, Akehurst RL
A-① 12	Andexanet Alfa for the Reversal of Factor Xa Inhibitor Activity : Prespecified Subgroup Analysis of the ANNEXA-4 Study in Japan	Journal of atherosclerosis and thrombosis 31 (3) : 201-213, 2023	Toyoda K, Arakawa S, Ezura M, Kobayashi R, Tanaka Y, Hasegawa S, Yamashiro S, Komatsu Y, Terasawa Y, Masuno T, Kobayashi H, Oikawa S, Yasaka M
A-① 13	Association of the Timing of Atrial Fibrillation Detection and Insular Involvement With the Risk of Embolic Events After Acute Ischemic Stroke	Annals of neurology 95 (2) : 338-346, 2023	Tokunaga K, Toyoda K, Kimura S, Minematsu K, Yasaka M, Okada Y, Yoshimura S, Koga M ; SAMURAI-NVAF and RELAXED investigators
A-① 14	Idarucizumab for Emergency Reversal of the Anticoagulant Effects of Dabigatran : Final Results of a Japanese Postmarketing Surveillance Study	Cardiology and therapy 12 (4) : 723-740, 2023	Yasaka M, Yokota H, Suzuki M, Asakura H, Yamane T, Ogi Y, Kimoto T, Nakayama D
A-① 15	Cerebral small vessel disease burden for bleeding risk during antithrombotic therapy : Bleeding with Antithrombotic Therapy 2 study	Annals of neurology 95 (4) : 774-787, 2024	Tanaka K, Miwa K, Koga M, Yoshimura S, Kamiyama K, Yagita Y, Nagakane Y, Hoshino H, Terasaki T, Okada Y, Yakushiji Y, Takahashi S, Ueda T, Hasegawa Y, Shiozawa M, Sasaki M, Kudo K, Tanaka J, Nishihara M, Yamaguchi Y, Fujita K, Honda Y, Kawano H, Ide T, Yoshimoto T, Ihara M, Hirano T, Toyoda K ; for BAT2 Investigators
A-① 16	Real-World Safety and Effectiveness of a 4-Factor Prothrombin Complex Concentrate in Japanese Patients Experiencing Major Bleeding : A Post-marketing Surveillance Study	Cardiology and therapy 13 (1) : 221-232, 2024	Yasaka M, Suzuki M, Kushimoto S, Kiyonaga A, Mangione A, Niwa Y, Terasaka N

A-① 17	Body temperature in the acute phase and clinical outcomes after acute ischemic stroke	PLoS One 19 (1) : e0296639, 2024	Mezuki S, Matsuo R, Irie F, Shono Y, Kuwashiro T, Sugimori H, Wakisaka Y, Ago T, Kamouchi M, Kitazono T, Fukuoka Stroke Registry Investigators
A-① 18	Clinical outcomes and anticoagulation therapy in elderly non-valvular atrial fibrillation and heart failure patients	ESC heart failure 11 (2) : 902-913, 2024	Ikeda S, Hiasa K, Inoue H, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Ikeda T, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima 1Y, Takita A, Tsutsui H
A-① 19	Age-related variation in coagulation factors in non-valvular atrial fibrillation patients receiving direct oral anticoagulants	International journal of hematology 119 (4) : 407-415, 2024	Kumano O, Suzuki S, Yamazaki M, An Y, Yasaka M, Ieko M, ; Japanese Study Group for the Assessment of Direct Oral Anticoagulants
A-④ 20	抗凝固薬関連脳出血の治療	日本臨床 81 (9) : 1382-1388, 2023	桑城 貴弘
A-④ 21	各種疾患によるめまい 脳血管障害	臨牀と研究 100 (11) : 1333-1336, 2023	田川 直樹、杉森 宏
A-④ 22	鉄欠乏性貧血による脳静脈血栓症の1例	脳卒中 45 (5) : 414-419, 2023	古賀 正晃、溝口 忠孝、橋本 剛、田川 直樹、森 興太、桑城 貴弘、矢坂 正弘、岡田 靖、杉森 宏
A-④ 23	Kommerell憩室内の血栓による脳梗塞が疑われた超高齢患者の1例	脳卒中 45 (6) : 505-509, 2023	水戸 大樹、松岡 幹晃、清原 卓也、由比 智裕、熊井 康敬、杉森 宏
A-④ 24	肺炎球菌性髄膜炎の経過中に多発性脳梗塞を発症し、diffuse cerebral intravascular coagulation の病態が示唆された1例	脳卒中 46 (2) : 121-126, 2023	安部 大介、桑城 貴弘、林田 寛之、有水 遥子、水戸 大樹、今村 裕佑、村谷 陽平、溝口 忠孝、田川 直樹、森 興太、杉森 宏、矢坂 正弘、岡田 靖
A-④ 25	急性期総合病院における医師の働き方改革7つの工夫 幹部医師と事務部の役割を中心に	医療の広場 63 (5) : 12-17, 2023	岡田 靖
A-④ 26	合縁医縁	聖マリアタイムズ (5) : 2, 2023	岡田 靖
A-④ 27	脳卒中の予防と治療—福岡県の循環器病対策推進計画とともに—	ほすびたる (769) : 4-6, 2023	岡田 靖
A-④ 28	超高齢者で抗血栓治療を中止できるか？	エキスパートが語る高齢者循環器診療のすべて 74-78, 2024	溝口 忠孝、岡田 靖

学会発表

B-① 29	Exploring the Relationship Between Pupillary Response and Stroke Outcome	Asia Pacific Stroke Conference 2023 2023/12/1 Hong Kong	Imamura Y, Mizoguchi T, Tagawa N, Mori K, Muraya Y, Kimura S, Kuwashiro T, Okada Y, Sugimori H
B-② 30	解離性大動脈瘤を合併した両側被殻出血の一例	第10回日本心脳血管脳卒中学会 2023/4/15 東京	森 興太、安部 大介、村谷 陽平、溝口 忠孝、田川 直樹、桑城 貴弘、矢坂 正弘、岡田 靖、鈴木 理大、今坂 堅一、杉森 宏

B-②	31	ワルファリン療法中に発症したPT-INR2.0未満の頭蓋内出血に対し、4因子含有プロトロンビン複合体製剤で中和した11連続例の解析	第43回日本脳神経超音波学会/第26回日本栓子検出と治療学会 2023/6/16 東京	安部 大介、矢坂 正弘
B-②	32	脳卒中循環器病対策におけるCVITの役割を考える 福岡県の脳卒中対策と脳卒中センターにおける循環器チームとの連携	第31回日本心血管インターベンション治療学会 2023/8/4 福岡	岡田 靖、杉森 宏、井上修二郎
B-②	33	本態性血小板血症を伴い急性期脳梗塞を発症した3症例	第66回日本脳循環代謝学会学術集会 2023/11/10 福岡	村谷 陽平、溝口 忠孝、木村 俊介、今村 裕佑、高瀬 謙、石田 素子、田中 孝典、尾崎 雄一、金城 史彦、大橋 一慶、田川 直樹、森 興太、桑城 貴弘、岡田 靖、杉森 宏
B-②	34	頭痛発症脳梗塞症例における原因病型別の検討	第51回日本頭痛学会 2023/12/1 神奈川	桑城 貴弘、田川 直樹、溝口 忠孝、森 興太、杉森 宏、岡田 靖
B-②	35	自験例における脳出血に対するアンデキサネットアルファの有効性と安全性の検討	第49回日本脳卒中学会 2024/3/7 神奈川	村谷 陽平、森 興太、木村 俊介、尾崎 雄一、今村 裕佑、金城 文彦、溝口 忠孝、田川 直樹、桑城 貴弘、岡田 靖、杉森 宏
B-②	36	ワルファリンの中和時に4因子含有プロトロンビン複合体製剤と併用するビタミンK 至適用量の検討	第49回日本脳卒中学会 2024/3/7 神奈川	安部 大介、矢坂 正弘、村谷 陽平、溝口 忠孝、田川 直樹、森 興太、西村 中、桑城 貴弘、溝口 昌弘、杉森 宏、岡田 靖
B-②	37	血清BNP値とアテローム血栓性脳梗塞の重症度の関連	第49回日本脳卒中学会 2024/3/7 神奈川	林田 寛之、溝口 忠孝、尾崎 雄一、金城 史彦、今村 裕佑、木村 俊介、村谷 陽平、田川 直樹、森 興太、桑城 貴弘、岡田 靖、杉森 宏
B-②	38	その他の脳血管障害 改訂の要点	第49回日本脳卒中学会 2024/3/7 神奈川	岡田 靖
B-③	39	関節リウマチ治療中にリステリア髄膜炎を発症し治療が奏功した一例	第240回日本神経学会九州地方会 2023/6/24 福岡	林田 寛之、溝口 忠孝、田川 直樹、森 興太、桑城 貴弘、岡田 靖、杉森 宏
B-③	40	パーキンソン病を基礎としてに熱中症、左上肢コンパートメント症候群を呈した1例	第241回日本神経学会九州地方会 2023/9/23 大分	衣笠 哲矢、田川 直樹、縄田 知也、桑城 貴弘、杉森 宏、岡田 靖
B-③	41	リバーロキサバンにて心内血栓の消失を認めた心原性脳塞栓症の一例	第241回日本神経学会九州地方会 2023/9/23 大分	堀 太佑、大橋 一慶、桑城 貴弘、杉森 宏、岡田 靖、森 隆宏
B-③	42	頭痛と一過性失語を初発症状として発見された甲状腺機能亢進症の一例	第242回日本神経学会九州地方会 2023/12/9 宮崎	村谷 陽平、森 興太、勝原 俊亮、桑城 貴弘、岡田 靖、杉森 宏
B-③	43	抗血栓療法患者における年齢と脳微小出血出現の関連性	第34回日本老年医学会九州地方会 2024/3/2 鹿児島	溝口 忠孝、桑城 貴弘、今村 裕佑、尾崎 雄一、村谷 陽平、木村 俊介、田川 直樹、森 興太、杉森 宏、岡田 靖
B-③	44	COVID19感染後に発症した抗MOG抗体関連脳幹脳炎の一例	第243回日本神経学会九州地方会 2024/3/2 福岡	納富 茅壽、今村 裕佑、溝口 忠孝、福田 峻一、田川 直樹、森 興太、桑城 貴弘、溝口 昌弘、杉森 宏、岡田 靖
B-③	45	脳および肝膿瘍を発症したKlebsiella感染症の一例	第243回日本神経学会九州地方会 2024/3/2 福岡	尾崎 雄一、田川 直樹、今村 裕佑、金城 史彦、木村 俊介、村谷 陽平、溝口 忠孝、森 興太、桑城 貴弘、後藤 克宏、溝口 昌弘、有水 遥子、長崎 洋司、杉森 宏、岡田 靖
B-④	46	九州医療センター	第14回脳血管山峰会研究会 2023/10/8 栃木	木村 俊介

講演会

C-①	47	アンケート調査に基づく福岡市内 t-PA 血栓溶解療法、血管内治療の現状報告	第18回FBI研究会～福岡救急ネットワーク脳梗塞内科治療研究会～ 2023/8/23 福岡	桑城 貴弘
C-②	48	当院の診療体制と脳梗塞初期診療について	第16回福岡県PCLS講習会 2023/11/17 福岡	森 興太
C-②	49	軽症虚血性脳卒中に対するrt-PA静注療法の実態調査と有効性及び安全性に関する研究 研究概要	令和5年度NHO脳卒中分野ネットワークグループ会議 2023/11/24 Web	溝口 忠孝
C-②	50	瞳孔反応による脳卒中予後評価の確立	令和5年度NHO脳卒中分野ネットワークグループ会議 2023/11/24 Web	今村 裕佑
C-②	51	福岡県循環器病総合支援センターの取り組みと脳卒中あんしん連携ノートの紹介	第8回よかよかネットワークの会 2024/1/26 福岡	岡田 靖
C-②	52	在宅復帰、就労支援に繋げるための急性期病院での取り組み	第8回よかよかネットワークの会 2024/1/26 福岡	杉森 宏
C-②	53	軽症虚血性脳卒中に対するrt-PA静注療法の実態調査と有効性及び安全性に関する研究	令和5年度 第2回国立病院機構ネットワーク共同研究 心脳大血管グループ会議 2024/2/16 Web	溝口 忠孝
C-②	54	瞳孔反応による脳卒中予後評価の確立	令和5年度 第2回国立病院機構ネットワーク共同研究 心脳大血管グループ会議 2024/2/16 Web	今村 裕佑

その他

D	55	質量分析装置を用いた脳梗塞関連生化学マーカーの研究	Research 九州医療センター臨床研究センター便り 2(夏)(61):2-3, 2023	桑城 貴弘
D	56	流産歴を持つ若年女性の脳梗塞で原発性アルドステロン症が疑われた一例	Research 九州医療センター臨床研究センター便り 2(夏)(61):5, 2023	林田 寛之、溝口 忠孝
D	57	若年層の脳卒中	とっっても健康ランド 2023/7/15 福岡	杉森 宏
D	58	高齢者てんかん～診療の考え方と当院の実績～	地域医師のための生涯研修セミナー 第3回眼科・脳血管神経内科 2023/7/23 福岡	杉森 宏
D	59	救急病院におけるてんかん	てんかん診療の未来～診療連携～ 2023/7/25 Web	杉森 宏
D	60	脳血管障害後のてんかん治療戦略	神経救急Epilepsy Conference in 福岡 2023/7/26 福岡	桑城 貴弘
D	61	高リスク脳梗塞症例に対する抗凝固療法	AF total management seminar in FUKUOKA 2023/7/27 福岡	桑城 貴弘

D	62	命の危機を経験して心筋梗塞・脳卒中からの復活劇	脈拍 HEARTBEAT EXPO 2023 2023/8/6 福岡	徳光 和夫、磯野貴理子、中村 正人、岡田 靖
D	63	脳卒中の予防と治療ー福岡県の循環器病対策推進計画とともにー	第14回県民公開シンポジウム 目指そう！“元気で長生き”～健康長寿のヒント～ 2023/9/2 福岡	岡田 靖
D	64	福岡県循環器病総合支援センターの活動	令和5年度福岡県循環器病総合支援センター 心不全、脳卒中後遺症に対する治療と仕事の両立支援を考える 2023/9/29 福岡	岡田 靖
D	65	福岡県脳卒中あんしん連携ノートについて	2023年Web市民公開講座ストップ！脳卒中 2023/10/1-31 Web	岡田 靖
D	66	脳卒中ってどんな病気？～早期発見と予防のために～	2023年Web市民公開講座ストップ！脳卒中 2023/10/1-31 Web	杉森 宏
D	67	ラウンドテーブル ディスカッション	原因不明の脳梗塞の再発予防～脳卒中医にてPFO閉鎖を考える～ 2023/10/5 福岡	桑城 貴弘
D	68	もしも家族が発症したら？脳卒中の対処法	とっても健康ランド 2023/11/4 福岡	岡田 靖
D	69	福岡県循環器病総合支援センター事業の取り組み	福岡県脳卒中医療連携Web Seminar 2023/12/1 Web	杉森 宏
D	70	PSCでの脳卒中診療について～地域連携パスも含めて～	福岡県脳卒中医療連携Web Seminar 2023/12/1 Web	岡田 靖
D	71	超高齢社会での脳卒中診療とは？～ガイドライン2021のその先とプラスグレルの位置づけ～	脳卒中診療最前線 2023/12/4 Web	杉森 宏
D	72	脳卒中後てんかんが疑われ脳血流SPECTを施行した2例	第3回脳卒中後てんかん画像診断研究会 2023/12/15 Web	村谷 陽平
D	73	認知症の原因疾患と治療・病態	令和5年度認知症ケア加算要件に係る院内研修開催のお知らせ 2024/1/23、1/24、1/25、1/31 福岡	桑城 貴弘

消化器内科

論文

- A-① 1 Long-term Risks of Recurrence After Hospital Discharge for Acute Lower Gastrointestinal Bleeding : A Large Nationwide Cohort Study. Clinical Gastroenterology and Hepatology 21 (13) : 3258-3269, 2023 Sato Y, Aoki T, Sadashima E, Nakamoto Y, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Ikeya T, Aoyama T, Tominaga N, Kishino T, Ishii N, Sawada T, Murata M, Takano A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsuhashi T, Komaki Y, Maehata T, Tateishi K, Kaise M, Nagata N
- A-① 2 Importance of preoperative total colonoscopy and endoscopic resection after self-expandable metallic stent placement for obstructive colorectal cancer as a bridge-to-surgery BMC Gastroenterology 23 (1) : 251, 2023 Itonaga S, Hamada S, Ihara E, Honma H, Fukuya H, Ookubo A, Sasaki T, Yoshimura D, Nakamuta M, Sumida Y, Harada N
- A-① 3 A case of pancreatic neuroendocrine carcinoma was diagnosed based on the dramatic changes observed in imaging over a two-month period. Journal of Clinical Images and Medical Case Reports 4 (10) : 2666, 2023 Miki M, Hara M, Akagi K, Komori Y, Ueda K, Fujimori N, Matsuura S, Momosaki S, Kaku T, Ogawa Y.
- A-① 4 Gastric cancer presenting with ramucirumab-related gastrocolic fistula successfully managed by colonic stenting : a case report CLINICAL ENDOSCOPY 56 (6) : 812-816, 2023 Fukuya H, Iboshi Y, Wada M, Sumida Y, Harada N, Nakamuta M, Fujii H, Ihara E
- A-① 5 Mulicenter study of invasive gastric cancer detected after 10 years of Helicobacter pylori eradication in Japan : Clinical, endoscopic, and histopathologic characteristics DEN Open 4 (1) : e345, 2024 Kobayashi M, Fujisaki J, Namikawa K, Hoteya S, Sasaki A, Shibagaki K, Yao K, Abe S, Oda I, Ueyama H, Isomoto H, Ito M, Sugimoto M, Kawai T, Kodama M, Murakami K, Adachi K, Matsuhashi N, Ohata K, Ushijima T, Kato M, Miyamoto S, Yoshimura D, Yao T, Yagi K, Iwazumi M, Uemura N
- A-③ 6 部位と腺領域に応じたHelicobacter pylori未感染胃癌の特徴と内視鏡診断 日本消化器内視鏡学会雑誌 Gastroenterological Endoscopy 65 (5) : 469-477, 2023 吉村 大輔、吉村 理江、水谷 孝弘
- A-③ 7 ピロリ菌未感染胃粘膜に生じる胃腫瘍の特徴と胃底腺領域、幽門腺領域の分化型腺癌 消化器内科 5 (1) : 66-72, 2023 吉村 大輔、吉村 理江、水谷 孝弘、原田 直彦
- A-③ 8 胃メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の1例 胃癌との鑑別の視点から 胃と腸 58 (7) : 910-914, 2023 吉村 大輔、吉武千香子、原田 直彦、水流 大堯、本間 仁、大久保彰人、福谷 洋樹、糸永 周一、佐々木泰介、濱田 匠平、藤原美奈子、桃崎 征也
- A-③ 9 超音波内視鏡を用いた最新治療 九州医療センターニュース 104 (7) : 8, 2023 加来 豊馬
- A-③ 10 臨床情報 Case2 胃と腸 58 (10) : 1430-1433, 2023 吉村 大輔、大久保彰人、南野 涼子、藤原美奈子、桃崎 征也
- A-③ 11 「胃と腸」式読影問題集2023応用と発展-考える画像診断が身につく 全消化管 Case2 胃と腸 58 (10) : 1430-1433, 2023 吉村 大輔、大久保彰人、南野 涼子、藤原美奈子、桃崎 征也

A-③ 12	ヘルペス食道炎	消化器内視鏡 増刊号 特集 食道疾患アトラス 35 : 172-173, 2023	福谷洋樹、吉村大輔、藤原美奈子
A-③ 13	縦隔食道瘻 (大動脈人工血管置換術後)	消化器内視鏡 増刊号 特集 食道疾患アトラス 35 : 282-283, 2023	大久保彰人、吉村大輔、原田直彦
A-③ 14	サイトメガロウイルス食道潰瘍	消化器内視鏡 増刊号 特集 食道疾患アトラス 35 : 194-195, 2023	大久保彰人、吉村大輔、原田直彦
A-③ 15	胃・十二指腸の内科疾患：急性胃炎・慢性胃炎/胃・十二指腸潰瘍/アニサキス症/リアル口コミ掲示板	消化器ナーシング1教科書では教えてくれない 消化器内科疾患のイラスト病態生理 29 (1) : 18-24, 2024	佐々木泰介、原田直彦

学会発表

B-② 16	アルコール性肝がんに対する薬物療法・非アルコール性との比較において	第109回日本消化器病学会総会 2023/4/8 長崎	杉本 理恵、上田 哲弘、吉本 剛志、佐藤 丈顕、大穂 有恒、森田 祐輔、宮崎 将之、宮崎絵美里、栗野 哲史、荒武 良総、大江 真里、正月 泰士、千住 猛士、田中 ゆき、樋口野日斗、山下 晋作、合谷 孟、田中 正剛、本村 健太、國府島庸之
B-② 17	消化管内視鏡基礎技能とテレビゲーム操作技能に相関はあるか？	第109回日本消化器病学会総会 2023/4/8 長崎	原田 直彦、平島 啓介、伊地知高治、本間 仁、上田 孝洋、福谷 洋樹、大久保彰人、糸永 周一、佐々木泰介、中嶋 摩依、三木 正美、田代 茂樹、濱田 匠平、加来 豊馬、荒武 良総、吉村 大輔、吉本 剛志、福泉公仁隆、中牟田 誠、伊原 栄吉
B-② 18	症例から学ぶ内視鏡診断・治療のポイント～忘れられない1例～	「胃と腸」大会 第105回日本消化器内視鏡学会総会サテライトシンポジウム 2023/5/24 東京	吉村 大輔
B-② 19	閉塞性大腸癌に対して大腸ステント留置後の内視鏡観察、治療の有効性	第105回日本消化器内視鏡学会総会 2023/5/25 東京	糸永 周一、本間 仁、福谷 洋樹、佐々木泰介、濱田 匠平、吉村 大輔、原田 直彦
B-② 20	十二指腸血管腫に対し硬化療法を行った1例	第105回日本消化器内視鏡学会総会 2023/5/25 東京	大久保彰人、井星陽一郎、本間 仁、福谷 洋樹、糸永 周一、佐々木泰介、濱田 匠平、吉村 大輔、原田 直彦、中牟田 誠
B-② 21	上部消化管の出血予防に対するW-EDチューブによるドレナージの有効性	第105回日本消化器内視鏡学会総会 2023/5/26 東京	前原 浩亮、原田 直彦、隅田 頼信
B-② 22	NASH発症・進展における炎症細胞の関与	第59回日本肝臓学会総会 2023/6/15 奈良	國府島庸之
B-② 23	十二指腸狭窄に対する治療戦略	第54回日本膵臓学会 2023/7/21 福岡	加来 豊馬
B-② 24	膵癌切除後の残膵癌の検討	第54回日本膵臓学会 2023/7/22 福岡	加来 豊馬
B-② 25	EUS-Rendezvous時のUDLCカテーテルを用いたGW誘導法	第59回日本胆道学会学術集会 2023/9/14 北海道	加来 豊馬
B-② 26	Waardenburg症候群、Hirschsprung病術後の偽性腸閉塞症患者に対し、多職種チームで栄養管理を行った一例	第77回国立病院総合医学会 2023/10/20 広島	古川裕美子、甲斐 裕樹、古賀友里恵、青堀 尚子、今村亜由美、田中 彩、住吉 恵、佐伯 綾子、野田英一郎、永井 清志、吉川 博政、福泉公仁隆

B-②	27	急性期病院におけるチーム医療と歯科医師/歯科衛生士の貢献について	第77回国立病院総合医学会 2023/10/20 広島	福泉公仁隆、吉川 博政
B-③	28	代償性肝硬変におけるDAA治療SVR長期経過後の肝機能推移および悪化要因に関する検討	第121回日本消化器病学会九州支部例会 2023/5/12 福岡	小川 栄一、河野 聡、大穂 有恒、中牟田 誠、林 純
B-③	29	進行肝細胞癌におけるコンバージョン症例の特徴を探る	第121回日本消化器病学会九州支部例会 2023/5/12 福岡	大穂 有恒、荒武 良総、東 夕喜、上田 哲弘、杉本 理恵
B-③	30	切除不能膀胱癌に対する3次治療としてのnal-IRI+5-FU/1-LVの有用性の検討	第121回日本消化器病学会九州支部例会 2023/5/12 福岡	三木 正美、加来 豊馬、川口 夢佳、上田 孝洋、津田 桂、伊地知嵩治、本間 仁、福谷 洋樹、大久保彰人、糸永 周一、佐々木泰介、中嶋 摩依、田代 茂樹、濱田 匠平、荒武 良総、吉村 大輔、吉本 剛志、福泉公仁隆、中牟田 誠、原田 直彦
B-③	31	胆嚢摘出術時の離断型腸管損傷に対して経皮および内視鏡治療が奏功した1例	第115回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2023/5/12 福岡	川口 夢佳、加来 豊馬、上田 孝洋、津田 桂、三木 正美、伊地知嵩治、本間 仁、福谷 洋樹、大久保彰人、糸永 周一、佐々木泰介、中嶋 摩依、田代 茂樹、濱田 匠平、荒武 良総、吉村 大輔、吉本 剛志、福泉公仁隆、中牟田 誠、原田 直彦
B-③	32	Meckel憩室による内ヘルニアにより腸閉塞を来した1例	第121回日本消化器病学会九州支部例会 2023/5/12 福岡	本間 仁、佐々木泰介、福谷 洋樹、大久保彰人、糸永 周一、濱田 匠平、吉村 大輔、原田 直彦、藤原美奈子、伊原 栄吉
B-③	33	Obscure gastrointestinal bleeding をきたした空腸異所性腺の1例	第115回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2023/5/12 福岡	空閑 亮太、福谷 洋樹、本間 仁、大久保彰人、糸永 周一、佐々木泰介、濱田 匠平、吉村 大輔、原田 直彦、楠本 英次、藤原美奈子
B-③	34	SGLT2阻害薬の術前休薬がなかったために肝細胞癌術後に正常血糖性ケトアシドーシスが生じた1例	第121回日本消化器病学会九州支部例会 2023/5/12 福岡	日野 直人、内野 馨博、釘山 統太、野村 頼子、龍 知記、和田 幸之、高見 裕子
B-③	35	亜有茎性の形態を呈した胃悪性性リンパ腫の1例	第121回日本消化器病学会九州支部例会 2023/5/13 福岡	糸永 周一、濱田 匠平、吉村 大輔、佐々木泰介、本間 仁、福谷 洋樹、大久保彰人、原田 直彦、中牟田 誠、吉田倫太郎、藤原美奈子
B-③	36	治療開始時より広範囲な感染性WONを合併したにも関わらず集学的治療が奏功した膀胱炎の1例	第121回日本消化器病学会九州支部例会 2023/5/13 福岡	上田 孝洋、三木 正美、川口 夢佳、津田 桂、加来 豊馬、伊地知嵩治、本間 仁、福谷 洋樹、大久保彰人、糸永 周一、佐々木泰介、中嶋 摩依、田代 茂樹、濱田 匠平、荒武 良総、吉村 大輔、吉本 剛志、福泉公仁隆、中牟田 誠、原田 直彦
B-③	37	ESD後の縫縮において留置スネアを効率的に締めることが可能になるCSC (clip stopper closure) 法について	第115回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2023/5/13 福岡	濱田 匠平、佐々木泰介、吉村 大輔、原田 直彦
B-③	38	みんなで創る消化器診療～キホンのキ～	日本消化器病学会九州支部例会、第115回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 女性医師の会 2023/5/13 福岡	原田 直彦
B-③	39	長寿から見た栄養学	第14回日本臨床栄養代謝学会九州支部学術集会 2023/9/23 福岡	中牟田 誠
B-③	40	小腸重積を契機に偶発的に発見された異所性腺の1例	第122回日本消化器病学会九州支部例会 2023/11/24 沖縄	空閑 亮太、吉村 大輔
B-③	41	頸部食道に狭窄をきたした水疱性類天疱瘡の1例	第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2023/11/24 沖縄	久原 洋平、吉村 大輔

B-③	42	直腸前壁に粘膜脱症候群に類似した隆起性病変を呈した若年男性の1例	第122回日本消化器病学会九州支部例会 2023/11/24 沖縄	興津 亮太、吉村 大輔
B-③	43	ESD病理所見から乳癌の胃転移と診断された1例	第123回日本消化器病学会九州支部例会 2023/11/24 沖縄	興津 亮太、吉村 大輔
B-③	44	Helicobacter pylori未感染胃における噴門部および食道胃接合部腺癌の重要性	第122回日本消化器病学会九州支部例会 2023/11/25 沖縄	吉村 大輔、原田 直彦、落合 利彰、加藤 誠也、藤原美奈子
B-③	45	膵石が総胆管へ迷入し閉塞性黄疸を発症した1例	第116回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2023/11/25 沖縄	上田 孝洋、加来 豊馬、川口 夢佳、津田 桂、三木 正美
B-③	46	腫瘍破裂で急速な転帰を辿った肝原発血管肉腫の一例	第45回日本肝臓学会西部会 2023/12/7 京都	田実 とわ、田代 茂樹、豊田 優貴、赤木 健哉、原 眞兎登、中嶋 摩依、三木 正美、荒武 良総、加来 豊馬、國府島庸之、原田 直彦、中牟田 誠
B-④	47	上部消化管内視鏡の現在とわれらが歩む未来	第83回九州消化器内視鏡技師学会 2023/5/13 福岡	吉村 大輔
B-④	48	急性肝障害の発症メカニズムと治療～成因と重症化機序～	第49回日本急性肝不全研究会 2023/6/14 奈良	國府島庸之
B-④	49	Interventinal EUSの工夫と応用	GADELIUS Regional workshop 胆膵内視鏡フロンティアセミナー in 大分 2023/10/13 大分	加来 豊馬
B-④	50	十二指腸 症例	第516回福岡消化器病研究会 2023/11/9 福岡ハイブリッド	吉村 大輔
B-④	51	慢性膵炎に伴う治療困難例（膵石）	九州ERCPC-EUS研究会 2023/12/2 Web	加来 豊馬

講演会等

C-①	52	膵癌診療における内視鏡の現状について	福岡市勤務医内科医会・内科医会合同学術講演会 2023/5/20 福岡（ハイブリッド）	加来 豊馬
C-①	53	当番世話人挨拶	福岡市勤務医内科医会・内科医会合同学術講演会 2023/5/20 福岡（ハイブリッド）	原田 直彦
C-①	54	「J-wireを使いこなそう！ 特性と特徴」	J-wire user meeting 2023/6/28 福岡	加来 豊馬
C-①	55	非アルコール性脂肪性肝疾患とその治療	地域医師のための生涯教育セミナー 2023/8/26 九州医療センター	國府島庸之
C-①	56	膵癌の内科的治療-うまく膵癌と付き合い合っていくためには	市民公開講座 パープルリボンセミナー in 福岡 2023/9/9 福岡	加来 豊馬
C-①	57	ヘリコバクター・ピロリ陰性時代の酸関連疾患と食道病変	三区合同内科医会学術講演会 2023/11/8 福岡(ハイブリッド開催)	吉村 大輔
C-②	58	代謝異常に伴う脂肪性肝疾患	病診連携の夕べ 2023/11/30 Web	國府島庸之

その他

- | | | | | | |
|---|----|-----------------|-----------------|------------------------------------------------|-------|
| D | 59 | 代謝異常と消化器疾患 (総括) | Discussant (総括) | 第121回日本消化器病学会九州支部例会
2023/5/12 福岡 | 國府島庸之 |
| D | 60 | 栄養管理の重要性 | | 令和5年度「NST専門療法士」臨床
実地修練
2023/6/5 九州医療センター | 福泉公仁隆 |
| D | 61 | 栄養管理と地域連携 | | 令和5年度「NST専門療法士」臨床
実地修練
2023/6/7 九州医療センター | 福泉公仁隆 |
| D | 62 | 胃瘦における栄養管理 | | 令和5年度「NST専門療法士」臨床
実地修練
2023/6/8 九州医療センター | 原田 直彦 |

呼吸器内科

論文

- | | | | | |
|-----|---|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A-① | 1 | Comprehensive analysis of long COVID in a Japanese nationwide prospective cohort study. | Respiratory Investigation
61 (6) : 802-814, 2023 | Terai H, Ishii M, Takemura R, Namkoong H, Shimamoto K, Masaki K, Tanosaki T, Chubachi S, Matsuyama E, Hayashi R, Shimada T, Shigematsu L, Ito F, Kaji M, Takaoka H, Kurihara M, Nakagawara K, Tomiyasu S, Sasahara K, Saito A, Otake S, Azekawa S, Okada M, Fukushima T, Morita A, Tanaka H, Sunata K, Asaoka M, Nishie M, Shinozaki T, Ebisudani T, Akiyama Y, Mitsuishi A, Nakayama S, Ogawa T, Sakurai K, Irie M, Yagi K, Ohgino K, Miyata J, Kabata H, Ikemura S, Kamata H, Yasuda H, Kawada I, Kimura R, Kondo M, Iwasaki T, Ishida N, Hiruma G, Miyazaki N, Ishibashi Y, Harada S, Fujita T, Ito D, Bun S, Tabuchi H, Kanzaki S, Shimizu E, Fukuda K, Yamagami J, Kobayashi K, Hirano T, Inoue T, Haraguchi M, Kagyo J, Shiomi T, Lee H, Sugihara K, Omori N, Sayama K, Otsuka K, Miyao N, Odani T, Watase M, Mochimaru T, Satomi R, Oyamada Y, Masuzawa K, Asakura T, Nakayama S, Suzuki Y, Baba R, Okamori S, Arai D, Nakachi I, Kuwahara N, Fujiwara A, Oakada T, Ishiguro T, Isosno T, Makino Y, Mashimo S, Kaido T, Minematsu N, Ueda S, Minami K, Hagiwara R, Manabe T, Fukui T, Funatsu Y, Koh H, Yoshiyama T, Kokuto H, Kusumoto T, Oashi A, Miyawaki M, Saito F, Tani T, Ishioka K, Takahashi S, Nakamura M, Harada N, Sasano H, Goto A, Kusaka Y, Ohba T, Nakano Y, Nishio K, Nakajima Y, Suzuki S, Yoshida S, Tateno H, Kodama N, Shunsuke M, Sakamoto S, Okamoto M, Nagasaki Y, Umeda A, Miyagawa K, Shimada H, Hagimura K, Nagashima K, Sato T, Sato Y, Hasegawa N, Takebayashi T, Nakahara J, Mimura M, Ogawa K, Shimmura S, Negishi K, Tsubota K, Amagai M, Goto R, Ibuka Y, Kitagawa Y, Kanai T, Fukunaga K. |
|-----|---|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- A-① 2 Impact of Respiratory Bacterial Infections on Mortality in Japanese Patients with COVID-19 : a retrospective cohort study. BMC Pulmonary Medicine 23 (1) : 146, 2023
Nakagawara K, Kamata H, Chubachi S, Namkoong H, Tanaka H, Lee H, Otake S, Fukushima T, Kusumoto T, Morita A, Azekawa S, Watase M, Asakura T, Masaki K, Ishii M, Endo A, Koike R, Ishikura H, Takata T, Matsushita Y, Harada N, Kokutou H, Yoshiyama T, Kataoka K, Mutoh Y, Miyawaki M, Ueda S, Ono H, Ono T, Shoko T, Muranaka H, Kawamura K, Mori N, Mochimaru T, Fukui M, Chihara Y, Nagasaki Y, Okamoto M, Amishima M, Odani T, Tani M, Nishi K, Shirai Y, Edahiro R, Ando A, Hashimoto N, Ogura S, Kitagawa Y, Kita T, Kagaya T, Kimura Y, Miyazawa N, Tsuchida T, Fujitani S, Murakami K, Sano H, Sato Y, Tanino Y, Otsuki R, Mashimo S, Kuramochi M, Hosoda Y, Hasegawa Y, Ueda T, Takaku Y, Ishiguro T, Fujiwara A, Kuwahara N, Kitamura H, Hagiwara E, Nakamori Y, Saito F, Kono Y, Abe S, Ishii T, Ohba T, Kusaka Y, Watanabe H, Masuda M, Watanabe H, Kimizuka Y, Kawana A, Kasamatsu Y, Hashimoto S, Okada Y, Takano T, Katayama K, Ai M, Kumanogoh A, Sato T, Tokunaga K, Imoto S, Kitagawa Y, Kimura A, Miyano S, Hasegawa N, Ogawa S, Kanai T, Fukunaga K ; Japan COVID-19 Task Force.
- A-① 3 Successful Treatment of a Patient with Drug-Refractory Rheumatoid Arthritis-Associated Interstitial Lung Disease with Upadacitinib : A Case Report. MEDICINA-LITHUANIA 59 (11) : 1960, 2023
Nishii Y, Okamoto M, Zaizen Y, Kojima T, Nouno T, Naitou-Nishida Y, Matsuo N, Takeoka H, Ishida M, Nakamura M, Masuda T, Tanaka T, Miyamura T, Hoshino T.
- A-① 4 A prospective cohort study of periostin as a serum biomarker in patients with idiopathic pulmonary fibrosis treated with nintedanib. scientific reports 13 (1) : 22977, 2023
Okamoto M, Fujimoto K, Johkoh T, Kawaguchi A, Mukae H, Sakamoto N, Ogura T, Ikeda S, Kondoh Y, Yamano Y, Komiya K, Umeki K, Nishikiori H, Tanino Y, Tsuda T, Arai N, Komatsu M, Sakamoto S, Yatera K, Inoue Y, Miyazaki Y, Hashimoto S, Shimizu Y, Hozumi H, Ohnishi H, Handa T, Hattori N, Kishaba T, Kato M, Inomata M, Ishii H, Hamada N, Konno S, Zaizen Y, Azuma A, Suda T, Izuhara K, Hoshino T.
- A-① 5 Periostin Is a Biomarker of Rheumatoid Arthritis-Associated Interstitial Lung Disease. Journal of Clinical Medicine 12 (22) : 7100, 2023
Matama G, Okamoto M, Fujimoto K, Johkoh T, Tominaga M, Mukae H, Sakamoto N, Komiya K, Umeki K, Komatsu M, Shimizu Y, Takahashi K, Tokisawa S, Zaizen Y, Matsuo N, Nouno T, Kaieda S, Ida H, Izuhara K, Hoshino T.
- A-① 6 Acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis after bivalent (tozinameran and famtozinameran) mRNA COVID-19 vaccination. Respiratory Medicine Case Reports 46 : 101960, 2023
Tsumura K, Zaizen Y, Umemoto S, Tsuneyoshi S, Matama G, Okamoto M, Tominaga M, Hoshino T.
- A-① 7 The Characteristic of Transbronchial Lung Cryobiopsy in the Pathological Diagnosis of Hypersensitivity Pneumonitis. Journal of Clinical Medicine 12 (11) : 3663, 2023
Ohno S, Zaizen Y, Matama G, Chikasue T, Tokisawa S, Okamoto M, Tabata K, Tominaga M, Akiba J, Fujimoto K, Fukuoka J, Hoshino T.

A-① 8	Nationwide All ILD registry with central MDD in Japan; Providing Multidisciplinary ILD diagnoses (PROMISE) study.	European Respiratory Journal 62 : OA1424, 2023	Furukawa T, Kondoh Y, Oyama S, Teramachi R, Hozumi H, Suda T, Fujisawa T, Egashira R, Johkoh T, Fukuoka J, Kataoka K, Kitamura H, Nishiyama O, Okamoto M, Koshimizu N, Ishikawa N, Okamori S, Miyazaki Y, Bando M, Inoue Y, Ogura T, Kuwana M, Tomioka H, Nishioka Y, Chiba H, Ebina M, Ichikado K, Nakanishi Y, Hashimoto N, Shiratori Y, Yoshinori Hasegawa Y, Makoto Ishii M.
A-① 9	Obesity may be a risk factor for transbronchial lung cryobiopsy-related adverse events in Japanese patients with interstitial lung disease.	Respiratory Investigation 621 : 102-106, 2023	Zaizen Y, Umemoto S, Matama G, Mitsui Y, Horii T, Yano R, Tsuneyoshi S, Sasaki J, Ishii H, Okamoto M, Tominaga M, Hoshino T.
A-① 10	Clinical significance of high monocyte counts for the continuous treatment with nintedanib.	BMC Pulmonary Medicine 23 (1) : 242, 2023	Tsuneyoshi S, Zaizen Y, Tominaga M, Matama G, Umemoto S, Ohno S, Takaki R, Yano R, Murotani K, Okamoto M, Hoshino T.
A-② 11	A second update on mapping the human genetic architecture of COVID-19.	Nature 621 (7977) : E7-E26, 2023	COVID-19 Host Genetics Initiative : Masahiro Kanai, Shea J Andrews, Mattia Cordioli, Christine Stevens, Benjamin M Neale, Mark Daly, Andrea Ganna, Gita A Pathak, Akiko Iwasaki, Juha Karjalainen, Yoji Nagasaki, Masaki Okamoto, Sayoko Ishihara., et al.
A-② 12	Special Issue : "Respiratory Disease in the COVID-19 Era".	Medicina-Lithuania 59 (5) : 886, 2023	Okamoto M.
A-② 13	Upper Respiratory Symptoms as Long COVID Revealed through a Cohort Study of Patients with COVID-19	OTO Open 8 (1) : e120, 2024	Okada M, Ishida N, Kanzaki S, Kawada I, Nagashima K, Terai H, Hiruma G, Namkoong H, Asakura T, Masaki K, Ohgino K, Miyata J, Chubachi S, Kodama N, Maeda S, Sakamoto S, Okamoto M, Nagasaki Y, Umeda A, Miyagawa K, Shimada H, Minami K, Hagiwara R, Ishii M, Sato Y, Fukunaga K.
A-③ 14	特発性肺線維症の治療ガイドライン 2023	特発性肺線維症の治療ガイドライン 2023	岡元 昌樹、他
A-③ 15	結合組織疾患（膠原病）関連間質性肺疾患の基本	胸部 画像診断の勘ドコロNEO 372, 2023	高橋 雅士、藤本 公則、岡元 昌樹、他

学会発表

B-② 16	特発性間質性肺炎のバイオマーカーとしての自己抗体の解析	第120回日本内科学会 2023/4/15 東京	内屋敷佳弘、岡元 昌樹
B-② 17	血清ペリオスチン値は、特発性肺線維症の抗線維化薬投与例のバイオマーカーである。	第63回日本呼吸器学会学術講演会 2023/4/28 東京	岡元 昌樹、財前 圭晃、出原 賢治、星野 友昭。
B-② 18	抗核抗体、抗ARS抗体は、特発性間質性肺炎における悪性腫瘍合併のリスク因子である。	第63回日本呼吸器学会学術講演会 2023/4/29 東京	岡元 昌樹、佐藤 実、財前 圭晃、古賀 琢磨、角 明子、近末 智雅、真玉 豪士、富永 正樹、藤本 公則、星野 友昭
B-② 19	薬剤性肺炎の重症度と気管支肺胞洗浄所見の関係。	第63回日本呼吸器学会学術講演会 2023/4/29 東京	松尾 規和、西井 裕哉、田中 智大、児嶋 隆、南野 高志、西田 佳子、武岡 宏明、岡元 昌樹

B-②	20	薬剤性肺炎の重症度と気管支肺胞洗浄所見の関係.	第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2023/6/29 横浜	松尾 規和、西井 裕哉、田中 智大、児嶋 隆、 南野 高志、西田 佳子、武岡 宏明、岡元 昌樹
B-③	21	間質性肺疾患における治療戦略のUP TO DATE	第68回日本呼吸器学会中国・四国地方会スイーツセミナー 2023/7/15 香川	岡元 昌樹
B-③	22	ILD診療最適化のポイント-治療早期介入を目指したクリティカルパス入院.	第90回日本呼吸器学会・日本結核非結核性抗酸菌症学会九州支部春季学術講演会 2023/10/27 宮崎	岡元 昌樹
B-③	23	小細胞肺癌の化学療法中に合併した有癭性膿胸に対して胸壁開窓術を実施した一例	第91回日本呼吸器学会・日本結核非結核性抗酸菌症学会九州支部秋季学術講演会 2023/10/27 宮崎	山田 佳奈、松尾 規和、西井 裕哉、児嶋 隆、 南野 高志、西田 佳子、武岡 宏明、田川 哲三、 山崎 宏司、岡元 昌樹
B-③	24	6分間歩行試験におけるSpO2低下は、線維化性間質性肺疾患の重症度、進行性肺線維化の独立関連因子である.	第91回日本呼吸器学会・日本結核非結核性抗酸菌症学会九州支部秋季学術講演会 研修医ことはじめ 2023/10/27 宮崎	空閑 亮太、岡元 昌樹、財前 圭晃、松尾 規和、 南野 高志、西田 佳子、児嶋 隆、西井 裕哉、 星野 友昭
B-③	25	アレルギー性気管支肺アスペルギルス症加療中に有癭性アスペルギルス膿胸に移行した1例.	第91回日本呼吸器学会・日本結核非結核性抗酸菌症学会九州支部秋季学術講演会 研修医ことはじめ 2023/10/27 宮崎	古賀早紀子、児嶋 隆、西井 裕哉、南野 高志、 西田 佳子、松尾 規和、武岡 宏明、岡元 昌樹
B-③	26	これだけは知っておきたい間質性肺炎の基礎知識.	浮羽内科医会総会 2023/12/5 福岡	岡元 昌樹
B-③	27	無症状の間質性肺疾患に対する抗繊維化薬早期介入の治療成績	第16回福岡県医学会総会 2024/2/4 福岡県	石原 裕基、岡元 昌樹、岩崎 浩巳
B-③	28	クリゾチニブにより重篤な眼毒性が出現したROS-1陽性肺腺癌の一例	第64回日本肺癌学会九州支部学術総会 2024/3/1 宮崎	西井 裕哉、武岡 宏明、児嶋 隆、南野 高志、 西田 佳子、松尾 規和、糸山 花梨、八坂 裕太、 雨宮 健生、溝口 昌弘、岡元 昌樹
B-③	29	当院で経験した免疫チェックポイント阻害薬使用中に発症した自己免疫性血小板減少症6例の臨床的検討	第92回日本呼吸器学会・日本結核非結核性抗酸菌症学会九州支部春季学術講演会 2024/3/16 熊本	南野 高志、西井 裕哉、児嶋 隆、西田 佳子、 松尾 規和、武岡 宏明、高嶋秀一郎、高瀬 謙、 岡元 昌樹
B-④	30	パネルディスカッション 早期FILDの評価における運動負荷試験の重要性.	National Expert Web Symposium 2023/11/20 名古屋 (Web)	岡元 昌樹

講演会等

C-①	31	IV期非小細胞肺癌に対する複合免疫療法の実際	肺癌診療webセミナー ～臨床試験と実臨床の経験から学ぶ～ 2023/4/25 福岡	松尾 規和
-----	----	------------------------	-----------------------------------------------	-------

その他

D	32	間質性肺疾患におけるバイオマーカーの可能性.	第4回TaMa-ILD Meeting 2023/6/2 東京	岡元 昌樹
D	33	抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎に合併した間質性肺疾患	第223回CPC 2023/6/12 当院	南野 高志、桃崎 征也、岡元 昌樹、松尾 規和

D	34	間質性肺疾患の早期治療と病診連携- クリニカルパスの活用	ILD Expert Meeting 2023/6/23 神戸	岡元 昌樹
D	35	間質性肺疾患診療における地域医療支 援病院の役割-	地域で診切る間質性肺疾患Web Seminar 2023/7/6 福岡 (WEB)	岡元 昌樹
D	36	間質性肺疾患診療における早期診断、 早期治療の意義	Meet the Respiratory Expert Nara 2023/7/21 奈良	岡元 昌樹
D	37	間質性肺疾患診療における早期診断、 早期治療の意義。 膠原病合併間質性肺疾患の薬物療法 UP TO DATE.	CTD-ILD Conference in Kurashiki 2023/9/28 岡山 (WEB)	岡元 昌樹
D	38	急激な経過を辿った間質性肺炎急性増 悪の一例	第226回CPC 2024/2/27 当院	西井 裕哉、大石智恵美、藤原美奈子、岡元 昌樹、 南野 高志、児嶋 隆

循環器内科

論文

A-①	1	Impact of Medina classification on clinical outcomes of imaging-guided coronary bifurcation stenting	IJC Heart & Vasculature 49 : 101311, 2023	Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M, Okamura T, Nagoshi R, Watanabe Y, Suzuki N, Mori T, Shinke T, Shite J, Kozuma K
A-①	2	Stent underexpansion is associated with high wall shear stress : a biomechanical analysis of the shear stent study	International Journal of Cardiovascular Imaging 39 (7) : 1375-1382, 2023	Kumar S, Molony D, Khawaja S, Crawford K, Thompson EW, Hung O, Shah I, Navas-Simbana J, Ho A, Kumar A, Ko YA, Hosseini H, Lefieux A, Lee JM, Hahn JY, Chen SL, Otake H, Akasaka T, Shin ES, Koo BK, Stankovic G, Milasinovic D, Nam CW, Won KB, Escaned J, Erglis A, Murasato Y, Veneziani A, Samady H
A-①	3	Impact of coronary bifurcation angle on stent malapposition in a randomized comparison between proximal optimization technique followed by side branch dilatation and kissing balloon inflation	IJC Heart & Vasculature 48 : 101265, 2023	Yamawaki M, Murasato Y, Watanabe Y, Kinoshita Y, Okubo M, Yumoto K, Masuda N, Otake H, Aoki J, Nakazawa G, Numasawa Y, Ito T, Shite J, Okamura T, Takagi K, Kozuma K, Lefèvre T, Chevalier B, Louvard Y, Suzuki N, Kozuma K
A-①	4	Serial changes of the side-branch ostial area after single crossover stenting with kissing-balloon inflation	INTERNATIONAL JOURNAL OF CARDIOVASCULAR IMAGING 39 (8) : 1593-1603, 2023	Fujimura T, Okamura T, Nagoshi R, Murasato Y, Yamawaki M, Miyazaki Y, Akase H, Ono S, Serikawa T, Hikichi Y, Norita H, Nakao F, Sakamoto T, Shinke T, Shite J
A-①	5	Risk Assessment of Side Branch Compromise After Coronary Bifurcation Stenting - A Substudy of the 3D-OCT Bifurcation Registry	Circulation Journal 88 (6) : 959-969, 2023	Akase H, Okamura T, Nagoshi R, Fujimura T, Miyazaki Y, Takenaka H, Matsuyama T, Murasato Y, Yamawaki M, Ono S, Serikawa T, Hikichi Y, Norita H, Nakao F, Sakamoto T, Shinke T, Yano M, Shite J

A-② 6	Artificial Intelligence, Computational Simulations, and Extended Reality in Cardiovascular Interventions	JACC-Cardiovascular Interventions 16 (20) : 2479-2497, 2023	Samant S, Bakhos JJ, Wu W, Zhao S, Kassab GS, Khan B, Panagopoulos A, Makadia J, Oguz UM, Banga A, Fayaz M, Glass W, Chiastra C, Burzotta F, LaDisa JF Jr, Iaizzo P, Murasato Y, Dubini G, Migliavacca F, Mickley T, Bicek A, Fontana J, West NEJ, Mortier P, Boyers PJ, Gold JP, Anderson DR, Tchong JE, Windle JR, Samady H, Jaffer FA, Desai NR, Lansky A, Mena-Hurtado C, Abbott D, Brilakis ES, Lassen JF, Louvard Y, Stankovic G, Serruys PW, Velazquez E, Elias P, Bhatt DL, Dangas G, Chatzizisis YS
A-② 7	Acute pulmonary vein stenosis during radiofrequency catheter ablation for atrial fibrillation	Journal of Arrhythmia 39 (6) : 960-962, 2023	Yakabe D, Araki M, Inoue S, Nakamura T
A-② 8	Precordial ST-Segment Elevation : Anterior Myocardial Infarction or Something Else?	Journal of American College of Cardiology Case Report 29 (1) : 102150, 2023	Yakabe D, Mori T, Araki M, Inoue S, Nakamura T
A-② 9	Coronary intervention in chronic total occlusion in left main coronary artery	Journal of Invasive Cardiology Online ahead of print : 2024	Murasato Y, Meno K, Mori T

学会発表

B-① 10	Impact of Lesion Distribution According to Medina Classification on Clinical Outcomes of Imaging-guided Coronary Bifurcation Stenting	EuroPCR 2023 2023/5/16 Paris	Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M, Okamura T, Nagoshi R, Watanabe Y, Suzuki N, Mori T, Shinke T, Shite J, Kozuma K
B-① 11	3D OCT-guided Left Main PCI	EuroPCR 2023 2023/5/16 Paris	Murasato Y
B-① 12	Significance of Assessment of Fractal Ratio in Coronary Bifurcation Stenting	EuroPCR 2023 2023/5/16 Paris	Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M, Okamura T, Nagoshi R, Fujimura T, Takeda Y, Fujii K, Yamada S, Shinke T, Shite J
B-① 13	Side Branch Non-stent Strategy during Provisional Bifurcation PCI	Gwangju International Interventional Cardiology Symposium 2023 2023/6/8 Korea、WEB	Murasato Y
B-① 14	A case of atrial tachycardia originating from the vicinity of sinus node and dual atrioventricular nodal non-reentrant tachycardia	第69回日本不整脈心電学会 学術集会 2023/7/6 札幌	Yakabe D, Fukuyama Y, Araki M, Inoue S, Nakamura T
B-① 15	Prolonged P Wave Duration as a Predictive Factor for Recurrence After Cryoballoon Ablation for Longstanding Persistent Atrial Fibrillation	第69回日本不整脈心電学会 学術集会 2023/7/6 札幌	Yakabe D, Fukuyama Y, Araki M, Inoue S, Nakamura T
B-① 16	Complex coronary bifurcation	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023/8/4 福岡	Murasato Y

B-① 17	Late breaking trial	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023/8/4 福岡	Murasato Y, Nakashima H, Sugino H, Arikawa M, Mori F, Ueda Y, Matsumura K, Abe M, Koizumi T, Shimomura M, Fujimoto K, Saeki T, Imagawa S, Takenaka T, Morita Y, Kashima K, Takami A, Ono Y, Fukae A, Imai T
B-① 18	In-stent Restenosis in Left Main Bifurcation	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023/8/4 福岡	Murasato Y
B-① 19	Proximal optimization technique followed by side branch dilation	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023/8/4 福岡	Murasato Y
B-① 20	Impact of Lesion Distribution According to Medina Classification on Clinical Outcomes of Imaging-guided Coronary Bifurcation Stenting	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023/8/4 福岡	Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M, Okamura T, Nagoshi R, Watanabe Y, Suzuki N, Mori T, Shinke T, Shite J, Kozuma K
B-① 21	OCT in Coronary Bifurcation Stenting	Society for Cardiovascular Angiography & Interventions Bifurcation Club Webinar 2023/8/24 North America、WEB	Murasato Y
B-① 22	How Should We Treat the Spiral Dissection for Preserving the Side Branches?	Serbian conference on INtERventional cardioloGY (SINERGY) 2023/9/14 Belgrade、WEB	Murasato Y
B-① 23	Coronary Intervention for Severe In-stent Restenosis in Left Main Bifurcation	19th European Bifurcation Club 2023/10/13 Warsaw	Murasato Y
B-① 24	Complex true bifurcation lesion : Provisional approach	Complex Cardiovascular Therapeutics (CCT) 2023 2023/10/19 Kobe	Murasato Y
B-① 25	Restoring Patency in the Left Main Artery : In-Stent Restenosis Management	Complex PCI 2023 2023/11/23 Seoul	Murasato Y
B-① 26	Imaging-guided Bifurcation Techniques	Hong Kong Society of Transcatheter ENdo-cardiovascular Therapeutics (HKSTENT) : CUHK Bifurcation Live 2023 2023/12/18 Hong Kong	Murasato Y
B-① 27	Treatment for Restenosis after Left Main PCI	Myocardial Ischemia Symposium in Korea (MIS-Korea) 2024 2024/3/7 Seoul	Murasato Y
B-① 28	Assessment of Fractal Ratio for Physiological Revascularization in Coronary Bifurcation Stenting	第88回日本循環器学会学術集会 2024/3/8 神戸	Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M, Okamura T, Nagoshi R, Fujimura T, Takeda Y, Fujii K, Yamada S, Shinke T, Shite J
B-① 29	Impact of Lesion Complexity in Imaging-guide Left Main Coronary Intervention : Insight from Multi-center Registry in Japanese National Hospital Organization	第88回日本循環器学会学術集会 2024/3/8 神戸	Murasato Y, Nakashima H, Sugino H, Arikawa M, Mori F, Ueda Y, Matsumura K, Abe M, Koizumi T, Shimomura M, Fujimoto K, Saeki T, Imagawa S, Takenaka T, Morita Y, Kashima K, Takami A, Ono Y, Fukae A

B-①	30	Impact of Diabetes on VEGF-D and Cardiovascular Mortality in Patients with Suspected or Known Coronary Artery Disease : The ANOX Study	第88回日本循環器学会学術集会 2024/3/8 神戸	Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Kotani K, Abe M, Akao M, Ono Y, Hasegawa K
B-①	31	Impact of CKD on VEGF-D and Cardiovascular Mortality in Patients with Suspected or Known Coronary Artery Disease : The ANOX Study	第88回日本循環器学会学術集会 2024/3/8 神戸	Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Kotani K, Abe M, Akao M, Ono Y, Hasegawa K
B-②	32	心房細動アブレーション後の左心房機能及び長期的臨床転帰	第34回日本心エコー図学会学術集会 2023/4/21 岐阜	大谷 規彰
B-②	33	COVID19時代の心筋症up-to-date	第34回日本心エコー図学会学術集会 2023/4/21 岐阜	大谷 規彰
B-②	34	がん治療中の心不全	第10回がん専門薬剤師全体会議 2023/5/13 札幌	大谷 規彰
B-②	35	The cardiovascular implantable electronic device informs us of the occurrence and exacerbation of cardiomyopathy	第69回日本不整脈心電学会学術集会 2023/7/6 札幌	大谷 規彰
B-②	36	Impact of left atrial calcification on left atrial function and heart failure after atrial fibrillation catheter ablation	第69回日本不整脈心電学会学術集会 2023/7/6 札幌	大谷 規彰
B-②	37	急性心筋梗塞退院前後の運動処方方はプラークの安定化にも寄与する	第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 2023/7/15 横浜	竹中 克彦、西田 翔子、目野 恭平、加茂美由紀
B-②	38	運動負荷試験での運動処方を施行した急性心筋梗塞症例の臨床経過	第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 2023/7/15 横浜	加茂美由紀、竹中 克彦、肥後 太基、原山 容子、田中 正則
B-②	39	がん患者集団における増大する冠動脈疾患の管理	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023/8/4 福岡	大谷 規彰
B-②	40	Physiologyを生かしたLeft main bifurcation intervention	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023/8/4 福岡	村里 嘉信
B-②	41	Efficacy of Drug-coated balloon angioplasty after debulking atherectomy in patients with heavily calcified lesion.	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023/8/4 福岡	Takenaka K, Fujimoto Y, Meno K, Ura Y, Mori S, Omura S, Mori T, Otani K, Murasato Y
B-②	42	Impact of left atrial calcification on left atrial function and heart failure after atrial fibrillation catheter ablation	第27回日本心不全学会 2023/10/6 横浜	大谷 規彰
B-②	43	右腎静脈原発の平滑筋肉腫が右房内へ進展した一症例	日本超音波医学会第33回九州地方学術集会 2023/10/8 久留米	谷口江理奈、中村 洸太、宮崎 明信、山本 慎悟、別府 佳菜、大谷 洋平、本多 千尋、伊藤 葉子、松田 寛子、大谷 規彰、松下 義照
B-②	44	当院で経験したLiebman Sacks(リブマンサックス)心内膜炎の一例	第77回国立病院総合医学会 2023/10/20 広島	松田 寛子、伊藤 陽子、國廣 恵美、宮崎 明信、中村 洸太、松下 照義、大谷 規彰

B-②	45	Inferolateral left atrial slow pathway に対し左房および冠静脈洞からの通電で治療に成功したfast-slow AVNRTの一例	カテーテルアブレーション関連秋期大会2023 2023/11/8 福岡	矢加部大輔、荒木 将裕、井上修二郎、中村 俊博
B-②	46	精密な診断が導く外科治療の成功：成人期に診断される先天性僧帽弁疾患	第13回日本心臓弁膜症学会学術集会 2023/11/17 札幌	大谷 規彰
B-②	47	心筋症の心電図 ※学会公式Youtube出演	日本循環器学会 公式Youtube Best Teacher Series 2024/3/8～10 WEB (Youtube)	矢加部大輔
B-③	48	洞結節近傍のfocal ATおよび洞調律中の心室二重応答による頻拍を認めた一例	第3回日本不整脈心電学会 九州・沖縄支部地方会 2023/4/8 福岡	矢加部大輔、福山 雄介、荒木 将裕、中村 俊博
B-③	49	心アミロイドーシス診療の現状と未来	第134回日本循環器学会九州地方会 2023/6/24 熊本	大谷 規彰
B-③	50	初発心不全で経口心不全治療薬への抵抗性から診断に至った多発性骨髄腫合併AL型心アミロイドーシス症例	第134回日本循環器学会九州地方会 2023/6/24 熊本	富士本悠吾、大谷 規彰、吉田 周郎、福田 翔子、目野 恭平、矢加部大輔、竹中 克彦、村里 嘉信、中村 俊博、高瀬 謙、肥後 太基
B-③	51	急性心外膜炎で発症し6年後に非感染性心内膜炎を合併した全身性エリテマトーデスの一例	第134回日本循環器学会九州地方会 2023/6/24 熊本	鈴木裕美佳、大谷 規彰、岩永 智陽、伊藤 葉子、小村聡一郎、森 隆宏、竹中 克彦、石田 素子、中村 俊博、宮村 友也、肥後 太基
B-③	52	診断に苦慮した心腔内腫瘍の1例	第134回日本循環器学会九州地方会 2023/6/24 熊本	渡邊 果穂、大谷 規彰、鈴木 理大、藤本 智子、森 信太郎、浦 祐次郎、小村聡一郎、森 隆宏、竹中 克彦、中村 俊博、今坂 堅一、肥後 太基
B-③	53	心房細動アブレーション後に間質性肺炎急性増悪に至った一例	第134回日本循環器学会九州地方会 2023/6/24 熊本	矢加部大輔、福山 雄介、荒木 将裕、井上修二郎、中村 俊博
B-③	54	レーザーバルーンを用いた児童連続照射により共通幹を有する肺静脈の隔離を施行しえた2症例	第134回日本循環器学会九州地方会 2023/6/24 熊本	荒木 将裕、矢加部大輔、井上修二郎、中村 俊博
B-③	55	がん患者のための地平を切り開く：腫瘍循環器の創設と院内連携の戦略	第135回日本循環器学会九州地方会 2023/12/2 福岡	大谷 規彰
B-③	56	成人期に診断された重症先天性僧帽弁狭窄症の一例	第135回日本循環器学会九州地方会 2023/12/2 福岡	島 千波、大谷 規彰、宮崎 明信、鈴木 理大、石原 夕子、角 裕一郎、小村聡一郎、竹中 克彦、中村 俊博、今坂 堅一、井上修二郎
B-③	57	急性心筋梗塞後に右室自由壁破裂と心室中隔破裂穿孔と右室自由壁破裂を合併した一例	第135回日本循環器学会九州地方会 2023/12/2 福岡	酒井 莉奈、大谷 規彰、角 裕一郎、鈴木 理大、目野 恭平、富士本悠吾、竹中 克彦、中村 俊博、今坂 堅一、井上修二郎
B-③	58	特発性非通常型心房粗動の長期予後	第135回日本循環器学会九州地方会 2023/12/2 福岡	矢加部大輔、大谷 規彰、荒木 将裕、井上修二郎、中村 俊博
B-③	59	心アミロイドーシスの早期診断を意識する	第36回日本心血管インターベンション治療学会 九州・沖縄地方会 2024/1/12 福岡	井上修二郎
B-③	60	近位病変閉塞に伴う冠動脈バイパス機能不全による急性冠症候群に対し、石灰化破砕術を施行した一例	第36回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会 2024/1/12 福岡	村里 嘉信、浦 祐次郎、富士本悠吾、目野 恭平、森 信太郎、小村聡一郎、森 隆宏、大谷 規彰、竹中 克彦、井上修二郎
B-③	61	冠動脈バイパス術後20年で増悪した狭心症に対する冠動脈インターベンション	第36回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会 2024/1/12 福岡	富士本悠吾、村里 嘉信、目野 恭平、浦 祐次郎、森 信太郎、小村聡一郎、森 隆宏、大谷 規彰、竹中 克彦、井上修二郎

B-③	62	ACS症例の抗血小板薬の選択	第36回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会 2024/1/12 福岡	竹中 克彦
B-④	63	Bifurcation PCI : Making It Simple without Ignorance	近畿心血管治療ジョイントライブ (KCJL) 2023/4/13 大阪	村里 嘉信
B-④	64	Proximal optimization techniqueが分岐部ステント不全に及ぼす影響	Japanese Bifurcation Club Conference 2023 2023/7/8 豊橋、WEB	村里 嘉信
B-④	65	Side branch preservation technique	Japanese Bifurcation Club Conference 2023 2023/7/8 豊橋、WEB	村里 嘉信
B-④	66	後世に伝えたいBifurcators のthe worst case : Provisional approachはGold standardだが、絶対ではない	Japanese Bifurcation Club Live demonstration 2023 2023/9/9 豊橋、WEB	村里 嘉信
B-④	67	左冠動脈主幹部ステント再狭窄に対するPCI	25th Hakata Bay Area Transcatheter Intervention Conference (HABATAC) 2023/11/1 福岡、WEB	村里 嘉信
B-④	68	冠動脈分岐部インターベンション最新事情	第2回Tono Higashi Owari (TOHO) Conference 2024/2/15 名古屋	村里 嘉信
B-④	69	左冠動脈主幹部・分岐部におけるStent-less治療	Debulking & DCB Seminar 2024/3/14 高松	村里 嘉信

講演会等

C-①	70	心房細動アブレーション後の左房石灰化・硬化症候群	心房細動の未来を考えるWebセミナー 2023/5/22 WEB	矢加部大輔
C-①	71	慢性心不全患者に対する包括的治療戦略	2023年度地域医師のための生涯研修セミナー 2023/5/27 福岡	竹中 克彦
C-①	72	心不全ケアの標準化で再入院を予防しよう	心不全Network Meeting 2023/9/11 福岡	竹中 克彦
C-①	73	心不全手帳の重要性と地域での情報共有	心不全Network Meeting 2023/9/11 福岡	竹中 克彦
C-①	74	心不全の治療と仕事の両立支援：ハートノートによる患者支援	心不全、脳卒中後遺症に対する治療と仕事の両立支援をカナンが得る 2023/9/29 福岡	竹中 克彦
C-①	75	たかが心電図、されど心電図～EP医の視点から～	Advanced Arrhythmia Academy 2023/10/28 福岡	矢加部大輔
C-①	76	腎と心、対話する臓器：腎不全患者のホリスティックな心不全マネジメント	Forxiga 心腎連関セミナー 2024/2/8 福岡	大谷 規彰
C-②	77	冠動脈分岐部病変に対する最新治療とエビデンス	Bifurcation PCI Training Seminar 2023/4/1 川崎	村里 嘉信

C-②	78	都市部における心不全患者管理についての課題	第7回よかよかネット地域連携の会 2023/8/2 福岡	井上修二郎
C-②	79	IMPELLAによる梗塞後心室中隔穿孔の低酸素血症	第16回福岡重症心不全治療セミナー 2023/9/29 福岡	大谷 規彰
C-②	80	拡張能の極意：心エコーで見る指標の意味と評価の落とし穴	第49回 福岡心血管エコーイメージング勉強会 2024/2/19 福岡	大谷 規彰

その他

D	81	ATTR-CM 治療について	Fukuoka 心アミロイドーシス seminar 2023/7/12 福岡	井上修二郎
D	82	動脈硬化の危険因子と予防について	脈拍HEARTBEAT EXPO 2023 2023/8/6 福岡	井上修二郎
D	83	心臓の動脈硬化になったら、どうする？	脈拍HEARTBEAT EXPO 2023 2023/8/6 福岡	竹中 克彦
D	84	心房細動治療の考え方と最近の話題	北九州地区 先を見据えた循環器疾患治療講演会 2023/10/23 北九州	井上修二郎
D	85	食事の影響を受けた肥大型心筋症の一例	福岡心血管エコーイメージング勉強会 2023/10/23 福岡	安達 知子、大谷 規彰
D	86	Stage Aから心不全を意識する	第5回心不全地域連携の会 2023/12/12 福岡	井上修二郎

感染症内科

論文

A-①	1	Upper Respiratory Symptoms as Long COVID : Insight from a Multicenter Cohort Study	OTO Open 8 (1) : e120, 2024	Okada M, Ishida N, Kanzaki S, Kawada I, Nagashima K, Terai H, Hiruma G, Namkoong H, Asakura T, Masaki K, Ohgino K, Miyata J, Chubachi S, Kodama N, Maeda S, Sakamoto S, Okamoto M, Nagasaki Y, Umeda A, Miyagawa K, Shimada H, Minami K, Hagiwara R, Ishii M, Sato Y, Fukunaga K.
A-①	2	Gastrointestinal symptoms in COVID-19 and disease severity : a Japanese registry-based retrospective cohort study	Journal of Gastroenterology 59 (3) : 195-208, 2024	Matsubara Y, Kiyohara H, Mikami Y, Nanki K, Namkoong H, Chubachi S, Tanaka H, Azekawa S, Sugimoto S, Yoshimatsu Y, Sujino T, Takabayashi K, Hosoe N, Sato T, Ishii M, Hasegawa N, Okada Y, Koike R, Kitagawa Y, Kimura A, Imoto S, Miyano S, Ogawa S, Fukunaga K, Kanai T; Japan COVID-19 Task Force. (Shotaro Chubachi, Ho Namkoong, ... Atsushi Sueyoshi, Nagasaki Y, Masaki Okamoto, Yoshihisa Tokunaga, Sayoko Ishihara, Masatoshi Shimo, ...et, al)

その他

- D 3 コロナウイルス排泄遅延を伴い、呼吸不全に至ったB細胞性リンパ腫の一例 第224回CPC 2023/11/28 当院 有水 遥子、桃崎 征也、長崎 洋司

小児科 論文

- A-③ 1 産後健診 PERINATAL CARE (ペリネイタルケア) 新春増刊 287, 2023 佐藤 和夫
- A-③ 2 低出生体重児の現状と周産期医療のトピックス 子どものからだと心白書2023 14-16, 2023 佐藤 和夫

学会発表

- B-② 3 STEC O157 : H7 clade 8の世界的な集団構造とStx2とStx2a フェージのバリエーション 第96回日本細菌学会総会・学術集会 2023/3/16 兵庫 宮田 達弥、谷口 愛樹、中村 佳司、後藤 恭宏、平井晋一郎、横山 栄二、大西 真、伊豫田 淳、小椋 義俊、林 哲也
- B-② 4 包括的HBOC診療システム構築に向けた当院の取り組み 第47回遺伝カウンセリング学会学術集会 2023/7/7 長野 石川亜希子、岩熊 伸高、小川 伸二、坂本 直孝、加来 豊馬、桃崎 征也、小嶋 健太、北川 敬資、藤原ありさ、田浦裕三子、松下 悠紀、藤吉 順子、沼田 早苗、蓮尾 泰之
- B-② 5 画像解析による小児の気道解剖とMcirocuffのメーカー推奨サイズの適正性の評価 第45回日本呼吸療法医学会学術集会 2023/8/5-6 愛知 東 加奈子、水口 壮一、松岡 若利、賀来 典之、赤星朋比古
- B-② 6 当院職員のCOVID-19罹患および二次感染状況に関する検討 第77回国立病院総合医学会 2023/10/21 広島 小田原美樹、小形 和輝、奥田早也香、有水 遥子、神野 俊介、長崎 洋司
- B-② 7 大腸菌による反復性髄膜炎に対しクロラムフェニコールが有効であった乳児例 第55回日本小児感染症学会総会・学術集会 2023/11/25 愛知 徳富夏奈子、坂倉 光、宮田 達弥、金 政光、原田 頌隆、本村 良知、大賀 正一
- B-③ 8 大腸菌による反復性髄膜炎に対しクロラムフェニコール (CP) が有効であった乳児例 第523回日本小児科学会福岡地方会 2023/12/9 福岡 徳富夏奈子、坂倉 光、金 政光、原田 頌隆、宮田 達弥、本村 良知、大賀 正一
- B-④ 9 新生児医療関係者に知って欲しい“スマホと育児”～妊娠中・新生児期から予防啓発を～ 第78回九州新生児研究会 教育講演 2023/6/3 宮崎 佐藤 和夫
- B-④ 10 新生児医療における母子支援・家族支援～NICU、フォローアップ健診での実践から～ 第45回子どものからだと心・全国研究会議 2023/12/9 東京 佐藤 和夫

講演会

- C-① 11 こんなに変わった小児の医療～私が経験した40年(新生児医療を中心に)、そして福岡地区小児科勤務医会～ 第434回福岡地区小児科勤務医会カンファレンス 2023/4/20 福岡 佐藤 和夫

C-① 12	新生児医療の温故知新 ～私が経験した40年から～	北九州新生児セミナー 特別講演 2023/6/30 小倉	佐藤 和夫
C-① 13	産科医に知って欲しい“スマホと育児”～妊娠中・新生児期から予防啓発を～	2023年度第2回福岡県産婦人科医会福岡ブロック学術講演会 2023/7/18 福岡	佐藤 和夫
C-① 14	先天梅毒	第77回福岡周産期懇話会 2023/7/28 福岡	慶田 裕美、古賀 雅子、宮田 達弥、東 加奈子、藤吉 順子、松下 悠紀、高野由紀子、佐藤 和夫、神野 俊介
C-① 15	遅発型GBS感染症の多胎例	第436回福岡地区小児科勤務医会カンファレンス 2023/8/10 web	神野 俊介、古賀 雅子、宮田 達弥、東 加奈子、慶田 裕美、藤吉 順子、高野由紀子、松下 悠紀、佐藤 和夫
C-① 16	先天梅毒～周産期を含めた梅毒管理の課題～	第436回福岡地区小児科勤務医会カンファレンス 2023/8/10 web	慶田 裕美、古賀 雅子、宮田 達弥、東 加奈子、藤吉 順子、松下 悠紀、高野由紀子、佐藤 和夫、神野 俊介
C-① 17	HIV感染症の周産期	第278回福岡市新生児ジョイントカンファレンス 2023/11/24 福岡	金堂円太郎、神野 俊介、古賀 雅子、宮田 達弥、東 加奈子、慶田 裕美、藤吉 順子、松下 悠紀
C-① 18	一般小児の感染症、特にRSVに関する最近の話題	第3回感染対策向上合同カンファレンス 2024/2/21 福岡	神野 俊介
C-① 19	当院で経験した総肺静脈還流異常症の検討	第281回福岡市新生児ジョイントカンファレンス 2024/3/22 福岡	古賀 雅子、神野 俊介、宮田 達弥、東 加奈子、慶田 裕美、藤吉 順子、松下 悠紀

その他

D 20	新生児医療における母児支援・家族支援～NICU、フォローアップ健診での実践から～	福岡市立心身障がい福祉センター 職場研修 2023/9/29 福岡	佐藤 和夫
D 21	気づいていますか？子ども達からのSOS～小児虐待診療のピットフォーラム～	地域医師のための生涯研修セミナー 2023/12/9 福岡	東 加奈子
D 22	小児科医の仕事	職業講和 2024/2/8 福岡	藤吉 順子

精神科 論文

A-③ 1	メンタルヘルス問題の動向	日本臨牀 81 (10) : 1469-1478, 2023	田中 裕記
-------	--------------	-----------------------------------	-------

学会発表

B-② 2	「死にたい」に込められた思い	第119回日本精神神経学会学術総会 2023/6/24 横浜市	田中 裕記
-------	----------------	------------------------------------	-------

B-② 3	橋渡し役としての専門家-当事者活動に専門医・専門職が参画する意義-	第56回日本てんかん学会学術集会/てんかん運動50周年記念シンポジウム 2023/10/20 東京都	田中 裕記
B-② 4	どこへ向けての運動か-スティグマというなにか-	日本てんかん協会 第50回全国大会/特別討論 2023/10/21 東京都	田中 裕記
B-② 5	極短期間で身体的な診断に至り、看取りを見据えて在宅医療を導入した1例	第36回日本総合病院精神医学会総会 2023/11/18 仙台市	田中 裕記
B-③ 6	身体合併症の治療拒否をした2例の比較	第75回九州精神神経学会 2023/10/19 web	井上 竣介、住吉 孝久、石川 謙介
B-④ 7	臨床心理士養成の今後に向けて	日本臨床心理士養成大学院協議会 第21回年次大会シンポジウム 2023/9/17 東京都	田中 裕記

講演会

C-① 8	睡眠薬と抗不安薬の使い方	福岡市勤務医内科医会・内科医会合同学術講演会 2023/5/20 福岡市	石川 謙介
C-① 9	てんかんと精神科医療	日本てんかん協会北九州医療講演会 2023/9/10 北九州市	田中 裕記
C-② 10	コロナ禍の精神的変調～不安と不眠～	第15回レインボーカンファレンスin天神 2023/4/18 福岡市	石川 謙介

その他

D 11	ココロに聞いてみよう！～私たちの日常とメンタルヘルス～	世界メンタルヘルスデー 2023 2023/10/10 東京都	田中 裕記
D 12	精神科面接の基本	第32回「精神科面接の基本」研修会in福岡 2023/10/29 福岡市	田中 裕記

放射線科

学会発表

B-② 1	CT findings of nosocomial COVID-19 pneumonia in patients with hematologic disorders	第82回日本医学放射線学会総会 2023/4/15 横浜	Furuya K, Kamei R, Iwasaki H, Nagasaki Y, Okamoto M, Takase K, Noguchi T, Shimono N, Matsuura S, Morita S.
B-② 2	Proposal Of Regional Organ Classification (ROC) As Body Part Classification In Medical Imaging	第82回日本医学放射線学会総会 2023/4/15 横浜	Noguchi T, Matsuura S, Kamei R, et al.
B-② 3	緊急内視鏡中に心停止を来した十二指腸潰瘍出血を経カテーテル塞栓術で止血しえた1例	第52回日本IVR学会総会 2023/5/18 高知	野口 智幸、松浦 秀司、亀井僚太郎、et al

B-② 4	MRIから見た『深部子宮内膜症』	JSAWI 2023 2023/9/1 淡路島	原田 詩乃
B-② 5	「Nothing about me without me」放射線科領域における患者中心医療	第59回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2023/9/15 徳島	野口 智幸、松浦 秀司、亀井僚太郎、前原 純樹 古谷 清美、原田 詩乃、白石 貴大、高木 美緒
B-② 6	肺結節型アミロイドーシス5例の画像所見の検討	第59回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2023/9/15 徳島	古谷 清美、亀井僚太郎、松浦 秀司、原田 詩乃、 前原 純樹、白石 貴大、高木 美緒、野口 智幸、 山崎 宏司、岡元 昌、桃崎 征也
B-② 7	放射線科医からAIの現状	第77回国立病院総合医学会 2023/10/20 広島	前原 純樹
B-② 8	核医学検査での診療放射線技師による静脈路確保の取り組み	第43回日本核医学学会学術総会 2023/11/16 大阪市	野口 智幸
B-③ 9	転移性前立腺癌に対する根治的放射線治療の治療成績	第198回日本医学放射線学会九州地方会 2023/2/16 熊本市	高木 美緒、白石 貴大、大賀 才路
B-③ 10	当院に十二指腸3D-CT (CT-duodenography)	第198回日本医学放射線学会九州地方会 2023/2/16 熊本市	白石 貴大、松浦 秀司、古谷 清美、原田 詩乃、 亀井遼太郎、前原 純樹、高木 美緒、野口 智幸
B-③ 11	術前診断が困難であったsolid type serous cystic neoplasm (SCN) の一例	第198回日本医学放射線学会九州地方会 2023/2/16 熊本市	多田 彰太、前原 純樹、松浦 秀司、古谷 清美、 原田 詩乃、亀井遼太郎、白石 貴大、高木 美緒、 高見 裕子、桃崎 征也
B-③ 12	診療放射線技師による血管確保に向けた日常診療での穿刺回数調査	第197回日本医学放射線学会九州地方会 2023/6/10 沖縄	野口 智幸、松浦 秀司、亀井僚太郎、前原 純樹、 古谷 清美、原田 詩乃、高木 美緒、大浦 弘樹、 今西 美嘉、北口 貴教
B-③ 13	画像所見と既往歴の確認によりBirt-Hogg-Dubé症候群が強く疑われた一例	第197回日本医学放射線学会九州地方会 2023/6/10 沖縄	高木 美緒、前原 純樹、松浦 秀司、古谷 清美、 原田 詩乃、亀井僚太郎、白石 貴大、野口 智幸、 波止 亮、桃崎 征也
B-③ 14	右腎静脈から発生し右房内に進展したと考えられる平滑筋肉腫の一例	第197回日本医学放射線学会九州地方会 2023/6/10 沖縄	白石 貴大、前原 純樹、松浦 秀司、古谷 清美、 原田 詩乃、亀井僚太郎、高木 美緒、野口 智幸
B-④ 15	当院における経腹的胸管塞栓術の初期体験	第45回九州IVR研究会 2023/12/16 福岡	白石 貴大、前原 純樹、松浦 秀司、高木 美緒、 亀井僚太郎、古谷 清美、原田 詩乃、野口 智幸、 吉田倫太郎、岡本 大佑
B-④ 16	膝インスリノーマの術前評価に選択的動脈内刺激物注入試験 (SASIテスト) が有効であった一例	第45回九州IVR研究会 2023/12/16 福岡	前原 純樹、亀井僚太郎、松浦 秀司、白石 貴大、 高木 美緒、古谷 清美、原田 詩乃、野口 智幸、 勝浦 俊亮

講演会

C-② 17	死後AI (Autopsy imaging) でわかること	地域医療研修セミナー 2023/11 福岡	前原 純樹
C-② 18	当院における消化管3D-CT	地域医療研修セミナー 2023/11 福岡	松浦 秀司

消化管外科

論文

- A-① 1 Prognostic significance of a novel index score based on the inflammation-based prognostic scores of patients with colorectal cancer
Journal of Gastroenterology and Hepatology
38 (10) : 1750-1759, 2023
Kudou K, Hasuda H, Tsuda Y, Kusumoto E, Uehara H, Yoshida R, Koga T, Yamashita YI, Sakaguchi Y, Kusumoto
- A-① 2 Phase II clinical trial to study the safety and efficacy of combined S-1 + oxaliplatin therapy as neoadjuvant chemotherapy for locally advanced gastric cancer in older patients
International Journal of Clinical Oncology
28 (9) : 1166-1175, 2023
Ota M, Saeki H, Uehara H, Matsuda Y, Tsutsumi S, Kusumoto T, Yasui H, Ubukata Y, Yamaguchi S, Orita H, Izawa N, Kakizoe S, Shimokawa M, Yoshizumi T, Kakeji Y, Mori M, Oki E
- A-① 3 Phase II study of intraperitoneal administration of paclitaxel combined with S-1 and cisplatin for gastric cancer with peritoneal metastasis
ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY
31 (2) : 735-743, 2023
Kobayashi D, Kodera Y, Fukushima R, Morita M, Fushida S, Yamashita N, Yoshikawa K, Ueda S, Yabusaki H, Kusumoto T, Arigami T, Hidemura A, Omori T, Yamaguchi H, Hirono Y, Tsuji Y, Moon JH, Tomita T, Imamura H, Nakanishi K, Shimizu D, Hirakawa A, Ishigami H, Kitayama J
- A-② 4 Primary esophageal malignant melanoma without recurrence after surgery and adjuvant therapy with nivolumab
International Cancer Conference Journal
12 (2) : 100-103, 2022
Nambara S, Sakaguchi Y, Tsuda Y, Kudou K, Kusumoto E, Yoshida R, Kusumoto T, Ikejiri K

学会発表

- B-① 5 The frequency and risk factors of Chronic postoperative inguinal pain in Japan : A prospective, longitudinal nationwide survey
American Hernia Society 2023 Annual Meeting
2023/9/21 Austin, USA
Narita M, Tasaki T, Yuichiro Miyaki Y, Miyagaki H, Kataoka M, Nitta T, Kimura T, Toshiyama R, Hama N, Kawaguchi Y, Shimada N, Ichiro Sakamoto I, Takehara K, Oshima Y, Kusumoto T
- B-② 6 切除不能進行大腸癌に対する FOLFOXILI 療法後の手術症例の検討
第123回日本外科学会定期学術集会
2023/4/28 東京
蓮田 博文、津田 康雄、楠元 英次、上原 英雄、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
- B-② 7 Helicobacter pylori 感染は腹腔鏡下スリープ状胃切除術後の de novo 胆石形成のリスク因子の可能性がある
第123回日本外科学会定期学術集会
2023/4/28 東京
橋本 健吉、長尾 吉泰、津田 康雄、楠元 英次、酒井 陽玄、小西 晃造、前田 貴司、坂口 善久、楠本 哲也、池尻 公二
- B-② 8 大腸癌の根治切除症例の予後と相関する inflammation-based prognostic score の探索
第123回日本外科学会定期学術集会
2023/4/28 東京
工藤 健介、古賀 直道、田尻 裕匡、由茅 隆文、古賀 聡、山下 洋市、坂口 善久、楠本 哲也
- B-② 9 アクロスーヅRを用いたTEP法の使用経験
第21回日本ヘルニア学会学術集会
2023/5/26 大阪
楠元 英次、上原 英雄、蓮田 博文、津田 康雄、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
- B-② 10 腹腔鏡手術と鼠径部切開法を組み合わせることで切除したヘルニア嚢内S状結腸癌の1例
第21回日本ヘルニア学会学術集会
2023/5/27 大阪
上原 英雄、吉田倫太郎、蓮田 博文、津田 康雄、楠元 英次、坂口 善久、楠本 哲也
- B-② 11 食道扁平上皮癌に対する治療により神経症状が改善した傍腫瘍性神経症候群の1例
第77回日本食道学会学術集会
2023/6/29 大阪
吉田倫太郎、蓮田 博文、津田 康雄、森 興太、楠元 英次、上原 英雄、坂口 善久、楠本 哲也、池尻 公二
- B-② 12 食道切除胃管再建術後の咽頭喉頭摘出術の遊離空腸再建においてICG蛍光法が有用であった1例
第78回日本消化器外科学会総会
2023/7/12 函館
吉田倫太郎、蓮田 博文、津田 康雄、楠元 英次、上原 英雄、瓜生 英興、森久陽一郎、坂口 善久、楠本 哲也、池尻 公二

B-② 13	自傷術後に創哆開, 腹部コンパートメント症候群を呈しAbThera, Prevenaを用いた集学的治療で救命した一例	第78回日本消化器外科学会総会 2023/7/12 函館	楠元 英次、蓮田 博文、津田 康雄、上原 英雄、 吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也、前川 雄三、 森久陽一郎、神尾 拓郎
B-② 14	2つの地方中核都市での肥満外科の立ち上げとその治療成績	第78回日本消化器外科学会総会 2023/7/12 函館	橋本 健吉、津田 康雄、酒井 陽玄、池田 俊司、 藤岡 雄介、山口 将平、小西 晃造、前田 貴司、 坂口 善久、楠本 哲也
B-② 15	当院における切除不能進行再発胃癌に対するNivolumab+Chemotherapyの治療経験	第78回日本消化器外科学会総会 2023/7/13 函館	津田 康雄、蓮田 博文、楠元 英次、上原 英雄、 吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 16	FOLFOXIRI療法後に手術を行った切除不能進行大腸癌症例の検討	第78回日本消化器外科学会総会 2023/7/14 函館	蓮田 博文、津田 康雄、楠元 英次、上原 英雄、 吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 17	腹腔鏡補助下に経皮内視鏡的胃瘻造設術を行った14例の検討	第27回PEG・在宅医療学会学術集会 2023/9/9 岐阜	楠元 英次、藤岡 雄介、蓮田 博文、久松 雄一、 上原 英雄、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也、 原田 直彦
B-② 18	当院における精神疾患併存大腸癌患者の臨床的特徴について	第61回日本癌治療学会学術集会 2023/10/21 横浜	上原 英雄、藤岡 雄介、蓮田 博文、楠元 英次、 久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 19	胃原発mixed adenoneuroendocrine carcinomaの3例の検討	第34回日本消化器癌発生学会 2023/11/24 高崎	久松 雄一、藤岡 雄介、蓮田 博文、楠元 英次、 上原 英雄、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 20	胃限局型若年性ポリポースに対して胃全摘術を行った一例	第34回日本消化器癌発生学会 2023/11/24 高崎	蓮田 博文、福谷 洋樹、藤岡 雄介、楠元 英次、 久松 雄一、上原 英雄、吉田倫太郎、藤田 綾、 藤原美奈子、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 21	当院における精神疾患併存大腸癌患者に対する腹腔鏡手術の安全性について	第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7 横浜	上原 英雄、藤岡 雄介、蓮田 博文、楠元 英次、 久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 22	妊娠 17週の妊婦の虫垂炎後に対して、interval appendectomyをSILSで施行した1例	第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7 横浜	久松 雄一、蓮田 博文、楠元 英次、上原 英雄、 吉田倫太郎、坂口 義久、楠本 哲也
B-② 23	絞扼性腸閉塞での腸管温存判断に鏡視下 ICG 蛍光法が有用であった1例	第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/8 横浜	吉田倫太郎、藤岡 雄介、蓮田 博文、楠元 英次、 久松 雄一、上原 英雄、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 24	回腸導管の傍ストーマヘルニアに対して自作メッシュを用いたSugarbaker法による腹腔鏡下手術を行った一例	第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/8 横浜	楠元 英次、上原 英雄、藤岡 雄介、蓮田 博文、 久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 25	膀胱ヘルニアに対してTEP法を施行した一例	第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/8 横浜	蓮田 博文、楠元 英次、久松 雄一、上原 英雄、 吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 26	高度肥満症を伴った大腸癌に対する手術戦略 ～術前減量・ロボット手術	第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/8 横浜	橋本 健吉、酒井 陽玄、三田 純也、的野 る美、 山口 将平、小西 晃造、辻田 英司、坂口 善久、 楠本 哲也
B-② 27	腹腔鏡下/ロボット支援幽門側胃切除術におけるBook-Binding techniqueの手技と成績	第96回日本胃癌学会総会 2024/2/29 京都	太田 光彦、田尻 裕匡、川副 徹郎、胡 慶江、 財津 瑛子、中西 良太、中島雄一郎、坂口 善久、 楠本 哲也、沖 英次、吉住 朋晴
B-② 28	切除不能進行胃癌に対してSOX+Nivolumab療法後にConversion Surgeryを行い病理的完全奏効が得られた1	第96回日本胃癌学会総会 2024/3/1 京都	上原 英雄、藤岡 雄介、蓮田 博文、楠元 英次、 久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 29	胃原発mixed adenoneuroendocrine carcinomaの3例の検討	第96回日本胃癌学会総会 2024/3/1 京都	久松 雄一、藤岡 雄介、蓮田 博文、楠元 英次、 上原 英雄、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也

B-② 30	胃全摘術を施行した胃限局型若年性ポリープシスの一例	第96回日本胃癌学会総会 2024/3/1 京都	蓮田 博文、福谷 洋樹、藤岡 雄介、楠元 英次、久松 雄一、上原 英雄、吉田倫太郎、藤田 綾、藤原美奈子、坂口 善久、楠本 哲也
B-③ 31	TaTME併用腹腔鏡下括約筋間直腸切除術により安全に切除した直腸GISTの1例	第33回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 2023/9/9 福岡	上原 英雄、楠元 英次、久松 雄一、藤岡 雄介、蓮田 博文、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-③ 32	経肛門の内視鏡下手術を併用し腹腔鏡下大腸全摘術を施行した家族性大腸腺腫症の1例	第33回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 2023/9/9 福岡	上原 英雄、藤岡 雄介、蓮田 博文、楠元 英次、久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-③ 33	妊娠13週の妊婦の急性虫垂炎に対し+G30+G30で、interval appendectomyをSILSで施行した1例	第33回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 2023/9/9 福岡	久松 雄一、藤岡 雄介、蓮田 博文、楠元 英次、上原 英雄、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-③ 34	膀胱ヘルニアに対してTEP法が有用であった一例	第33回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 2023/9/9 福岡	蓮田 博文、藤岡 雄介、楠元 英次、久松 雄一、上原 英雄、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-③ 35	膿瘍形成性虫垂炎に対して経皮的膿瘍ドレナージ後に腹腔鏡下Interval appendectomyを施行した1例	第33回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 2023/9/9 福岡	藤岡 雄介、上原 英雄、蓮田 博文、楠元 英次、久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-③ 36	当科における腫瘍形成性虫垂炎に対するInterval Appendectomyの治療成績について	第60回九州外科学会 2024/3/8 大分	衣笠 哲矢、上原 英雄、岩崎 恒、蓮田 博文、楠元 英次、久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-③ 37	腹壁癒痕ヘルニアに対する後方component separation (CS) 法を用いた治療経験	第60回九州外科学会 2024/3/9 大分	上原 英雄、楠元 英次、岩崎 恒、蓮田 博文、久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-③ 38	門脈血栓症、小腸壊死に対する術後に肺塞栓症を発症し心肺停止となったが救命し得た1例	第60回九州外科学会 2024/3/9 大分	岩崎 恒、上原 英雄、蓮田 博文、楠元 英次、久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-③ 39	横隔膜ヘルニア嵌頓による横行結腸穿孔、左膿胸に対して腹腔鏡、胸腔鏡下に合同手術を行った一例	第60回九州外科学会 2024/3/9 大分	松岡 史生、楠元 英次、岩崎 恒、蓮田 博文、久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-④ 40	切除不能進行胃癌に対してSOX+Nivolumab療法後にConversion Surgeryを行い、病理学的完全奏功が得られた1例	第260回福岡外科集談会 2023/7/29 福岡	納富 茅壽、上原 英雄、藤岡 雄介、蓮田 博文、楠元 英次、久松 雄一、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-④ 41	当院における食道癌薬物治療の実際	もち食道癌治療セミナー 2023/11/28 福岡	吉田倫太郎

肝胆膵外科

学会発表

B-① 1	Woman in HBP surgery	第35回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30 東京	Yoriko Nomura
B-① 2	Clamp crushing method for robotic liver resection in our institute	第35回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30 東京	Tomoki Ryu

B-①	3	Predictive Factors for Local Recurrence after Surgical Microwave Ablation for Colorectal Liver Metastases.	9TH BIENNIAL CONGRESS OF THE ASIAN-PACIFIC HEPATO-PANCREATO-BILIARY ASSOCIATION 2023/9/29 Bengaluru,India	Dr Yoshiyuki Wada DM,Ph.D, Dr Yuko Takami MD,Ph.D, Dr Yoriko Nomura MD,Ph.D, Dr Tomoki Ryu MD,Ph.D, Dr Hideki Saitou MD,Ph.D
B-②	4	進行肝細胞癌に対するレンパチニブ・肝動脈化学塞栓術逐次併用療法施行13例の短期成績の検討	第59回日本肝臓学会総会 2023/6/16 奈良県	和田 幸之、内野 馨博、野村 頼子、龍 知記、 高見 裕子
B-②	5	10個以上の超多発大腸癌肝転移に対するマイクロ波凝固壊死療法を用いた肝転移手術例の検討	第78回日本消化器外科総会 2023/7/14 函館	和田 幸之、高見 裕子、内野 馨博、釘山 統太、 野村 頼子、龍 知記、才津 秀樹
B-②	6	当院での胆嚢癌に体する腹腔鏡手術の有用性	第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/8 横浜	龍 知記、野村 頼子、武石 一樹、山本 玄、 和田 幸之、高見 裕子
B-②	7	当院でのロボット支援肝切除でのClamp-crushing法	第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/9 横浜	龍 知記、野村 頼子、武石 一樹、山本 玄、 和田 幸之、高見 裕子
B-②	8	臍体尾部切除術におけるロボット支援下手術と腹腔鏡下手術の周術期成績の比較	第36回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/9 横浜	龍 知記、野村 頼子、武石 一樹、山本 玄、 和田 幸之、高見 裕子
B-③	9	当院でのclamp-crushing法によるロボット支援下肝切除	第59回九州外科学会 2023/3/11 宮崎	龍 知記、野村 頼子、内野 馨博、釘山 統太、 和田 幸之、高見 裕子
B-③	10	レンパチニブー肝動脈化学塞栓術逐次治療によりconversion 肝切除施行した肝細胞癌の1例	第59回九州外科学会 2023/3/11 宮崎	和田 幸之、高見 裕子、内野 馨博、釘山 統太、 野村 頼子、龍 知記、才津 秀樹
B-③	11	当科におけるレンパチニブ-肝動脈化学塞栓術併用療法（LEN-TACE）による術前化学療法と肝切除による集学的治療の試み	第121回日本消化器病学会九州支部会 2023/5/12 福岡	和田 幸之、釘山 統太、野村 頼子、龍 知記、 高見 裕子
B-③	12	当院でのロボット肝胆膵外科手術の導入と現状について	第33回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 2023/9/9 福岡	龍 知記、野村 頼子、武石 一樹、和田 幸之、 高見 裕子
B-③	13	高跳びからの落下を契機に発症した胆嚢捻転症の1例	第122回日本消化器病学会九州支部会 2023/11/24 沖縄	加瀬 蒼、野村 頼子、龍 知記、武石 一樹、 和田 幸之、高見 裕子
B-③	14	胆嚢動脈起始部に動脈瘤を合併した巨大限局性結節性過形成の1例	第122回日本消化器病学会九州支部会 2023/11/24 沖縄	藤吉 凌万、野村 頼子、龍 知記、武石 一樹、 和田 幸之、高見 裕子
B-④	15	当科におけるレンパチニブ・肝動脈化学塞栓術の逐次併用療法後に肝切除施行した肝細胞癌の症例経験	第43回九州肝臓外科研究会学術集会 2023/1/28 福岡	和田 幸之、高見 裕子、内野 馨博、釘山 統太、 野村 頼子、龍 知記、才津 秀樹
B-④	16	Machine Learningを用いたCT画像解析による肝細胞癌の悪性度予測～九州肝臓外科研究会共同研究～	第43回九州肝臓外科研究会学術集会 2023/1/28 福岡	木下翔太郎、山下 洋市、中浦 猛、吉住 朋晴、 井手 貴雄、黒木 保、高見 裕子、江口 晋、 永野 浩昭、七島 篤志、遠藤 裕一、宇都宮 徹、 石井 文規、北原 賢二、迫田 雅彦、岡本 好司、 高槻 光寿、別府 透、乗富 智明、馬場 秀夫
B-④	17	ロボット支援下肝切除でのClamp-crushing法	第43回九州肝臓外科研究会学術集会 2023/1/28 福岡	龍 知記、野村 頼子、内野 馨博、釘山 統太、 和田 幸之、高見 裕子

B-④ 18	10個以上の超多発大腸癌肝転移に対するマイクロ波凝固壊死療法手術例の治療成績の検討	第1回日本アブレーション研究会 2023/2/4 東京	和田 幸之、高見 裕子、龍 知記、内野 馨博、 釘山 統太、野村 頼子、才津 秀樹
B-④ 19	大腸癌肝転移に對するマイクロ波凝固壊死療法 (MCN)手術後の局所再発の寄与因子の検討	第1回日本アブレーション研究会 2023/2/4 東京	和田 幸之、高見 裕子、龍 知記、内野 馨博、 釘山 統太、野村 頼子、才津 秀樹
B-④ 20	当科における進行肝細胞癌に対するレンパチニブ・肝動脈化学塞栓術併用療法 (LEN-TACE) の治療成績	第28回日本肝がん分子標的治療研究会 2023/6/24 北海道	和田 幸之、釘山 統太、野村 頼子、龍 知記、 高見 裕子
B-④ 21	当科におけるレンパチニブと肝動脈化学塞栓術併用療法 (LEN-TACE) と肝切除による集学的治療の試み	第59回日本肝癌研究会 2023/7/27 大阪	和田 幸之、野村 頼子、龍 知記、高見 裕子
B-④ 22	3 cm以下単発の肝細胞癌におけるvP予測スコアと治療成績の検討	第59回日本肝癌研究会 2023/7/27 大阪	龍 知記、高見 裕子、和田 幸之、野村 頼子、 才津 秀樹
B-④ 23	当院でのMinimally invasive distal pancreatectomy後の膵液瘦軽減を目指した取り組み	第50回日本膵切研究会 2023/8/26 東京	龍 知記、野村 頼子、和田 幸之、高見 裕子
B-④ 24	5個以上の大腸癌肝転移に対するマイクロ波凝固壊死療法を用いた肝転移手術後5年生存例の特徴	第42回Microwave Surgery研究会 2023/9/8 熊本	和田 幸之、高見 裕子、野村 頼子、龍 知記、 才津 秀樹
B-④ 25	症例から考える肝細胞癌治療における今後のMCNの存在意義	第42回Microwave Surgery研究会 2023/9/8 熊本	高見 裕子、武石 一樹、野村 頼子、龍 知記、 和田 幸之
B-④ 26	当院での胆嚢癌に対する腹腔手術の治療成績	第59回日本胆道学会学術集会 2023/9/14 北海道	龍 知記
B-④ 27	eAprin受講率向上の方策	第77回国立病院総合医学会 2023/10/20 広島	高見 裕子
B-④ 28	大腸癌肝転移に對するマイクロ波凝固壊死療法手術例でのBeppu Nomogramの有用性の検討	第61回日本肝癌治療学会学術集会 2023/10/21 東京	和田 幸之、野村 頼子、龍 知記、高見 裕子
B-④ 29	BCLC-B (Intermediate stage) Up-to-7out外科治療症例から振り返る今後の肝細胞癌治療戦略	第27回日本肝臓学会大会 2023/11/2 神戸	高見 裕子、龍 知記、和田 幸之
B-④ 30	ロボット支援下肝切除でのClamp crush法－開腹・腹腔鏡からロボットへの対応－	第17回肝臓内視鏡外科研究会 2023/11/15 岡山	龍 知記、野村 頼子、武石 一樹、和田 幸之、 高見 裕子
B-④ 31	膵体尾部切除術におけるロボット支援下手術と腹腔鏡下手術の周術期成績の比較	第15回膵臓内視鏡外科研究会 2023/11/15 岡山	龍 知記、野村 頼子、武石 一樹、和田 幸之、 高見 裕子
B-④ 32	低侵襲膵体尾部切除術での補強材付き自動縫合器を用いた膵切離について	第27回日本バイオ治療学会学術集会 2023/12/2 福岡	龍 知記、野村 頼子、武石 一樹、山本 玄、 和田 幸之、高見 裕子
B-④ 33	5個以上の大腸癌肝転移に対するマイクロ波凝固壊死療法手術における5年生存症例および術後5年時無担癌症例の特徴	第2回日本アブレーション研究会 2024/2/10 岡山県	和田 幸之、武石 一樹、野村 頼子、山本 玄、 龍 知記、高見 裕子

B-④ 34	肝胆膵外科高難度手術の安全な実施ならびに高度技能医を目指す若手外科医の育成（肝胆膵外科学会地域教育セミナー内）	第60回九州外科学会 2024/3/9 大分県	高見 裕子
--------	---------------------------------------------------------	----------------------------	-------

乳腺外科・センター

学会発表

B-① 1	Pathologic Correlation of Complexity of Cancer Contour on Breast MRI : Reflection of 'Healing Status' (MRIにおける乳癌の輪郭複雑度の定量的評価と病理学的特徴との対比：'healing' との相関)	第82回日本医学放射線学会総会 2023/4/13 横浜	松林（名本）路花、岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、間 敬邦
B-① 2	Automated System of Breast Cancer Contour Complexity on MRI : Reflection of 'Healing Status'	第31回日本乳癌学会学術総会 2023/6/29 横浜	名本 路花、岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、間 敬邦
B-② 3	乳腺外科専門医を地域ぐるみで育てていく	第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/28 グランドプリンスホテル新高輪	岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、中川 志乃、久保 真、秋吉清百合、唐 宇飛
B-② 4	StageIV乳癌に対する外科的治療の意義	第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/29 グランドプリンスホテル新高輪	杉原 利枝、唐 宇飛、渡邊 秀隆、松嶋俊太郎、片桐佑里子、朔 周子、岡部 実奈、高尾 優子、岩熊 伸高、藤田 文彦、赤木 由人
B-② 5	80歳以上高齢者の進行再発乳癌症例の検討	第31回日本乳癌学会学術総会 2023/6/29 横浜	岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、中川 志乃、名本 路花、唐 宇飛
B-② 6	当院でのセンチネルリンパ節転移陽性症例における臨床病理学的特徴と画像所見との検討	第31回日本乳癌学会学術総会 2023/6/30 横浜	岡部 実奈、岩熊 伸高、松嶋俊太郎、中川 志乃、名本 路花、唐 宇飛
B-② 7	「Meckel憩室癌 卵巣転移の一例」	Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging (JSAWI) 2023 2023/9/1 兵庫県淡路島	名本 路花
B-② 8	シンポジウム「医療の質と安全を担保するための読影量」	第59回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2023/9/15 あわぎんホール徳島	松林（名本）路花
B-② 9	豊胸手術後乳癌の3例	第11回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会 2023/9/22 つくば国際会議場	岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、唐 宇飛
B-② 10	当科で経験した乳癌特殊型における画像診断と治療	第27回日本外科病理学会学術集会 2023/10/13 アスト津	岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、名本 路花、唐 宇飛
B-② 11	腋窩部異所性乳腺に発生した葉状腫瘍の1例	第85回日本臨床外科学会総会 2023/11/16 岡山コンベンションセンター	堀 遥
B-② 12	当科で経験した豊胸手術後の4症例	第30回日本乳腺疾患研究会 2024/2/16 千葉県	岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、唐 宇飛、藤田 文彦

B-②	13	Solid Papillary Carcinomaの画像と病理の検討 - 他papillary neoplasmsを含め-	第33回日本乳癌画像研究会 2024/3/16 オンライン	松林 (名本) 路花、岩熊 伸高、藤原美奈子
B-③	14	化学療法抵抗性乳癌に対して胸壁合併乳房切除術を施行した1例	第21回日本乳癌学会九州地方会 2023/9/30 九州大学医学部百年講堂	酒井 莉奈、岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、名本 路花、唐 宇飛
B-③	15	当院における乳癌発症者におけるBRCA遺伝子検査の現状と患者背景因子についての検討	第21回日本乳癌学会九州地方会 2023/9/30 九州大学医学部百年講堂	岡部 実奈、岩熊 伸高、松嶋俊太郎、名本 路花、唐 宇飛
B-③	16	BRCA2遺伝子変異陽性男性乳癌に同時対側リスク低減乳房切除術を施行した1例	第21回日本乳癌学会九州地方会 2023/9/30 九州大学医学部百年講堂	松嶋俊太郎、岩熊 伸高、岡部 実奈、名本 路花、唐 宇飛
B-③	17	USで見られる良性病変の頻度とその自然史について	第21回日本乳癌学会九州地方会 2023/9/30 九州大学医学部百年講堂	矢原 敏郎、古賀 稔啓、中川 志乃、岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、唐 宇飛
B-③	18	救急搬送にてオンコロジーエマージェンシーと間違われた豊胸術後の1例	第59回九州内分泌外科学会 2024/3/8 大分県	藤吉 凌万、岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、唐 宇飛、藤田 文彦

講演会

C-①	19	「マルチモダリティ視点からの乳腺エコー」	東京都立大学大学院 教育講演 2023/7/6 オンライン	松林 (名本) 路花
C-①	20	乳癌ガイドライン；乳癌診療の基礎から最新情報（乳癌ガイドライン改訂を踏まえた画像を生かす治療選択）	JCRミッドサマーセミナー 2023 2023/7/16 神戸ポートピアホテル	岩熊 伸高

その他

D	21	ヨーロッパにおける最新の乳がんの診断から治療について	World Breast Biopsy Seminar in Fukuoka 2023/7/4 福岡	岩熊 伸高
---	----	----------------------------	-------------------------------------------------------	-------

呼吸器外科

論文

A-①	1	Five-Year Overall Survival Analysis of the JIPANG Study : Pemetrexed or Vinorelbine Plus Cisplatin for Resected Stage II-III A Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer	Journal of Clinical Oncology 41 (34) : 5242-5246, 2023	Hirotsugu Kenmotsu, Nobuyuki Yamamoto, Toshihiro Misumi, Kiyotaka Yoh, Haruhiro Saito, Shunichi Sugawara, Koji Yamazaki, Kazuhiko Nakagawa, Kenji Sugio, Takashi Seto, Shinichi Toyooka, Hiroshi Date, Tetsuya Mitsudomi, Isamu Okamoto, Kohei Yokoi, Hideo Saka, Hiroaki Okamoto, Yuichi Takiguchi, Toshiaki Takahashi, Masahiro Tsuboi
A-①	2	Prognostic Impact of Central Nervous System Recurrence After Surgery in Patients With Epidermal Growth Factor Receptor Mutation-positive Non-small-cell Lung Cancer	Anticancer Research 43 (8) : 3543-3551, 2023	Tatsuro Okamoto, Tomoyoshi Takenaka, Koji Yamazaki, Motoharu Hamatake, Naoko Miura, Mitsuhiro Takenoyama, Takuro Kometani, Hitoshi Ueda, Hidenori Kouso, Tokujiro Yano

A-① 3	Is radical local therapy effective in postoperative recurrent EGFR-mutated non-small cell lung cancer?	Thoracic Cancer 14 (18) : 1660-1667, 2023	Tomoyoshi Takenaka, Tokujiro Yano, Koji Yamazaki, Tatsuro Okamoto, Motoharu Hamatake, Shinkichi Takamori, Mikihiro Kohno, Naoko Miura, Mototsugu Shimokawa, Tomoharu Yoshizumi
A-① 4	Modulation of host glutamine anabolism enhances the sensitivity of small cell lung cancer to chemotherapy	Cell Reports 42 (8) : 112899, 2023	Manabu Kodama, Gouji Toyokawa, Osamu Sugahara, Shigeaki Sugiyama, Naoki Haratake, Yuichi Yamada, Reona Wada, Shinkichi Takamori, Mototsugu Shimokawa, Tomoyoshi Takenaka, Tetsuzo Tagawa, Hiroki Kittaka, Takeshi Tsuruda, Kentaro Tanaka, Yushiro Komatsu, Keisuke Nakata, Yuri Imado, Koji Yamazaki, Isamu Okamoto, Yoshinao Oda, Masatomo Takahashi, Yoshihiro Izumi, Takeshi Bamba, Hideyuki Shimizu, Tomoharu Yoshizumi, Keiichi I Nakayama

学会発表

B-① 5	First report of ELUCIDATOR study : A prospective observational multicenter study on resistance mechanisms in patients with early disease progression during osimertinib	2023 ASCO Annual Meeting 2023/6/2 Chicago	Yasuyuki Mizumori, Akihiro Tamiya, Mitsuo Osuga, Shun-ichi Isa, Yoshihiko Taniguchi, Keiichi Nakamura, Daijiro Harada, Tsutomu Shinohara, Hidetoshi Yanai, Katsumi Nakatomi, Masahide Oki, Masahide Mori, Tomohito Kuwako, Koji Yamazaki, Atsuhisa Tamura, Masahiko Ando, Yasuhiro Koh
B-② 6	縦隔上部腫瘍に対するロボット支援下手術でのアプローチ法	第123回日本外科学会総会 2023/4/27 東京都	田川 哲三、若洲 翔、上妻 由佳、山崎 宏司
B-② 7	強直性脊椎増殖症に伴う気道狭窄に対して領域横断的チームで手術施行した1例	第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/28 東京都	若洲 翔、上妻 由佳、田川 哲三、戸次 大史、鈴木真由佳、小原 伸夫、福田 倫史、肥後 太基、甲斐 哲也、山崎 宏司
B-② 8	ConversionゼロのRATS前方視野法	第40回日本呼吸器外科学会定期学術集会 2023/7/13 新潟市	山崎 宏司、若洲 翔、上妻 由佳、田川 哲三
B-② 9	Anterior fissureless techniqueを用いたロボット支援下肺上葉切除	第40回日本呼吸器外科学会定期学術集会 2023/7/13 新潟市	田川 哲三、若洲 翔、上妻 由佳、山崎 宏司
B-② 10	局所進行肺腺癌に対するプラチナ併用術後補助化学療法とEGFR発現の関係	第64回日本肺癌学会定期学術集会 2023/11/2 千葉市	若洲 翔、上妻 由佳、田川 哲三、山崎 宏司
B-② 11	前方視野法によるRATS肺葉切除の安全性評価	第74回日本気管食道科学会 2023/11/14 福岡市	山崎 宏司、若洲 翔、上妻 由佳、田川 哲三
B-② 12	巨大な左縦隔甲状腺腫に対してロボット支援下に右胸腔アプローチを追加し切除した1例	第74回日本気管食道科学会 2023/11/14 福岡市	若洲 翔、上妻 由佳、田川 哲三、宮城 慎平、藤原 義宜、瓜生 秀興、山崎 宏司、中島 寅彦
B-② 13	肺切除ロボットロールアウト後の緊急開胸の経験	第16回日本ロボット外科学会学術集会 2024/2/10 米子市	山崎 宏司、若洲 翔、上妻 由佳、田川 哲三
B-③ 14	肺癌術後に漏斗胸増悪し心肺機能低下を来した一例	第56回日本胸部外科学会九州地方会総会 2023/7/27 大分市	金堂円太郎、若洲 翔、上妻 由佳、田川 哲三、山崎 宏司

B-④ 15	血管走行異常を伴う肺癌手術の2例	第260回福岡外科集談会 2023/7/29 福岡市	細山田融祐、上妻 由佳、若洲 翔、田川 哲三、 山崎 宏司
B-④ 16	左側の中縦隔腫瘍に対し右胸腔からロボット支援下アプローチした2例	第260回福岡外科集談会 2023/7/29 福岡市	坂口 魁哉、松岡 史生、若洲 翔、上妻 由佳、 瓜生 英興、田川 哲三、中島 寅彦、山崎 宏司
B-④ 17	ロボット肺葉切除術終了直後の肺動脈出血の経験	第33回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 2023/9/9 福岡市	山崎 宏司、若洲 翔、上妻 由佳、田川 哲三

小児外科

学会発表

B-② 1	膈ヘルニアの不適切な圧迫にて炎症性皮下腫瘍が形成された1例 -安全かつ適切な膈ヘルニアの圧迫治療法-	第9回小児へそ研究会 2023/4/28 港区	甲斐 裕樹、松岡 史生
B-② 2	小児外科診療における漢方の有用性	第60回日本小児外科学会学術集会 2023/6/2 大阪市	甲斐 裕樹
B-② 3	ブラックジャックのための新・漢方活用術～メスと漢方の二刀流～ 小児外科領域における漢方治療の実際 -日常診療における東洋医学の有用性-	第73回日本東洋医学会学術総会 2023/6/17 福岡市	甲斐 裕樹
B-② 4	遺糞症に対し小建中湯と柴胡加竜骨牡蠣湯が著効した1例	第27回日本小児外科漢方研究会 2023/10/27 福岡市	廣瀬 雄一、甲斐 裕樹
B-② 5	小児外科領域における漢方の役割 -外来診療を中心に-	第27回日本小児外科漢方研究会 2023/10/27 福岡市	甲斐 裕樹

その他

D 6	栄養と漢方	NST専門療法士実地修練 2023/6/5 当院	甲斐 裕樹
D 7	見える腹痛と見えない腹痛	生涯研修セミナー 2023/7/1 当院	甲斐 裕樹
D 8	栄養と漢方	NST専門療法士実地修練 2023/9/4 当院	甲斐 裕樹
D 9	漢方薬の考え方と臨床運用	ツムラ漢方Lecture 2023/9/21 福岡市	甲斐 裕樹
D 10	小児の外科的腹痛	KMCセミナー 2023/9/22 当院	甲斐 裕樹

脳血管内治療科

論文

A-③ 1	急速な自然血栓化をきたし親血管閉塞にいたった右内頸動脈海綿静脈洞部大型動脈瘤の1例	脳卒中の外科 51 (4) : 302-306, 2023	尾辻 亮介、天野 敏之、宮松雄一郎、原 健太、 徳永 聡、中溝 玲
-------	-------------------------------------------	----------------------------------	--------------------------------------

A-④ 2	出血を繰り返す中咽頭動静脈奇形に対して塞栓術を施行した1例	脳神経外科ジャーナル 33 (4) : 275-281, 2024	奥田 智裕、東 英司、宮城 慎平、瓜生 英興、 徳永 聡
A-④ 3	最新のデバイスを駆使して挑む脳血管内治療	脳神経外科速報 33 (4) : 427-430, 2023	徳永 聡

学会発表

B-② 4	脳動脈瘤に対するcoil塞栓術の治療戦略	第43回日本脳神経外科コンgres総会 2023/5/21 大阪	徳永 聡
B-② 5	脳底動脈閉塞に対する血管内治療における単純CT再構成画像を用いた新たな治療戦略	第82回日本脳神経外科学会総会 2023/10/25 横浜	徳永 聡、奥田 智裕、東 英司、大橋 一慶、 西村 中、溝口 昌弘、桑城 貴弘、杉森 宏、 岡田 靖
B-② 6	Pinching Technique with Trevo NXT ×CAT6	第82回日本脳神経外科学会総会 2023/10/26 横浜	徳永 聡
B-② 7	中咽頭動静脈奇形に対して塞栓術を行った一例	第82回日本脳神経外科学会総会 2023/10/26 横浜	奥田 智裕、東 英司、徳永 聡
B-② 8	Distal balloon protectionとopen cell stentを第1選択としてきた当院でのデバイス変更に伴うCAS治療成績の変遷	第39回日本脳神経血管内治療学会学術総会 2023/11/23 京都	東 英司、奥田 智裕、徳永 聡
B-② 9	Advanced Contact and Swaging Technique with Trevo NXT and AXS Catalyst 6	第39回日本脳神経血管内治療学会学術総会 2023/11/24 京都	徳永 聡
B-② 10	脳底動脈閉塞に対する単純CT再構成画像を用いた新たなEVT治療戦略	第39回日本脳神経血管内治療学会学術総会 2023/11/24 京都	徳永 聡、奥田 智裕、東 英司、西村 中、 溝口 昌弘、桑城 貴弘、杉森 宏、岡田 靖
B-② 11	M2閉塞に対する機械的血栓回収における予後良好因子と再開通に関わる因子	第39回日本脳神経血管内治療学会学術総会 2023/11/24 京都	奥田 智裕、東 英司、徳永 聡
B-② 12	Medium Bore is Better? REDでカシメるテクニック	第39回日本脳神経血管内治療学会学術総会 2023/11/25 京都	徳永 聡
B-② 13	しなやかに回収！ eNVi-SRの実力	第49回日本脳卒中学会学術集会 2024/3/7 横浜	徳永 聡
B-② 14	急性期ATBIに対する再開通療法の治療成績と治療目標設定	第49回日本脳卒中学会学術集会 2024/3/8 横浜	徳永 聡、奥田 智裕、東 英司
B-② 15	Protection法の変更に伴う不安定プラークに対するCASの治療戦略と成績	第53回日本脳卒中の外科学会学術集会 2024/3/9 横浜	東 英司、奥田 智裕、徳永 聡
B-③ 16	中咽頭動静脈奇形に対して塞栓術を行った一例	第114回日本脳神経外科学会九州支部会 2023/6/3 佐賀	奥田 智裕、東 英司、大橋 一慶、徳永 聡
B-③ 17	解離性後大脳動脈瘤に対して母血管閉塞術を行った2例	第39回日本脳神経血管内治療学会九州地方会 2024/1/27 福岡	東 英司、奥田 智裕、徳永 聡

B-③	18	脳動静脈奇形を合併した出血発症の前頭蓋窩硬膜動静脈瘻の1例	第146回日本脳神経外科学会九州支部会 2024/3/2 福岡	奥田 智裕、東 英司、西村 中、溝口 昌弘、 徳永 聡
B-④	19	LVIS展開が困難であった1例	第14回九州脳血管内治療勉強会 2023/1/14 福岡	東 英司、徳永 聡、原 健太、大橋 一慶、 山田 義貴
B-④	20	アクセス、留置に難渋したFD留置術の一例	第15回九州脳血管内治療勉強会 2023/5/13 佐賀	奥田 智裕、東 英司、大橋 一慶、徳永 聡
B-④	21	血栓回収に難渋したcancer associated thrombosisの一例	第6回Basic Seminar of neuroEndovascular therapy in Kyushu university 2023/6/10 福岡	奥田 智裕、東 英司、大橋 一慶、徳永 聡
B-④	22	AVMに合併したACF dAVFの1例	九州大学脳血管内治療研究会2023 2023/7/28 web	徳永 聡、奥田 智裕、西村 中
B-④	23	Avenir Coilの初期使用経験	QuShu Neurologist NETwork seminar in FUKUOKA 2023/9/25 web	徳永 聡、奥田 智裕、東 英司

講演会

C-②	24	血栓回収療法の適応となる脳主幹動脈閉塞患者のみかたと脳血管内治療	第16回福岡県PSLS講習会 2023/11/17 福岡	徳永 聡
-----	----	----------------------------------	---------------------------------	------

その他

D	25	AIS-NewS	第4回AIS Neuro-Endovascular Workshop and share Safer and Smart techniques 2023/3/1 web	徳永 聡
D	26	当院の治療成績とうまく行かなかったPED症例	第1回Kyushu Pipeline User's Seminar 2023/3/30 web	徳永 聡
D	27	AIS-NewS	第5回AIS Neuro-Endovascular Workshop and share Safer and Smart techniques 2023/5/24 web	徳永 聡
D	28	AIS-NewS	第6回AIS Neuro-Endovascular Workshop and share Safer and Smart techniques 2023/6/13 web	徳永 聡
D	29	EmbotrapIIIを用いたAIS治療戦略	EMBOTRIP in福岡 2023/6/13 web	徳永 聡
D	30	i-ED complex infiniが有効であった脳底動脈流の1例	KANEKA MO NIGHT 2024/2/2 福岡	徳永 聡
D	31	脳動脈瘤の治療戦略	Mini-Symposium on the BBB from basic to clinical research 2024/2/9 長崎	徳永 聡

脳神経外科

論文

- A-① 1 In-house molecular diagnosis of diffuse glioma updating the revised WHO classification by a platform of the advanced medical care system, Senshin-Iryo Neuropathology Online ahead of print, 2024 Hata N, Fujioka Y, Otsuji R, Kuga D, Hatae R, Sangatsuda Y, Amemiya T, Noguchi N, Sako A, Fujiki M, Mizoguchi M, Yoshimoto K.
- A-② 2 Liquid Biopsy for Glioma Using Cell-Free DNA in Cerebrospinal Fluid Cancers 16 (5) : 1009, 2024 Otsuji R, Fujioka Y, Hata N, Kuga D, Hatae R, Sangatsuda Y, Nakamizo A, Mizoguchi M, Yoshimoto K.

学会発表

- B-① 3 Outcome impact of the CDKN2A/B hemizygous deletion in IDH-mutant astrocytoma 28th Annual Meeting and Education Day of the Society for Neuro-Oncology. 2023/11/17 Vancouver Ryosuke Otsuji, Nobuhiro Hata, Hidetaka Yamamoto, Daisuke Kuga, Yuhei Sangatsuda, Yutaka Fujioka, Naoki Noguchi, Akira Nakamizo, Masahiro Mizoguchi, Koji Yoshimoto
- B-② 4 髄液cell-freeDNAを用いたMLPA法によるコピー数解析 第41回 日本脳腫瘍病理学会学術集会 2023/5/26 東京 尾辻 亮介、藤岡 寛、秦 暢宏、野口 直樹、三月田祐平、空閑 太亮、中溝 玲、山元 英崇、溝口 昌弘、吉本 幸司
- B-② 5 WHO2021に対応したin-house分子診断：先進医療体制における現状と課題 第41回 日本脳腫瘍病理学会学術集会 2023/5/26 東京 秦 暢宏、藤岡 寛、佐古 亜紀、空閑 太亮、三月田祐平、尾辻 亮介、野口 直樹、溝口 昌弘、藤木 稔、吉本 幸司
- B-② 6 成人IDH野生型diffuse gliomaの手術と臨床像 第28回 日本脳腫瘍の外科学会 2023/9/29 長崎 藤岡 寛、三月田祐平、空閑 太亮、尾辻 亮介、野口 直樹、秦 暢宏、中溝 玲、溝口 昌弘、吉本 幸司
- B-② 7 Oligodendrogliomaに対する治療戦略：分子層別化による長期成績の検討 第28回 日本脳腫瘍の外科学会 2023/9/29 長崎 秦 暢宏、尾辻 亮介、空閑 太亮、三月田祐平、藤岡 寛、溝口 昌弘、吉本 幸司
- B-② 8 当院脳神経外科における診療看護師(NP)の役割 日本NP学会 2023/10/22 北海道札幌市 坪根 瞳、溝口 昌弘
- B-② 9 がんゲノム医療時代の新たな脳腫瘍治療戦略 日本脳神経外科学会 第82回学術総会 2023/10/25 横浜 溝口 昌弘、西村 中、雨宮 健生、後藤 克宏、福田峻一
- B-② 10 もやもや病に対するSTA-MCAバイパス術の手術手技 日本脳神経外科学会 第82回学術総会 2023/10/25 横浜 西村 中、福田 峻一、後藤 克宏、雨宮 健生、有村 公一、中溝 玲、溝口 昌弘、吉本 幸司
- B-② 11 当院での成人虚血性脳卒中に対するSTA-MCA bypass術の長期成績 日本脳神経外科学会 第82回学術総会 2023/10/25 横浜 雨宮 健生、西村 中、後藤 克宏、福田 峻一、溝口 昌弘
- B-② 12 急性期STA-MCAバイパス術の治療成績 日本脳神経外科学会 第82回学術総会 2023/10/25 横浜 後藤 克宏、西村 中、雨宮 健生、福田 峻一、溝口 昌弘
- B-② 13 側副血行路末梢性動脈瘤による脳室内出血を発症したもやもや病に対して血管内治療を施行した2例 日本脳神経外科学会 第82回学術総会 2023/10/25 Web(横浜) 福田 峻一、西村 中、雨宮 健生、後藤 克宏、溝口 昌弘

B-②	14	先進医療制度によるWHO新分類に対応したdiffuse gliomaのin-house分子診断	日本脳神経外科学会 第82回学術総会 2023/10/25 横浜	秦 暢宏、藤岡 寛、佐古 亜紀、空閑 太亮、三月田祐平、尾辻 亮介、野口 直樹、溝口 昌弘、藤木 稔、吉本 幸司
B-②	15	Astrocytoma, IDH-mutantにおけるCDKN2A/B “hemizygous” deletionの影響	日本脳神経外科学会 第82回学術総会 2023/10/25 横浜	野口 直樹、尾辻 亮介、秦 暢宏、藤岡 寛、三月田祐平、空閑 太亮、中溝 玲、溝口 昌弘、吉本 幸司
B-②	16	側脳室・第三脳室腫瘍の治療成績	日本脳神経外科学会 第82回学術総会 2023/10/25 横浜	吉本 幸司、藤岡 寛、三月田祐平、空閑 太亮、秦 暢宏、溝口 昌弘
B-②	17	Oligodendrogliomaに対するACNUの有効性：分子診断による治療層別化の長期成績	日本脳神経外科学会 第82回学術総会 2023/10/25 横浜	尾辻 亮介、秦 暢宏、野口 直樹、藤岡 寛、三月田祐平、空閑 太亮、中溝 玲、溝口 昌弘、吉本 幸司
B-②	18	IDH野生型成人diffuse gliomaのWHO2021年分類による再検討	日本脳神経外科学会 第82回学術総会 2023/10/25 横浜	藤岡 寛、尾辻 亮介、野口 直樹、三月田祐平、空閑 太亮、秦 暢宏、中溝 玲、溝口 昌弘、吉本 幸司
B-②	19	繰り返すWHO改定にどう対応すべきか？：先進医療制度によるin-house分子診断体制	第41回 日本脳腫瘍学会学術集会 2023/12/3 新潟	秦 暢宏、藤岡 寛、尾辻 亮介、空閑 太亮、波多江龍亮、三月田祐平、雨宮 健生、野口 直樹、佐古 亜紀、藤木 稔、溝口 昌弘、吉本 幸司
B-②	20	当院におけるがんパネル検査と治療に至った症例の臨床的経過	第41回 日本脳腫瘍学会学術集会 2023/12/3 新潟	藤岡 寛、尾辻 亮介、野口 直樹、空閑 太亮、秦 暢宏、中溝 玲、溝口 昌弘、吉本 幸司
B-②	21	Oligodendrogliomaに対するACNUの有効性：分子診断による治療層別化の長期成績	第41回 日本脳腫瘍学会学術集会 2023/12/3 新潟	尾辻 亮介、秦 暢宏、野口 直樹、藤岡 寛、三月田祐平、空閑 太亮、中溝 玲、溝口 昌弘、吉本 幸司
B-③	22	短期間で増大した側副血行路末梢性動脈瘤による脳室内出血を発症したもやもや病に対して血管内治療を施行した1例	第144回 日本脳神経外科学会 九州支部会 2023/6/3 佐賀	福田 峻一、徳永 聡、西村 中、後藤 克宏、雨宮 健生、東 英司、奥田 智裕、溝口 昌弘
B-③	23	急性動眼神経麻痺を呈した後大脳動脈瘤に対しクリッピング術を施行した1例	第145回 日本脳神経外科学会 九州支部会 2023/9/9 大分	福田 峻一、西村 中、後藤 克宏、雨宮 健生、東 英司、奥田 智裕、徳永 聡、溝口 昌弘
B-③	24	慢性硬膜下血腫に対する内視鏡治療の経験	第12回 愛媛神経内視鏡研究会 2023/8/19 愛媛	後藤 克宏、西村 中、雨宮 健生、福田 峻一、溝口 昌弘
B-③	25	PCA動脈瘤の2手術例	第5回 Standard and Alternative technique of Neurosurgery conference 2023/11/18 東京	西村 中
B-③	26	対側椎骨動脈からの逆行性血流により増大をきたしたPICA involved typeの非出血性解離性椎骨動脈瘤の1手術症例	第146回 日本脳神経外科学会 九州支部会 2024/3/2 福岡	福田 峻一、西村 中、後藤 克宏、雨宮 健生、溝口 昌弘
B-③	27	脳動脈瘤の外科手術と周術期管理	第146回 日本脳神経外科学会 九州支部会 2024/3/2 福岡	西村 中
B-③	28	COVID19感染後に発症した抗MOG抗体関連脳幹脳炎の一例	第146回 日本脳神経外科学会 九州支部会 2024/3/2 福岡	納富 茅壽、今村 裕佑、溝口 忠孝、福田 峻一、田川 直樹、森 興太、桑城 貴弘、溝口 昌弘、杉森 宏、岡田 靖

B-③ 29	脳動脈奇形を合併した出血発症の前頭蓋窩硬膜動静脈瘻の一例	第146回 日本脳神経外科学会 九州支部会 2024/3/2 福岡	奥田 智裕、東 英司、西村 中、溝口 昌弘、 徳永 聡
B-③ 30	脳および肝膿瘍を合併したKlebsiella感染症の一例	第146回 日本脳神経外科学会 九州支部会 2024/3/2 福岡	尾崎 雄一、田川 直樹、今村 裕佑、金城 史彦、 木村 俊介、村谷 陽平、溝口 忠孝、森 興太、 桑城 貴弘、後藤 克宏、溝口 昌弘、有水 遥子、 長崎 洋司、杉森 宏、岡田 靖
B-④ 31	脳血管内治療科が独立した施設における脳動脈瘤直達手術	STROKE2023 2024/3/7-9 横浜	西村 中、福田 峻一、後藤 克宏、雨宮 健生、 溝口 昌弘
B-④ 32	WFNS grade5のSAH症例に対するクレンジン投与についての検討	STROKE2023 2024/3/7-9 横浜	雨宮 健生、福田 峻一、西村 中、後藤 克宏、 溝口 昌弘

その他

D 33	脳腫瘍領域におけるゲノム医療の現状と展望	Brain Tumor Expert Meeting 2023/3/24 福岡	溝口 昌弘
D 34	グリオーマに対する外科治療	2023Neurosurgery Conference In Fukuoka 2023/4/5 福岡	溝口 昌弘
D 35	くも膜下出血に対する治療戦略・手術から周術期管理まで	大分県SAHネットワーク 2023/4/20 大分	西村 中
D 36	脳腫瘍に対するがんゲノム医療の現状と展望	脳腫瘍ゲノムカンファレンス 2023/10/14 Web (鹿児島)	溝口 昌弘
D 37	当院でのLPシャントと歩行解析の取り組み	福岡iNPH研究会2023 2023/11/1 福岡	雨宮 健生
D 38	脳血管障害に対する脳神経外科手術について	第16回 福岡県PSLS講習会 2023/11/17 福岡	西村 中
D 39	脳血管障害に対する外科治療の最前線	地域医師のための生涯研修セミナー 2023/11/25 福岡	西村 中
D 40	正常圧水頭症について	地域医師のための生涯研修セミナー 2023/11/25 福岡	雨宮 健生
D 41	当院における重症SAH患者の術後管理について	九州脳神経外科SAHネットワーク 2023/12/8 福岡	雨宮 健生

心臓血管外科

学会発表

B-② 1	心室中隔穿孔に対するImpellaを用いたBridge to surgery	第76回日本胸部外科学会定期学術集会 2023/10/20 仙台市	鈴木 理大、今坂 堅一、角 裕一郎、塩瀬 明
B-③ 2	生体弁MVR後LVOTOにAorto-mitral angleが影響した1例	第56回日本胸部外科学会九州地方会総会 2023/7/28 大分県	鈴木 理大、今坂 堅一、角 裕一郎、塩瀬 明
B-③ 3	心室中隔穿孔に対してImpella5.5によるBridge to Surgeryが奏功した1例	第135回日本循環器学会九州地方会 2023/12/2 福岡県	鈴木 理大、今坂 堅一、角 裕一郎、塩瀬 明

B-③ 4	急性心筋梗塞後に心室中隔穿孔と右室自由壁破裂を合併した1例	第135回日本循環器学会九州地方会 2023/12/2 福岡県	酒井 莉奈、大谷 規彰、角 裕一郎、鈴木 理大、 目野 恭平、富士本悠吾、竹中 克彦、中村 俊博、 今坂 堅一、井上修二郎
-------	-------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

講演会

C-① 5	TAVI始めました～当院初期治療成績のご報告	第42回シーサイドハートカンファレンスWEB 2023/11/29 WEB	今坂 堅一
-------	------------------------	------------------------------------------	-------

その他

D 6	TAVI治療に伴い現在私が考えていること	最新のTAVI治療を知る～地域連携をより強固なものに～ 2023/6/23 福岡県	今坂 堅一
D 7	最近当院で経験した心室中隔穿孔の2例	福岡心臓外科ナイトフォーラム 2023/10/13 福岡県	今坂 堅一

血管外科

論文

A-① 1	Long-term outcomes of stapled closure of the aortic stump with axillo-bifemoral bypass grafting for abdominal aortic infection	Surgery Case Reports : Advances and Techniques 1 : 100007, 2024	Onohara T, Inoue K, Yoshino S, Matsubara Y, Furuyama T
A-① 2	Long-term outcomes of endovascular aneurysm repair in patients aged ≤70 year	Annals of Vascular Diseases 17 (1) : 25-33, 2024	Onohara T, Handa N, Kawasaki M, Kasashima F, Saito T, Nakamura T, Une D, Nakai M, Shiraya S, Maeda Ki, Imai K, Yamamoto T, Shimoe Y, Okamoto M, Kawazu Y

学会発表

B-② 3	感染性腹部大動脈瘤手術における工夫：中枢断端閉鎖に自動縫合器は有用である	第51回日本血管外科学会 2023/5/31 東京	小野原俊博、井上健太郎、吉野伸一郎
B-② 4	当院における透析CLTI患者に対する鼠径部以下血行再建術の治療成績の検討	第51回日本血管外科学会 2023/5/31 東京	吉野伸一郎、井上健太郎、小野原俊博
B-③ 5	弁機能不全を伴う大伏在静脈を用いて足背動脈バイパスを行ったCLTIの1例	第120回日本血管外科学会九州地方会 2023/9/30 北九州	桑原真理絵、松原 裕、古山 正、小野原俊博
B-③ 6	複数回のバルーン拡張後の総大腿動脈に血栓内膜摘除を施行した1例	第120回日本血管外科学会九州地方会 2023/9/30 北九州	鈴木裕美佳、松原 裕、古山 正、小野原俊博
B-③ 7	腎副動脈を有する腹部・腸骨動脈瘤に対して温存、閉塞、再建した手術症例	第60回九州外科学会 2024/3/8 大分市	石原 裕基、松原 裕、古山 正、小野原俊博
B-④ 8	腸骨-大腿深動脈バイパスに拡大大腿深動脈形成術を追加した1例	第260回福岡外科集談会 2023/7/29 福岡	桑原真理絵、松原 裕、古山 正、小野原俊博

講演会

- C-② 9 下肢の血行障害について 第60回病診連携の夕べ 古山 正
2023/11/30 福岡

その他

- D 10 Excluder Conformableの使用経験 Q-VAS Summit 2nd 松原 裕
2023/12/2 福岡

整形外科・リウマチ科

論文

- A-① 1 Complications After Orthopedic Surgeries in Patients with Rheumatoid Arthritis Treated with Janus Kinase Inhibitors: a Retrospective Observational Study Modern Rheumatology 34 (5) : 954-959, 2023 Bekki H, Hashiguchi T, Kawamura S, Kondo M, Tsushima H, Sakuraba K, Hara M, Ohta M, Miyahara H, Nakashima Y, Fukushi JI (corresponding author).
- A-② 2 Clinical practice guidelines of the Japanese Orthopaedic Association on the management of hallux valgus - Secondary publication. Journal of Orthopaedic Science 29 (1) : 1-26, 2023 Watanabe K, Kubota M, Tanaka H, Nishiyama T, Hirao M, Fukushi JI, Kakihana M, Nozawa D, Okuda R.
- A-③ 3 特集 レジストリ,コホートを用いた疫学的研究 FRANKレジストリー費用満足度と治療満足度に影響する因子 リウマチ科 69 (6) : 634-639, 2023 藤原 稔史、平田 明恵、近藤 正一、山田 久方、福士 純一、宮原 寿明、井上 靖、都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、宮村 知也、綾野 雅宏、新納 宏昭、大石 正信、赤崎 幸穂、中島 康晴
- A-③ 4 胸腰椎固定術を施行された関節リウマチ患者の臨床的特徴 整形外科と災害外科 72 (4) : 746-748, 2023 稲富 健、戸次 大史、櫻庭 康司、太田 昌成、原 正光、小原 伸夫、寺田 和正、宮原 寿明、福士 純一
- A-③ 5 関節リウマチ足関節障害に対する外側進入型人工足関節置換術の短期治療成績 整形外科と災害外科 73 (1) : 170-173, 2024 鈴木真由佳、原 正光、戸次 大史、櫻庭 康司、津嶋 秀俊、藤原 稔史、中島 康晴、福士 純一
- A-④ 6 股関節唇病変に対する超音波ガイド下治療 運動器超音波ガイド下治療・手術 180-185, 2023 福士 純一
- A-④ 7 【安心印の整形外科のくすり】治療のためのくすり 関節リウマチの治療薬 整形外科看護 28 (6) : 538-546, 2023 福士 純一

学会発表

- B-① 8 What I learned from visiting European rheumatology facilities 第52回日本リウマチの外科学会セッションボジウム Jun-ichi Fukushi
2023/9/1 新潟
- B-① 9 Complications After Orthopedic Surgeries in Patients with Rheumatoid Arthritis Treated with Janus Kinase Inhibitors: a Retrospective Observational Study APLAR2023 2023/12/9 Chiang Mai, Thailand Bekki H, Sakuraba K, Fukushi JI

B-② 10	20年間の中で変化したりウマチ患者に対する胸腰椎固定術	第52回日本脊椎椎髄病学会学術集会 2023/4/15 札幌	有蘭 奨、戸次 大史、寺田 和正、小原 伸夫、 櫻庭 康司、太田 昌成、宮原 寿明、福士 純一
B-② 11	治療抵抗性関節リウマチ (Difficult-to-treat RA) の特徴—多施設共同前向き観察研究FRANK registryより—	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会-Workshop 2023/4/24 福岡	有隅 晋吉、津嶋 秀俊、近藤 正一、山田 久方、 櫻庭 康司、嘉村 聡志、福士 純一、宮原 寿明、 井上 靖、都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、 宮村 知也、綾野 雅宏、三苦 弘喜、有信洋二郎、 新納 宏昭、大石 正信、原口 明久、加茂 健太、 鶴居 亮輔、甲斐 一広、筒井 智子、原 大介、 藤原 稔史、赤崎 幸穂、池村 聡、中島 康晴
B-② 12	関節リウマチ患者の身体活動量について—IPAQでの評価—	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会-Workshop 2023/4/24 福岡	藤村謙次郎、嘉村 聡志、櫻庭 康司、中村 真隆、 石田 素子、宮村 知也、宮原 寿明、福士 純一
B-② 13	Graft Augmentation Prosthesis II shellを用いた臼蓋再建併用人工股関節の長期成績	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会-Workshop 2023/4/24 福岡	櫻庭 康司、藤村謙次郎、福士 純一、戸次 大史、 太田 昌成、宮原 寿明
B-② 14	JAK阻害薬と生物学的製剤の比較：関節リウマチ患者に対する整形外科的術後の合併症について	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会 2023/4/24 福岡	戸次 大史、津嶋 秀俊、橋口 智光、河村 誠一、 近藤 正一、太田 昌成、原 正光、櫻庭 康司、 宮原 寿明、中島 康晴、福士 純一
B-② 15	ヒト滑膜組織常在性マクロファージの関節リウマチ病態に伴う機能変化	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会-Workshop 2023/4/25 福岡	甲斐 一広、山田 久方、鶴居 亮輔、福士 純一、 櫻庭 康司、藤村謙次郎、赤崎 幸穂、藤原 稔史、 津嶋 秀俊、原 大介、中島 康晴
B-② 16	関節リウマチ (RA) 患者における脊椎固定術の経時的変遷について	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会-Workshop 2023/4/26 福岡	有蘭 奨
B-② 17	強直性脊椎骨増殖症に伴う気道狭窄に対して領域横断的チームで手術施行した1例	第123回日本外科学会定期学術集会 2023/4/28 東京	上妻 由佳、田川 哲三、戸次 大史、鈴木真由佳、 小原 伸夫、福田 倫史、肥後 太基、甲斐 哲也、 山崎 宏司
B-② 18	RA股関節・膝関節の治療戦略：現状の課題と対策	第96回日本整形外科学会学術総会-シンポジウム 2023/5/12 横浜	福士 純一、櫻庭 康司、戸次 大史、原 正光、 太田 昌成、田丸 哲弥、宮原 寿明
B-② 19	“その骨折、もしかして？” ～成人型HPPの臨床像～	第49回日本骨折治療学会学術集会 2023/7/1 静岡	福士 純一
B-② 20	関節リウマチ患者の身体活動量について—IPAQでの評価—	第52回日本リウマチの外科学会 2023/9/1 新潟	藤村謙次郎、櫻庭 康司、宮原 寿明、福士 純一
B-② 21	関節リウマチ患者の骨粗鬆症治療の現状	第52回日本リウマチの外科学会 2023/9/1 新潟	櫻庭 康司、戸次 大史、田丸 哲弥、福士 純一
B-② 22	患者クラスター分析からみえるRA外科介入の対象群—FRANK registry—	第52回日本リウマチの外科学会 2023/9/1 新潟	赤崎 幸穂、近藤 正一、宮原 寿明、福士 純一、 大石 正信、前山 彰、藤原 稔史、原 大介、 中島 康晴
B-② 23	関節リウマチ患者におけるJAK阻害薬と整形外科術後合併症の関係	第52回日本リウマチの外科学会 2023/9/2 新潟	戸次 大史、河村 誠一、櫻庭 康司、中島 康晴、 近藤 正一、福士 純一
B-② 24	リウマチ股に対する人工股関節置換術において、周術期インプラント周囲骨折の危険因子は何か？	第52回日本リウマチの外科学会 2023/9/2 新潟	宮房 玲奈、原 大介、櫻庭 康司、津嶋 秀俊、 赤崎 幸穂、藤原 稔史、宮原 寿明、福士 純一、 中島 康晴
B-② 25	リウマチ性疾患の前足部手術の考え方	第48回日本足の外科学会学術集会-共同シンポジウム 2023/10/26 大阪	福士 純一、櫻庭 康司、木村 敦

B-②	26	母趾の巻き爪に対する加療後に発症した類表皮嚢胞 (epidermoid cyst) の1例	第48回日本足の外科学会学術集会 2023/10/26 大阪	木村 敦、福士 純一、櫻庭 康司
B-②	27	リウマチ股に対する人工股関節置換術において、周術期インプラント周囲骨折の危険因子は何か？	第50回日本股関節学会学術集会 2023/10/27 福岡	宮房 玲奈、原 大介、池村 聡、本村 悟朗、濱井 敏、川原 慎也、佐藤 太志、宮原 寿明、福士 純一、中島 康晴
B-②	28	関節リウマチにおける胸腰椎後方再固定術のリスク因子の検討	第26回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会 2023/11/16 福岡	戸次 大史、小田 琢也、小原 伸夫、神崎 真一、高村 優希、縄田 知也、甲斐 一広、緒方 亜紀、田丸 哲弥、木村 敦、原 正光、櫻庭 康司、寺田 和正、福士 純一
B-②	29	関節リウマチ患者の身体活動量について-IPAQでの評価-	第38回日本臨床リウマチ学会 2023/11/18 北九州	藤村謙次郎、櫻庭 康司、中村 真隆、石田 素子、宮村 知也、宮原 寿明、福士 純一
B-②	30	リウマチ股に対する人工股関節置換術において、周術期インプラント周囲骨折の危険因子は何か？	第54回日本人工関節学会 2024/2/23 京都	宮房 玲奈、原 大介、櫻庭 康司、津嶋 秀俊、本村 悟朗、濱井 敏、赤崎 幸穂、藤原 稔史、宮原 寿明、福士 純一、中島 康晴
B-③	31	関節リウマチにおける骨粗鬆症治療の現状	第145回西日本整形・災害外科学会学術集会 2023/6/4 福岡	太田 昌成、櫻庭 康司、原 正光、戸次 大史、宮原 寿明、福士 純一
B-③	32	リウマチ股に対する人工股関節置換術後インプラント周囲骨折の危険因子は何か	第145回西日本整形・災害外科学会学術集会 2023/6/3 福岡	宮房 玲奈、原 大介、櫻庭 康司、津嶋 秀俊、池村 聡、赤崎 幸穂、藤原 稔史、宮原 寿明、福士 純一、中島 康晴
B-③	33	びまん性特発性骨増殖症による気道閉塞に対してV-V ECMOで術中気道管理を行った一例	第145回西日本整形・災害外科学会学術集会 2023/6/3 福岡	矢野 裕太、戸次 大史、小原 伸夫、寺田 和正、福士 純一
B-③	34	関節リウマチ足関節障害に対する外側進入型人工足関節置換術	第145回西日本整形・災害外科学会学術集会 2023/6/4 福岡	鈴木真由佳、太田 昌成、原 正光、戸次 大史、櫻庭 康司、宮原 寿明、津嶋 秀俊、中島 康晴、福士 純一
B-③	35	透析患者における脊椎周術期合併症の検討	第145回西日本整形・災害外科学会学術集会 2023/6/4 福岡	田丸 哲弥、戸次 大史、太田 昌成、原 正光、櫻庭 康司、小原 伸夫、寺田 和正、宮原 寿明、福士 純一
B-③	36	コントロール不十分にもかかわらず、バイオ/JAK阻害薬非使用のRA患者の特徴：FRANKレジストリー解析から	第66回九州リウマチ学会-主題 2023/9/16 北九州	山田 久方、近藤 正一、宮原 寿明、宮村 知也、福士 純一、都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、井上 靖、大石 正信、有信洋二朗、綾野 雅宏、前山 彰、加茂 健太、赤崎 幸穂、藤原 稔史、原 大介、有隅 晋吉、鶴居 亮輔、安元慧大朗、名取 孝弘、新納 宏昭、中島 康晴、FRANK registry group
B-③	37	FRANKレジストリーを用いた65歳以下関節リウマチ患者の就労状況に影響する罹患関節の検討	第66回九州リウマチ学会 2023/9/16 北九州	安元慧大朗、藤原 稔史、近藤 正一、福士 純一、宮村 知也、井上 靖、都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、新納 宏昭、大石 正信、加茂 健太、前山 彰、FRANKレジストリグループ、中島 康晴
B-③	38	関節リウマチ患者の骨粗鬆症治療の現状	第66回九州リウマチ学会 2023/9/17 北九州	太田 昌成、櫻庭 康司、戸次 大史、原 正光、田丸 哲弥 福士 純一
B-③	39	高度な外反扁平足に対して創外固定を用いて二次的矯正固定を施行した関節リウマチの治療経験	第66回九州リウマチ学会 2023/9/17 北九州	高村 優希、福士 純一、緒方 亜紀、田丸 哲弥、木村 敦、原 正光、戸次 大史、櫻庭 康司
B-③	40	RA高度屈曲拘縮膝に対するTKA術後に仮性動脈瘤を生じた1例	第66回九州リウマチ学会 2023/9/17 北九州	田丸 哲弥、太田 昌成、緒方 亜紀、木村 敦、原 正光、戸次 大史、櫻庭 康司、福士 純一

B-③	41	関節リウマチに伴う高度足部変形に対し創外固定 (Taylorspatial frame) を用いて変形矯正を行った3例	第146回西日本整形・災害外科学会学術集会 2023/11/3 沖縄	高村 優希、櫻庭 康司、緒方 亜紀、田丸 哲弥、 木村 敦、原 正光、戸次 大史、福士 純一
B-③	42	当院における女性医師の職場環境と取り組み	第146回西日本整形・災害外科学会学術集会 2023/11/4 沖縄	高村 優希、緒方 亜紀、櫻庭 康司、福士 純一
B-③	43	関節リウマチ股に対する人工股関節置換術インプラント周囲骨折の危険因子は何か？	第67回九州リウマチ学会 2024/3/2 宮崎	原 大介、宮房 玲奈、櫻庭 康司、津嶋 秀俊、 赤崎 幸穂、藤原 稔史、宮原 寿明、福士 純一、 中島 康晴
B-③	44	RA足関節における下位脛骨骨切り術の経験	第67回九州リウマチ学会 2024/3/3 宮崎	福士 純一、木村 敦、緒方 亜紀、田丸 哲弥、 原 正光、戸次 大史、櫻庭 康司
B-④	45	RA 高度屈曲拘縮膝に対するTKA術後に仮性動脈瘤を生じた1例	第136回福岡リウマチ懇話会 2023/5/26 福岡	田丸 哲弥、太田 昌成、原 正光、戸次 大史、 櫻庭 康司、宮原 寿明、福士 純一
B-④	46	関節リウマチの足部変形における、創外固定を用いた変形矯正	第10回九州足の外科研究会 2024/3/2 福岡	高村 優希、福士 純一、緒方 亜紀、田丸 哲弥、 木村 敦、原 正光、戸次 大史、櫻庭 康司

講演会

C-②	47	関節リウマチの外科治療	第16回レインボーカンファレンス 2023/10/17 福岡	福士 純一
-----	----	-------------	-----------------------------------	-------

その他

D	48	高齢化するRA患者の治療：安全性と有効性を考える	第14回秋田リウマチ治療セミナー 2023/5/30 秋田	福士 純一
D	49	バイオ時代にRA脊椎診療はどう変わった？	脊椎と痛みのトータルケア-2023 update- 2023/5/31 web	戸次 大史
D	50	関節リウマチupdate－薬物療法と手術治療の現状と課題－	筑後臨床整形外科医会学術講演会 2023/6/2 久留米	福士 純一
D	51	骨粗鬆症2023～二次骨折予防に必要なチーム医療の工夫～	東区・糟屋郡骨粗鬆症病診連携の会 2023/7/19 福岡	福士 純一
D	52	関節リウマチと骨代謝	Confidential Meeting 2023/7/21 福岡	櫻庭 康司
D	53	足の外科治療の最前線ー日常よくある足のトラブルへの対応ー	第50回日整九州学術大会福岡大会 2023/8/27 福岡	福士 純一
D	54	末梢性脊椎関節炎の症例にヒュミラを使用した症例	第8回福岡脊椎関節炎勉強会学術講演会 2023/9/25 福岡	櫻庭 康司
D	55	当院における二次骨折予防管理料の算定状況	福岡西部骨粗鬆症治療セミナー 2023/9/27 福岡	原 正光
D	56	「痛み」で見つける？ “成人型低ホスファターゼ症”	第65回九州総合診療セミナー 2023/11/16 福岡	福士 純一
D	57	IL-6を制するものは整形外科を制する	筋肉とIL-6について学ぶ会 2023/11/27 大阪	戸次 大史

D	58	自己抗体の病原性と関節リウマチにおける病的意義	RA Conference 2023/11/29 福岡	櫻庭 康司
D	59	関節リウマチの下肢手術	令和5年度九州沖縄地区 リウマチの治療とケア教育研修会 2023/12/10 福岡	福士 純一
D	60	BIO製剤とJAK製剤について知っておきたい豆知識	明日から始めるRA治療セミナー～Bio製剤導入編～ 2024/2/5 福岡	戸次 大史
D	61	当院におけるがんロコモ外来の立ち上げ	Bone Management WEB Seminar for Expert 2024/3/8 福岡	戸次 大史
D	62	一腰椎変性疾患に対する手術－除圧か、固定か…時々、制動？	第51回福岡脊椎外科フォーラム 2024/3/23 福岡	寺田 和正
D	63	成人脊椎変形の矯正固定術－せばねけずりむしの最後のチャレンジャー	九州医療センター医局集談会記念講演会 2024/3/25 福岡	寺田 和正
D	64	血友病性足関節症の治療経験	血友病性関節症を考える会 2024/3/29 福岡	福士 純一

泌尿器科

学会発表

B-②	1	Prognostic factors affecting biochemical recurrence in patients with seminal vesicle invasion at radical prostatectomy	第110回日本泌尿器科学会総会 (JUA2023) 2023/4/21 神戸市	波止 亮、前川 博紀、武富 映典、貝通丸雅士、平井 良樹、三好 邦和、吉川 正博
B-②	2	当院における膀胱粘膜下腫瘍の臨床的検討	第75回西日本泌尿器科学会総会 2023/11/3 愛媛県松山市	貝通丸雅士、前川 博紀、武富 映典、平井 良樹、波止 亮、三好 邦和、吉川 正博
B-③	3	胸水貯留と腎腫瘍を契機に発見された全身性アミロイドーシスの一例	日本泌尿器科学会福岡地方会第312回例会 2023/7/22 福岡市	武富 映典、前川 博紀、貝通丸雅士、平井 良樹、波止 亮、三好 邦和、吉川 正博
B-③	4	右心房内腫瘍全摘出術を施行した腎癌の二例	第313回日本泌尿器科学会福岡地方会 2024/2/3 久留米	貴島 惇博、前川 博紀、貝通丸雅士、平井 良樹、波止 亮、三好 邦和、吉川 正博
B-③	5	後腹膜に発生した多房性変化を伴う神経鞘腫の1例	第313回日本泌尿器科学会福岡地方会 2024/2/3 久留米	前川 博紀、貴島 惇博、貝通丸雅士、平井 良樹、波止 亮、三好 邦和、吉川 正博

その他

D	6	泌尿器科診療の現状	ももち泌尿器セミナー 2023/6/22 当院	吉川 正博
D	7	精嚢浸潤を伴った前立腺癌患者の手術成績と術後PSA再発の予測因子	ももち泌尿器セミナー 2023/6/22 当院	波止 亮

眼科 論文

- A-④ 1 新型コロナウイルスワクチン COVID-19 vaccine接種後に発症する眼炎症性疾患 Retina Medicine 12 (1) : 80-82, 2023 八坂 裕太、長谷川英一

学会発表

- B-② 2 ステロイド眼内インプラントで変わるぶどう膜炎診療 第127回日本眼科学会総会 2023/4/6 東京 長谷川英一
- B-② 3 COVID-19ワクチン接種後の眼炎症 第127回日本眼科学会総会 2023/4/7 東京 長谷川英一
- B-② 4 OCTを用いたぶどう膜炎疾患の診断と活動性評価 第93回九州眼科学会 2023/5/26 福岡 長谷川英一
- B-② 5 硝子体切除後の糖尿病網膜浮腫に対してプロルシズマブ硝子体内注射を施行した3例 第29回日本糖尿病眼学会総会 2023/6/30 札幌 八坂 裕太、中尾新太郎、山名 智志、清原 鴻平、長谷川英一、園田 康平
- B-③ 6 Guillain-Barre 症候群に対する免疫グロブリン療法施行後にPRESを合併し視力障害を認めた1例 九州大学眼科研究会 2024/2/17 福岡 弓削 昂大、清原 鴻平、糸山 花梨、山名 智志、長谷川英一

講演会

- C-② 7 COVID-19ワクチン接種後の眼症状 病診連携の会 2023/7/20 福岡 長谷川英一

その他

- D 8 全身疾患に伴う眼炎症疾患 地域医師のための生涯教育セミナー 2023/7/22 福岡 長谷川英一
- D 9 さまざまな原因で起こるぶどう膜炎 朝日新聞 2023 長谷川英一

皮膚科

学会発表

- B-② 1 シャント部に生じた血管肉腫の1例 第122回日本皮膚科学会総会 2023/6/3 横浜 西尾紀一郎、黒木 千晶、永井 貴子、占部 和敬
- B-② 2 アダパレンゲルが奏功したダリエ病の1例 第75回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2023/9/17 沖縄県宜野湾市 黒木 千晶、永井 貴子、西尾紀一郎、占部 和敬
- B-③ 3 ウログラフィンを使用した胆管造影検査でアナフィラキシーショックを生じた1例 日本皮膚科学会第406回福岡地方会 2023/9/10 北九州 酒井 雛子、石倉 侑、西尾紀一郎、占部 和敬

B-③ 4	Subepidermal Calcified Noduleの2症例	日本皮膚科学会第407回福岡地方会 2023/11/23 福岡市	石倉 侑、酒井 雛子、西尾紀一郎、占部 和敬
B-③ 5	Multiple miliary osteoma of the face	日本皮膚科学会第408回福岡地方会 2024/3/10 福岡市	石倉 侑、酒井 雛子、西尾紀一郎、占部 和敬

産科・婦人科

論文

A-③ 1	未分画ヘパリン予防投与への変更後に短期間で肺血栓塞栓症を発症し、妊娠を中断した静脈血栓症合併妊娠の一例	日本周産期・新生児医学会雑誌 59 : 421-425, 2023	杉浦多佳子、藤原ありさ、古賀万里子、田浦裕三子、蓮尾 泰之
A-④ 2	婦人科良性疾患から紐解く自律神経温存手術	日本産科婦人科学会雑誌 75 (12) : 1711-1715, 2023	瓦林 靖広
A-④ 3	直腸周囲の腔の展開2-TMEの概念を婦人科手術に落とし込む	産婦人科の実際 72 (13) : 1437-1442, 2023	瓦林 靖広

学会発表

B-① 4	用自主神経保留術解開子宮内膜异位症手術 和訳：自律神経温存による子宮内膜症手術 英訳：Endometriosis surgery using autonomic nerve sparing	第四届妇科微创技术与快速康复 和訳：第4回婦人科低侵襲手術および早期回復に関する学術集会 英訳：The 4th Conference on Minimally Invasive Surgery and Rapid Rehabilitation in Gynecology 2023/11/30 web (中国広東省)	瓦林 靖広
B-① 5	用自主神経保留術解開子宮内膜异位症手術 和訳：自律神経温存による子宮内膜症手術 英訳：Endometriosis surgery using autonomic nerve sparing	甘肅省妇幼保健协会宮内疾病防治专业委员会成立大会 和訳：甘肅省母子衛生協会子宮内疾患予防治療専門委員会発足総会 英訳：The Opening Meeting of the Professional Committee for the Prevention and Treatment of Intrauterine Diseases of Gansu Maternal and Child Health Association 2023/12/2 web (中国甘肅省)	瓦林 靖広
B-② 6	婦人科良性疾患から紐解く自律神経温存手術	第75回日本産科婦人科学会学術講演会 生涯研修プログラム6 2023/5/13 東京	瓦林 靖広
B-② 7	術前に卵巣癌を疑ったが開腹手術後にMeckel憩室癌と診断した1例	第75回日本産科婦人科学会学術講演会 2023/5/13 東京	大塚裕一郎
B-② 8	妊娠子宮摘出術を要した常位癒着胎盤の3例	第75回日本産科婦人科学会学術講演会 2023/5/14 東京	荒木研士郎
B-② 9	妊娠前の血糖管理不良の2型糖尿病に胎児仙骨髄膜瘤を認めた1症例	第59回日本周産期新生児医学会学術集会 2023/7/9 名古屋	田浦裕三子

B-②	10	当院における胎盤用手剝離で完結しなかった常位癒着胎盤の検討	第59回日本周産期新生児医学会学術集会 2023/7/11 名古屋	藤原ありさ
B-②	11	鏡視下手術から見た「深部子宮内膜症」	JSAWI第24回シンポジウム ワークショップⅡ 2023/9/1 兵庫	瓦林 靖広
B-②	12	TLH術後に下肢末梢神経障害が出現し歩行困難となった一例	日本産科婦人科内視鏡学会 2023/9/14 滋賀	庄 とも子、瓦林 靖広、古賀さくら、片岡 寧々、大塚裕一郎、竹内 優、田中 大智、荒木研士郎、嶋之浦佳奈、藤原ありさ、小川 伸二
B-②	13	良性だからこそこだわりたい癒着剥離の流儀	第62回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 共催シンポジウム 2 2023/9/15 滋賀	瓦林 靖広
B-②	14	今だからLSCを始める・極める・応用する	第62回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 共催シンポジウム 3 2023/9/15 滋賀	瓦林 靖広
B-②	15	深部子宮内膜症手術を安全・確実に行うためのポイント	第45回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会 2024/1/20 東京	瓦林 靖広
B-②	16	DEに対するロボット支援下手術で術前に診断に至らなかった巨大腹壁子宮内膜症の一例	第45回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会 2024/1/20 東京	荒木研士郎、瓦林 靖広、中並 弥生
B-③	17	梅毒抗体価低値の妊婦から先天梅毒が発症し梅毒感染の診断に至った1例	第167回福岡産科婦人科学会 2023/9/24 福岡	片岡 寧々
B-③	18	“SoTM” から考える婦人科手術手技	第28回四国産婦人科内視鏡手術研究会 特別講演 2023/10/7 徳島	瓦林 靖広
B-③	19	24歳で単純子宮全摘出を行った富細胞性平滑筋腫の1例	第168回福岡産科婦人科学会 2024/1/28 福岡	竹内 優、古賀さくら、森下 優史、大塚裕一郎、荒木研士郎、中並 弥生、田中 大智、嶋之浦佳奈、庄 とも子、早瀬 千尋、瓦林 靖広、藤原ありさ、小川 伸二
B-③	20	帝王切開術後の2回目の経腔分娩(VBAC)で子宮破裂を来した一例	第168回福岡産科婦人科学会 2024/1/28 福岡	古賀さくら、竹内 優、森下 優史、大塚裕一郎、荒木研士郎、中並 弥生、田中 大智、嶋之浦佳奈、庄 とも子、早瀬 千尋、瓦林 靖広、藤原ありさ、小川 伸二
B-③	21	深部子宮内膜症手術をZero Complicationsで行うために	第12回千葉産婦人科内視鏡手術研究会 2024/3/9 千葉	瓦林 靖広
B-④	22	～安全・確実な手技を実現するために～知っておきたいモノポーラの原理とコツ	第3回熊本県産婦人科内視鏡フォーラム 2023/6/24 熊本	瓦林 靖広
B-④	23	梅毒治療後妊婦から先天梅毒を発症した1例	第78回福岡周産期懇話会 2023/7/28 福岡	片岡 寧々
B-④	24	無痛吸引分娩後に発症した子宮破裂の一例	第79回福岡周産期懇話会 2023/12/1 福岡	竹内 優
B-④	25	ジェノゲストが奏効した帝王切開癒着症候群の1例	第45回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会 2024/1/21 東京	中並 弥生、瓦林 靖広、荒木研士郎

講演会

C-①	26	Lenvatinib+Pembrolizumab併用療法の使用経験からの考察	ウェビナー 2023/9/13 福岡	中並 弥生、園田 顕三、小川 伸二
C-①	27	腹腔鏡手術技術認定審査 傾向と対策	熊本県産婦人科グループミーティング 2023/9/29 熊本	瓦林 靖広
C-①	28	子宮内膜症治療において薬物と手術が果たす役割	第1回子宮内膜症カンファレンス 2023/11/2 高知	瓦林 靖広

その他

D	29	エキスパートが語るDE手術解説ー美しい手術を目指してー	手術動画サイト (ESS) 2023/6/1 web	瓦林 靖広、谷村 悟
D	30	“SoTM” と “Fascia” から紐解く高難度子宮内膜症手術	2023愛知婦人科内視鏡手術勉強会 2023/6/23 愛知	瓦林 靖広
D	31	深部子宮内膜症の乗り越え方～理論・術野展開・器械の適正使用～	ウェビナー 2023/10/23 東京	瓦林 靖広
D	32	Advanced Adhesions Unveiled : Mastering TLH in Deep Endometriosis	手術動画サイト (ETHICON live Asia Pacific) 2023/10/23 web	瓦林 靖広
D	33	FUSEホルダーが教える・伝えるー Science of Energy Seminar	九州医療センター・九州中央病院合同ハンズオンセミナー 2023/10/28 福岡	瓦林 靖広
D	34	“Fascia” と “Ligament” について再考する	第4回Young Surgeons Conference in Fukuoka 2023/11/22 福岡	瓦林 靖広
D	35	LSCを安全に行うために知っておきたい骨盤解剖と剥離層	手術動画サイト (Upstream Asia) 2023/12/5 web	瓦林 靖広
D	36	Innovations in My Minimally Invasive Surgery -Redefining Surgical Excellence-	Surgical Advisory Meeting 2024 2024/1/25 Boulder (US)	Yasuhiro Kawarabayashi
D	37	子宮内膜症治療におけるGnRHアンタゴニストの位置づけ～レルミナ錠の役割～	九州・中国エリア「レルミナ錠」オンライン講演会 2024/2/3 福岡	瓦林 靖広
D	38	FUSEホルダーと学ぶエネルギーデバイスの原理とリスク	鹿児島RPEセミナー 2024/2/22 鹿児島	瓦林 靖広
D	39	HIV感染妊婦に関する情報の普及啓発彭法の開発および診療体制の整備と均てん化～医療従事者への情報普及啓発と診療体制の整備と均てん化～	「HIV感染社の妊娠・し出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発彭法の揮発ならびに診療体制の整備と均てん化」研究班報告書 2024	出口 雅史、五味淵秀人、定月みゆき、杉野 祐子、中西美沙緒、中西 豊、羽柴知恵子、蓮尾 泰之、林 公一

耳鼻咽喉科

論文

- A-① 1 An invasive presentation of parotid lymphadenoma : A first reported case Pathology Research and Practice 250 (5) : 154823, 2023 Uryu H, Fujiwara M, Uchi R, Yamamoto H, Nakashima T.
- A-② 2 Supraglottic Laryngitis in COVID-19 Journal of Clinical Images 2023 6 (2) : 1144, 2023 Nagasaki Y, Nakashima T
- A-③ 3 導入化学療法を行った進行喉頭・下咽頭癌の治療成績の検討 頭頸部癌 49 (3) : 249-254, 2023 瓜生 英興、田村 真吾、北川 理奈、小出 彩佳、原 香織、内 龍太郎、中島 寅彦
- A-③ 4 豊富な処方例でポイント解説！耳鼻咽喉科・頭頸部外科処方マニュアル 疼痛緩和 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 95 (5) : 354-357, 2023 瓜生 英興、内 龍太郎、中島 寅彦
- A-④ 5 非常にまれな喉頭平滑筋腫の1例 耳鼻と臨床 69 (2) : 129-133, 2023 小出 彩佳、梅崎 俊郎、松原 尚子、鈴木 智陽、中島 寅彦
- A-④ 6 有害事象の早期発見と対策 プラクティス耳鼻咽喉科の臨床 耳鼻咽喉科薬物治療ベッドサイドガイド 3 : 30-137, 2023 田村 真吾、中島 寅彦

学会発表

- B-① 7 Postoperative morbidity following thyroid surgery –Risk factors and prevention 7th World Congress of the International Federation of Head and Neck Oncologic Societies 2023/6/21 ローマ Torahiko.Nakashima
- B-① 8 Clinical decision pathway and management of locally advanced head and neck squamous cell carcinoma 第61回日本癌治療学会学術集会 2023/10/20 横浜市 Nakashima T, Guo Y, Cho BC, Corry J, Hong RL, Kim KH, Li Z, Lim DWT, Lin JC, Lou PJ, Yang MH, Zhang B, Liu YP, Zhu GP, Porceddu S
- B-② 9 中咽頭癌治療後患者のQOL評価と治療法についての検討 第32回日本頭頸部外科学会総会 2023/1/19 金沢市 内 龍太郎、瓜生 英興、北川 理奈、小出 彩佳、原 香織、中島 寅彦
- B-② 10 当院における鼻副鼻腔悪性腫瘍の検討 第32回日本頭頸部外科学会総会 2023/1/19 金沢市 北川 理奈、瓜生 英興、小出 彩佳、原 香織、内 龍太郎、中島 寅彦
- B-② 11 緊急気管切開および喉頭全摘を必要とした甲状腺乳頭癌の2例 第32回日本頭頸部外科学会総会 2023/1/19 金沢市 瓜生 英興、内 龍太郎、中島 寅彦
- B-② 12 喉頭癌、下咽頭癌に対する導入化学療法法の検討 第35回日本喉頭科学会総会 2023/3/9 京都市 瓜生 英興、内 龍太郎、中島 寅彦
- B-② 13 頭頸部領域のMTX関連リンパ増殖性疾患21例の検討 第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会 2023/5/18 福岡市 原 香織、瓜生 英興、北川 理奈、小出 彩佳、内 龍太郎、中島 寅彦
- B-② 14 中咽頭癌患者のメタボロミクス・プロテオミクス解析 第47回日本頭頸部癌学会総会 2023/6/15 大阪市 内 龍太郎、瓜生 英興、北川 理奈、小出 彩佳、原 香織、中島 寅彦
- B-② 15 頭頸部癌に対するシスプラチン投与後の聴力障害の解析—言語聴覚士としてのかかわり— 第47回日本頭頸部癌学会総会 2023/6/15 大阪市 川越 直美、内 龍太郎、瓜生 英興、中島 寅彦

B-②	16	当科で化学放射線療法を行った頭頸部がん患者に対して嚥下造影検査を実施－言語聴覚士としての関わり－	第24回日本語聴覚学会 2023/6/23 松山市	川越 直美、内 龍太郎、瓜生 英興、中島 寅彦
B-②	17	耳下腺リンパ腺腫の1例	第85回耳鼻咽喉科臨床学会総会 2023/6/24 東京都	瓜生 英興、原 香織、中島 寅彦
B-②	18	気管狭窄をきたした喉頭気管アミロイドーシスの一例	第74回日本気管食道科学会総会 2023/11/14 福岡市	藤原 義宜、瓜生 英興、内 龍太郎、齊藤あゆみ、宮城 慎平、青谷亜由美、中島 寅彦
B-③	19	顔面巨大腫瘍を契機に診断した節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型の1例	第192回耳鼻咽喉科・頭頸部外科学術講演会（第552回九州地方会） 2023/4/8 福岡市	北川 理奈、瓜生 英興、小出 彩佳、原 香織、内 龍太郎、中島 寅彦
B-③	20	再発/進行口腔癌に頭頸部アルミノックス治療を実施した症例	九州地区口腔癌研究会第27回学術講演会 2023/6/23 宮崎市	瓜生 英興
B-③	21	当院での甲状腺未分化癌症例の検討	第38回九州連合地方部会学術講演会 2023/7/16 久留米市	宮城 慎平、瓜生 英興、青谷亜由美、齊藤あゆみ、藤原 義宜、内 龍太郎、中島 寅彦、田村 真吾、大賀 才路
B-③	22	九州医療センターにおける耳鼻咽喉科－歯科の連携について	第194回耳鼻咽喉科・頭頸部外科学術講演会（第554回九州地方会） 2023/12/2 福岡市	青谷亜由美、瓜生 英興、宮城 慎平、藤原 義宜、齊藤あゆみ、内 龍太郎、吉川 博政、中島 寅彦
B-④	23	インフルエンザウィルス感染及び発熱性好中球減少症により死亡した咽頭原発神経内分泌癌の1例	第17回九州頭頸部癌フォーラム 2023/11/25 福岡市	内 龍太郎、田村 真吾、青谷亜由美、齊藤あゆみ、宮城 慎平、藤原 義宜、瓜生 英興、中島 寅彦

講演会

C-①	24	外科医の立場で考えるIO時代の頭頸部癌薬物療法	第39回奈良県頭頸部腫瘍研究会 2023/7/15 橿原市	中島 寅彦
-----	----	-------------------------	----------------------------------	-------

その他

D	25	7th World Congress of the International Federation of Head and Neck Oncologic Societies (IFHNOS) に参加して		中島 寅彦
D	26	手術が必要な耳鼻咽喉科疾患	KMC初期セミナー 2023/12/8 当院	藤原 義宜

形成外科

論文

A-①	1	Scientific validation of clinical visual scales and Antera 3D consistency with derived measurements in the assessment of infantile haemangioma after laser therapy	JOURNAL OF PLASTIC RECONSTRUCTIVE AND AESTHETIC SURGERY 91 : 47-55, 2024	Yoichiro Morihisa, Yukiko Rikimaru-Nishi, Youkou Ohmaru, Kou Ino, Hideaki Rikimaru, Kensuke Kiyokawa
-----	---	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

- | | | | |
|-------|----------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------------|
| A-③ 2 | 耳下腺より前方のほぼ同じ場所に発生し、病理診断がすべて異なった頬部腫瘍の4例 | 形成外科
66 (1) : 58-65, 2023 | 古賀 文貴、右田 尚、森久陽一郎、守永 圭吾、
力丸 英明、清川 兼輔 |
| A-③ 3 | 前頭蓋底骨折を伴う多発性骨折に対し二期的に手術を行った1例 | 形成外科
66 (9) : 1085-1092, 2023 | 古賀 文貴、森久陽一郎、権藤 理絵、右田 尚、
力丸 英明、清川 兼輔 |

学会発表

- | | | | |
|-------|----------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------|
| B-② 4 | 閉鎖に極めて難渋した食道胃管再建後の前胸部瘻孔の1例 | 第66回日本形成外科学会総会・学術集会
2023/4/26 長崎 | 古賀 文貴、森久陽一郎、久富健太郎、守永 圭吾、
力丸 英明、清川 兼輔 |
| B-② 5 | 閉鎖に極めて難渋した食道胃管再建後の前胸部瘻孔の1例 | 第47回日本頭頸部癌学会総会・学術講演会
2023/6/16 大阪 | 古賀 文貴、森久陽一郎、久富健太郎、守永 圭吾、
力丸 英明、清川 兼輔 |

その他

- | | | | |
|-----|-----------------------------|-------------------------|-------|
| D 6 | あたりまえの創傷治療～ごちゃごちゃ言わずにこれしとけ～ | KMC初期セミナー
2023/10/20 | 森久陽一郎 |
|-----|-----------------------------|-------------------------|-------|

歯科・歯科口腔外科

論文

- | | | | |
|-------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| A-③ 1 | 抜歯後治癒不全を契機に発見され多発性骨髄腫へと移行した上顎骨孤立性形質細胞腫の1例 | 日本口腔外科学会雑誌
69 (12) : 21-27, 2023 | 田尻 祐大、吉川 博政、吉田 将律、永井 清志、
沖永 耕平、山口 豊 |
| A-④ 2 | VI その他の歯科医療安全管理 | 歯科医療安全管理マニュアル 一般社団法人 日本有病者歯科医療学会
84-88, 2023 | 今井 裕、岩淵 博史、栗田 浩、近藤 英司、
田中 彰、森本 佳成、柳本 惣一、山口 晃、
山田 慎一、吉川 博政 |

学会発表

- | | | | |
|-------|----------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| B-② 3 | 舌口腔底癌術後の摂食嚥下障害が多職種連携により改善した1例 | 第38回日本臨床栄養代謝学会総会・学術大会
2023/5/9 兵庫県 | 永井 清志、吉川 博政、井上 聡美、青堀 尚子、
廣松 葵、中川 亜季、古賀友里恵、福泉公仁隆 |
| B-② 4 | 舌癌根治手術後在宅緩和ケアに至ったAIDS発症HIV感染者の1例 | 第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会
2024/1/25 札幌市 | 吉川 博政、永井 清志、山本 千佳 |
| B-② 5 | 当科で手術を施行した上顎骨MRONJ患者の臨床的検討 | 第33回（一社）日本有病社歯科医療学会総会・学術大会
2024/3/9 新潟市 | 沼田 純、吉川 博政、山本 千佳、永井 清志、
沖永 耕平、山口 豊、赤瀬 稜、山手 佳苗、
米澤 暁、中崎 由唯 |
| B-② 6 | 右側頬部に生じた鶏卵大の脂肪腫の1例 | 第33回（一社）日本有病社歯科医療学会総会・学術大会
2024/3/9 新潟市 | 米澤 暁、吉川 博政、永井 清志、沖永 耕平、
赤瀬 稜、山手 佳苗、中崎 由唯 |

B-② 7	下顎骨に発生した顎骨中心性腺様嚢胞癌の1例	第33回(一社)日本有病社歯科医療学会総会・学術大会 2024/3/9 新潟市	谷口 晃大、吉川 博政、山本 千佳、永井 清志、 沖永 耕平、山口 豊、赤瀬 稜、山手 佳苗、 米澤 暁、中崎 由唯
B-③ 8	当科で拔牙を行ったARA投薬患者のMRONJ発症に関する臨床的検討	第91回(公社)日本口腔外科学会九州支部学術集会 2023/6/24 宮崎県	中崎 由唯、吉川 博政、山本 千佳、永井 清志、 沖永 耕平、山口 豊、赤瀬 稜、山手 佳苗、 米澤 暁
B-③ 9	COVID-19流行下の嚥下内視鏡検査の実際	第14回日本臨床栄養代謝学会九州支部学術集会 2023/9/23 福岡県	山手 佳苗、吉川 博政、永井 清志、福泉公仁隆、 青堀 尚子、中川 亜季、古賀友里恵、古川裕美子
B-④ 10	上顎歯肉に発症したHIV関連悪性リンパ腫の一例	(公社)日本口腔外科学会若手口腔外科医委員会主催第1回若手口腔外科医交流会 2023/7/29 大阪府(ハイブリッド開催)	赤瀬 稜、吉川 博政、山本 千佳、永井 清志、 沖永 耕平、山口 豊、山手 佳苗、米澤 暁、 中崎 由唯

麻酔科

学会発表

B-② 1	中咽頭に発生した動静脈奇形に対する血管内塞栓術の麻酔経験	日本臨床麻酔学会 第43回大会 2023/12/7 宮崎	中嶋 章博、福岡 玲子、松下 克之、辛島 裕士
B-② 2	当院の診療看護師の活動と医師の働き方改革への寄与	日本麻酔・医事法制研究会 2023/12/9 宮崎県宮崎市	坪根 瞳、甲斐 哲也
B-③ 3	術中に促進型接合部調律を認め管理に難渋した1例	九州麻酔科学会第61回大会 2023/9/9 福岡	野尻 悠平、坂田いつか、辛島 裕士
B-③ 4	高度気道狭窄のためECMOを用いて麻酔管理を行ったびまん性特発性骨増殖症の一例	九州麻酔科学会第61回大会 2023/9/9 福岡	白木亮太郎、仁田畑和紀、甲斐 哲也
B-④ 5	当院の診療看護師の活動と医師の働き方改革への寄与	第30回日本麻酔・医事法制(リスクマネジメント)研究会 2023/12/8 宮崎	坪根 瞳、甲斐 哲也

講演会

C-② 6	麻酔～過去・現在・未来～	第69回九州医療センター 病診連携のタベ 2024/2/15 ハイブリッド開催	辛島 裕士
-------	--------------	--------------------------------------------	-------

救急科

学会発表

B-② 1	何が変わった?～救急集中治療の温故知新	日本手術医学会教育セミナー 2023/9/2 宮崎市	野田英一郎
B-② 2	ER滞在時間に影響を与える要因の検討	第9回日本NP学会学術集会 2023/10/20 北海道	川鍋 育郎

B-② 3	(パネルディスカッション8:スペシャリストとは何か!?③) 看護師の役割拡大とスペシャリティについて考えるー診療看護師(NP)の変遷と今を振り返ってー	第25回日本救急看護学会 2023/11/25 長崎	前川 雄三
B-② 4	コロナ禍に学ぶポストコロナの医療体制～FRESH～	第32回全国救急隊員シンポジウム 2024/2/1 名古屋市	野田英一郎
B-② 5	デジタル化大型電子ペーパーを活用した本部活動における情報の整理と共有	第30回日本災害医学会総会・学術集会 2024/2/22 京都市	辻本 朗、久城 正紀、野田英一郎、馬渡 博志、南島 友和、冨永 尚樹、江川 孝
B-② 6	Googleスプレッドシートを用いたクロノロジーの有用性	第29回日本災害医学会総会・学術集会 2024/2/24 京都市	野田英一郎、久城 正紀、田中 潤一、白馬 雄士、鈴木 裕之、宮川 貴圭、鍋田 裕介、南島 友和、馬渡 博志、辻本 朗、江川 孝、山下 典雄、松田 宏樹
B-② 7	2023年7月九州北部豪雨災害における福岡県DMATの活動	第29回日本災害医学会総会・学術集会 2024/2/24 京都市	久城 正紀、野田英一郎、田中 潤一、白馬 雄士、鈴木 裕之、宮川 貴圭、綾塚 仁志、山下 典雄、則尾 弘文
B-③ 8	診断が遅れた後天性血友病Aの1例	日本救急医学会九州地方会 2023/5/13 福岡市	江本 央、林 哲也、吉田真一郎、野田英一郎
B-③ 9	当院に搬送されたミルクアルカリ症候群についての検討	日本救急医学会九州地方会 2023/5/13 福岡市	堀 遥、林 哲也、吉田真一郎、野田英一郎
B-③ 10	我々はコロナ禍から何を学んだか?～次なる新興感染症に備える～	第41回福岡救急医学会 2023/9/16 福岡市	野田英一郎

講演会

C-① 11	災害は忘れたところに、いや毎年やってくる	NPO法人筑後地域救急医療研究会主催市民公開講座 2024/3/9 久留米市	野田英一郎
--------	----------------------	-------------------------------------------	-------

その他

D 12	福岡県DMAT隊員養成研修	福岡県DMAT隊員養成研修 2023/6/10 福岡市	野田英一郎
D 13	認定福岡市民病院ICLSコース	日本救急医学会 2023/6/24 福岡市	野田英一郎
D 14	認定福岡県医師会ACLS研修会	日本救急医学会 2023/7/9 福岡市	野田英一郎
D 15	認定宗像水光会病院ICLSコース指導者養成ワークショップ	日本救急医学会 2023/10/7 古賀市	野田英一郎
D 16	認定第28回KMC-ICLSコース	日本救急医学会 2023/12/11 福岡市	野田英一郎
D 17	大分県DMAT隊員養成研修	大分県DMAT隊員養成研修 2024/1/6 大分市	野田英一郎
D 18	認定MCLS標準コース	日本災害医学会 2024/1/21 佐賀市	野田英一郎

D	19	認定第29回KMC-ICLSコース	日本救急医学会 2024/2/5 福岡市	野田英一郎
D	20	認定MCLSインストラクターコース	日本災害医学会 2024/2/17 春日市	野田英一郎
D	21	認定MCLS標準コース	日本災害医学会 2024/2/18 春日市	野田英一郎
D	22	認定第30回KMC-ICLSコース	日本救急医学会 2024/2/26 福岡市	野田英一郎
D	23	福岡県DMAT隊員養成研修	福岡県DMAT隊員養成研修 2024/3/2 福岡市	野田英一郎
D	24	認定福岡市民病院ICLS研修会	日本救急医学会 2024/3/10 福岡市	野田英一郎

臨床検査科・病理診断科

論文

A-②	1	Fatal pulmonary embolism resulting from a popliteal venous aneurysm	Circulation-Cardiovascular Imaging 16 (4), 2022	Iwahashi H, Ohtani K, Fujiwara M, Nakamura T
A-②	2	Large cell neuroendocrine carcinoma with discohesive growth pattern of the sigmoid colon resembling undifferentiated carcinoma	Pathology International 74 (1) : 39-41, 2023	Yamada R, Nakahara O, Takamori H, Komohara Y, Fujiwara M.
A-④	3	神経内分泌分化した前立腺癌による直腸転移の1例	Gastroenterological Endoscopy 65 (4) : 353-360, 2023	水江龍太郎、井原勇太郎、鳥巢 剛弘、川床慎一郎、藤原美奈子
A-④	4	「胃と腸」式読影問題集2023基本と応用-考える画像診断が身につく 胃 (Case 14)	胃と腸 58 (4) : 460-463, 2023	森山 智彦、梅野 淳嗣、藤原美奈子
A-④	5	【病理診断クイックリファレンス 2023】(第5章) 食道・胃 炎症性線維性ポリープ	病理と臨床 41 (臨増) : 72, 2023	藤原美奈子
A-④	6	【病理診断クイックリファレンス 2023】(第5章) 食道・胃 異所性腺	病理と臨床 41 (臨増) : 73, 2023	藤原美奈子
A-④	7	【病理診断クイックリファレンス 2023】(第6章) 腸管 腸管スピロヘータ症	病理と臨床 41 (臨増) : 85, 2023	藤原美奈子
A-④	8	【病理診断クイックリファレンス 2023】(第6章) 腸管 腸管子宮内膜症	病理と臨床 41 (臨増) : 92, 2023	藤原美奈子
A-④	9	各論 4 消化管共通 I. 感染症. 6 結核	非腫瘍性疾患病理アトラス 消化管 281-287, 2023	藤原美奈子、八尾 隆史
A-④	10	各論 4 消化管共通 IV. その他. 1 好酸球性消化管病変	非腫瘍性疾患病理アトラス 消化管 346-351, 2023	藤原美奈子
A-④	11	大腸非上皮性ポリープの鑑別診断 非腫瘍性ポリープ 病理診断の立場から	胃と腸 59 (2) : 211-218, 2024	藤原美奈子、吉村 大輔、佐々木泰介、原田 直彦、尾石 樹泰、尾石 弥生

学会発表

B-② 12	Bentall術後に仮性動脈瘤を生じた Ehlers-Danlos症候群の一症例	第48回日本超音波検査学会学術集会 2023/6/10 大阪府	宮崎 明信、谷口江理奈、山本 慎悟、別府 佳菜、大谷 洋平、本多 千尋、伊藤 葉子、松田 寛子、中村 洸太、松下 義照
B-② 13	上行大動脈置換術後仮性動脈瘤-肺動脈弁下穿破を認めた1症例	第48回日本超音波検査学会学術集会 2023/6/10 大阪府	大谷 洋平、宮崎 明信、松田 寛子、中村 洸太、松下 義照
B-② 14	嚢胞性変化を伴う甲状腺乳頭癌の細胞像	第64回日本臨床細胞学会総会 2023/6/11 愛知県	本川 拓誠、小嶋 健太、本田 仁未、佐藤 圭、藤原美奈子、松下 義照
B-② 15	肝臓専門医と肝炎医療コーディネーターのチームで行うC型肝炎拾い上げシステムの再構築	第59回日本肝臓学会総会 2023/6/16 奈良県	伊藤 葉子、田代 茂樹、荒武 良総、吉本 剛志、福泉公仁隆、中牟田 誠
B-② 16	経胸壁心エコー図にてValsalva負荷が有用であった二症例	第33回日本超音波医学会九州地方会 2023/10/8 福岡県	谷口江理奈、中村 洸太、宮崎 明信、別府 佳菜、大谷 洋平、本多 千尋、伊藤 葉子、松田 寛子、大谷 規彰、松下 義照
B-② 17	右腎静脈原発の平滑筋肉腫が右房内へ進展した一症例	第77回国立病院総合医学会 2023/10/20 広島県	宮崎 明信、山本 慎悟、谷口江理奈、安達 武、吉光 知里、松田 寛子、中村 洸太、松下 義照
B-② 18	当院で経験したLiebman Sacks心内膜炎の一例	第77回国立病院総合医学会 2023/10/21 広島県	松田 寛子、伊藤 葉子、中村 洸太、宮崎 明信、本多 千尋、大谷 洋平、別府 佳菜、松下 義照、大谷 規彰
B-② 19	肺原発滑膜肉腫の1例	第62回日本臨床細胞学会秋期大会 2023/11/4 福岡県	小嶋 健太、本川 拓誠、西村唯輝子、沖田 静流、永田 陽子、松下 義照、藤田 綾、藤原美奈子、桃崎 征也
B-③ 20	臨床検査技師と肝臓専門医のチームで防ぐC型肝炎患者の見逃し	第44回国立病院臨床検査技師長協議会九州支部会研修会 2023/7/6 Web	伊藤 葉子
B-③ 21	胸腺病変の一例	第395回九州沖縄スライドカンファレンス 2023/9/9 熊本	藤原美奈子
B-③ 22	検査部からの発信を契機に早期診断に至った急性白血病の2症例	2023年度日臨技九州支部医学検査学会 2023/10/22 佐賀県	岩本 礼奈、松浦あゆみ、山崎 亜衣、角田 京也、蒲牟田靖司、松尾 龍志、渡辺 秀明、松下 義照
B-③ 23	九州医療センターにおける肝炎拾い上げの取り組み紹介	第34回九州免疫血清研究会 2023/12/9 鹿児島県	伊藤 葉子

講演会

C-② 24	NSTにおける臨床検査技師の役割	令和5年度「NST専門療法士」臨床実地修練 2023/6/5 福岡県	佐伯 綾子
C-② 25	NSTにおける臨床検査技師の役割	令和5年度チーム医療推進のための研修「NST専門療法士」 2023/9/4 福岡県	佐伯 綾子
C-② 26	検査室における内部監査	令和5年度国立病院臨床検査技師協会九州支部会「卒後教育セミナー」 2023/9/23 福岡県	渡辺 秀明

その他

D	27	タイムコースの見方	2023年生化学アカデミー九州義塾第5期 2023/6/17 福岡県	佐伯 綾子
D	28	医療現場に求められる臨床検査技師とは	純真学園大学 キャリア支援講演会 2023/8/2 福岡県	松下 義照
D	29	九州医療センターにおける肝炎拾い上げの取り組み紹介	臨床検査の日 肝炎撲滅のためのWEB Seminar 2023/11/10 Web	伊藤 葉子

薬剤部

論文

A-①	1	Impact of the pretreatment prognostic nutritional index on the survival after first-line immunotherapy in non-small-cell lung cancer patients	Cancer Medicine 12 (13) : 14327-14336, 2023	Oku Y, Toyokawa G, Wakasu S, Kinoshita F, Takamori S, Watanabe K, Haratake N, Nagano T, Kosai K, Takada K, Fujimoto A, Higashijima K, Shiraishi Y, Tanaka K, Takeoka H, Okamoto M, Yamashita T, Shimokawa M, Shoji F, Yamazaki K, Okamoto T, Seto T, Ueda H, Takeo S, Nakashima N, Okamoto I, Takenaka T, Yoshizumi T.
A-③	2	ケモセーフロックTMシステムを使用したシスプラチン調製における調製時間調査	日本病院薬剤師会雑誌 59 (8) : 840-846, 2023	大橋 邦央、衛藤 智章、後藤 隆、山下 克也、清水 裕彰

学会発表

B-①	3	高齢者大腸癌患者におけるTrifluridine/tipiracil+Bevacizumab療法の安全性および有効性の検討	第21回日本臨床腫瘍学会学術大会 2024/2/22 名古屋	三好 孝法、深澤 真実、和佐野英子、高武 嘉道、筒井 結子、藤瀬 陽子、大橋 邦央、田村 真吾、橋本 雅司
B-②	4	オピオイド回診運用変更の取り組み	第15回緩和医療薬学会年会 2023/5/27 兵庫	中原 萌子、難波世利子、八木祐一郎、甲斐 祭生、石丸都希子、高武 嘉道、大橋 邦央、花田 聖典、橋本 雅司
B-②	5	オピオイド回診運用変更の取り組み	第33回日本医療薬学会年会 2023/11/4 宮城	中原 萌子、高武 嘉道、大橋 邦央、花田 聖典、橋本 雅司
B-②	6	病院薬剤師による臨床研究促進のための活動	～患者さんのQOL向上のために～ 2023/11/4 宮城	高武 嘉道、山口 泰弘、大橋 邦央、花田 聖典、橋本 雅司
B-②	7	血液製剤院外処方への取り組みと薬業連携による患者サポートの整備	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/3 京都	松永 真実、合原 嘉寿、山口 泰弘、藤瀬 陽子、大橋 邦央、橋本 雅司、中嶋恵理子、高濱宗一郎、南 留美
B-②	8	カボテグラビル+リルピピリン開始に伴う精神神経系有害事象の発生状況調査とPOMSを用いた検討	第33回日本医療薬学会年会 2023/11/5 宮城	合原 嘉寿、大橋 邦央、橋本 雅司
B-②	9	カボテグラビル+リルピピリンの使用経験とPOMSによる精神神経系有害事象の評価	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/3 京都	合原 嘉寿、山口 泰弘、松永 真実、橋本 雅司、木下 理沙、曾我真千恵、中嶋恵理子、高濱宗一郎、南 留美

B-② 10	抗HIV薬を含む院外処方箋の受け入れ状況と問題点に関する検討	第33回日本医療薬学会年会 2023/11/5 宮城	平野 淳、矢倉 裕輝、増田 純一、合原 嘉寿、吉田 知由
B-② 11	非小細胞肺癌患者における免疫チェックポイント阻害薬効果予測因子としてのPrognostic Nutritional Indexの有有用性の評価	第33回日本医療薬学会年会 2023/11/4 宮城	三好 孝法、宮下 裕央、深澤 真実、和佐野英子、花田 聖典、大橋 邦央、橋本 雅司
B-② 12	Calvert 式によるカルボプラチン投与量算出時に用いる腎機能推算値と毒性に関するレトロスペクティブ研究	第33回日本医療薬学会年会 2023/11/4 宮城	小林美奈子、渡邊 裕之、柴田 直樹、富士 芳美、前田 剛司、橋詰 淳哉、亀位 耕平、岡田 浩司、妹尾 啓司、三好 孝法、平野 公美、政 賢悟、奥田 泰考、宮崎実千芸、吉田 幹宜、城口 将太、藤田行代志、齊藤 達也、山室 路子、天間 雅美
B-② 13	メロペネム供給停止に伴う影響について	第33回日本医療薬学会年会 2023/11/3 宮城	平田 亮介、高武 嘉道、橋本 雅司
B-② 14	週1回皮下投与型セマグルチド製剤供給停止に伴う他のGLP-1受容体作動薬への切替えが患者の血糖値に与えた影響に関する調査	第77回国立病院総合医学会 2023/10/20 広島	筒井 結子、間 美和、大橋 邦央、藤瀬 陽子、橋本 雅司
B-② 15	Press Through Package 1 シートあたりの薬剤数が計数間違いに及ぼす影響	第33回日本医療薬学会年会 2023/11/4 宮城	山口 泰弘、田村 彩織、溝田 愛子、高武 嘉道、藤瀬 陽子、大橋 邦央、橋本 雅司
B-② 16	ドラビリンの長期使用に伴う影響調査	第37回日本エイズ学会学術集会・総会 2023/12/5 京都	山口 泰弘、合原 嘉寿、藤田 清香、松永 真実、藤瀬 陽子、大橋 邦央、橋本 雅司、中嶋恵理子、高濱宗一郎、南 留美
B-② 17	Press Through Package 1 シートあたりの薬剤数が計数間違いに及ぼす影響	第77回国立病院総合医学会 2023/10/20 広島	田村 彩織、山口 泰弘、溝田 愛子、高武 嘉道、藤瀬 陽子、大橋 邦央、橋本 雅司
B-② 18	非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤とプラチナ製剤併用療法による免疫関連有害事象の予測因子解析	第77回国立病院総合医学会 2023/10/21 広島	藪内由里香、藤本 愛理、久松 大祐、高武 嘉道、末長 芽以、佐藤 栄梨、上原 智博、川俣 洋生
B-② 19	アンケート調査を用いたがん薬薬連携の現状調査と今後の課題の検討	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024 2024/3/3 神戸市	和佐野英子、三好 孝法、深澤 真実、高武 嘉道、菊地 憂衣、大橋 邦央、藤瀬 陽子、橋本 雅司
B-② 20	がん疼痛に対するトラマドールの効果予測因子の検討	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024 2024/3/3 神戸	深澤 真実、高武 嘉道、藤本 愛理、中原 萌子、三好 孝法、山口 泰弘、川俣 洋生、花田 聖典、橋本 雅司
B-② 21	シスプラチン誘発性腎障害に対するマンニトールとフロセミドの予防効果の比較	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024 2024/3/2 神戸	張光 雄大、林 稔展、三好 孝法、山下 朱莉、津曲 恭一、横田 千明、江川 孝
B-④ 22	当院における院外薬局との連携について	第14回 沖縄HIV臨床カンファレンス 2024/1/20 沖縄	合原 嘉寿
B-④ 23	九州医療センターでのHIV担当薬剤師の取組	東北エイズ/HIV臨床カンファレンス 2024/2/3 web	合原 嘉寿

講演会

C-① 24	当院におけるトレーシングレポートの現状調査	令和5年度 福岡地区国立病院薬剤師会薬学研究会 2023/11/11 福岡	菊地 憂衣、合原 嘉寿、永野 真久、平田 亮介、平峯 侑恵、間 美和、藤瀬 陽子、大橋 邦央、橋本 雅司
--------	-----------------------	------------------------------------------	------------------------------------------------------

C-①	25	レンボレキサント錠の病棟定数配置による転倒転落への影響に関する調査	第47回九州地区国立病院薬剤師会薬学研究会 2023/7/8 web	橋本 雅司、花田 聖典、大橋 邦央、三好 孝法、高武 嘉道、藤田 清香、鶴山 萌子、高倉 優子、田中 彩
C-②	26	長期療養時代を見据えた抗HIV療法への薬剤師の関わり	HIPs in 九州～ HIV Pharmacist seminar ～ 2023/11/22 福岡	合原 嘉寿
C-②	27	がん領域における薬薬連携に関するアンケート調査報告	連携充実加算に係る研修会 2023/12/8 福岡	和佐野英子
C-②	28	レジメンを知らう！～処方監査から副作用対策まで～「第2回胃癌の術後補助化学療法～S-1単独療法、S-1+DTX療法～」	連携充実加算に係る研修会 2023/5/12 福岡	深澤 真実
C-②	29	症例で学ぼう！リスクマネジメント	連携充実加算に係る研修会 2023/12/8 福岡	深澤 真実

その他

D	30	オピオイド適正使用に向けての取り組み	痛みのマネジメントUp Date～患者さんのQOL向上のために～ 2023/9/26 オンライン	中原 萌子
D	31	服薬指導	九州ブロック HIV/AIDS基礎研修 2023/10/20 オンライン	合原 嘉寿
D	32	抗HIV薬の基礎と最近の話題	HIV/AIDS出前研修会 2023/7/12 福岡	合原 嘉寿
D	33	ファシリテーター	第42回薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会 2023/7/29 広島	合原 嘉寿
D	34	がん化学療法におけるCINV対策と薬剤師の役割	TAIHO Web Lecture on CINV in Fukuoka 2023/8/25 福岡	三好 孝法
D	35	当院乳腺外科における薬剤師外来での関わり	2024年の乳がん治療を考える～其の二～日本イーライリリー株式会社 2024/1/30 福岡+WEB	深澤 真実

放射線部

論文

A-③	1	骨SPECT定量評価のデータベース作成に向けた検討	九州国立病院機構診療放射線技師会雑誌 No.136：22-25, 2023	大浦 弘樹、木原 聡、渡辺 武美、北口 貴教、今西 美嘉
A-③	2	ハイブリッド照射とはー組織内照射併用腔内照射ー	福岡県診療放射線技師会会誌 (第353号)：31-40, 2023	大浦 弘樹
A-③	3	201Tl心筋血流シンチグラフィにおけるSPECT/CTを用いた最適撮像条件の検討	全国国立病院療養所放射線技師会誌 (第259号)：18-21, 2023	鶴丸 貴大、渡辺 武美、北口 貴教、今西 美嘉、大浦 弘樹

- A-③ 4 関節超音波検査における表在パッドの
検討 全国国立病院療養所放射線技師会誌
(第260号)：49-53, 2023 浅井 美子、山口 薫、阿萬 貴史、北口 貴教、
今西 美嘉、大浦 弘樹、松林 (名本) 路花
- A-③ 5 関節エコー検査時の環境が画像に及ぼ
す影響 全国国立病院療養所放射線技師会誌
(第260号)：54-57, 2023 山口 薫、浅井 美子、阿萬 貴史、北口 貴教、
今西 美嘉、大浦 弘樹、松林 (名本) 路花

学会発表

- B-① 6 Protect Your Heart and Lungs.
Usefulness of Left Side Breast
Radiotherapy Using Deep
Inspiration Breath Hold Technique. 北米放射線学会2023
2023/11/26 シカゴ 島本 惟、大浦 弘樹、小野 敏輝、中野ちぐさ、
石田 秀樹、中村 太祐
- B-② 7 画像構造類似度 Structural Similarity
(SSIM) およびマルチスケール構造類
似度 Multi-Scale SSIMを用いたデジ
タルX線画像の画質評価 第79回放射線技術学会総会学術大会
2023/4/14 横浜 板井 宏孝、是枝 大地、田畑 成章、今西 美嘉、
北口 貴教、大浦 弘樹、井手口忠光
- B-② 8 Tl-201/Tc-99m製剤における心電図
同期心筋血流SPECTでのBMIや解析
ソフトの違いが左室機能評価に与える
影響 第79回放射線技術学会総会学術大会
2023/4/14 横浜 渡辺 武美、木原 聡、鶴丸 貴大、今西 美嘉、
北口 貴教、大浦 弘樹
- B-② 9 検査説明用動画「CT編」の紹介 第39回日本診療放射線技師学術大会
2023/9/29 熊本 今西 美嘉
- B-② 10 血管撮影装置における放射線防護用固
定式バリアを用いた患者被ばく低減の
検討 第39回日本診療放射線技師学術大会
2023/9/30 熊本 是枝 大地、山下 一也、北口 貴教、今西 美嘉、
大浦 弘樹
- B-② 11 Image quality evaluation of digital
X-ray images using Structural
Similarity and Multi-Scale
Structural Similarity 医用画像情報学会令和5年度秋季大
会
2023/10/7 北海道 板井 宏孝、是枝 大地、田畑 成章、今西 美嘉、
北口 貴教、大浦 弘樹、井手口忠光
- B-② 12 「killer disease」指摘を目的とした読
影補助支援パッケージの有用性につい
て 第77回国立病院総合医学会
2023/10/20 広島 島本 惟、丸山 裕稔、大井 邦治、川俣 圭輔、
碓 直樹、田崎裕太郎
- B-② 13 核医学検査における診療放射線技師よ
る静脈路確保の取り組み 第77回国立病院総合医学会
2023/10/20 広島 今西 美嘉、北口 貴教、大浦 弘樹、野口 智幸、
田川 尚美、下田麻利亜、古池佳代子、中村千夏子
- B-② 14 眼の水晶体専用線量計の効果と課題 第77回国立病院総合医学会
2023/10/20 広島 山下 一也、北口 貴教、今西 美嘉、大浦 弘樹
- B-③ 15 胸部X線撮影における腹部プロテクタ
が皮膚線量に与える影響について 令和5年度年度九州国立病院機構診
療放射線技師会学術大会
2023/10/7 福岡 伊東翔太郎、池田 啓介、木須 康太、北口 貴教、
今西 美嘉、大浦 弘樹
- B-③ 16 胸部X線撮影における生殖器防護プロ
テクタが皮膚線量に与える影響につい
て 第18回九州放射線医療技術学術大会
2023/11/3 大分 伊東翔太郎、池田 啓介、木須 康太、北口 貴教、
今西 美嘉、大浦 弘樹
- B-③ 17 フリーマーカーによる放射線治療皮膚
マーキング有用性の評価 第18回九州放射線医療技術学術大会
2023/11/3 大分 下新 和仁、島本 惟、小野 敏輝、田川 尚美、
北口 貴教、今西 美嘉、大浦 弘樹
- B-③ 18 I-125永久刺入治療患者における看護
のための動画資料の有用性に関する検
討 第18回九州放射線医療技術学術大会
2023/11/3 大分 小野 敏輝、島本 惟、田川 尚美、北口 貴教、
今西 美嘉、大浦 弘樹

B-③	19	心筋血流・機能解析プログラムにおける心外集積が再構成画像に及ぼす影響	第18回九州放射線医療技術学術大会 2023/11/4 大分	鶴丸 貴大、渡辺 武美、北口 貴教、今西 美嘉、大浦 弘樹
B-④	20	甲状腺機能亢進症における ¹³¹ I内用療法と運用について	第5回核医学セミナー 2023/5/24 web	鶴丸 貴大
B-④	21	入出力特性－実習の進め方－	第6回デジタル画像評価セミナー 2023/6/10 福岡	板井 宏孝
B-④	22	MRI検査におけるタブレット端末を用いた問診システムの運用	第9回福岡県診療放射線技師会学術大会 2023/6/24 福岡	前田 健介、阿萬 貴史、上田 智弘、北口 貴教、今西 美嘉、大浦 弘樹
B-④	23	シンポジウム業務拡大（タスクシフト/シェア）への取り組みについて」～下部消化管（CTC）への取り組み～	第9回福岡県診療放射線技師会学術大会 2023/6/25 福岡	村山 淳一
B-④	24	放射線治療概論	第25回放射線治療セミナー（基礎コース） 2023/7/15 沖縄	大浦 弘樹
B-④	25	解像特性 解析の進め方	第6回デジタル画像評価セミナー（2回目） 2023/8/5 福岡	板井 宏孝
B-④	26	HLCYON立ち上げと臨床経験	第73回放射線治療研究会 2023/12/2 福岡	小野 敏輝
B-④	27	高エネルギー X線計測の基礎	第19回放射線治療計測セミナー 2024/2/9 熊本	小野 敏輝

その他

D	28	国立病院機構における放射線技師の役割	令和4年度新採用者研修（メディカル・福祉職）分科会 2023/4/20 福岡	大浦 弘樹
D	29	KJ法について	令和4年度新採用者研修（メディカル・福祉職）分科会 2023/4/20 福岡	島本 惟
D	30	医療現場が求める人材像	純真学園大学特別企画キャリア講演会 2023/6/13 福岡	大浦 弘樹
D	31	RI法改正への対応	令和5年度医療職（二）等職場長管理研修放射線部門 2023/6/21 web	大浦 弘樹
D	32	MU計算と検証	日本放射線治療専門放射線技師認定機構認定2023年度九州I地区講習会（実機講習） 2023/8/5 福岡	大浦 弘樹
D	33	国立病院機構と救急医療、診療放射線技師の関わり	令和5年度診療放射線技師特定技能派遣研修（救急放射線） 2023/8/28 熊本	大浦 弘樹
D	34	救急医療における放射線防護と関係法令	令和5年度診療放射線技師特定技能派遣研修（救急放射線） 2023/8/29 熊本	大浦 弘樹

D	35	研究の進め方	第6回デジタル画像評価セミナー(3回目) 2023/9/13 web	板井 宏孝
D	36	ポジショニング・接遇	令和5年度診療放射線技師特定技能派遣研修(マンモグラフィ) 2023/11/6 福岡	浅井 美子
D	37	臨床画像評価	令和5年度診療放射線技師特定技能派遣研修(マンモグラフィ) 2023/11/7 福岡	今西 美嘉
D	38	マンモグラフィ読影	令和5年度診療放射線技師特定技能派遣研修(マンモグラフィ) 2023/11/8 福岡	甲斐 香織
D	39	がん放射線治療について	KMC初期研修 2023/11/24 福岡	小野 敏輝

臨床検査部門

その他

D	1	ベストプラクティス～Acceptable FVCを得るためのTips～	1305-0014/0023 (FIBRONEER TM) CRC meeting 2023/7/1 Web	宮崎 明信
---	---	-------------------------------------	-----------------------------------------------------------	-------

栄養管理室

学会発表

B-②	1	Waardenburg症候群、Hirschsprung病術後の偽性腸閉塞症患者に対し、多職種チームによる栄養管理を行った一例	第77回国立病院総合医学会 2023/10/20 広島県	古川裕美子、甲斐 裕樹、古賀友里恵、青堀 尚子、今村亜由美、田中 彩、住吉 恵、佐伯 綾子、野田英一郎、永井 清志、吉川 博政、福泉公仁隆
B-③	2	Waardenburg症候群、Hirschsprung病術後の偽性腸閉塞症患者に対し、多職種チームで栄養管理を行った一例	第14回日本臨床栄養代謝学会九州支部学術集会 2023/9/23 福岡県	古川裕美子、甲斐 裕樹、古賀友里恵、青堀 尚子、今村亜由美、田中 彩、住吉 恵、佐伯 綾子、野田英一郎、永井 清志、吉川 博政、福泉公仁隆
B-④	3	食道癌食道全摘術後下咽頭癌患者に対し術前の栄養管理に難渋した一例	第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2023/5/9 兵庫県 神戸コンベンションセンター	独立行政法人国立病院機構九州医療センター 古賀友里恵、古川裕美子、中川 亜季、廣松 葵、青堀 尚子、今村亜由美、佐伯 綾子、杉枝 里香、野田英一郎、肥後 太基、永井 清志、吉川 博政、福泉公仁隆 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター 井上 聡美
B-④	4	食道癌食道全摘術後下咽頭癌患者に対し術前にNST介入による栄養管理を行った一例	第27回福岡NST研究会 2023/6/3 福岡県 パピヨン24 ガスホール	独立行政法人国立病院機構九州医療センター 古賀友里恵、古川裕美子、中川 亜季、廣松 葵、青堀 尚子、今村亜由美、佐伯 綾子、田中 彩、永井 清志、吉川 博政、福泉公仁隆 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター 井上 聡美

講演会

C-②	5	NSTにおける管理栄養士の関わり	NST専門療法士臨床実地修練 2023/6/6 2023/9/5 福岡県 九州医療センター	青堀 尚子
-----	---	------------------	-----------------------------------------------------	-------

その他

D	6	NST専門療法士臨床実地修練 当院のNSTについて/NST専任の役割		古賀友里恵
D	7	NST専門療法士臨床実地修練 経腸栄養の種類と特徴		古賀友里恵
D	8	九州ブロックHIV/AIDS基礎研修プロ グラム	2023/6/30 福岡県 九州医療センター	西口 里穂
D	9	令和5年度新採用者研修 国立病院機構における栄養管理業務の 概要	2023/4/20 福岡県 九州医療センター	春田 典子
D	10	NST専門療法士臨床実地修練 当院のNST運営について	2023/6/5 福岡県 九州医療センター	春田 典子
D	11	多職種連携医療論Ⅱ 緩和ケアチーム～管理栄養士の役割～	純真学園大学大学院 講義 2023/6/14 福岡県 九州医療センター	春田 典子
D	12	多職種連携医療論Ⅱ チーム医療～当院のNST～	純真学園大学大学院 講義 2023/7/5 福岡県 九州医療センター	春田 典子
D	13	「大動脈解離」おいしい減塩食！	KBC九州朝日放送「とっても健康ら んど」 2023/12/2	春田 典子
D	14	多職種連携医療論Ⅰ チーム医療～管理栄養士の関わり～	純真学園大学大学院 講義 2023/7/22 福岡県	青堀 尚子

リハビリテーション部

学会発表

B-②	1	運動負荷試験での運動処方を行なった 急性心筋梗塞例の臨床経過	第29回日本心臓リハビリテーション 学会 2023/7/15 横浜市	加茂美由紀、竹中 克彦、肥後 太基、原山 容子、 田中 正則
B-③	2	PSCコア病院での院外向け脳卒中療養 相談における理学療法士の取り組み	第32回福岡県理学療法士学会 2023/5/21 福岡市	田中 正則、岩本 誠
B-③	3	大腿骨近位部骨折患者における術後早 期の身体活動量の調査研究	第32回福岡県理学療法士学会 2023/5/21 福岡市	野副 良介、蜂谷 和弘、高山有美子、相川 和美、 田中 正則、福士 純一
B-③	4	RA変形による膝関節屈曲拘縮を伴い 両膝TKAを施行した症例～理学療法 士の視点から～	第40回福岡県リウマチのケア研究会 2023/8/26 福岡市	野副 良介、田丸 哲弥、櫻庭 康司、田中 正則、 福士 純一

MEセンター

学会発表

- | | | | |
|-------|-------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------|
| B-② 1 | MEセンターにおける医療安全への取り組み | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/20 広島県広島市 | 田代 博崇、山本 和孝、澤岡 祐太、高橋 茂樹、
川内 麗美、原 慎一郎、原田 隆志 |
| B-② 2 | 若手が考える体外循環～これって常識？非常識？～ | 第48回日本体外循環技術医学会大会
2023/10/20 宮城県仙台市 | 重田 佳樹 |

看護部

論文

- | | | | |
|-------|-----------------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| A-③ 1 | 副看護師長OJT実践チェックリストを用いたOJTの進め方～OJT体制構築のための取り組み～ | 主任看護師Style
32 (5) : 52, 2023 | 石橋 咲子 |
| A-③ 2 | 急性期軽症脳卒中患者の身体活動量における実態調査 | 国立医療学会誌「医療」
77 (6) : 377, 2023 | 木下 優華、松田 早代、藤永 詩織、田口 裕子、
溝口 忠孝、古賀 翔、岡本 浩義、田中 正則、
今村 裕祐、桑城 貴弘、岡田 靖、杉森 宏 |

学会発表

- | | | | |
|--------|----------------------------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| B-② 3 | BFH「赤ちゃんにやさしい病院」のコロナ禍における母乳育児への取り組み | 第31回母乳育児シンポジウム
2023/8/26 広島 | 古野 佑佳、山田 美穂、矢野 郁実、津江菜々子、
中野 薫、松本 倭子、山本亜希子、安武 陽子、
石浦めぐみ、西紗津樹、小川 伸二、神野 俊介 |
| B-② 4 | 外来化学療法室における効率的な運営に向けた現状調査と課題の検討 | 第61回日本癌治療学会学術集会
2023/10/19 横浜 | 矢葺 弓貴、岡本 百芳、諸岡奈央子、木本佐知子、
瀬戸さほり、三好 孝法、田村 真吾 |
| B-② 5 | 当院のCOVID-19罹患および濃厚接触者の二次感染状況に関する検討 | 第77回 国立病院総合医学会
2023/10/20 広島 | 小田原美樹、小形 和輝、奥田早也香、有水 遥子、
神野 俊介、長崎 洋司 |
| B-② 6 | 産褥期入院中の育児支援の有り方～EPDSを活用して～ | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/20 広島 | 安武 陽子、田上ゆかり、吉村 佳也、佐藤 和夫、
藤原ありさ |
| B-② 7 | 糖尿病性腎症患者の糖尿病食から腎臓病食への移行時の困難さの特徴 | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/20 広島 | 池田侑里奈、大田 莉奈、山村 健介、木下 悦子 |
| B-② 8 | 働き方及び勤務時間に関する看護管理者の意識改革への取り組み | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/20 広島 | 田村 美和、内山 瑞乃、岸川真裕子、神田 恵里、
吉村佳也子、高巢 晴代、松井 雅子、森山 美耶、
木山 悟 |
| B-② 9 | A病院の転倒・転落における現状～転倒・転落アセスメントシートの改訂に向けて～ | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/20 広島 | 堀口 絢美、矢葺 弓貴、濱 葵、鈴木麻利子、
与古田幸代、吉村佳也子、古池佳代子 |
| B-② 10 | 夜間看護補助者の円滑な導入のための取り組み報告 | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/20 広島 | 相川 和美、古池佳代子、小田原美樹、百武 由希、
棚原 美穂 |
| B-② 11 | 薬剤投与時の確認行動定着へ向けた取り組み～1人双方向型・2人連続双方向型ダブルチェック導入後の変化～ | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/21 広島 | 安武 陽子、溝田恵里佳、若狭 京子、与古田幸代、
吉村佳也子、古池佳代子 |
| B-② 12 | 感染症病棟におけるデスカンファレンスが看護師の終末期ケアの考え方に与えた影響～カンファレンスを継続的に実施して～ | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/21 広島 | 古川 大陸、大槻さゆり、松竹 晃司 |

B-② 13	個人情報漏洩を防止するための取り組み～看護管理者の視点から考える～	第77回 国立病院総合医学会 2023/10/21 広島	山村 健介、中岡 淳子、藤井美紗子、与古田幸代、吉村佳也子、古池佳代子
B-② 14	医療用麻薬の適正使用を図ったオピオイド回診の検討～安全・安心な症状緩和を目指して～	第77回国立病院総合医学会 2023/10/21 広島	甲斐 祭生、八木祐一郎、中原 萌子、小柳 有子、石丸都希子、岩崎 浩己、百田世利子、中川 志乃
B-② 15	根本原因を抽出するためのインシデントカンファレンス開催に向けた取り組み	第77回国立病院総合医学会 2023/10/21 広島	前原 由香、稲田 鮎美、原 海夏、与古田幸代、吉村佳也子、古池佳代子
B-② 16	I-125永久刺入治療患者における看護のための動画資料の有用性に関する検討	第77回国立病院総合医学会 2023/10/21 広島	田川 尚美、小野 敏樹、島本 惟、西 美穂子
B-② 17	A病院における接遇強化に向けた取り組み～挨拶、患者家族対応の改善に向けた取り組みから見てきたこと～	第77回国立病院総合医学会 2023/10/21 広島	石丸都希子、松竹 晃司、田口 裕子、金子 大佑、西美 穂子
B-② 18	医療機関における感染対策について	第77回国立病院総合医学会 2023/10/21 広島市	小田原美樹
B-② 19	A病院RRS起動基準の妥当性評価～院内心停止事例を分析して～	第25回日本救急看護学会学術集会 2023/11/25 長崎	菰田 恭己、石山 亜耶、磯部 雄一
B-② 20	新人看護職員の職場適応を促す環境づくり	第21回国立病院看護研究会学術集会 2023/12/2 大阪	西紗 津樹、中村千夏子、松本和佳子、高山有美子、小形 和輝、星野 瑠璃、今村亜由美、養田 尚美
B-② 21	敗血症患者における早期経腸栄養開始の現状と課題	第27回日本病態栄養学会年次学術集会 2024/1/27 京都	藤田 克徳
B-③ 22	コロナ禍における面会制限が及ぼす患者への影響～膠原病性疾患に対してグルココルチコイドを投与されている患者の精神状態の変化について～	第40回福岡県リウマチのケア研究会 2023/8/26 福岡市	山末 尚美、高浪 晴花、濱 葵、高山有美子、宮村 知也
B-③ 23	コロナ禍に起こった地域の救急事情と今後の課題	第41回福岡救急医学会 2023/9/16 福岡市	磯部 雄一

医療安全管理部

学会発表

B-② 1	多職種協働の総合的な転倒・転落予防システムによるアクシデント低減の取り組み	第25回医療マネジメント学会 2023/6/23 横浜	古池佳代子、与古田幸代、岡田 靖
-------	---------------------------------------	--------------------------------	------------------

医療情報管理センター

論文

A-③ 1	ICT/AST活動に関する国立病院機構19施設におけるアンケート調査報告	医療 78 (1) : 49-53, 2024	平岡紀代美、吉住 秀之、平田 剛、皆元麻里加、甲田 正子、新木 一弘、宇治原 誠、三澤 理恵、白阪 琢磨、島田 裕子、山口 直美、山田 裕樹、杉谷 篤、鳥居 剛、大塚 真哉、林 弘人、濱田 信、古川 正幸、藤岡ひかる、日高 道弘、田中 広美、福泉公仁隆
-------	--------------------------------------	----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学会発表

- | | | | |
|-------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| B-② 2 | 多職種による診療記録質的監査方法の再考～PDCAサイクルの体制強化～ | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/21 広島県 | 皆元麻里加、橋木 巧平、福泉公仁隆 |
| B-② 3 | クリニカルパスの標準化とその効果 | 第27回日本医療情報管理学会春季学術大会
2023/6/29 沖縄県宜野湾市 | 若田 好史、山下 貴範、中熊 英貴、的場 哲哉、船越 公太、戸高 浩司、岡田美保子、中島 直樹、副島 秀久 |
| B-② 4 | Learning Health System実践基盤としてのePathの利活用 | 第43回医療情報学連合大会
2023/11/22 神戸市 | 若田 好史 |
| B-② 5 | 医師の働き方改革を目的としたLearning Health System構築－ePathデータの活用事例－ | 第44回医療情報学連合大会
2023/11/22 神戸市 | 松本晃太郎、若田 好史、野原 康伸、中熊 英貴、小妻 幸男、管田 晃、山下 貴範、的場 哲哉、坂本 和生、橋之口朝仁、木下 郁彦、竹中 朋祐、荒木千恵子、剣 卓夫、堀尾 英治、岩谷 和法、羽藤 慎二、重松 久之、山下 素弘、村岡 修子、杉田 匡聡、副島 秀久、中島 直樹 |

MCセンター

学会発表

- | | | | |
|-------|--------------------------------------------|--------------------------------------|-------|
| B-② 1 | PX（患者経験価値）導入から8年、実績と実感 | 第25回日本医療マネジメント学会学術集会
2023/6/23 横浜 | 西本 祐子 |
| B-② 2 | 医療の質を測る新たな指標「Patient eXperience (PX)」を導入して | 第77回国立病院機構総合医学会
2023/10/20 広島 | 西本 祐子 |

緩和ケアセンター

学会発表

- | | | | |
|-------|-------------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| B-② 1 | 医療用麻薬の適正使用を図ったオピオイド回診の検討～安全・安心な症状緩和を目指して～ | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/21 広島県 | 甲斐 祭生、八木祐一郎、石丸都希子、小柳 有子、岩崎 浩己、高見 裕子、田村 真吾、中原 萌子、中川 志乃、百田世利子 |
|-------|-------------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------|

臨床研究センター

論文

- | | | | |
|-------|-----------------------------------------------------------|------------------------------|-------------------|
| A-③ 1 | NHO研究ネットワークグループの活動とNHOブランディングへの貢献－消化器疾患（旧外科・麻酔科）グループについて－ | 医療
77 (5) : 318-323, 2023 | 高見 裕子、末永 雅也、成田 匡大 |
|-------|-----------------------------------------------------------|------------------------------|-------------------|

事務局

学会発表

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------|
| B-② 1 | 働きやすい未来を目指して～コンプライトガイド整備プロジェクト（企画課編）～ | 第77回国立病院総合医学会
2023/10/21 広島県 | 高橋 凌之、舩田 圭祐、伊藤 悠、池田 理乃、福治穂奈実、福嶋 駿、新川 雛乃、折尾 帆波、松元 陽子 |
|-------|---------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------|

B-④ 2 Want free time!! ～フレックスタイム 第77回国立病院総合医学会
制への一歩～ 2023/10/21 広島県

鳥越 光流、富田 晴香、金城さくら、森 翔一朗、
藤戸 寿教、上釜 拓人

編集後記

九州医療センター臨床研究年報 Clinical Research Vol. 30をお届け致します。

2022年度にNHO研究活動実績において強豪5施設に続く全国6位に返り咲いた当院でしたが、残念ながら本号では2023年度9位に坐したことをご報告せねばなりません。当院の強みであった論文投稿において、前年度を大きく下回ったことが敗因の一つと思われます。開始前からその存在を匂わせた「働き方改革」の影響がここにも及んだのでしょうか。臨床研究センターとして、論文執筆に向けた働きかけ、具体的な声掛けなど、なにか工夫が出来なかったかと後悔しかありません。

そんな折、大変恐縮な事ですが、高見、一身上の都合にて本年末に当院を退職させて頂くこととなりました。次年度への改善策も示せないままに本当に申し訳なく思いながらも、次期臨床研究センター長にバトンをお渡しするしかありません。

臨床研究センター長として当院のレベル高いたくさんの臨床研究に関わらせて頂いた2年半は私にとっては宝物のような時間となりました。皆様の臨床研究へのこれまでご尽力に心から感謝いたしますとともに、今後の当院臨床研究の益々のご発展を祈念いたしております。

なお本号発刊には昨年新たに事務局入りした中島美子さんに頑張ってもらいました。また昨年同様、嘉悦夏美さんと田中千重子さんにもお力添えを頂きました。この場を借りて深謝いたします。

2024年 初冬

臨床研究センター長 高見 裕子

Clinical Research

国立病院機構九州医療センター臨床研究年報

Vol.30 2023

発行日 2024年12月

編集・発行 **九州医療センター**

福岡市中央区地行浜 1 丁目 8 - 1
電話 (092) 852-0700 〒810-8563

印刷・製本 株式会社 陽文社

福岡市博多区那珂 5 丁目 7 - 37
電話 (092) 412-7331 〒812-0893
